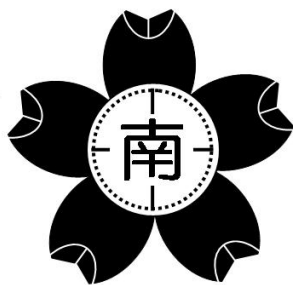


こ　　し　　 校　　章



こ　　か　　か　　し　　
校歌の歌詞は、津田南小学校の最初の校長、寺島正計がつくられました。

こ　　う　　く　　な　　い　　ち　　め　　い　　
「校区内の地名の中から、むかし津田の殿様が城をきずいたという、枚方で

いちばんたか　く　に　み　や　ま　　う　　つ　　く　　
一番高い国見山、」さくらの美しいところとして歴史的に有名な交野が原、

つ　　め　　
冷たくておいしい水があったと聞かされてきた清水谷（しみったん）を選び

ました。また、どんな人に育ててほしいかを、1番では命を大切にするよう

に、2番ではやさしく親切で美しい心をもつように、3番ではいっしょうけん

めい勉強をしてがんばりあうようにとのねがいをこめて書きました。そして、

「共に」ということばは、どんなことでもみんなで仲よく協力してやっていこ

うという気持ちを表しています。

校章は、校区に住む水本　洋さんによって考えられました。

「さくらは日本の国花です。その花びらで大阪の「大」を表し、1枚1枚が

枚方の「ひ」になっています。津田の「ッ」は、枚方の「ひ」にいだかれた

形になっています。「南」は津田南小学校を表し、子どもたちがまわりをかこ

んでいます。輪の中の「+」で、学校と子どもたちをつなぎました。「輪」は

人の「和」の意味も表わしています。



校歌

作詞 寺島正計

作曲 鈴木孝道

♩ = 108~112

mf 希望をもって

1 く に ー み の や ま を あ お ぎ ー み ー て と お
 2 か た ー の が は ま ら に さ き に ー お ー う と さ く
 3 な が ー れ も き よ き し み ず ー だ ー に ち し

き れ き し ー を し の び つ ー つ は
 き ら の は い ー の し け だ か さ ー は
 き の い ず ー み と こ し え ー に

mf

た いらよ く き りよ く す こ や か に と も に ー た た え ん こ
 ま ことと あ い と う つ つか し と も に ー つ た え ん こ
 ま な び つ と め て み が き あ い と も に ー そ だ て ん こ

の い の ー ち さ か え ゆ く わ れ ら の つ
 の こ こ ー ろ
 の ぶ ん ー か

だ ー み な み し ょ う が っ こ う

校歌

作詞 寺島正計
作曲 鈴木孝道

一、 国見の山を 仰ぎ見て

遠き歴史を 偲びつつ

体力 気力 健やかに

共に讃えん この生命

栄えゆく われらの

津田南小学校

二、 交野が原に 咲き匂う

桜の花の 気高さは

誠と 愛と 美しき

共に伝えん この心

栄えゆく われらの

津田南小学校

三、 流れも清き 清水谷

知識の泉 永遠に

学び努めて 磨き合ひ

共に育てん この文化

栄えゆく われらの

津田南小学校

目 次

1. 学校の概要	
(1) 沿革の概要	1
(2) 本学区校区図・所在地・電話番号	6
(3) 校舎配置図・校地面積	7
(4) 教室配置図	8
(5) 学年・学級編成	9
(6) 地区別・学年別児童数	10
(7) 教職員構成	11
2. 学校経営方針	
(1) 学校経営の基本方針	13
(2) 学校教育目標	13
(3) 今年度の重点目標	14
1. 学校に関わる全ての人の命を大切にする	
2. 安心・安全を確保するためのアンテナをはる	
3. 一人一人の多様性を認め合う	
4. 自律的な学びを目指す	
5. 教職員が当事者となって学校を支える	
(4) 具体的な取り組み	14
3. 学校評価について	22
4. 全国学力・学習状況調査の結果について	26
5. 学力向上の方策	
(1) 学力向上プラン	28
(2) 各学年経営方針	29
(3) 各学年の学力向上の方策	31
6. 体力向上の方策	
(1) 体力向上プラン	37
(2) 体力向上推進計画	38
7. 行事計画	
(1) 年間行事計画	39
(2) 定例行事計画	40
(3) 学校事務計画	41
(4) 日課表	43
(5) 教科と配当時間数	43
8. 各教科年間計画	44
9. 小中一貫教育	
(1) 小中一貫推進事業	49
(2) キャリア教育	50
10. スタートアッププログラム	51

1 1.	各教科・領域・全体計画・年間計画	
(1)	各学年教科・年間指導計画	5 2
(2)	総合的な学習の時間	5 8
(3)	道徳教育	6 0
(4)	人権教育	9 1
(5)	特別活動	9 7
(6)	情報教育年間指導計画	1 1 7
1 2.	各部会年間計画	
(1)	学力向上部	1 2 3
(2)	生活向上部	1 2 4
(3)	体力向上部	1 2 5
(4)	情報教育部	1 2 6
(5)	図書館教育部	1 2 6
(6)	防災・安全教育部	1 2 7
(7)	特別活動教育部	1 2 7
(8)	環境教育部	1 2 8
(9)	業務改善部	1 2 8
1 3.	健康・水泳指導計画	
(1)	食育指導	1 2 9
(2)	学校保健計画	1 3 7
(3)	水泳指導	1 4 0
1 4.	生徒指導計画	
(1)	いじめ防止基本方針	1 4 7
(2)	生徒指導体制	1 5 2
(3)	児童虐待防止マニュアル	1 5 8
(4)	学校のきまり	1 6 1
1 5.	学校安全・防犯・防災計画	
(1)	防犯マニュアル	1 6 2
(2)	火災について	1 6 4
(3)	地震について	1 6 5
(4)	風水害について	1 6 5
(5)	不審者の侵入について	1 6 5
(6)	Jアラートによるミサイル発射情報が発信された場合の対応	1 7 6
(7)	避難経路	1 7 7
(8)	消火器・消火栓 配置図	1 7 8
(9)	引き渡しマニュアル	1 7 9
(10)	緊急集団下校マニュアル	1 8 2
(11)	緊急時における教職員の役割について	1 8 4
(12)	学校安全計画	1 8 5
1 6.	校務分掌組織表	1 8 6
1 7.	学校運営機構図	1 8 7

1. 学校の概要

(1) 沿革の概要

昭和54年	4月 1日	初代校長 寺島 正計 赴任
同	4月 4日	業務開始
同	6月25日	プール完成
同	同	正門付近造園
同	7月 1日	開校式(創立記念日)校章。校歌制定
昭和55年	3月10日	卒業記念制作完成(飼育小屋)
同	3月31日	通学道路舗装完成
同	同	増築(管理棟3階部分)完成
同	11月23日	開校記念碑除幕式
昭和56年	2月末	卒業記念製作完成(ベンチ・野草園・藤苗植樹)
同	11月22日	開校3周年記念文化祭(門燈・グリーンベルト・築山)
昭和57年	2月 1日	卒業記念制作完成(自由の砂場)
同	3月18日	飼育舎増築(3m×3m×3m)
同	12月14日	卒業記念制作完成(薬草園)
昭和58年	2月 6日	緞帳完成披露
同	3月13日	全国学校環境緑化コンクール
同		国土緑化推進委員会理事長賞受賞 記念碑除幕式
同	5月15日	昭和57年度第32回大阪府緑化功労賞受賞
同	5月22日	昭和57年度全日本学校環境緑化コンクール
		国土緑化推進委員会理事長賞受賞
		第34回全国植樹祭(石川県)参列
同	9月27日	供養塔建立(児童会、空き缶リサイクル)
昭和59年	3月10日	卒業記念制作完成(校歌木彫額)
同	4月 1日	第二代校長 大矢 重夫 赴任
同	8月4・5日	五周年の森、雑木材、南国の林、ふるさとの林周囲、テストピースにて土石流防止工作
昭和60年	3月18日	卒業記念制作完成(日時計)
同	5月 2日	学校花壇コンクール努力校受賞
同	7月22日	光化学スモッグ情報拡声装置設置
同	9月18日	防球ネット設置
同	10月22日	農具倉庫設置
同	11月 8日	第22回全国花いっぱいコンクール優秀賞受賞
昭和61年	3月10日	卒業記念制作完成(モザイクタイル)
同	3月24日	みのりの林完成(柿・栗・植樹)
同	5月12日	学校花壇コンクール「努力校」受賞
同	6月12日	プールサイド全面改修工事(足洗い場新設)完成
同	9月21日	交通安全優良校受賞
昭和62年	3月15日	卒業記念制作完成
同	5月 9日	非常階段塗装工事完了
同	7月29日	ブランコ改修
同	11月 1日	第32回ソニー教育基金論文「優良校」受賞

昭和63年	3月 5日	第32回ソニー賞受賞記念碑設立
昭和63年	3月17日	卒業記念制作完成（太陽電池時計）
同	3月30日	運動場砂場改修完成
同	5月10日	学校花壇コンクール「努力賞」受賞
同	11月 1日	第33回ソニー教育基金論文「優秀校」受賞
同	11月12日	創立十周年記念式典及び祝賀会
同	11月17日	第33回ソニー賞受賞式（東京）参列
同	12月12日	焼却炉改修工事完了
平成元年	3月 4日	第33回ソニー賞受賞記念碑設立
同	3月15日	卒業記念制作完成（投的板）
同	4月 1日	第三代校長 鈴木 孝道 赴任
同	11月17日	教育実践報告会開催
同	12月26日	学校開放設置クラブハウス完成、遊具移設
平成2年	3月10日	飼育舎改築（ソニー教育基金による）
同	3月15日	卒業記念制作完成（石遊びコーナー）
同	3月31日	温室完成
同	5月 7日	学校花壇コンクール「優秀校」受賞
同	8月13日	運動場南側排水水路工事完成
同	14日	五周年の森周辺整備工事完成（ブロックにて土砂流防止用工事）
同	10月12日	調理場側溝鉄製溝蓋工事完成
平成3年	2月10日	正門塗装工事完成
同	3月16日	卒業記念制作完成（銅板レリーフ）
同	5月11日	卒業花壇コンクール「優秀校」受賞
同	8月 6日	散水設備工事完成
同	10月 2日	入退場門完成（運動場用）
同	11月 6日	農園（運動場東側）拡張整備工事完成 <ブロックにて運動場と仕切り>
平成4年	2月18日	北校舎階段下倉庫改修完成（東側）
同	2月28日	北校舎階段下倉庫改修完成（西側）
同	3月12日	卒業記念制作完成（プールタイル壁画）
同	4月 1日	第四代校長 林 清司 赴任
同	5月 8日	学校花壇コンクール「優秀校」受賞
同	10月12日	教材用農園借用（運動場南側農地）
平成5年	3月15日	卒業記念制作完成（廊下掲示板）
同	4月 2日	散水設備拡充工事完成（職員室前中庭）
同	5月12日	学校花壇コンクール「優秀校」受賞
同	2月15日	ワイヤレスホン（プール～職員室）、体育館ランプ取替工事完成
同	3月15日	卒業記念制作完成（かまど）
平成6年	3月25日	階段スロープノンスリップシート張り替え工事完成
同	4月15日	自転車置場工事完成
平成6年	5月20日	ワイヤレステレホン設置工事完成
同	8月20日	保健室空調整備工事完成
平成7年	3月15日	卒業記念制作完成（鏡）
平成8年	3月 5日	防災無線工事完成

平成9年	4月 1日	第五代校長 小橋尚哉 赴任
同	5月27日	学校花壇コンクール「優秀校」受賞
同	9月21日	交通安全優良校受賞
同	10月 1日	津田山手1丁目が通学区域に加わる
平成10年	8月26日	養護学級の改修工事竣工
同	12月 1日	フェンスの改修工事竣工
平成11年	3月 1日	集中下足場竣工
同	3月 1日	調理場ひさし拡張工事
平成12年	3月 1日	焼却場撤去
同	3月15日	体育館のスロープ竣工
同	4月 1日	第六代校長 中山 宏仁 赴任
同	8月31日	消火管の改修
平成13年	1月31日	コンピュータ室の設置
同	3月26日	放送設備改修工事完了
同	8月 6日	ブランコ改修
同	8月31日	階段スロープノンスリップシート張り替え工事完成
平成14年	3月31日	コンピュータ室空調整備工事完成
平成15年	1月 9日	体育館 屋根・床改修工事完成
同	3月31日	ビオトープ完成
平成16年	5月28日	教室扇風機設置
同	6月30日	正門オートロック工事完成
同	8月30日	図書室クーラー設置完成
同	10月30日	高圧電気設備改修工事
平成17年	3月 7日	電灯改修工事
同	3月28日	校長室クーラー設置
同	8月	受付ボックス設置
平成18年	3月10日	体育館 そで幕・中幕・前幕改修 (PTA)
同	4月29日	防災倉庫設置
平成19年	3月	新体育倉庫・新留守家庭児童会教室完成
同	7月10日	砂場改修工事
同	12月25日	備蓄倉庫2教室へ改修
同	4月 1日	第七代校長 阪上 伸子 赴任
同	12月25日	備蓄倉庫2部屋を教室に改修
平成20年	2月20日	PTA 会議室を教室へ
同	3月	演台、花台カバー寄贈 (PTA)
同	4月18日	体育館倉庫いす収納棚設置
同	8月	調理上屋根塗装工事完了
同	8月	職員室・図書室耐震工事完了
同	9月	教室空調工事開始
同	10月	校庭芝生緑化工事
同	11月12日	創立30周年記念式典挙行
同	12月	火災報知機改修工事完了
平成21年	3月	プール改修工事完了
同	4月	東校舎1階緑のカーテン緑化運動

平成22年	4月		大プール・小プール全面改修工事・小プール日よけ設置
同	6月		教室・特別教室空調設備使用開始
同	7月		一輪車10台寄贈
同	12月		運動場遊具改修
同	2月		教室に50インチデジタルテレビ設置
同	2月		図書室に電子黒板機付デジタルテレビ設置
同	2月		校庭東側フェンス改修工事
同	4月	1日	第八代校長 久我 周夫 赴任
平成23年	1月		体育館耐震工事完了
同	8月		下足場屋根修理
同	11月		竹馬・一輪車寄贈
平成24年	3月		階段スロープ補修
同	8月		管理棟トイレ美装工事
平成25年	3月		防災倉庫設置
同	3月		一輪車寄贈
同	4月	1日	第九代校長 平野 博典 赴任
同	8月		管理棟三階トイレ前手洗い新設工事
同	8月		給食調理場前屋根新設工事
平成26年	3月		家庭科準備室パーティション設置工事
同	3月		支援学級パーティション設置工事
同	8月		京セラより地域貢献として図書費50万円寄贈
平成27年	3月		図工室パーティション設置工事
同	3月		一輪車寄贈
平成28年	3月		教室棟 手すり設置工事
同	10月		留守家庭児童会室増設工事
平成29年	3月		支援学級パーティション設置工事
同	4月	1日	第十代校長 栢山 佐由里 赴任
同	8月		少人数教室プレハブ棟工事
同	12月		管理棟・北棟屋上防水工事
平成30年	1月		コンピュータ教室プレハブ棟工事
同	3月		プールポンプ付替工事
同	3月		図工室等パーティション設置工事
同	6月		(株)ユニソクより糸鋸盤等の備品寄贈
同	8月		大阪北部地震(6月)によりプールブロック塀を撤去し、アルミ製柵を設置
同	9月		台風21号による被害 教室空調設備(12台)、プール日よけ、校門監視員室
同	11月	10日	創立40周年記念式典挙行
平成31年	1月		プール日よけ、校門監視員室設置工事
同	1月		東棟屋上防水工事
同	3月		図工室等パーティション付替工事
同	3月		教室空調設備全面付替工事
令和元年	8月		東棟トイレ改修工事、校舎塗装吹付工事
同	10月		体育館塗装吹付工事、体育館前通路屋根張替え工事
令和2年	1月		体育館床一部張替え工事
同	9月		理科室及び家庭科室改修工事

令和3年	1月		ipad 配布（全児童）
同	4月	1日	第十一代校長 松村 光庸 赴任
同	7月		北館トイレ改修工事
同	11月		体育館屋根工事
令和4年	3月		枚方市優秀教職員「学校表彰」受賞
同	8月		北棟及び管理棟校舎外壁塗装吹付工事
同	9月		集中下足屋根吹替工事
令和5年	12月		体育館電灯 LED 化工事
令和6年	3月		管理棟トイレ改修工事
同	3月		校舎内スロープすべり止めマット張替工事
同	3月		管理棟及び北棟3階渡り廊下前階段撤去工事
同	3月		キュービクル取替工事

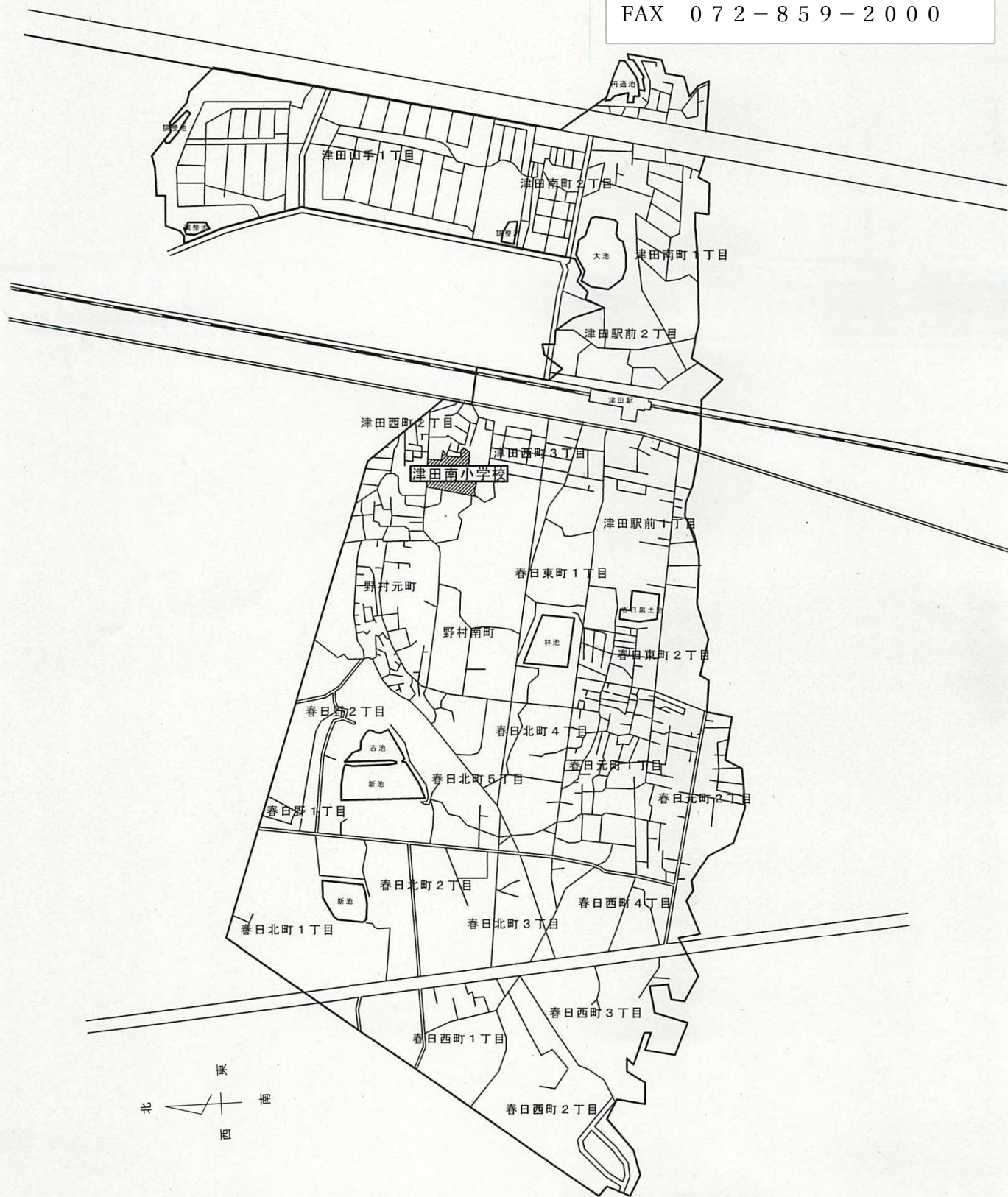
(2) 本学区校区図・所在地・電話番号

〒573-0126

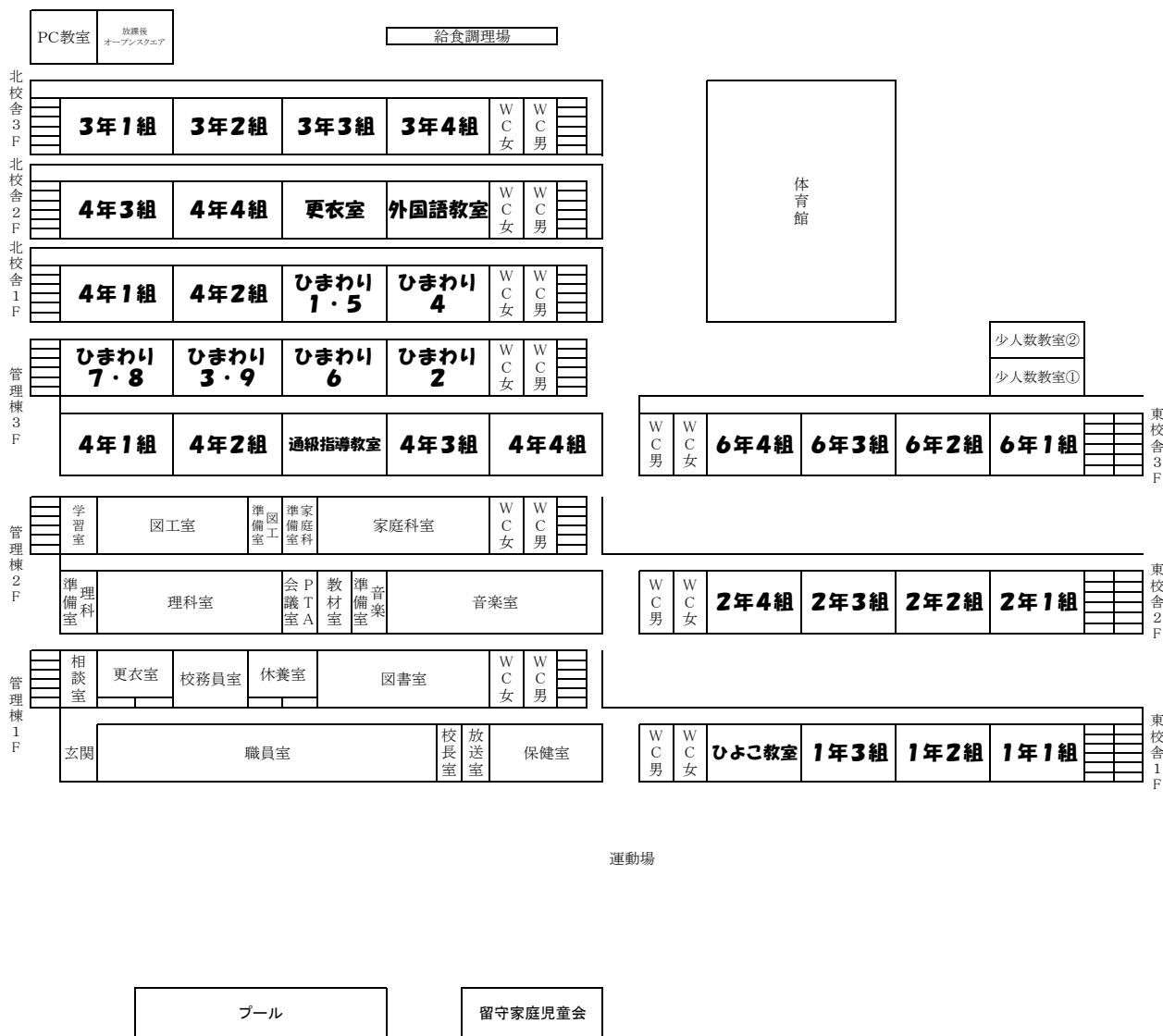
枚方市津田西町3丁目10番1号

TEL 050-7102-9132

FAX 072-859-2000



(4) 教室配置図



(5) 学年・学級編成

校長 松村 光庸 教頭 日下 和繁
(令和6年 5月1日)

学年・組	男子	女子	計	担任氏名
1年1組	13	15	28	井上 睦
1年2組	13	16	29	寺島 直彦
1年3組	13	16	29	戸田 菜々
2年1組	15	14	29	坂下 温実
2年2組	15	14	29	森本 慶子
2年3組	14	14	28	吉田 芽依
2年4組	14	15	29	長谷部 聡子
3年1組	12	17	29	廣永 優一
3年2組	13	15	28	朝倉 優奈
3年3組	12	16	28	西村 礼夏
3年4組	12	16	28	勝山 実優
4年1組	14	16	30	加藤 美咲
4年2組	15	16	31	大久保 千佳
4年3組	14	16	30	山本 宗佑
4年4組	13	16	29	安積 直輝
5年1組	18	15	33	相野 法子
5年2組	18	16	34	竹之内 康明
5年3組	18	16	34	野村 淳子
5年4組	18	15	33	村上 勇人
6年1組	17	17	34	瀬戸川 靖子
6年2組	17	16	33	志智 拓斗
6年3組	16	17	33	安澤 宏美
6年4組	17	17	34	岡本 恭平
支援学級1	(5)	(3)	(8)	末田 由美子
支援学級2	(5)	(2)	(7)	安井 叔子
支援学級3	(6)	(1)	(7)	皆川 範子
支援学級4	(1)	(1)	(2)	衣川 礼香
支援学級5	(5)	(2)	(7)	田中 竣
支援学級6	(4)	(3)	(7)	國定 靖民
支援学級7	(6)	(1)	(7)	荻野 綾花
支援学級8	(6)	0	(6)	谷口 友理
支援学級9	(3)	(3)	(6)	柏木 恭子
通級指導教室	(9)	(7)	(16)	松浦 啓子
合計	341	361	702	
担任外	首席・教務主任:草野 淳		支援教育コーディネーター(支援教育・通級教室との連携):衣川 礼香	
	理科専科:高岡 幸祐		支援教育コーディネーター(いじめ・虐待・不登校・SSW):柏木 恭子	
	音楽専科:小山 貴子		通級指導教室加配教員:松浦 啓子	
	図工専科:藤井 由紀子		少人数指導:孫入 保行	
	子ども支援コーディネーター:杉本 英樹		生徒指導主事:増田 俊子	
	支援担当:上田 真理		特別支援教育支援員:高井 篤志 新妻 直美	
	不登校支援員:森本 まどか 高比良 裕美			
養護教諭	曳田 実咲		主事	酒井 正美 山領 仁美
栄養教諭	藤田 弘美		技術職員	井上 敦雄
スクールソーシャルワーカー	岡部 雄一郎		スクールソーシャルワーカーサポーター	堀 雅樹
スクールカウンセラー	中村 映子		心の教室相談員	大原 妙子
業務改善支援員	西村 宏美			
調理員	福田 航大 廣山 久美子		阿部 俊朗 西中 満美	山口 仁美
施設管理人	河井 薫 井上 正彦			

(6) 地区別・学年別児童数

令和 6 年5月1日現在

学校名： 津田南小学校

No	町 丁 名	中学校 校 区	学 年 別 児 童 数						合 計
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	
1	津田駅前一丁目	津田中学校	9	15	8	11	16	8	67
2	津田駅前二丁目	津田中学校	9	19	14	9	18	11	80
3	津田南町一丁目	津田中学校	11	8	9	10	9	10	57
4	津田南町二丁目	津田中学校	8	18	14	19	24	21	104
5	津田西町二丁目	津田中学校	5	4	4	6	4	3	26
6	津田西町三丁目	津田中学校	4	6	8	5	4	8	35
7	春日元町一丁目	津田中学校	2	5	5	7	7	18	44
8	春日元町二丁目	津田中学校	8	5	6	5	12	8	44
9	春日東町一丁目	津田中学校	7	5	9	7	8	4	40
10	春日東町二丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
11	春日西町一丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
12	春日西町二丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
13	春日西町三丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
14	春日西町四丁目	津田中学校	0	0	1	0	0	0	1
15	春日北町一丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
16	春日北町二丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
17	春日北町三丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
18	春日北町四丁目	津田中学校	0	0	1	0	0	0	1
19	春日北町五丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
20	春日野一丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
21	春日野二丁目	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
22	野村元町	津田中学校	6	4	7	11	5	8	41
23	野村南町	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
24	津田山手一丁目	津田中学校	16	26	27	30	26	35	160
25	大字津田	津田中学校	0	0	0	0	0	0	0
26	区域外		1	0	0	0	1	0	2
27									0
28									0
29									0
30									0
学年別児童数合計			86	115	113	120	134	134	702

(7) 教職員構成

職名	氏名	担任等	教科	学校向上部	指導部	主任等
校長	松村 光庸					
教頭	日下 和繁					
首席	草野 淳	初任期指導	国語	学力向上部	情報教育部 業務改善部	教務主任 教務部長 小中一貫・学力推進リーダー システム管理者 初任期教職員指導コーディネーター コミュニティ・スクール担当教職員 ハラスメント相談窓口
講師	増田 俊子	生指	図画工作	生活向上部	防災・安全教育部	生徒指導主事 いじめ児童虐待対応担当者
教諭	杉本 英樹	生指	社会	生活向上部	特別活動教育部	子ども支援コーディネーター 生活向上部部長 生徒指導担当者
教諭	高岡 幸祐	専科	理科	生活向上部	情報教育部	人権教育担当者
教諭	小山 貴子	専科	音楽	体力向上部	防災・安全教育部	防災・安全教育部部長 学校安全担当者
講師	孫入 保行	少人数	算数	学力向上部	環境教育部	
教諭	衣川 礼香	支援学級	音楽	生活向上部	環境教育部	支援教育コーディネーター
教諭	柏木 恭子	支援学級	生活	生活向上部	特別活動教育部	支援教育コーディネーター
教諭	國定 靖民	支援学級	図画工作	体力向上部	情報教育部	
教諭	安井 叔子	支援学級	算数	学力向上部	業務改善部	
講師	荻野 綾花	支援学級	家庭	体力向上部	環境教育部	
講師	末田 由美子	支援学級	道徳	学力向上部	図書館教育部	
講師	谷口 友理	支援学級	外国語	学力向上部	図書館教育部	
講師	皆川 範子	支援学級	国語	生活向上部	防災・安全教育部	
講師	田中 竣	支援学級	理科	体力向上部	情報教育部	
教諭	松浦 啓子	通級指導	総合	学力向上部	防災・安全教育部	支援教育コーディネーター
講師	井上 睦	1年1組	生活	生活向上部	環境教育部	
教諭	寺島 直彦	1年2組	体育	学力向上部	図書館教育部	第1学年主任 幼保こ小連携担当者
教諭	戸田 菜々	1年3組	音楽	体力向上部	業務改善部	業務改善部部長
教諭	坂下 温美	2年1組	算数	学力向上部	特別活動教育部	
教諭	森本 慶子	2年2組	理科	学力向上部	防災・安全教育部	第2学年主任
教諭	吉田 芽依	2年3組	道徳	体力向上部	情報教育部	情報教育部部長 情報セキュリティ担当 情報教育推進ワーキングメンバー ICT環境整備担当
教諭	長谷部 聡子	2年4組	生活	生活向上部	業務改善部	
教諭	廣永 優一	3年1組	体育	体力向上部	業務改善部	第3学年主任
教諭	朝倉 優奈	3年2組	社会	体力向上部	特別活動教育部	特別活動教育部部長
教諭	西村 礼夏	3年3組	国語	学力向上部	情報教育部	
教諭	勝山 実優	3年4組	図画工作	生活向上部	図書館教育部	図書館教育部部長 司書教諭
指導教諭	加藤 美咲	4年1組	理科	学力向上部	環境教育部	環境教育部部長 エコスクール担当
教諭	大久保 千佳	4年2組	総合	生活向上部	業務改善部	第4学年主任
講師	山本 宗佑	4年3組	算数	生活向上部	図書館教育部	
教諭	安積 直輝	4年4組	外国語	体力向上部	防災・安全教育部	体力向上部部長
教諭	相野 法子	5年1組	社会	学力向上部	特別活動教育部	第5学年主任
教諭	竹之内 康明	5年2組	家庭	生活向上部	防災・安全教育部	
教諭	野村 淳子	5年3組	総合	学力向上部	環境教育部	学力向上部部長
教諭	村上 勇人	5年4組	体育	体力向上部	情報教育部	

職名	氏名	担任等	教科		分掌	主任等
教諭	瀬戸川 靖子	6年1組	道徳	生活向上部	特別活動教育部	道徳教育推進教師
教諭	志智 拓斗	6年2組	家庭	生活向上部	業務改善部	
教諭	安澤 宏美	6年3組	国語	学力向上部	図書館教育部	第6学年主任
教諭	岡本 恭平	6年4組	外国語	体力向上部	情報教育部	システム管理者
養護教諭	曳田 実咲		体育	体力向上部	環境教育部	保健主事 衛生管理者 ハラスメント相談窓口
栄養教諭	藤田 弘美		家庭	体力向上部	業務改善部	
主事	酒井 正美					
主事	山領 仁美				業務改善部	
教諭	西村 彩音					休業中
教諭	松永 裕香子					休業中
教諭	河原 ひかる					休業中
教諭	坪田 夏澄					休業中
教諭	深美 衣代					休業中
教諭	松村 あかね					休職中
非常勤講師	上田 真理	支援				
非常勤講師	藤井 由紀子	専科	図画工作			
技術職員	井上 敦雄					
JTE	岡野 真木子		外国語			
肢体不自由児介助員	根上 早苗					
特別支援教育支援員	高井 篤志					
特別支援教育支援員	新妻 直美					
SSW	岡部 雄一郎					
SSWサポーター	堀 雅樹					
スクールカウンセラー	中村 映子					
心の教室相談員	大原 妙子					
調理員	福田 航大					
調理員	廣山 久美子					
調理員	阿部 俊朗					
調理員	西中 満美					
調理員	山口 仁美					
施設管理人	河井 薫					
施設管理人	井上 正彦					
学校医	西田 直樹	内科				
学校医	矢倉 祐朋	内科				
学校医	井上 敬介	内科				
学校医	宮本 裕之	歯科				
学校医	田中 卓	歯科				
学校医	寺嶋 悟	歯科				
学校医	渡邊 敏夫	眼科				
学校医	山本 博史	耳鼻科				
学校薬剤師	大野 智永子	薬剤師				

2. 学校経営方針

(1) 学校経営の基本方針

本校の教育は創立以来、日本国憲法並びに教育基本法をはじめとする、教育関係諸法令に基づき、人権尊重の精神を教育の基本に据え、人格の完成を目指し、真理と正義を希求する人間の育成を期して行われてきた。

また、平成28年6月に策定された「枚方市教育振興基本計画」において定められている教育目標

「学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく
～自立、協働、創造に向けた主体的な学びを支え、可能性を最大限に伸ばす～」
の実現をめざし、今後も、保護者や市民の信託に応える教育内容を確立する。

(2) 学校教育目標

【学校教育目標】

主体性と当事者意識を持って学級・学年や学校を自治することを目指し、将来、平和で民主的な国家及び社会の形成者となる児童を育成する。

【めざす学校・児童・教職員像】

学校教育目標の達成を実現するために、めざす学校・児童・教職員像を設定している。スローガンとして「命を守り 命を育む」学校づくりを設定する。

○めざす学校像「命を守り 命を育む学校づくり」

安全・安心が維持・確保される平和な学校 ⇒ 人権感覚の向上、学校生活の環境保全

授業が分かる学校 ⇒ 教職員の授業力・指導力・ファシリテーター力の向上

信頼される学校 ⇒ コミュニティの信託に応える教育を推進し、秩序ある学校の確立

○めざす子ども像

考える子ども：

常に自らを高めようとし、自ら課題を見つけ、自ら考え、判断して
行動できるように努力し続ける子ども

明るい子ども：

きまりや約束を守り、仲間を大切にし、礼儀正しく思いやりのある
行動ができる子ども

元気な子ども：

命を大切にし、よく遊び、困難なことも最後までやりぬくための体力-気力をもった子ども

(3) 今年度の重点目標

学校教育目標を実現するために、今年度は以下の内容を重点目標とする。

1) 学校に関わる全ての人の命を大切にする

学校に関わる全ての人の命を大切にする教育を推進する。

2) 安心・安全を確保するためのアンテナをはる

児童が安心して安全に過ごせるように安全教育を充実させるとともに、安全な学校環境の確保及び、安全管理に努める。

3) 一人一人の多様性を認め合う

教職員の人権感覚を高め、児童が違いを認めて協力し合える学級づくりを進めたり、学校行事や児童会活動等を含め学校における様々な活動の中で異学年間の交流の機会を通したりして、生徒指導を充実させることで心豊かな人間性を育てる教育を推進し安心できる学校づくりを行うことで児童の社会情動的スキル（自尊感情、社会性に関する力）を高める。

4) 自律的な学びを目指す

教員が「令和の日本型学校教育」の中核をなす「主体的・対話的、深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるために「個別最適な学び」「協働的な学び」を推進するとともに、その学びが子ども達にとって「学ぶ面白さ」が実感できるようにする。そして、その結果子ども達が自律的な学びに深化できるように支援する。

5) 教職員が当事者となって学校を支える

学校を運営する教職員一人ひとりが、仕事にほこりを持つことで、仕事へのやりがいを高め児童の身近にいる大人としてのモデルにつながるようにする。

(4) 今年度の重点目標のための具体的な取り組み

具体的な取り組みとして

「認知能力（学力・体力）と非認知能力の向上」

「人権教育・生徒指導・特別支援教育の充実」

「コミュニティスクールの推進（地域・保護者との連携）」

「教職員の職場環境の改善」

を4本柱に学校運営を進める。

1 「認知能力（学力・体力）と非認知能力の向上」

・・・9年間を見通した教育課程を編成し、子どもたちが主体的に、楽しく且つ深く学び、健康な生活を送る

< 1 > 授業力の向上 ―校内研修の充実―

子どもたちが基礎・基本を身につけられるように、学習指導要領の趣旨を理解し個別最適な学びと協働的な学びを通して、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を確立する。

・令和6年度校内研究主題

「基礎基本の定着を図り、自分の考えを目指して

～協働的な学び 系統性を意識した授業づくり～」（教科：算数）

- ・研究してきた国語科等の言語活動を他教科にも生かせる取り組みを行うために、少なくとも学期に1回は単元計画を子ども達と作成し計画、振り返り、改善の繰り返しから自律的な学習習慣を確立する。
- ・他部分掌とも連携する。特に少なくとも学期に1回は並行読書を利用する。
- ・子どもたちが「主体的に学ぶ」授業、言語活動を活発に行う授業のあり方について今年は特に「協働的な学び」を重点的に研究する。

授業づくりでは、相手意識・目的意識の仕掛けが大切でありそのもとになる単元計画づくりも行う。

- ・PDCA サイクルを意識し、日々授業改善に取り組む。
- ・「Hirakata 授業スタンダード」（第3ステージ）に基づいた学習規律・授業のあり方を一人1台タブレット端末等のICT機器を効果的に活用しながら行う
- ・学力調査等の課題から児童の実態を把握し、求められる認知能力を授業改善にも生かす。
- ・授業のめあて、まとめ、振り返りを明確にし、「学ぶ面白さのある分かる授業」を確立。
- ・経験の少ない教員の指導力の向上のために交換授業などの学年団による相互授業参観、特別活動の情報共有など、学年会を利用して定期的に行う。
- ・すべての教員の授業力の向上（教員による相互参観週間の設定、全教員が指導案を書き授業を公開。毎年、直前の実施報告があるため再度検討も重ねる。）
- ・算数科を研究するにあたり「STEAM教育」の求められることについても意識し取り入れる。

< 2 > 学習集団の育成

① 学習規律の確立

② グループやペアの活用から協働的な学びへと向かわせる。グループ学習に取り組み、対話的な学びを深め合意形成の場として学級活動を生かす。この学級活動が高学年の委員会活動に生かせることを意識し、特別活動を礎にした学習集団を作り上げる。

③ 学習の見通しを持った授業計画

児童とともに単元計画を作成。単元のゴールの見通しを持った授業に取り組む。

④ 自学自習力の育成

「家庭学習の手引き」を啓発したり、タブレット端末の navima アプリ等を利用したり、保護者とも連携して家庭学習の定着を図り、シームレスな学びを目指すとともに自律的な学びに向かわせる。尚、ドリルの丸付けに追われるのではなく、児童の実態にあった宿題の在り方を「個別最適な学び」の一貫として模索する。

< 3 > 朝の学習（8：30～8：40）の効果的なあり方の研究と実践

※令和6年度より朝学習の時間を5分間縮小したことから、従来の踏襲ではない新しい方策を考え計画的に時間を使用する。

※navimaなどのアプリの効果的な活用で過年度だけでなく予習も取り入れる。

※学力調査等で浮き彫りになった既習事項が生きる時間としても活用する。

※語彙力をつけるために、読書タイムの本読み、学校図書館の活用も積極的に行う。（学校図書館司書は二週間に一回山田東小と兼務（1、3週目の水・木曜日は山田東小。））

- ・職員朝礼は月曜日のみ。
- ・昨年度参考（令和6年度から10分となっている。）
月（見回り）漢字・計算等
火 担任 navima アプリ
水（見回り）漢字・計算等
木 担任 読書
金（見回り）漢字・計算等

< 4 > 少人数指導のあり方の研究

- ・6年の算数で少人数指導を実施する。（学年については毎年検討する。）
- ・「基礎・基本の定着」「自ら学び、自ら考える力の育成」「個別最適な学び・協働的な学び」を図ることを目的とし、担任と少人数指導担当の教員が協力して、一人ひとりの子どもの個人差に応じたきめ細かな指導に取り組んでいく。

学習の形態は、子ども達の実態や単元・教材の特性を考えながら、習熟度別指導や、単純分割、課題別、T・T等指導などの指導方法を検討し、常に「生活に普段に生かせる力の付け方」を考えながら取り組んでいく。

- ・高学年の教科担任制導入を踏まえての模索も行う。

< 5 > 教育課程についての研究

- ① 学習指導要領の定着を図るとともに ICT 活用環境が教育現場に不可欠になることを意識し、全教員が効果的活用を積極的に行う。特に授業改善に効果的な ICT の活用を情報教育部が積極的に関与し進めていく。
- ② 特別な教科「道徳」や特別活動について、いじめ未然防止にもつながることを意識した授業の進捗方法、評価の方法等、具体的な研究をさらに深める。
- ③ 外国語（活動）
3年生から6年生まで、担任が中心に授業することを目標に、JTE がサポートをしながら外国語の授業について研究する。
- ④ 食育・健康教育の継続
 - ・給食を教材にした食教育の推進。
 - ・「早寝、早起き、朝ごはん」⇨自分の生活を見直し、生活を変える『実践力』の育成を図る。また調理員さんと給食委員会の連携を行う。
 - ・自分の健康について知り、健康に生きる意識を高める。また、プライベートゾーンの大切さについても啓発する。

⑤ 総合的な学習の探究的な取り組みの実施

- ・SDGS等を意識した総合的な学習の探究的な取り組みも実施する。
- ・表現方法については新聞づくりを基礎としてプレゼンテーション、動画編集などICTを積極的に取り組む。
- ・教える側が、つきたい力の段階を共有し、子ども達がついた力を実感できるように努める。

< 6 > 「GIGA スクール構想の実現」に向けたタブレット端末など ICT 活用の研究と推進

- ① 学力学習状況調査の将来的な対応を目指してタイピングする力を情報教育部が中心となって進める。
- ② 教科指導等におけるタブレット端末（アプリ使用）など ICT 機器の活用
 - ・デジタル教材、タブレット等を活用し各教科等の効果的に行う研究を行い、情報活用能力を育む。
 - ・自律的な学習に向けた家庭学習におけるタブレット端末の効果的な活用。
- ③ 情報教育
 - ・子どもたちの情報活用能力の育成及び情報リテラシー教育の向上
 - ・各教科でプログラミング教育を積極的に行う。

< 7 > 体力の向上のための方策

「体力」⇨「運動をするための体力」と「健康に生活するための体力」
であり、その根幹は「調整力（動作の習得）」「持久力（粘り強さ）」
「瞬発力（力強さ）」である。

- ① 体育の授業の充実 ⇨ 不器用な児童の把握 ⇨ 教員での情報共有
児童に体力をつけるための効果的な体育の授業のありかたについて、教師間で交流し、共通理解を図る。
- ② 「外遊び」の奨励
体育委員会等で呼びかけ、朝、20分休み、昼休みに教師もともに外に出て学年団で話し合っ
て子どもと遊ぶことも目標にする。
- ③ 「体力テスト」における児童の実態、「なわとびカード」などを利用し目標を持った取り組み
の継続

< 8 > 小中一貫事業 月に一回交流会を持つ

義務教育9年間を見据え、津田小学校・津田中学校と連携し、人権教育・生徒指導・特別支援教育、学力向上等の取り組みを行う。

- ① 中学校区合同研修会、2小学校合同研修会の実施、及び図書館司書の連携
- ② 小中学校間の生徒指導の連携 及び、2小学校間での生徒指導の連携
- ③ 教育相談体制の充実・連携 小・中学校スクールカウンセラーと「心の教室相談員」の連携、
スクールアドバイザー、スクールソーシャルワーカー等の活用

2 「人権教育・生徒指導・特別支援教育の充実」

人権教育・生徒指導・特別支援教育を校内一致した体制で一層の充実を図り、「いじめ見逃しゼロ」のない学校をめざす。

合言葉「そのお休み本当にただの体調不良ですか？」の心構えを持つ。

○高い人権意識を持った学級づくり

- | | | |
|------------------------|-----|----------|
| 一人ひとりが大切にされる学級 | ... | しっかりと認める |
| 馬鹿にされたりからかわれたりする子がない学級 | ... | しっかりと叱る |
| ていねいな言葉遣いが通い合う学級づくり | ... | ていねいなことば |

○自尊感情（自己肯定感）、自己有用感を育てる

他者との比較ではなく、子どもの存在そのものを喜ぶこと、「あなたがいることが、まずは嬉しい」と伝え続けることが大切である。

<1>人権教育の一層の充実

- ①教職員一人ひとりが高い人権意識を持つ。
- ②スクリーニングシートなどを活用し、児童の実態・状況把握に努め、人権に配慮したきめ細かな指導を行う。
- ③学校を挙げて「いじめは絶対に許されない」という指導の推進。
- ④子ども支援コーディネーター、支援コーディネーターが中心となり、生活向上部長、生徒指導主事、「心の教室相談員」や小・中学校スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を活用し、教育相談体制の充実を図る。
- ⑤いじめ・不登校・虐待対策委員会や、セクシュアルハラスメント・体罰等相談窓口の相談機能の充実を図る。

<2>道徳教育の充実

道徳教育は、子どもが「よりよく生きる」ことがテーマであり、道徳の時間 **35(34)**時間を大切に考え、道徳教育を基盤として、生命の大切さや人を思いやる豊かな人間性を育む「心の教育」を充実させる。

- ① 教科書を中心に、副教材も活用して道徳教育を推進する。
- ② 道徳の時間における指導内容・指導方法、評価の工夫・改善を図る。
- ③ 保護者・地域（津田小、津田中を含む）と連携しながら、心の教育を進める。

<3>特別支援教育の充実

- ① インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、すべての子どもたちが「ともに 学び、ともに育つ」支援教育を進める。支援教育コーディネーターを中心とした 校内体制を確立し、すべての教職員が一致した体制で支援教育を進めていく。
- ② 校内研修を充実させ、支援教育に対する専門性向上。
- ③ 通常の学級に在籍する支援の必要な児童についても、必要な支援について検討 する。
- ④ 児童の実態把握のためのスクリーニング調査方法の確立

< 4 > 生徒指導の充実

「よくわかる津田南小学校」プリントをはじめ、学校で守るべきルールや授業においては学習規律がある。子ども達も一定の理解はしてきたが、毎年改めてその基本に立ち返りそのルール等を子ども達が発信・表現できるように特別活動の時間（学級会・学年集会・児童集会）の場を利用し、最終的には子ども達自身が自分の命を守り育むことにつなげる。児童が学校を自治できることを目指す。

今年度の具体的な取り組みを生活向上部と特別活動部を中心に指導部分掌全体で

「協働的な学び」を支えるために「自分で気づき、考え、行動できる子」による学級・学校の自治をめざす。

取り組み方法

- ・学年団による学級会の相互授業参観
- ・委員会活動からの発信による学級活動との連携
- ・委員会活動を改めて見直し、自治的な活動への移行とする
- ・高学年の委員会活動につながる各学年の係活動の設定を意識する

- ① 生徒指導を組織的に行うための体制を確立し、教職員全員が一致した体制で指導に当たる。いじめ防止基本方針、五つの生活指導レベル等の規程を意識する。
- ② 不登校児童についての理解を深め、組織的に不登校児童に対する取り組みを行う。
- ③ 交野警察、スクールサポーター、枚方市まるっとこどもセンター等の関係機関と連携し、地域一体となった子どもの見守り体制をつくる。
- ④ 通常の学級における不登校児童、教室に入りにくい児童等の背景をケース会議でスクールソーシャルワーカー、心の相談員、不登校支援員等と情報共有し誰一人取り残されない対策を講じる。

< 5 > あいさつ・時間・掃除・整理整頓の徹底

- ① 元気で明るいあいさつの励行
 - ・家庭や地域で、また友達、先生、学校に来るお客さまなどにしっかりあいさつができるよう指導する。目標は名前をつけての挨拶の実施。
- ② チャイム着席の徹底
- ③ 清掃・整理整頓の徹底

< 6 > 規範意識の醸成

- ① 「学校のきまり」を守る
 - 各種校内共有のきまりについては引き続き児童だけでなく保護者にも発信。
- ② 交通ルールを守り、安全な登下校を指導する。→校舎周辺路駐禁止の呼び掛け
- ③ 集団生活のマナーを指導する。
 - ・己の欲せざる所、人に施すことなかれ、の精神で。
 - ・「やさしい言葉づかい」「相手を思いやる言葉づかい」：教職員の言葉も究める
 - ・「承認し合うことの大切を解く」

3 「コミュニティスクールの推進（地域・保護者との連携）」

地域の教育力を学校教育に生かす。

学校運営評議委員の方々と学校が協働しながらコミュニティスクールの実施。

① 授業参観

- ・土曜参観、日曜参観、9月、11月、2月に授業参観（引き渡し訓練、情報リテラシー教育）等

② 地域行事へ働き方改革を意識した参加

- ・クリーン津田、新たな区民体育祭、南小祭り・（餅つき大会）、等の地域行事
- ・地域教育協議会、地域交流会、地域パトロール等に、教職員が参加、結びつきを深める。

③ 地域人材による学校教育への協力

- ・スポーツ指導、玉葱刈入・米作り体験、昔あそび指導、地域めぐり等

④ 見守り隊との連携 → 児童への紹介

⑤ 「学校教育自己診断アンケート」の結果等を活用し学校運営協議会から提言や評価を受ける。

また、「地域とともにある学校づくり」の視点からも、家庭や地域との相互理解を深める。

⑥ 小中一貫・学力向上推進コーディネーター、小中一貫・学力向上推進リーダーが中心となり、津田中学校校区の連携した指導体制の確立に努めたり、また、津田中学校が取り組んでいる「非認知能力の育成」に力を注ぎながら「9年間の教育に責任を持つ」ということを教職員が意識して取組んだりする。

また、幼稚園等異なる校種間において、令和5年度に実施された「架け橋プログラム」の指導方法の工夫・改善等について、1年学年団を中心に教員の連携を図る。

4. 教職員の職場環境の改善

< 1 > 学校運営の組織・学校教育目標実現のために

校長が提示する学校教育目標実現のために、本校の課題を共有し、校務分掌をPDCAサイクルを基に改善し、学年主任、分掌主担者等を中心に、計画的、組織的かつ有機的で円滑な学校運営を進めることで有意義な学校教育活動に帰結させる。

(1) 職員会議は校長が主宰する。

(2) 職員会議の前に、校務調整機関として企画会議を行う。これは原則、各学年等の主担者に当たる担当者出席することとする。尚、議事進行に伴い活発な議論を行うとともに有機的な対話が実るように教務担当がその司会を務める。

(3) 常に、国・府・市、地域や社会情勢、関係諸法令等の情報を迅速且つ的確に把握し、学校運営組織の改善を行う。

(4) 改めて学校教育目標という上位の概念に向かって企画会議・職員会議が議事進行していることを振り返る機会を持つ。そして、津田南小学校教職員団として対話を重視し、互いに切磋琢磨しながら合意形成が図れる教職員団を絶えず目指す。

(5) 次年度を見据えた今年度の成果、課題、改善、提案ができるように学校運営することを目標とする。

- ① 令和6年度から人事異動のサイクルが短く行われることも考えられる。新年度に円滑な業務が進行できるように、年度末反省を12月下旬には着手し、次年度の目標などを2月中に決定することとする。2月中に決定した次年度の取り組み案について、関係各所及び関係の専門家に次年度の指導の依頼などに結びつけたい。

<2>事務について

学校事務の共同実施により、事務職員の人材育成を図り、学校経営への参画意識を高めるとともに学校事務の効率化を進める。

<3>チーム学校について

SSW、SSWs、心の相談員、不登校支援員、スクールカウンセラーや組織運営等に専門性を有する多様な外部人材や専門スタッフ等と教職員が協働し、「チーム学校」として、学校ガバナンスの確立を図る。

3. 学校評価について

- 実施日 令和6年1月
- 方法 iPadを用いた、GoogleFormによるアンケート
- 集計結果から

まず、児童、保護者共通の質問を見てみます。

項目1「学校に行くことは楽しい」は対前年度に比較して肯定的回答に変化はありませんが、保護者の方が児童の結果より約5%高くなっています。また低学年ほど学校が楽しいと答える肯定的割合が高いです。

学校は楽しいと言うものの項目3「授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。」は、児童・保護者間の差が約10%あります。文部科学省は誰一人取り残さない授業づくりをスローガンに個別最適な学び・協働的な学びを推進しています。特に協働的な学びの基礎には落ち着いた学級集団が求められており本校の次年度の取り組みもこの項目の改善を意識して今年度進めてきた特別活動・学級会を基に授業改善に臨みます。

児童・保護者間の割合の差が大きなものには項目19「自分で計画を立てて勉強している。」があります。枚方市教育委員会では学校の学習と家庭の宿題がつながるようにすることで、自分で学んだり計画的に自学自習したりできる子どもの育成に力を入れており、本校でも少しずつ取り組んでいるため、その結果が表れてきたとも言えます。

項目30「家で、よくタブレットを使って学習している。」も児童・保護者間の差が大きいです。今後、学習ドリルもタブレット上で実施することにもなるかもしれませんが、宿題としては、まだまだ書くこと、読むことなどの内容が多いです。

項目31「家や地域の図書館、学校の図書室で読書をしている。」でも児童・保護者間の差が大きいです。学校図書館司書の先生の配置、絵本広場の実施、読書ビンゴ、朝日新聞「読書ノート」等の取り組みにより一定数児童は本に親しんでいるようです。

令和5年度 学校教育自己診断アンケート 質問内容 単位：(%)	肯定的 (児童用)	肯定的 (保護者用)
1 学校に行くことはたのしい。	83.4	89.0
2 先生は私たちの話や考えをよく聞いてくれる。	92.6	94.7
3 授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。	70.8	85.1
4 授業はわかりやすい。	92.1	96.1
16 先生は学習や係活動で頑張ったことをほめてくれる。	89.1	94.8
19 自分で計画を立てて勉強している。	65.6	46.3
23 あなたは、学校生活や友達のことを、おうちの人によく話す。	85.7	96.2
25 あなたはあいさつや約束を守ることを大切にしている。	92.2	94.2
26 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	94.1	93.5
29 タブレットを使った授業はわかりやすい。	89.1	89.1
30 家で、よくタブレットを使って学習している。	51.4	72.1
31 家や地域の図書館、学校の図書室で読書をしている。(どくしょがすきだ)	69.3	57.5

次に、児童アンケートの中でも項目7「授業の中で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」が増加しており、取り組んでいる「協働的な学び」の成果を今後も生かしてまいります。

また項目16「先生は学習や係活動で頑張ったことをほめてくれる。」、項目20「困ったことや分からないことは先生に質問や相談がしやすい。」、項目21「担任の先生のほかにも相談できる先生がいる。」も対前年に比較して増加しています。

しかしながら、一方で先生の言葉遣いについての学校へのお問い合わせもありました。児童のみなさんが1日の中で安心して過ごせるように私たち教職員も丁寧な言葉遣いに努めてまいります。

令和5年度 学校教育自己診断アンケート 質問内容（児童用） 単位：(%)	R5年度 肯定的 回答率	R4年度 肯定的 回答率	対前年
1 学校に行くことはたのしい。	83.4	82.1	1.3
2 先生は私たちの話や考えをよく聞いてくれる。	92.6	88.8	3.8
3 授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。	70.8	72.9	▲ 2.1
4 授業はわかりやすい。	92.1	91.6	0.4
5 授業の中で「めあて」が示されている。	96.6	93.0	3.6
6 授業の中で、自分の意見を発表する機会がある。	87.6	84.1	3.5
7 授業の中で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	81.4	74.1	7.3
8 授業の最後に、振り返りの時間がある。	85.9	81.3	4.7
9 国語の授業は好きである。	69.4	66.4	3.0
10 算数の授業は好きである。	69.4	70.2	▲ 0.7
11 理科・社会の授業は好きである。(3年生いじょうが教えてください)	74.7	81.3	▲ 6.6
12 生活科の授業は好きである(1年生と2年生がこたえてください)	80.6	81.3	▲ 0.7
13 少人数の授業はわかりやすい(5年生は欠員のため6年生のみ)	82.9	85.5	▲ 2.6
14 授業や給食で食の大切さを学んでいる。	88.7	82.4	6.3
15 チャイムと同時に授業が始められるよう準備している。	68.3	68.3	0.1
16 先生は学習や係活動で頑張ったことをほめてくれる。	89.1	78.1	11.0
17 地震や火災・不審者があつたらどうしたら良いか知っている。	97.0	94.7	2.4
19 自分で計画を立てて勉強している。	65.6	60.9	4.7
20 困ったことや分からないことは先生に質問や相談がしやすい。	89.6	79.6	10.0
21 担任の先生のほかにも相談できる先生がいる。	75.9	62.2	13.6
22 あなたの気持ちをわかってくれる友達が学校にいる。	93.2	88.7	4.5
23 あなたは、学校生活や友達のことを、おうちの人によく話す。	85.7	84.6	1.1
24 おうちの人あなたの気持ちをわかってくれる。	91.3	88.9	2.4
25 あなたはあいさつや約束を守ることを大切にしている。	92.2	89.1	3.1
26 いじめはどんな理由があつてもいけないことだと思う。	94.1	91.3	2.8
27 自分には良いところがある。	81.7	73.5	8.3
28 授業でよくタブレットを使っている。	87.2	80.0	7.1
29 タブレットを使った授業はわかりやすい。	89.1	85.5	3.5
30 家で、よくタブレットを使って学習している。	51.4	49.1	2.3
31 家や地域の図書館、学校の図書室で読書をしている。(どくしょがすきだ)	69.3	67.7	1.6

更に、保護者アンケートの中でも項目18「お子さんは命や人権を大切にし、人に思いやりを持って接している。」は大変高く、ご家庭での方針が学校でも生かされるよう教職員一丸となって思いやりのある児童の育成に努めてまいります。

項目20「お子さんは家での勉強時間を決めている。」項目21「お子さんは自分で計画を立てて勉強している。」については、昨年度と同じく肯定的回答率50%と低迷しています。子ども達が将来過ごす未来は、VUCAの時代と言われ、今学んだことがAIに取って代わることも予想されています。大人になっても学び直しできる力が求められる中、自学自習できる子ども達の育成を次年度積極的に進めてまいります。

最後になりましたが、教職員一同、今回のアンケート結果について、改善すべき点を真摯に受け止め、来年度の重点課題として取り上げ取り組んで参ります。

令和5年度 学校教育自己診断アンケート 質問内容 (保護者用) 単位:(%)	R5年度 肯定的 回答率	R4年度 肯定的 回答率	対前年
1 お子さんは学校へ行くのを楽しみにしている。	89.0	88.0	1.0
2 先生は子どもの意見や考えを大切にしている。	94.7	95.4	▲ 0.7
3 学校は落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。	85.1	89.3	▲ 4.2
4 先生は分かりやすい授業づくりに努力している。	96.1	97.4	▲ 1.3
5 学校は、ICT 機器(タブレット等)を使った分かりやすい授業を行っている。	93.2	93.4	▲ 0.2
6 学校からタブレットを活用した家庭学習が出されている。	72.1	69.6	2.5
7 学校の様子や内容が、学校・学年により、ブログ等でよくわかる。	92.3	94.8	▲ 2.5
8 基礎学力の充実・定着のための少人数指導は、子どもにとって分かりやすい(5年は欠員のため未実施・6年)	86.2	96.9	▲ 10.7
9 学校は PTA や地域の方々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。	94.9	96.4	▲ 1.5
10 学校は保護者や地域の人々との交流に積極的である。	90.9	92.8	▲ 1.9
11 学校は保護者の相談に応じてくれる。	93.2	95.0	▲ 1.8
12 担任は、子どもの能力・努力を適切に評価している。	94.7	94.3	0.4
13 担任は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	93.5	97.2	▲ 3.7
14 担任は、家庭への連絡など意思の疎通を図ろうとしている。	90.6	91.3	▲ 0.7
15 あなたは子どもと学校の様子を話す時間がある。	96.2	96.3	▲ 0.2
16 あなたは参観や懇談に参加している。	95.9	94.8	1.1
17 お子さんはあいさつやルールを守ることなど、行動の基礎・基本が身につけている。	94.2	93.2	1.0
18 お子さんは命や人権を大切にし、人に思いやりを持って接している。	98.8	97.6	1.2
19 お子さんは自分には良いところあると思っている。	94.0	94.4	▲ 0.4
20 お子さんは家での勉強時間を決めている。	52.6	53.1	▲ 0.5
21 お子さんは自分で計画を立てて勉強している。	46.3	47.5	▲ 1.2
22 お子さんの家庭での学習(宿題)は、授業とつながっていると思う。	89.8	-	-
23 お子さんはタブレット端末を活用した授業はわかりやすいと思っている。	89.1	87.1	2.0
24 お子さんは地域や学校の図書館で本を借りて読んでいる。(読書が好きだ)	57.5	56.1	1.4

【その他】22は今年度から聞いた質問項目です。

【補足】 「肯定的回答」とは、アンケートの「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計の全体に占める割合をパーセントで表しています。今回のアンケートにつきましては、GoogleForm を用いて、タブレットやスマートフォンなどで回答していただく方法で行いました。尚、保護者の回答率は、きょうだい毎にお願いしているためか回答数を児童数715名で割りますと55.9%、回答数を家庭数で割りますと74.6%となり以前より回答数が減少していることに憂慮しています。学校運営のために、今後も保護者の皆様の貴重なお声を頂き学校運営に生かしていきたいと考えております。

令和5年度 学校評価実施報告書

学校名: 枚方市津田南小学校
校長名: 松村 光庸

1. 学校教育目標

「認知能力(学力・体力)と非認知能力の向上」,
「人権教育・生徒指導・特別支援教育の充実」,
「コミュニティスクールの推進(地域・保護者との連携)」の3本柱を基に
「基礎・基本の定着を図り、自分の考えを表現する児童」の育成のために、
教職員が基礎・基本の定着及び児童どうしのつながりを意識した授業づくりを実践する。

2. めざす子ども像

考える子ども(知育):常に自らを高めようとし、何事も意欲的に学び、努力する子ども
明るい子ども(徳育):まじりや約束を守り、仲間を大切に、礼儀正しく思いやりのある子ども
元気な子ども(体育):命を大切に、よく遊び、困難なことも最後までやりぬくための体力、気力をもった子ども

基本方針	重点項目	具体的な取組内容					
		本年度の重点的な取組(4月)	取組指標(誰が、何と、どのくらいで)	評価指標(目標)※具体的な数字を入れる	指標の結果	分析(成果と課題)	改善策
確かな学力と自立の力を育む教育の充実	個別最適な学びの日常化(基礎基本の定着を意識した授業実践)	個別最適な学びを充実させ、基礎・基本の定着を図る。	子ども達が週に一回、Navimaを使用して自分の課題となった単元の基礎的な問題に取り組む。	「授業はわかりやすい。」:90% 「授業中のタブレット使用率」:80% 「子どもにとって分かりやすい授業を行っている。」:90%	「授業はわかりやすい。」:92.1% 「授業中のタブレット使用率」:87.2% 「子どもにとって分かりやすい授業を行っている。」:94%	・成果と課題(※) ・教員は分かりやすい授業を心がけたことが、児童、保護者の結果から読み取れることができた。今後も、継続維持することに努める。 ・わかりやすい授業デザインの内容としてタブレットの使用が役割の一部になっているといえる。日々、技術の革新がなされる状況ではあるが、タブレットを取り入れることで授業が活性化することは否めない。 ・教師のほぼ全員が、授業の中で自分の意見を発表する機会を与えているが、児童は87.6%が与えられていると回答。両者の差には10%ほどの差があり、児童にとっては意見発表に抵抗がある児童がいることが伺える。(※)	・本校では、今年より算数科の取り組みを行っている。1年目であり、川北先生の指導助言を頂きながら、研究授業を目指してきた。研究授業までは、その単元につながる基礎的な学びを振り返るとともに、文章問題においては、その回答に至るまでのプロセスを絵や図などを利用して、児童が式を立てることができるよう習慣をつけてきた。 ・反省から、算数科においても系統的な学びの必要性を感じたものの、それを各学年の各教員がどれだけ共有して日々の授業実践にしているかが曖昧であった。 ・そのため、次年度からはより系統的な授業デザインを各々の教員が取り組み、次の学年に生かせる授業を意識する。 また、個別最適な学び、協働的な学びの取り組みについては、4年生以上で取り組むことが出来た。 特に、協働的な学びについては学級が落ち着いた状態であったり、お互いが認めあえるような集団づくりが確立されていたり、実現には至らないという共通理解が図られた。そのため、低学年から協働的な学びを意識した学級づくり構築に学校全体として取り組む必要が出てきた。
	協働的な学びの日常化(子どもどうしの学び合いが出来る協働的な学びを高める)	協働的な学びを推進させ、授業内での児童のつながりを高める。	授業者の授業観察を3日に1回行い、子ども達の協働的な学びにつながるポイントを管理職が指導・助言する。	「授業の中で自分の意見を発表する機会がある。」:80% 「授業の中で自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。」:80%	「授業の中で自分の意見を発表する機会がある。」:87.6% 「授業の中で自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。」:81.4%		
	わかる授業の構築	Hirakata授業スタンダードの5Cを意識した授業の確立	全教員が年間1本指導案を書き、校内に授業を公開する。	「授業はわかりやすい。」:90% 「授業の中で「めあて」が示されている。」:90%	「授業はわかりやすい。」:92.1% 「授業の中で「めあて」が示されている。」:96.6%	・HIRAKATA授業スタンダード5Cの中でも、「めあて」は児童にとってもより理解されているようであるが、「振り返り」については、教師の成果より値が低くなっている。これは、教師側の授業デザインの中でも時間を割けない状況も予想され、今後の課題である。(※)	
	自律を目指した家庭学習の充実	シームレスな学びの推進	校長が、学力向上部・情報部・図書部と連携させ、ICT活用や情報教育を取り入れ、学校でできることと家でできることを鑑みて授業づくりを行う。	「授業中タブレット使用率」:80% 「タブレットを使った授業は分かりやすい。」:85% 「家でタブレットを使っての学習」:50%	「授業中のタブレット使用率」:87.2% 「タブレットを使った授業は分かりやすい。」:89.1% 「家でタブレットを使っての学習」:51.4%	・家でのタブレット使用率は51.4%であるが、保護者においては72.1%が家庭学習で使用していると理解している。今後も、この差については、確認が必要である。 ・読書については、保護者の回答が57.5%と児童の回答に比較して、12%程度低く、家外児童は読書をしていると答えている。本校は学校図書司書も在籍されており、今後も本好きな児童が増加することを目指す。 ・読書の広場の実施、読書ベンゴの実施に対する児童の反応はよいほうである。 一方、朝日新聞の読書ノートについては回収率が悪く、記録するなどの行為については煩わしさを感じているようだ。(※)	・児童の自律を目指した取り組みとしてシームレスな学びについても各学級でより意識して取り組むこととした。また、保護者にも改めて発信していく。 ・読書活動については、学校図書司書が在籍することで大変重要になって、教員にとってもありがたい存在である。しかしながら、高学年については、利用時間が限られることもある。今後も、並行読書を各学年に進めることができるよう分掌部会から啓発したり、読書の企画自体も更に啓発して児童の読書欲を喚起させたい。読書は、読書セラピーという言葉があるくらい、児童によっては日々の生活の原にもなることか、改めて改善を図ることとする。
	読書の取り組み	読書の取り組み	学校図書部の工夫を学級にも取り入れ、読書に関心を持つ児童増加を図るために木曜朝学習に読書タイムに取り組む。	学校図書部が、学校図書司書に学期に1回並行読書を依頼する。 学校図書部が、学校図書司書に図書に月に1回は読み聞かせ時間を確保してもらう。	「家、図書館、学校図書部のどこかで普段の日に読書をする。」:65% 「家、図書館、学校図書部のどこかで普段の日に読書をする。」:69.3%		
豊かな心と健康な体を育む教育の充実	人権校内研修	教職員の人権意識の向上のため、校内研修を充実させる。	外部講師を招いた人権学習(今年度は同和教育)を年1回行う。また、児童朝会にて年に1回人権に関する内容をとり上げる。	「子ども達自身が「いじめ」について考える学級経営や授業づくりを行っている。」:80% 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」:90%	「子ども達自身が「いじめ」について考える学級経営や授業づくりを行っている。」:93.1% 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」:94.1%	・人権教育は全ての教育活動の根幹ともいえる。身近に起きる人権侵害である「いじめ」の対応については、引き続き、道徳の実践を毎学期に実施したり、教員による人権学習を児童朝会でも実施したりする予定である。	
	アレルギー対応の充実	アレルギー対策委員会を実施し、ヒヤリアット報告は即時に情報共有。	〇教職員全員が「食物アレルギー」をはじめとした児童の緊急時に対応できる知識を持ち、行動できるよう研修を行う。	「学校はPTAや地域の方々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」:90%	「学校はPTAや地域の方々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」:94.9%	・アレルギー対応についてはエビイベントも行った。たった10分での出来事を改めて振り返りていくだけでも対応できるように危機管理している。 ・5年生児童の体力が他校に比べると「走」の部分について一定の実績を残すこととなった。これは土曜日実施の「いきいきつなみプラザ」による効果も捉えられる。引き続き、地域行事との関連を図りながら授業実践でも生かすこととする。	
	体力向上及び諦めない力の育成	体力向上に向けての取り組み	児童が練習での記録に注視しマラソン大会に向けての目標を持ち、児童が体力テストの結果を踏まえて課題となった種目に向き合い続けること。	「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている。」:85%	「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている。」:90.6%		
教職員の資質と指導力の向上	学び続ける教員の育成	全教員が経験年数を超えて互いに学び合う場を設定する	学方向上部を中心に、全教職員が、各々の授業に関する取り組みを交流し、教員の指導力の向上及び自己の授業スタイルを振り返る機会を作る。	「子どもの意見や考えを大切にした学級経営(授業)を行っている。」:90%	「子どもの意見や考えを大切にした学級経営(授業)を行っている。」:97.0%	・「子どもの意見や考えを大切にした学級経営(授業)を行っている。」:97.0%と教員の努力が伺える。 一方、児童のアンケート結果からも分かるように「先生は私たちの話をよく聞いてくれる。」:92.6%と双方の見解は同じよう、教員と児童の信頼関係が一定安定していることが伺える。課題は、高学年になるにつれて身勝手な言動をする児童も散見される。今後も、授業づくり・授業改善と学級集団づくりを両輪にし、生徒指導の内在化を目指した授業づくりに努むこととする。	
	初任校担任教員の育成体制の確立	初任校担任教員が主体的・対話的・深い学びが実現できる授業力を持つ。	校長が、初任者の研究授業の参観・協議会に初任校担任教員が参加したり、学年2人以上は協議会に出て発言して貰えるように促す。	協議会への2校目以上の教員の出席率が30%以上とする。	協議会への2校目以上の教員の出席率は80%以上である。		
	相互参観授業の設定	相互参観授業を行い授業力を高める。	教員は、年間1本は授業を校内に発信するとともに、同僚から助言を受けることで授業力を高める。	「子どもの意見や考えを大切にした学級経営(授業)を行っている。」:90% 「先生は私たちの話をよく聞いてくれる。」:90%	「子どもの意見や考えを大切にした学級経営(授業)を行っている。」:97.0% 「先生は私たちの話をよく聞いてくれる。」:92.6%		
「ともに学び、ともに育つ」教育の充実	通級指導教室の確立	今年度新たに設立された通級指導教室の体制を整える。	校長が、通級指導教室担任に対して、通級指導教室の授業を公開し、通常の学級と支援学級のハイブリッドを務め子ども達の学びの保障を行う。	「ともに学び、ともに育つ」特別支援の視点を意識して学級づくりをしている。」:85%	「ともに学び、ともに育つ」特別支援の視点を意識して学級づくりをしている。」:96.7%	・今年度は通級指導教室設置が特別支援学級の橋渡し役の役割を担うこととなった。全教職員で改めて個別の児童の実態を把握した授業デザインを構築する運びとなった。 また児童の学びの基礎となる低学年で実施し、児童の特性を理解することでより学級担任が個別最適な指導に生かす視点を持てることができた。 不登校児童、配慮を要する児童への更なる対応に今後も検討を重ねる必要がある。(※)	
	読み書きの実践把握	児童の特性を測るものになる。児童の読み書き調査を行う。	支援コーディネーターが「視覚テスト(MIM調査)を実施し児童の学習の基礎になる困り感を把握し、教員と共有する。	「ともに学び、ともに育つ」特別支援の視点を意識して学級づくりをしている。」:85%	「ともに学び、ともに育つ」特別支援の視点を意識して学級づくりをしている。」:96.7%	・念願であったMIM調査の具体的な実施、そしてそれに伴う改善も進んでいる。通級指導教室担当が通級指導教室に通わない児童の特性についても把握し担任と連携することで、通常の学級担任の該当児童に対する手立てもしやすくなる。視点もこれらを引継ぎ、児童にとっての困り感を解消できる対応を模索することとした。	
学びを支える教育環境の充実	教職員の意識改革(業務改善)	教職員が魅了ある社会人生活を送ることが出来るための業務の見直しを行いワークライフバランスを実現する。	校長による率先垂範から、業務改善分掌発信による授業準備時間の確保に向けての業務改善を行う。	「学校は、教職員間で業務の在り方、見通しについて話し合う機会を設け、その話し合いも参考にしながら、公務の業務の在り方の適正化を図っている。」:75% 「校長は教職員の健康管理の徹底や超過勤務時間の削減に向け、校内の業務改善を図り、教職員の働き方改革に取り組んでいる。」:80%	「学校は、教職員間で業務の在り方、見通しについて話し合う機会を設け、その話し合いも参考にしながら、公務の業務の在り方の適正化を図っている。」:75.8% 「校長は教職員の健康管理の徹底や超過勤務時間の削減に向け、校内の業務改善を図り、教職員の働き方改革に取り組んでいる。」:71.0%	・今年度も教育委員会の「笑顔の学校プロジェクト」の予算を獲得し、毎日3時間勤務の方に、教員の印刷、データ入力を依頼した。 ・教員の平均時間外は月28時間程度となり前年からの効果も一定数確保されるのではないだろうか。 一方、校長が教職員に向けての業務改善の取り組み度合いについては対前年減少傾向にあり、今後も率先垂範を基に進捗する。(※)	
	生徒指導の強化	いじめのない学校づくり	教員が、学期初めにいじめ防止に関する授業を道徳で行う。また、いじめアンケートの結果とその対応、情報共有に努める。	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」:90% 「子ども達自身が「いじめ」について考える学級経営や授業づくりを行っている。」:95% 「授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。」:75%	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」:94.1% 「子ども達自身が「いじめ」について考える学級経営や授業づくりを行っている。」:93.1% 「授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。」:70.8%	・学校を安心・安全で平和な学校にするため「命を守り命を育む」学校づくりに邁進してきた。令和4年度の校区内での事業を受けてまずは、学校を安全な場所にするために全教職員には危機管理の重要性を訴えた。 ・校内では、4月の安全安心な学校づくりを啓発し、令和5年度に委員会「生活委員会」を発足し、児童が校内の安全に対する意識を高めるための取り組みを始めた。 ・学期初めに道徳、学級活動でいじめに関する題材を取り上げた。児童朝会ではいじめのない安全安心な学校づくりを普及の安全安心な学校づくりを基に訴えかけたりしたことで、教員の意識の向上が「教員」にもアンケート結果に顕著に現れた。 ・児童は、いじめについていじめにことごと引き続き認識している。ただ、仲間はずれやLINEでの良くない書き込みは毎年発生することが課題である。(※) ・いじめ対策、不登校対応、要配慮児童対応等に対するチームでの動きが整いつつある。	
学びのセーフティネットの構築	学校評価結果の考察(安全月間の設定)	特定する月を安全安心月間と定める。	教職員が啓発する安全安心月間を児童が主体となり委員会や児童朝会で発信する機会を持つ。	「学校はPTAや地域の方々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」:90% 「子どもの意見や考えを大切にした学級経営(授業)を行っている。」:90% 「チャイムと同時に授業が始まるよう準備している。」:70%	「学校はPTAや地域の方々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」:94.9% 「子どもの意見や考えを大切にした学級経営(授業)を行っている。」:97.0% 「チャイムと同時に授業が始まるよう準備している。」:68.3%	・「いじめ見逃しゼロ対策」としては、道徳、特別活動(委員会や学級活動等)においても実践を続ける。これは、昨年実施したルールメイキング事業の踏襲である。言い換えると「生徒指導の内在化された授業づくり」の実践継続である。 ・学校環境維持のための安全点検、不審者対策などについても毎月緊張感を持って、担当者発信と確認を行っている。	
	危機管理等を意識したチーム学校体制の確立(不登校対応の確立)	不登校児童の未然防止、早期対応、継続的な支援方法の確立	児童生徒加配、生徒指導担当が中心となってSSW、SSWS、不登校支援員、心の相談員とともにチーム学校体制を有機的に活動させる。	「授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。」:75%	「授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。」:70.8%		
地域とともなる学校づくりの推進	コミュニティスクールの取組	「命を守り、命を育む」というビジョンの下、校内の取組を発信。	地域が協力して下さる支援を媒体を通じて積極的に発信する。	「学校の様子や内容が、学校・学年だより、ブログ等でよくわかる。」:90%	「学校の様子や内容が、学校・学年だより、ブログ等でよくわかる。」:92.3%	・日々の学校での様子をブログを中心に発信し続けた。平日毎日平均300回のアクセスがあった。 ・地域行事についてもブログでの発信を行い、自治会組織が学校を支援して下さっていることを発信した。特に米作り授業については「ご家庭、地域の協力でなされていることでもあり聞いている」との声もあった。	
	地域との交流	校内行事への参画	地域が学校を支援する行事に対して教職員・地域・家庭が連携できる取り組みを実施する。	総合的な学習「うまうま米」の実施の継続	総合的な学習「うまうま米」の実施の継続	・コミュニティ会議において学校の現状を伝え、その内容を共有してきた。 ・次年度は、具体的に学校ボランティアを受け入れる段階とした。	

学校関係者評価(学校運営協議会または学校評議員と保護者からなる学校関係者評価委員会による)年度末	評価結果	改善に向けた支援策
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達がコロナ禍後元気に学校に通いだせたことが大変うれしく感じている。 しかしながら、本校においても登校に不安を抱えている児童がいることには憂慮している。 コミュニティスクールとして、児童が学校が楽しいと思えることについては協力をしていきたい。事実、PTA 津田南小参りでは地域の担当としての関わりを昨年度のPTAの方々と行うことができたことは新しい試みだと感じている。その結果、学校に登校しにくい児童、ご家庭が楽しさを感じたことを聞いて大変喜ばしい出来事であったと感じている。 地域としては、児童に限られた人間関係ではなく広く地域の大人とも関わり合えるようなコミュニケーションを育める場がこれからは必要であると感じている。一方で、ご家庭における環境も昔とは違い、それらを考慮しないコミュニケーションは大変難しいことも承知している。今後も、学校現場、教員の事情についても知りたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が必要とする地域からの協力については具体的な案を提示して、内容を共有しながら模索することとした。 希薄になりつつある学校、保護者、地域との取り組みについて、誰かが参加しやすい仕組みが必要であるため、次年度新たに考えていく必要がある。 コミュニティスクールについては、今後も教職員についてその内容や学校へのたゆまない協力についての発信を管理職として続けていく。

4. 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

－対象：津田南小学校6年生児童－

(1) 学力の状況

① 国語

結果 やや全国平均より上回っている

分析

対全国比の1と比べると本校は、1.04という結果になった。令和4年度の国語0.93という結果を考えると上昇したことになる。昨年度、国語の校内研究を行い、単元のゴールを意識した活動や書くことに力を入れてきたこともあり、記述問題での正答率が高い問題があった。校内で研究をした一定の成果があったのではないかと考える。今年度も朝学習等で、自分の考えを表現すること、書くことを続けていきたい。

② 算数

結果 やや全国平均より下回っている

分析

対全国比の1と比べると本校は、0.99という結果になった。令和4年度の算数0.92という結果を考えるとやや上昇したことになる。今年度から、算数の校内研究を行い、『基礎基本の定着を図り、自分の考えを表現する子』を目指している。火曜日の朝学習では、自分の考えをかくことに力を入れ、問題を解く際に、絵や図などで表現してから式、答えを導くことに取り組んでいる。今後も朝学習で、国語と算数を隔週で書くことについて取り組んでいく。

(2) 授業改善について

小中学校9年間を視野に、子どもたちの「自分と向き合う力」や「自分を高める力」、「他者とつながる力」などの非認知能力（目に見えない学力）を高める取り組みを引き続き行う。

また、子どもたちが共に学びあい、みんなで課題を解決する時間を確保し、「個別と協働」を自分で選択しながら授業を進める場面を設け、「先生から教えてもらう授業」から「自分で学ぶことができる授業」を目指す。

そして、以前から取り組んでいる単元計画の作成、そして工夫した言語活動を念頭に、校内研究の取り組みでもある「基礎基本の定着を図り、自分の考えを表現する子を目指した授業」を継続して行う。

(3) 学習規律について

なぜ「チャイム着席」(チャイムと同時に学習を始められるように)するのか、

なぜ「ノートの書き方」を工夫するのか

なぜ「発言の仕方」があるのか

などの基礎的な学習規律のルール確認だけではなく、理由についても大切にしていける。そうすることで今まで以上に学習規律を意識できるようにする。

また、「ペア学習やグループ、クラス交流」などの対話的な活動を積極的に取り入れ、より主体的に学習に取り組める環境を作ることをめざす。

(4) 家庭学習について

質問紙調査では、「学校の授業時間以外に1日あたりどのくらい読書をしますか」の項目では、「全くしない」の項目の割合が高かった。

学校では、木曜日の朝学習で読書を行っている。また、朝日新聞社から提供を受けている読書ノートを活用し、子どもたちの「読書意欲」を高めていく。令和6年度は、教育課程の見直しを行うことで、家庭で過ごす時間が今までよりも増えることになる。これを機会に家庭で読書をする時間を設けてみてはどうかとかがえている。

そして、家庭と連携した「シームレスな学び」を進めていく。家庭では、Nabima(ナビマ)などの学習支援アプリの活用等、一人でできることを行い、学校では、学びあいの時間の確保等、クラス全員でできることを行う。

5. 学力向上の方策

(1) 学力向上プラン

【市教育委員会のめざす学びの姿】子どもが主役の学習活動による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
～教師主体の一斉授業からの脱却、「教え」から「学び」への転換～

【学校教育目標】主体性と当事者意識を持って学級・学年や学校を自治することを目指し、将来、平和で民主的な国家及び社会の形成者となる児童を育成する。

【令和6年度校内研究主題】「基礎基本の定着を図り、自分の考えを目指して

～協働的な学び 系統性を意識した授業づくり～」（教科：算数）

各教科の指導

- 各教科の指導目標を明確にし、指導法や評価方法の改善に努める中で、授業力の向上を図り、基礎的・基本的な学習の定着を図る。
- 個に応じた教育を推進し、基礎学力の向上のため、朝学習やAIドリルの活用を行う。
- 児童一人一人を生かす指導を進め、児童のよさや可能性を伸ばし、学ぶ楽しさや成就感を体得させる。

学習環境を整える

- ◎学級活動を基に、学習集団づくり
- ◎発達指示的生徒指導の取組

相手の心を想像しよう、理解しよう

- ◎あいさつ・時間を守る・掃除の徹底
- ◎学習に向かう姿勢を身につける
- ・学校へは学習に必要なものは持ってこない
- ・人の嫌がることを「言わない、言わせない」「しない、させない」
- ・ルールを守ろう

重点目標（学力向上にかかわる要点）

- 自律的な学びを目指す。

「令和の日本型学校教育」の「主体的・対話的、深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるために「個別最適な学び」「協働的な学び」を推進し、子ども達が自律的な学びに深化できるように支援する。

確かな学力の向上を図るための具体策

学習指導要領に示された基礎・基本を確実に定着させるとともに、自ら学び考える力を育成する。

- 1 学習規律の定着を図る。
- 2 繰り返し指導を行うことにより、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。（朝学習、AIドリル等の充実）
- 3 学ぶ意欲を高めるためのタブレット端末の活用・教材・教具、指導方法の研究をする。
- 4 読書活動を充実させ豊かな言語環境を経験させることを通して、感じたり、考えたり、表現したりする力を高める。
- 5 算数科の少人数指導では、単元の特性や児童の実態に応じて習熟度別指導や課題別指導など形態を工夫し、個に応じたきめ細かな指導を行う。
- 6 「協働的な学び」実現のために学級活動を土台に各教科等で対話的な活動の機会を持つ。

道徳教育の指導

相手の心を想像しよう、理解しよう

- 生命尊重、思いやりの心を重視した道徳教育の充実を図る。
- 児童一人一人の願いや思いやりを大切にし、よりよく生きようとする道徳的判断力、実践力を高める。
- 道徳の授業参観等を通して心の教育について、家庭地域と連携し、協働体制を築く。

食育・健康・環境教育

- ◎「いのち」につながることについて
- ◎食育「早寝早起き朝ごはん」
- ー子どもたちの生活習慣を見直そうー
- ・自分の生活を見直し、生活を変える『実践力』の育成
- ー学校の中に心安らぐ自然空間をー
- ー「うまうま米」の取り組みー
- ◎地域と一緒に歩む学校づくり
- ・S-EMSの取組み
- ・コミュニティとの連携

本校の学力向上に向けた視点とその具体策

指導の内容・方法の工夫	教育課程の編成上の工夫	評価活動の工夫	校内研修	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○算数の少人数指導では、単元や内容に合わせたグループ編成や個に応じたきめ細かい指導を行い、指導の充実を図る。 ○漢字や計算の反復練習を行い、基本的な学力の向上を図る。 ○自学自習力の育成 ・授業と一体化するシームレスな学びの推進 ○食育・健康教育、環境教育の取組みなど、体験的活動を取り入れた学習を推進し、子どもの「気づき」を大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な学力の向上を図る。 計算力・話す・聞く・書く・読む力 ○活用する力の獲得 言語や計算力を使って人に対して、わかりやすく説明したり納得させたりする力 考える・調べる・まとめる・表現する ○朝の読書活動を継続的にを行い、心を耕し、読む力・考える力の充実を図るための基礎を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観点別評価規準に基づき、個々の学習状況を把握し、学習への意欲を伸ばす肯定的な評価を行う。 ○振り返り活動に非認知能力育成の観点を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体策 ①基礎基本の定着と工夫 ②学習過程の工夫 ③コミュニケーション能力の育成を柱として授業改善を行う ・「協働的な学び」の実現 ○授業実践を通して、「学ぶことを楽しむ子ども」の育成を目指し、指導法の工夫に取り組む。 ○授業研究を積み重ね、学年及び個々の教員の指導力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの成長への関心を高める ・自尊感情の育成(自己肯定感) ・生活習慣の見直し ・家庭学習習慣の確立 ○学級懇談会、家庭訪問、個人懇談会等の充実を図り、保護者との連携・相互理解を深める。 ○保護者からの相談を常時受け入れ、協力して対応していく。 ○運動会等の行事の目標や内容をわかりやすく解説したものなどの配布。 ○学習ボランティア等、保護者や地域の方々の協力を得て、開かれた学校運営を推進する。

(2) 各学年経営方針

	学年経営目標	具体的方策
1 年 生	<p>学年目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 24px; margin: 10px 0;"> みんな なかよし </div> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の学力を身につけさせる。 ・基本的な生活習慣を身につけさせる。 ・集団生活の中で助け合い、思いやりの心を育てる。 ・最後まで粘り強く取り組む力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律を身につけるとともに、文字の習得、読書活動、計算の反復練習などに取り組み、基本的な力を身につけさせる。 ・気持ちの良いあいさつや正しい言葉使いができるように指導する。また、係や当番の仕事を、責任を持ってできるように指導する。 ・学校生活のルールを守らせ、集団生活を通してそれぞれの個性を認め合い、楽しく活動できるように指導していく。 ・達成した喜びを味わうために、できる、わかるまでやりきれるように指導する。
2 年 生	<p>学年目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 24px; margin: 10px 0;"> にこ・にこ!わく・わく! </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 24px; margin: 10px 0;"> えがおでなかよくたすけあう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことにも前向きに取り組む心を育てる。 ・友達や自分を大切にできる子を育てる。 ・集団生活の中で、助け合い、協力できる子を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律や生活習慣を身に着けるとともに、気持ちよく学校生活が送れるように友達のこととも考えて行動する。 ・友達や自分の良さを知る活動に取り組む。 ・体育、音楽、生活、学活等のグループ活動で、友達と協力して1つの活動に取り組む。 ・正しい言葉づかいを知り、使えるようにする。
3 年 生	<p>学年目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 24px; margin: 10px 0;"> TRY ~やってみよう~ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・社会や理科、毛筆やリコーダー、外国語活動など新しいことがたくさん始まる。何事にもトライして一人一人が輝く児童を育てる。 ・友だちを大切に、相手を思いやることのできる心を育てる。 ・進んで挨拶ができ、正しい言葉づかいができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律を身に付けさせる。 ・読み、書き、計算の基礎学力の向上を図る。 ・当番活動や係活動を通して、自分で考えて行動できるように指導する。 ・集団生活の中でルールを守り、協力して活動に取り組み、友だちや周りの人の事を考え、思いやる心を持って行動できるように指導する。 ・相手だけでなく、自分自身のことも大切にできるようにする。

<p>4年生</p>	<p>学年目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; margin: 10px 0;">4 ゆ う</div> <ul style="list-style-type: none"> ・進む力 成長する、挑戦する力を育てる。 ・取り組む力 まずはやってみる、苦手なことにも取り組む力を育てる。 ・見つける力 困っている人、自分には何ができるか、学びの発見、自分の成長や課題など、見えていないものを意識的に見ようとする力を育てる ・学級だけでなく、学年でのつながりを大切に運営していく。学年全員で力を合わせて、取り組む姿勢を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の約束を守らせることで、学習規律を身につけるとともに学力の向上を図る。 ・クラブ活動、6年生を送る会の司会、進行を通して高学年の仲間入りをしたという意識を持たせる。 ・環境学習や福祉体験を通して、資源や誰もが幸福に暮らせる社会の大切さを学ぶ。 ・友だちや周りの人の事を考え、思いやる心を持って、行動できるように指導する。 ・授業時間と休み時間の切り替えを素早くする。 ・聞くとき、話すとき、考えるときなどのめりはりをつけて行動する。 ・時間を意識させる、見通しをもって行動できるよう声掛けをしていく。 ・人権についての指導を普段から行い、友達へ思いやりの気持ちを持たせる。
<p>5年生</p>	<p>学年目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; margin: 10px 0;">善力善進</div> <ul style="list-style-type: none"> ・友の良さを認め、つながりを深め、団結し挑んでいく態度を育てる。 ・人と人との縁を大切にできる心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習、運動会、宿泊学習などを通して、友人とのつながりを広げるように支援し、学級集団の質を高めていくように指導する。 ・学校や学年の決まりをしっかり守るように指導し、規律ある生活態度を身につけさせる。 ・自分でしっかりと考え、考えたことを相手に伝えるように表現する。 ・自分を信じ、すぐに諦めず、粘り強く取り組めるような行動を身に付ける。 ・自主学習に学年として取り組み、自分から学習する姿勢を育てる。
<p>6年生</p>	<p>学年目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; margin: 10px 0;">つなぐ</div> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">支え合い 認め合い 高め合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面で、仲間同士で支え合うこと ・互いの存在や考えなどを認め合うこと ・そのためには、自分の能力を高めること 	<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年としての自覚を持ち、日々の学校生活の中で当たり前のことを徹底すると共に、自ら進んで行動し、最後まで責任を持って取り組む。 ・日々の学習や生活場面、行事などで互いに支え合いながら成長できるようにする。 ・友だちとの関わりを通して、人の良さに気付き、関わり方を考え、認め合うことを意識させる。 ・日々の取り組みや行事などに、全力で取り組み、一体感や達成感を味わいながら、自己の成長を求めていく。

(3) 各学年の学力向上の方策

<国語>

	現状 (観点別・領域別)	学力向上の方策		
		授業での取組	学年全体の取組	保護者の協力
1 年 生	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢に気を付けて人の話を聞こうとしている。 自分の気持ちを表現しようとしている。 鉛筆の正しい持ち方を知り、ひらがななど文字に興味を持って学習しようとしている。 話の内容に興味を持って読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話している人の方を向かせる。 自分の気持ちをみんなに伝えることができる場を設定する。 ひらがなやカタカナを習得させる。 漢字に興味を持たせ、文の中に習った漢字を使えるようにさせる。 作文指導に取り組む。 声の大きさ、速さ、正確さを考えながら読ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせの機会を取る。 朝の会でスピーチに取り組む。 テーマ作文や自由作文に取り組む。 ドリル、ノートやプリントを使って、繰り返し練習させる。 朝学習の読書を活用する。 音読の機会を多くとり、正しい読み方を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境を整えてもらう。(早寝早起き・朝ごはんなど) 家庭学習を見てもらう。(鉛筆の正しい持ち方、文字の形や書き順など) 音読をしっかりと聞いてもらう。(声の大きさ、速さ、正確さ) 読書を促してもらう。
2 年 生	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を集中して聞くことが苦手な児童がいる。 文字の定着をまだしていない児童がいる。 音読や、発表に自信がもてない児童がいる。 読書に興味を持って取り組んでいる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習ルールの徹底を図る。 漢字の練習を反復して行い定着を図る。 朝の会などを使いスピーチを行う。 詩の暗唱や音読指導に取り組む。 ペアや班など小集団内の発表をする機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会のスピーチに取り組む。 作文帳を活用して文を書く力をつけさせる。 音読カードを使って日々の指導を継続。 朝学習の読書を活用する。(読書、読み聞かせ) 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習での漢字練習や、音読チェックをしてもらうよう学年便りや・懇談でよびかけ、読みや漢字の定着を図る。 生活環境を整えてもらう。(早寝早起き・朝ごはんなど)

<p style="text-align: center;">3 年 生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くことについては、相手の話を集中して聞けない児童もいる。 ・音読では、感情を込めて読める児童も多くいるが、苦手な児童もいる。 ・読解力では個人差が大きい。 ・2年生で学習した漢字が、定着していない児童がいる。 ・書く活動については、自分の思いを素直に表現しようとしているが、順序立てて書くことは難しい児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手と聞き手の立場を明確にして、ペア学習に取り組ませる。 ・教師の範読を初めに聞かせる。また、児童同士で読みあう機会をつくる。 ・国語辞典を活用し、言葉の意味を調べる習慣を身に付けさせる。 ・作文では既習漢字を使うように指導する。 ・授業の中で書くことを大切に、文章作りを通じて書く力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習、グループ学習の方法を統一し、掲示する。 ・音読を毎日の宿題に出し、日々の指導を続けていく。 ・コアブックなどを活用し、読書の量を増やしていく。 ・1分間スピーチを活用して話す力を養う。 ・はじめ、中、おわりを意識させ、作文や説明文を書くよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習で、音読カードの記入や宿題の確認をしてもらう。 ・生活環境を整えてもらう。(早寝早起き・朝ごはんなど) ・家庭でも読書をする習慣をつけてもらう。
<p style="text-align: center;">4 年 生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちをこめて、はっきりした声で音読できる児童もいるが、消極的な児童もいる。 ・既習漢字が定着していない。 ・聞くことについては、相手の話を集中して聞けない児童もいる。 ・書く力は個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の朗読・暗唱や、音読指導に取り組む。 ・国語辞典や漢字辞典を活用し、語彙を増やしたり、漢字の成り立ちに興味を持たせたりする。 ・学習の約束の徹底を図る。 ・作文の指導時には辞書などを活用し、習った漢字を使用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読の機会を多く設ける。 ・司書教諭と連携し、読書の量を増やしていく。 ・熟語の意味や読み方に気をつけて漢字の反復練習をする。 ・書き順や成り立ちにもこだわって、新出漢字の学習に取り組む。 ・作文指導を通じて、書く力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習で宿題の確認をしてもらう。 ・調べ学習や本などで文章に触れる機会を多くとってもらうように声かけをしてもらう。 ・基本的な生活習慣を身につけるよう、協力してもらう。

<p>5 年 生</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習漢字の定着率は個人差が大きい。文章で書くときに平仮名表記にしてしまう児童も多くいる。 話す、聞くについては、相手の話を集中して最後まで聞くことが苦手な児童がいる。また、自分の思いや考えを伝えることが苦手な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法を工夫し、学習意欲を高める。 習った漢字は辞書を使用し、普段から使用するように促す。 集中して最後までしっかりと聞き、考えるように指導する。 挙手して発言させ、発言の仕方を指導し、発言力を高める。 本文をもとに発言させることで、根拠を明確にした発言ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字だけでなく、既習漢字の復習にも取り組む。 読むことについては、日々の指導を続けるとともに、読書タイムを活用し、本に興味を持たせる。 授業などでペア学習やグループ活動などを取り入れ、自分の思いを伝える機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主学习などで復習、予習に取り組みに協力してもらう。 家庭学習の内容の点検を行ってもらう。 家庭においても読書をさせるなど、文字に親しむ機会を設けたり、じっくりと聞いたり、話したりする習慣を育つ身に付けてもらうように協力してもらう。 生活環境を整えてもらう。(早寝、早起き、朝ごはん、ゲームの時間など)
<p>6 年 生</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習漢字の定着率は個人差が大きい。文章で書くときに、既習の漢字を使うことができない児童もいる。 聞くについては、相手の話を集中して最後まで聞くことが苦手な児童がいる。 話すについては、自分の思いや考えを伝えることが苦手な児童もいる。 読むについては、ほとんどの児童が該当学年のものを読むことができているが、内容を深く読解するまでには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 原稿用紙を使い、文章を書く練習をする。 考えをまとめて書くノート指導に力を入れる。 集中して最後までしっかりと聞き、考えるように指導する。 友達の発言を受けて自分の考えや思いを発言する機会を増やす。 本文をもとに発言させることで、根拠を明確にした発言ができるようにする。 集中して最後までしっかりと読み、考えるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字だけでなく既習漢字の復習にも取り組む。 漢字学習の取り組みを自分で計画を立てながらできるように方法を指導する。 同音異義などの漢字は辞書などを使って調べる習慣をつけさせる。 読むことについては日々の指導を続けるとともに、読書タイムを活用し、さまざまな種類の本に興味を持たせる。 授業などで自分の思いを伝える機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を徹底してもらう。 自主学习などで復習に取り組ませる。 家庭学習の内容の点検や声かけをしてもらう。 家庭においても読書をさせるなど、文章に親しむ機会を多くし、語彙力を増やすことで学力向上を図ってもらう。

<算数>

	現状 (観点別・領域別)	学力向上の方策		
		授業をとおして	学年全体の取組	保護者の協力
1 年 生	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの数量、計算や図形に親しみ、興味や関心を持って学習しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数字を正しく読み書きできるようにする。 ・ブロックなどの具体物を操作させて、数の概念等の理解を深める。 ・文章を読み取り、正しく立式や計算ができるようにする。 ・身の回りにあるものの形の特徴を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を定着させるために繰り返しプリントで練習させる。 ・児童が興味・関心を持って学習できるよう、教材・教具を工夫する。 ・計算カードやフラッシュカードを使い、足し算、ひき算の定着を図る。 ・ドリル、ノート、プリントで反復練習をし、学習内容の定着を図る。 ・具体物を用いて仲間分けする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算カードを聞いてもらう。(正確にはっきりと計算できているか) ・日常生活の中でも算数に興味を持てるように声かけをしてもらう。 ・家庭学習(宿題)をチェックしてもらい、家庭と連携して学力向上に努める。 ・生活環境を整えてもらう。(早寝早起き・朝ごはんなど)
2 年 生	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に興味を持って取り組もうとしている。 ・計算に時間がかかったり、正確さに欠けたりする児童もいる。 ・文章問題を読み取る力が弱い児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味や関心を持てるように教材教具や具体物の提示を工夫する。 ・計算カードやプリント、ドリルを使って反復練習をさせる。 ・問題文を図や式に表して考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックなどの具体物を操作させて数の概念等の理解を深める。 ・小プリント(マス計算、筆算など)を活用し、計算力の向上を図る。 ・タブレットや九九カードを使い、九九の定着を図る。 ・図や式に表し、説明する活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習(宿題)をチェックしてもらい、連携して学力向上に努める。 ・学年便りや懇談などで、「九九頑張りカード」の協力を呼びかける。 ・生活環境を整えてもらう。(早寝早起き・朝ごはんなど)

<p style="text-align: center;">3 年 生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計算や数、図形に興味や関心を持って学習しようとしている。 ・数と計算の分野において、十分定着していない児童もいる。 ・数学的な考え方は、苦手意識が強く、問題を理解していない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味、関心を持って学習できるよう、教材・教具を工夫する。 ・問題解決型学習の場を多く設ける。 ・反復学習を多く取り入れ学習内容の定着を図る。 ・個人の理解度に応じた指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をひきつける教材づくりに取り組む。 ・プリントなどを活用し、基礎・基本を徹底させる。 ・朝学習を活用し、基礎・基本の計算を定着させる。 ・掛け算の定着を図り、割り算の指導につなげる。 ・個人の考えを共有する場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習で宿題の確認をしてもらう。 ・生活環境を整えてもらう。(早寝早起き・朝ごはんなど) ・定規やコンパスを使う課題では、正しく使えるように声掛けをしてもらう。
<p style="text-align: center;">4 年 生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算が定着していない児童もいる。 ・数学的な考え方は理解度に差があり、継続的に取り組む必要がある。 ・定規やコンパスの使い方が定着できていない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習を多く取り入れて、基本的な計算に慣れさせる。 ・「つかむ・見通す・解決する・まとめる」という学習の流れを繰り返し、身につけさせる。 ・問題解決型学習をする場を多く設ける。 ・直線や図形の構成、観察を通して、図形についての見方や感覚を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習などを活用し、基礎・基本の計算（百マス計算など）を徹底させる。 ・興味・関心の持てる教材作りに取り組む。 ・仲間分けや作図など具体的操作活動を通し、表現し合い、学び合える場を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけるよう、協力してもらう。(家庭学習の習慣など) ・定規や分度器等を使う課題では、操作の確かめも行ってもらおう。

<p style="text-align: center;">5 年 生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算力に差があり、正確さに欠ける児童、正確ではあるが、時間のかかる児童が複数いる。 ・ 文章問題を読み取る力が定着しておらず、苦手意識を持っている児童が少なくない。 ・ 応用問題の意味を理解できず、何を問われているのか分からない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返し練習問題に取り組むことのできる時間を設け、個に応じた指導をする。 ・ つかむ→見通す→解決する力→まとめる力をつけるため、ノート指導を徹底させる。 ・ 問題解決する学習の場を多く設け、自力解決に取り組み、考える力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算タイムを活用し、百マス計算などで反復練習などを繰り返し、計算力をつける。 ・ 児童の実態を共有し、学年の実態に合った問題の作成と提示に取り組む。 ・ ペア学習など自分の考えを深められる取り組みを通して理解につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習への取り組みを確認してもらう。 ・ 生活の中で、数や計算などの算数の大切さを意識づけてもらう。 ・ 基本的な生活習慣を徹底してもらう。 (家庭学習の習慣など) ・ 豊かな生活経験をさせるよう心がけてもらう。
<p style="text-align: center;">6 年 生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算力に差があり、正確さに欠ける児童、正確ではあるが、時間のかかる児童が複数いる。 ・ 文章問題を読み取る力が定着しておらず、苦手意識を持っている児童が少なくない。 ・ 応用問題の意味を理解できず、問題をどのようにとらえたらよいか分からない児童が多い。 ・ 少しでも分からないことがあれば、書くことをやめてしまう児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟度やT. T 授業による少人数指導に取り組む、個に応じたきめ細かい指導をする。 ・ つかむ→見通す→解決する力をつけるため、ノート指導を徹底させる。 ・ 問題解決する学習の場を多く設け、自力解決に取り組み、多くの児童の意見を受けて自分の考えを深める。 ・ 自分がわからない問題を把握させる。復習問題に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分数・小数などの計算を繰り返し、計算力をつける。 ・ 習熟度別に分け、きめ細かな指導をする。 ・ 教材研究に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習への取り組みを確認してもらう。 ・ 生活の中で、数や計算などの算数の大切さを意識づけてもらう。 ・ 基本的な生活習慣を徹底してもらう。 (家庭学習の習慣など) ・ 豊かな生活経験をさせるよう心がけてもらう。

6. 体力向上の方策

(1) 体力向上プラン

めざす子ども像の1つ

元気な子ども

命を大切にし、よく遊び、困難なことにも最後までやりぬくための
体力、気力を持った子ども

体育学習における取組み

「主体的な」体力づくりへ

- 発達段階に応じた教材の開発
 - ・「多様な動き」を経験させる教材
 - ・「巧みな動き」を高める教材
- 教材との出会わせ方の工夫
 - ・自己やチームの能力に応じた運動の課題の追求
- 課題追求のさせ方の工夫
 - ・スパイラル型の学びの積み上げ
- 指導方法の工夫
 - ・効果的な学習カード
 - ・実技研修会
 - ・授業力の向上
- 体育の教材の生活科
 - ・体育で学んだ内容が遊びとして生活の中へ広がる

体力の実態

- 令和5年度の運動能力テストの結果から瞬発力（反復横跳び）に課題があった。
その他項目については、大阪府平均に比べるとよい結果だった。
- 屋外遊び場の減少
- 基本的な生活習慣が身につけていない子どもの増加
- 偏食の多い子どもがいる

日常的な取組み

「継続的な」体力づくりへ

- 外遊びの奨励
 - ・クラス遊び
 - ・交流学年…運動場の開放
 - ・なわとびやマラソンなどの目標を持たせた取組み
- 特別活動、総合的な学習の時間、水泳指導や運動会など様々な教育活動を「体力」と関連づける
- 地域、家庭との連携
区民体育祭

環境を整える

- 一輪車や竹馬などの遊具の充実
- ブランコや滑り台などの遊具の安全点検
- 地域と連携した運動場の整備等

津田南小の考える「体力」

- 子どもたちに求められる「体力」とは「運動をするための体力」と「健康に生活するための体力」であり、その根幹は「調整力(動作の習得)」「持久力(粘り強さ)」「瞬発力(力強さ)」である
- 「受動的な」体力づくりから「主体的な」体力づくりへ
- 「一時的な」体力づくりから「継続的な」体力づくりへ
- 楽しく遊び、運動が好きになる子へ

食育・保健の指導

- 子どもたちの生活習慣を見直そう
「早寝早起き朝ごはん」
- ・バランスのとれた食生活
- ・基本的な生活習慣の見直し
- ・手洗いうがいの励行
- 給食だよりや保健だよりを通じた保護者への啓発

(2) 体力向上推進計画

～令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて～

課題：令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より

☆令和5年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果より～第5学年児童対象～☆

種目平均		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)
男子	大阪	15.87	18.68	33.37	38.61	44.51	9.48	149.30	20.12
	本校	17.60	20.28	42.28	36.16	51.08	9.28	164.18	19.46
女子	大阪	15.69	17.60	37.91	36.56	34.17	9.75	141.45	12.56
	本校	18.02	19.13	45.43	33.02	40.62	9.57	156.90	12.16

☆現状と課題☆

*上回っている種目ー太字

- ・男子、女子共に大阪府平均と比べても上回っているものが多い。特に長座体前屈、シャトルラン、立ち幅とびについては大きく上回っている。
- ・反復横跳び、ソフトボール投げは大阪府平均より下回っている。

今年度の取り組みについて

- (1) 授業前の体づくり運動に努める。
- (2) 運動の楽しさを感じる授業づくりに努める。

【具体的な取り組み】

- ① 運動の楽しさ、充実感、達成感を味わうことのできる授業づくりの研究
 - 低学年
 - ・鉄棒（前回り、足抜き回り）・跳び箱（開脚跳び）・縄跳び（前跳び、後跳び）
 - ・マット運動（壁倒立）・陸上競技（50m走、ゴムとび）・水泳（だるま浮き、けのび）
 - 中学年
 - ・鉄棒（逆上がり）・跳び箱（開脚跳び、抱え込み跳び、台上前転）
 - ・縄跳び（あやとび、交差とび）・マット運動（補助倒立、開脚前転、開脚後転）
 - ・陸上競技（走り幅跳び、走り高跳び）・水泳（けのび、ふし浮き）
 - 高学年
 - ・鉄棒（ももかけ回転、前方支持回転）・跳び箱（台上前転）・縄跳び（二重跳び）
 - ・マット運動（補助倒立、ブリッジ）・陸上競技（50m走、50mハードル、走り幅跳び、走り高跳び）・水泳（クロール）
- ② 体力向上の取り組み
 - 全学年 ・縄跳び・マラソン・ペア学年での取り組み

検証方法について

- ① 「体育の授業が楽しい」と回答した児童の割合
- ② 「運動が好き」と回答した児童の割合
- ③ 運動能力調査結果

7. 行事計画

(1) 年間行事計画

月	学 校 行 事 等								PTA社会教育
	儀式的行事	保健的行事	安全の行事	参観・懇談	遠足の行事	文化・体育的行事	勤労生産的行事	児童会行事	
4	入学式 赴任式 始業式 離任式	保健調査 発育測定 尿検査 視力検査 心臓検診 内科検診 運動器健診 結核検診	地区児童会 集団下校 危険箇所点検 避難経路確認 集団登校指導 立ち番	学級懇談会 家庭訪問 自宅確認			菜園作り 花壇作り 植樹 除草	対面式 委員会開始 児童朝会	常任委員選出 PTA運営 委員会 春の交通安全 運動 全常任委員会
5		耳鼻咽喉科検診 聴力検査 眼科検診	班長会 安全マップ作成 交通安全週間	日曜参観	校外学習	新図書購入 体力テスト	育苗 散水 種子収穫	クラブ開始 児童朝会	予算総会 コミュニティー総会 PTA運営委員会
6		4年色覚検査 歯科検診 心臓二次検診	地震避難訓練 引き渡し訓練 北部地震振り返り	土曜参観	校外学習 5年宿泊学習 (マキノ高原)	プール開き		仲よし 交流会 児童朝会	クリーン津田 PTA運営委員会
7	創立記念日 終業式		地区児童会 生活指導 校区パトロール 風水害避難訓練	個人懇談会		プール納め		仲よし 交流会	地区パトロール PTA運営委員会
8	始業式							児童朝会	PTA運営委員会
9		発育測定 保健指導	交通安全週間 立ち番	オープンスクール	6年修学旅行 広島・姫路方面	漢字作文コン クール		児童朝会	秋の交通安全 運動 PTA運営委員会
10		視力検査 1年ブラッシング 指導				運動会			津田南小まつり PTA運営委員会
11	鑑賞会	就学時健康診断 学校保健委員会 5年モアレ検査	不審者対応避難 訓練	授業参観・懇談	校外学習			児童朝会	PTA運営委員会
12	終業式			個人懇談会					PTA運営委員会
1	始業式	発育測定 保健指導	火災避難訓練 班長会 安全集会 阪神大震災振り返り					児童会まつり 児童朝会	中学校説明会 PTA運営委員会
2	入学説明会			授業参観・懇談		図工展 マラソン大会		仲よし 交流会 児童朝会	全常任委員 反省会 PTA運営委員会
3	卒業式 修了式		地区児童会 生活指導 生指パトロール					6年生を 送る会	決算総会

(2) 定例行事計画

教育活動	職員	PTA活動・その他
入学式(4月4日)	企画委員会(毎月)	PTA予算総会(5月)
始業式(4月8日,8月26日,1月7日)	職員会議(毎月)	PTA決算総会(3月)
終業式(7月19日,12月24日)	校内研究全体会(適時)	役員会(第1土曜日)
修了式(3月24日)	校内人権生指全体会(年3回)	運営委員会(第1土曜日)
卒業式(3月18日)	学校向上部会(毎月)	各委員会活動(適時)
授業参観(5月、6月、9月、11月、2月)	指導部会(毎月)	南小まつり(10月)
学級懇談会(4月,2月)	学年会・教務部会(適時)	学校体育施設開放
家庭訪問・自宅確認(4月22日～4月26日)	教科部会(適時)	いきいきつなみプラザ(毎週土曜日)
日曜参観(5月19日)	行事特別委員会(7月,11月,2月)	区民体育祭(未定)
土曜参観(6月8日)	各種委員会(適時)	PTA学年行事(適時)
身体測定(学期始め)	職員作業(適時)	
校外学習(5月,6月)	ケース会議(適時)	
社会見学(9月,10月,11月)	学力向上対策委員会(毎月)	
個人懇談会(7月,12月)	小中一貫・学力向上運営委会議(毎月)	
プール開き(6月6日)	学校保健委員会(年1回)	
プール納め(7月19日)	いじめ・不登校・虐待対策委員会	
運動会(10月26日)	(4月,7月,9月,12月,1月,3月)	
5年生宿泊学習(6月16・17日)	あゆみ検討委員会(6月,11月,2月)	
修学旅行(9月29・30日)	救命救急講習会(5月)	
委員会活動(月1回 月曜6限)	校内自主研修(適時)	
クラブ活動(2か月に1回程度 月曜6限)	初任期研修(適時)	
児童集会(月1、2回不定期)		
地区児童会(4月、8月、3月)		

(3) 学校事務計画

基本方針		教育目標達成に向けた教育環境整備に努める 保護者・地域から学校がより信頼される一助となるよう、迅速かつ丁寧な事務に努める			
区分		枚方市関係事務			
内容		学校予算事務	学校園徴収金事務	学事関係	就学援助
目標		教育目標達成に向けた各係・分掌の計画や活動を裏付ける予算編成と運営を教職員の理解のもとに進める。	保護者負担軽減を目指す。	適正で迅速な事務を行う。就学援助については、兄弟関係等を校区連携で配慮しながら事務を行う。	
具体的な取組		・経費節約・不要備品等の廃棄をし現 有数や活用状況の把握に努め、教育 環境整備へとつなげる。 ・年間1回備品等の整備状況を確認 する。	・公費で購入できる物品を探る。 ・複数業者の見積もりを行い、総合的 に判断し購入する。	・学年会計担当者と連絡を取りながら、情報共有を密に行う。 ・就学援助家庭における未納者の学校長委任を促進する。	
月	職員会議提案	・切手管理簿入力 ・備品購入希望調査 ・夏用備品執行計画作成提出	・予算書作成 ・銀行口座登録 ・年間徴収計画作成 ・保護者へ通知	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告 ・教科書関係事務	・就学援助申請書配付、受付 ・就学援助申請の促進手紙配布
4月					
5月		・予算執行計画作成提出 ・備品購入計画作成提出 ・予算計画表作成 ・切手管理簿入力 ・備品執行計画作成	・第1回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告	・就学援助申請年度当初分締切～15 日迄 ・就学援助申請随時受付・報告 ・電話連絡等で前年度認定未提出者 に連絡
6月		・切手管理簿入力 ・夏用備品納入	・第2回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告	・就学援助認定者名簿作成
7月		・切手管理簿入力	・第3回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告	・第1回就学援助金支給・精算 ・就学奨励費申請受付・報告
8月		・切手管理簿入力 ・1期備品、パソコン関係納入 ・備品整備	・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告	
9月		・切手管理簿入力 ・2期備品納入	・第4回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告 ・小学校後期用教科書事務 ・教科書前期転学用報告	
10月		・切手管理簿入力	・第5回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告	
11月		・切手管理簿入力	・第6回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告	
12月		・切手管理簿入力 ・3期、一括備品納入	・第7回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告	・第2回就学援助金支給・精算
1月		・切手管理簿入力	・第8回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告 ・新1年生就学受付	
2月		・切手管理簿入力 ・翌年度分備品購入希望調査	・第9回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告 ・入学説明会事務 ・教科書後期転学用報告	
3月		・切手管理簿入力 ・机、椅子納品 ・翌年度分備品購入希望調査・集約	・第10回口座振替 ・現金徴収事務 ・徴収金執行事務 ・決算書作成報告 ・徴収金返金事務	・児童生徒数報告 ・転入学除籍者報告 ・教科書事務	・第3回就学援助金支給・精算
備考		・請求書、財務会計Excelファイル 毎 月10日20日月末迄に提出 ・市費決算書作成(随時)	・徴収金振替日 毎月5日・14日 ・給食費は毎月学校給食課へ報告・ 振込 ・給食費2学期より無償	・転出、転入事務 ・校務支援システム	・就学援助申請随時受付

大阪府関係事務			連携事務室での取組	主な学校行事 事務研修・他
給与	旅費	共済・互助		
給与関係書類(手当認定を含む)について、常に状況確認を行い、正確な給与事務を行う。	教育予算として、計画的な旅費予算の執行を行う。	福利厚生の情報提供を迅速に行い、人間ドックを始めとする事業の活用を促す。	事務の効率化を図り、事務体制の充実と教育の活性化をめざし、連携事務室での活動を教育支援に繋ぐ。	
・三手当相互チェック ・教員への給与情報等の提供	・毎月旅費請求を行い、常に執行状況の把握に努める。 ・出勤簿等関係書類との整合性を図る。	・共済・互助だより等の配付を行う。	・年に数回連携会議を開く ・連携事務室だよりを発行する ・入学説明会等の相互協力	
・三手当認定事務 ・給与関係書類作成、入力 ・各種手当入力	・旅費請求事務、入力 ・支給事務	・新規採用者認定事務 ・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付 ・人間ドック申込配付	・年間計画作成 ・就学援助事務の確認 ・連携事務室より保護者向け発行	・入学式 ・始業式
・給与関連事務 ・財形貯蓄新規申込・変更申請受付	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・年間旅費調査	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付		・校外学習
・期末勤勉手当事務 ・給与関連事務 ・児童手当現況確認事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・年間旅費執行計画作成	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付		・5年生宿泊行事
・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付		・終業式
・給与関連事務 ・扶養手当事後確認(2年に1度)	・旅費請求事務、入力 ・支給事務	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付		・始業式
・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・年間旅費執行計画作成	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付		・校外学習 ・修学旅行
・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付		・運動会
・年末調整事務 ・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務 ・旅費執行状況調査作成	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付		・校外学習
・再年末調整事務 ・期末勤勉手当事務 ・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付		・終業式
・昇給発令事務 ・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付	・拡大事務室連携会議	・始業式
・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付		・入学説明会
・異動職員準備事務 ・給与関連事務	・旅費請求事務、入力 ・支給事務	・各種届(育休手当等)受付 ・お便り配付	・来年度事務に向けて ・共同実施報告書作成	・修了式 ・卒業式
・三手当、給与変更届は随時受付 ・SSC関係入力随時 ・特勤(宿泊業務)、時間外勤務随時入力 ・通勤事後確認(予告なし)	・旅行命令簿兼旅行明細書提出随時	・各種届(育休手当等)随時確認	・月1回程度連携会議開催	・文書事務

(4) 日課表

予鈴	8 : 25
朝学習	8 : 30 ~ 8 : 40
	(移動・休憩5分)
1校時	8 : 40 ~ 9 : 25
	(移動・休憩5分)
2校時	9 : 30 ~ 10 : 15
中休み	10 : 15 ~ 10 : 35
3校時	10 : 35 ~ 11 : 20
	(移動・休憩5分)
4校時	11 : 25 ~ 12 : 10
給食	12 : 10 ~ 12 : 55
昼休み	12 : 55 ~ 13 : 15
清掃 (水曜日は清掃なし)	13 : 15 ~ 13 : 25
	(移動5分)
5校時	13 : 30 ~ 14 : 15
水曜日5校時	13 : 15 ~ 14 : 00
	(移動・休憩5分)
6校時	14 : 20 ~ 15 : 05
クラブ・委員会	14 : 25 ~ 15 : 10

登校時間
月～金
1学期：8時00分～8時20分
2学期：8：10分～8時20分
3学期：8時15分～8：25分

下校時間
月火木金 16時
水 15時

(5) 教科と配当時間数

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科の授業時数	国語	306	315	245	245	175	175
	社会			70	90	100	105
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科			90	105	105	105
	生活	102	105				
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家庭科					60	55
	体育	102	105	105	105	90	90
	外国語					70	70
道徳	34	35	35	35	35	35	
特別活動	34	35	35	35	35	35	
総合的な学習の時間			70	70	70	70	
外国語活動			35	35			
総授業時数		850	910	980	1015	1015	1015

8. 各教科年間計画

	国語	社会	算数	
目標	<p>国語の基礎的な学力となる話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと、の力を育てるとともに、子供の思考力、判断力、表現力を高める授業づくりに取り組む。朝読書を中心に多種多様な本を読むことができる環境づくりを設定する。物語や説明文の読解を通して、語彙を豊かにし、読み取ったことをもとに自ら思考し判断する力をつける。図書委員会と連携して学級文庫の整備をする。</p>	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり、解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。</p>	<p>・数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的、基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。 ・日常の事象を数理的に捉え見通しを持ち筋道を立てて考察する力、基礎的、基本的な数量や図形の性質などを見出し統合的、発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔、明瞭、的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 ・数学的活動の楽しさや、数学の良さに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科評価の検討 ・国語科教材研究 ・国語科教育の推進 ・教具・備品の整理、点検 ・学級文庫の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材・資料の整備 ・教具・備品の整理、点検 ・社会教材研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科評価の検討 ・算数科教材研究 ・算数科教育の推進 ・教具・備品の整理、点検 	
年間計画	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の検討 ・年間計画の立案 ・学級文庫の移動立案 ・備品購入の計画 ・教材教具の点検、整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の立案 ・備品購入の計画、整理 ・評価規準の検討と提案 ・デジタル副読本の講習会参加(3.4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の立案 ・各教室の教具チェック、配布
	5月			<ul style="list-style-type: none"> ・備品購入の計画、整理
	6月			
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 ・学級文庫整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理
	8・9月			
	10月			
	11月			
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 ・学級文庫整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理
	1月			
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省 ・次年度備品購入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・教材教具の点検、整備 ・学級文庫整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材教具の点検、整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室の教具の点検 ・備品整理 	

	理科	生活	音楽	
目標	自然に対する興味、関心を高め、自然の事象についての理解を図り、科学的な見方や考え方ができるようにする。	具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々の社会及び自然との関わりに関心を持ち、自分の生活について考えさせ、自立への基礎を養う。	表現および鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとの薬品の整理、点検 ・理科室の整備 ・教材、教具の点検、整備 ・花壇の配当 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材、教具の点検、整備 ・花壇の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽教育の推進 ・教材研究 ・楽器の整備点検 	
年間計画	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 ・教材、教具の点検、整備および購入計画の立案 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の計画の立案・備品整理 ・1、2年生虫かご使用の提案(ギザギザばさみは教材室虫かごは理科室に保管) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オルガンの点検、カバー配布 ・楽器の整備点検・校歌指導 ・小楽器配布(1・2・3年) ・教材、備品の購入計画 ・あゆみの項目検討
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校たんけん・朝顔のたね引き継ぎ ・栽培方法についての計画 ・町たんけん計画・野菜、朝顔の栽培 	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 		<ul style="list-style-type: none"> ・合同音楽会参加
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 ・教材、教具の点検、整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究(通年) ・楽器、教材、備品の整備点検
	8・9月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 		<ul style="list-style-type: none"> ・楽器、教材、備品の整備点検
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・新三年生に向けての栽培計画(キャベツ) 	
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培計画(ビオラ、チューリップ) 	
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 ・教材、教具の点検、整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 	
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 		
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 ・年度末反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品の整理、点検 ・教材、教具の点検、整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 ・1、2年虫かごを回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の整備点検 ・オルガンの点検(修理依頼) ・ピアノ調律(音楽室・体育館) 	

	図画工作	家庭	体育	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、作りだす喜びを味わうようにする ・造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な衣食住、消費、環境などについて、基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付ける。 ・日常生活の中から課題を設定し、それらの課題を解決する力を養う。 ・家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な運動の経験と健康安全についての理解を通して運動に親しむ資質や能力を育てる。 ・生涯を通して自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力の基礎を培う。 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図工教育の推進 ・備品の整理、点検 ・図工準備室の整理 ・教材研究 ・評価規準の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の検討 ・家庭科教育の推進 ・教具の整理、点検 ・備品の整理、点検、購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育教育の推進 ・備品の整理・点検・購入 ・体育倉庫整理・点検・購入 ・クラスボールの管理 	
年間計画	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・備品の整理 ・教材の購入計画 ・各学年の作品集約 ・各学年評価の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の検討 ・備品整理 ・教材の購入計画 ・アレルギー対応児童についての確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の購入計画 ・備品整理 ・クラス用ボールと大縄 点検交換 ・各学年評価提案 ・保健学習の推進 ・マット出し(体育委員)
	5月		<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の注意点確認、配布 	
	6月			
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理、教材研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理(ミシンの点検・修理) ・冷蔵庫整理(学年、外部団体へ連絡) 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 ・マット片付け(体育委員) ・ゼッケン洗濯
	8・9月	<ul style="list-style-type: none"> ・平和ポスター 		
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・教文ロビー作品展示 		<ul style="list-style-type: none"> ・ゼッケン洗濯(運動会:準備係) ・マット、とび箱出し(体育委員) ・鉄棒マット出し(体育委員)
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 		
	12月		<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理・冷蔵庫整理(学年、外部団体へ連絡) 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット、とび箱片付け(体育委員) ・鉄棒マット片付け(体育委員)
	1月			
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・作品交流会(図工展) ・年度末反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 ・各学年の作品集約 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理・冷蔵庫整理(学年、外部団体へ連絡) ・次年度備品購入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理・購入検討 ・ゼッケン洗濯 	

		道徳	総合的な学習
目標		<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見つけ、自ら学び考え、問題を解決する資質や能力を育成する。 ・問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。
内容		<ul style="list-style-type: none"> ・道徳ノートの活用 ・ICTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会への参加 ・各内容の検討 ・題材研究
年間計画	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の作成 ・備品の購入計画 ・副教材の整理 ・評価の検討、説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の作成 ・備品の整理 ・教材の購入計画 ・評価の検討、説明
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の指導計画の点検 ・年間指導計画等の市教委への提出 	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の検討 	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・教材、備品の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理
	8・9月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画等の市教委への提出 	
	10月		
	11月		
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・教材、備品の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省 ・道徳ノートについての意見交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の見直し
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度への引継ぎ、提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整理 	

道徳研修会への参加、推進



外国語(外国語活動)				
目標	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地を養う。また、アルファベットにもなぞり書きなどをさせながら触れさせ、文字への関心へとつなげる。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・言語や文化について体験的に理解を深める。 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 ・音声や基本的な表現に慣れ親しませる。 ・アルファベットを書くことに慣れ親しませる。 ・ALTとの連絡、計画作成。 			
年間計画	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の作成 ・外国語研修の内容検討 	↑ 外国語教材の整備・補充・評価資料作り ↓	
	5月	・外国語研修		
	6月			
	7月			
	8・9月	・教材の整備		
	10月			
	11月			
	12月	・教材の整備		
	1月			
	2月			
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の整備 ・年度末反省 		<ul style="list-style-type: none"> ・評価資料完成

9. 小中一貫教育

(1) 津田中校区 小中一貫推進事業について

① めざす「子ども像」

基本的な生活習慣を確立させ、自学自習力を育成し、確かな学力と豊かな心を持った子どもを育む。

② 本年度の重点目標

- 津田中校区としての学習の決まりに沿って、学習規律の確立を図る。
- 自学自習力を高め、家庭での学習を定着させる。
- 読む力、内容を理解する力を高めるために読書活動に取り組む。

③ 中学校区での共通施策

見えない学力（非認知能力）を伸ばすための環境づくり
子ども達をどのように成長させるか
↓
「優しい子」 「夢中になれる子」 「感謝できる子」
○学習規律の確立 ○小中交流活動
○9年間の系統的な学び ○家庭地域との連携

学び方のめあて（非認知能力向上めあてカード）	
津田南小学校	津田中学校
<ul style="list-style-type: none"> ・やり切ろう 粘り強く 根気「ふりカエル」 🐸 ・高めよう 「やるキリン」 🦏 ・繋がろう 「つなガル」 🦘 	<ul style="list-style-type: none"> ・切り替え ・振り切る ・自信 ・前向き ・信頼 ・思いやり

(2) キャリア教育

基本的な生活習慣を確立させ、自学自習力を育成し、確かな学力と豊かな心を持った子どもを育む。									
校区のめざす子ども像	小学校					中学校			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
発達段階の目標	なかよしになろう (関心をもとう)	友達と協力しあおう (関わりを深めよう)	自己を生かそう (自分を大切に)	他者を思いやり協力する態度を養う	様々な職業を知り働くことの尊さを学ぶ	自己を見つめ、より良い進路選択をする	様々な職業を知り働くことの尊さを学ぶ	様々な職業を知り働くことの尊さを学ぶ	自己を見つめ、より良い進路選択をする
つけたい力	つながる・わかる	つながる・わかる	つながる・わかる	つながる・わかる	つながる・わかる	つながる・わかる	つながる・わかる	つながる・わかる	きめる・えがくチャレンジ
活動名(活動内容)	お手伝い名人になろう 季節を感じよう	校区めぐり	友達のよいところをみつけよう	1/2の成人式	宿泊学習 米作り体験学習	平和学習 修学旅行	宿泊学習 職業調べ	職業体験学習	進路選択に向けて
目的	・できる喜びを味わい、家族にほめてもらえる体験をする ・学校や公園の変化を感じ豊かな心を養う	・様々な人とふれあい人間関係形成能力を育成する	・友達のよいところをみつけ、認める	・命の尊さを感じ、将来の夢をはぐくむ	・仲間意識の向上を図る ・働くことの意義を考える	・平和の大切さを知り、平和を守るためにできることをする	・宿泊学習への取り組みを通じて、協力し合う心を育む ・職業調べを通して職業観の育成を図る	・社会の一員としての自覚を高める ・将来の夢や職業について考え、仕事への関心・意欲を高める	・自分の個性や能力、適正への理解を深め、進路を選択し、決定する力を養う ・情報を収集し活用する
活動内容	・家庭で自分ができるお手伝いを考え、実行する ・校内を探検したり、校区の公園を訪れたり、季節の移り変わりに感じたりする	・身近で働く人々の様子を知り、興味・関心を持つ ・校区の様子を知ること、自分たちの住む町について関心を持つ	・自分のよいところを見つけて、友達のよいところを認め、励まし合う	・生まれたときの事を聞く ・周りの人々へインタビューをする ・学級で将来の夢について話し合う	・キャンプファミリーやプログラムをグループで協力して活動する ・農家の人の話を聞く ・代掻きから収穫、販売までを体験すること ・農家の仕事を覚える	・広島平和記念資料館を見学し、戦争の悲惨さを知る ・平和記念公園でグループ活動をする	・班活動を通じて集団の一員として役割と理解を深める ・様々な活動を通じて、他者の構成を理解する ・様々な職業について調べ、発表する	・様々な職業を学び、マナーやコミュニケーションの基礎を学習する ・職場を事前訪問し、打ち合わせを行う ・職業体験の実施 ・感想、お礼状の作成 ・体験したことをまとめ、発表する	・中学校卒業後の進路について調べる ・高等学校等の情報を積極的に活用し、自分の進路について考える
その他 ・期待する子どもの変容 ・目的達成に向けたポイントなど	・役立つ自分への充実感を味わい、自尊感情を育てる ・自然を大切にし、生命尊重の心を育む	・地域の中で暮らしていくうえで、様々な人たちに支えられていくことを知り、感謝する気持ちを育てる ・校区の施設や人々に興味・関心を持つ	・他者肯定の感情を育て、人に対する思いやりの心を育む	・自分のよさや個性に気づき、友達のよさを理解する	・学級の壁を越えて横の関係を築く ・自分たちで実践していくことの楽しさを感じる ・働くことの大変さを学ぶことで、周囲に対する感謝の気持ちが生まれる	・平和の大切さを知り、平和を守るという態度を育てる	・新しい集団で人間関係を築き、協力して課題を解決する ・様々な職業、労働の喜びや苦勞などへの理解を深める	・職業体験学習によって、社会生活の一部に触れ、働くことの大切さを理解させる ・クラスで職業体験の活動を報告させ、達成感を感じさせる	・様々な情報を自分で集め、自分の将来を見据え進路選択ができるようになる ・自分の考え、思いをしっかりと伝え、進路選択の意思表示ができるようになる

10. スタートカリキュラム

ねらい・・・学校の1日の流れを知り、学校に慣れる。学校生活のきまりを知る。		ねらい・・・授業に慣れる。友達と仲良くし、活動を広げる。							
1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
1時間目 荷物の整理 あいさつ	荷物の整理 並び方	身体測定	対面式の練習	対面式	国語 ひらがな「つ」	国語 ひらがな「く」	国語 ひらがな「し」	国語 ひらがな「も」	国語 ひらがな「へ」
ロッカーの使い方のひみつ 靴箱の使い方のひみつ	鉛筆の持ち方 鉛筆の使い方	お道具箱調べ	国語 線	エプロンの着替え方 給食当番の並び方	算数 なかまづくりとかかず	算数 なかまづくりとかかず	算数 なかまづくりとかかず	算数 なかまづくりとかかず	算数 なかまづくりとかかず
トイレ使い方のひみつ 下校の仕方	体操服の着替え方	音楽 校歌の練習	図工 粘土	書写 線	生活 自己紹介カード	体育 遊具の使い方	体育 並び方、おにごっこ	図工 あめふり	道徳
4時間目					給食の準備	給食の準備	給食の準備	給食の準備	給食の準備
5時間目							地区児童会		
指導上の留意点及び援助									
<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、元気な挨拶で子ども達を迎える。 ・健康観察をする。 ・休み時間は、教室で過ごす。（読書・トイレ・水分補給など） ・トイレに行くように、定期的に声をかける。 ・イメージのわきやすい物を使い、具体的・体験的に学習できるようにする。 					<ul style="list-style-type: none"> ・1日の予定を掲示するなど、生活の流れがわかり、見通しをもって生活できるようにする。 ・当番活動では、友達と協力したり、それぞれの仕事を覚えたりできるように指導する。 				
指導上の留意点及び援助									
<ul style="list-style-type: none"> ○学年便り・・・学校行事や学習予定などを伝える。（4月は週ごと、5月からは月1回発行） ○毎日の持ち物・・・ふでばこ・下敷き・連絡帳（連絡袋に入れて）・防犯ブザー（黄帽につける）・ナフキン袋（給食が始まってから） ○連絡帳・・・学校と家庭との相互連絡に使用。（ひらがなを学習してから少しづつ書く） ○登下校・・・登校：始業式より登校班ごとに集団登校。（班名を覚える。） 下校：地区ごとにならび下校。4月中は所定の場所まで教師が送る。 地区別目印のため色シール（赤・黄・紫・緑・水色）を名札に貼る。 （留守家庭児童会に行く児童は☆シール） ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・4月の間は班隊形の机で学習し、友達ができる、学習が生まれる仕掛けをつくる。 ・朝の用意が終わった児童からジョイントマットを敷いた別室のスペースで過ごすことができる。（コマ、けん玉等をしながら） 									

年間指導計画表 2年

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	研修時間	
国語	2 はなしたしい、ききなご 12 おおきなうしろ 2 かん字をつかおう 1 2 としよかんへ行こう 3 かん字の書き方	4 はたらく人に話を聞こう 12 たし算のひっ算 2 かん字をつかおう 2 8 かん字をつかおう 3 かん字の書き方	9 かん字の書き方 2 かん字をつかおう 3 3 じよほうのどら じゆんじよ 10 かん字をつかおう 5 話そう、二年生のわたし	10 こころのなか 4 書いたをよんで 1 ことば(スピーチ)	3 かん字の書き方 8 みんなで話し合おう 12 かん字の書き方 3 ものの名前をあらわすことば 10 絵を見てお話をきこう	13 じよほうのどら 8 じよぼうカードを作ろう 3 主語としつ語 2 かん字をつかおう 4	8 かん字の書き方 2 かん字をつかおう 3 かん字の書き方 11 かん字の書き方 2 かん字の書き方	7 町で見たこと話そう 2 かん字をつかおう 3 なかまになることば 6 「ありかた」をつたえよう 6 かん字の書き方	8 かん字の書き方 2 かん字をつかおう 3 かん字の書き方	6 かん字の書き方 2 かん字をつかおう 3 かん字の書き方	8 かん字の書き方 2 かん字をつかおう 3 かん字の書き方	6 かん字の書き方 2 かん字をつかおう 3 かん字の書き方	285
算数	2 話し・聞く 10 読む 9 書く	4 話し・聞く 12 読む 9 書く 1 書きじゆん 2 点と画の名前	5 話し・聞く 14 読む 9 書く 1 点や画の間 1 画の長さ 1 画のつき方と交わり方	話し・聞く 11 読む 11 書く 2 「はな」のほうご 1 「おれ」のほうご 1 「点」のほうご	8 話し・聞く 12 読む 13 書く 2 書きしるし 1 書きしるし	話し・聞く 12 読む 10 書く 2 字の形 1 字の中心	話し・聞く 12 読む 10 書く 2 書きしるし 1 字の中心	話し・聞く 12 読む 10 書く 2 書きしるし 1 字の中心	話し・聞く 12 読む 10 書く 2 書きしるし 1 字の中心	話し・聞く 12 読む 10 書く 2 書きしるし 1 字の中心	話し・聞く 12 読む 10 書く 2 書きしるし 1 字の中心	話し・聞く 12 読む 10 書く 2 書きしるし 1 字の中心	30
生活	1 学びのどら 4.1 グラフどら 9.2 たし算のひっ算	9.3 ひき算のひっ算 3.どんな計算になるのかな? 6.4 長さのたんい	5.4 長さのたんい 13.5.3 けたの数	9.6 水のかきのたんい 3.7 時ごとと時間	6.8 計算のくふう 11.9 たし算とひき算のひっ算	14.11 かけ算(1) 5.12 かけ算(2)	14.11 かけ算(1) 5.12 かけ算(2)	14.11 かけ算(1) 5.12 かけ算(2)	12.13.4 けたの数 3.14 長いもの長さのたんい 6.16 分数	5.14 長いもの長さのたんい 6.15 たし算とひき算 5.2年のふくしゅう	6.15 たし算とひき算 5.2年のふくしゅう	175	
音楽	4 新しいこと いっぱい 6 大きくそでく わたしの 書きい	7 大きくそでく わたしの 書きい 6 との出せ！町の たんけんたい 5 みんな、生きて いる	6 との出せ！町の たんけんたい 5 みんな、生きて いる	6 との出せ！町の たんけんたい 5 みんな、生きて いる	7 リズムをかきねて 楽しもう 6 くりかえしを見つけてよう	6 ようすをおもいようかべよう 2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	6 ようすをおもいようかべよう 2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	6 ようすをおもいようかべよう 2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	6 ようすをおもいようかべよう 2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	6 ようすをおもいようかべよう 2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	6 ようすをおもいようかべよう 2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	70	
図工	1 じぶんでいじり 2 おはなみ スケッチ 2 ひかりの プレゼント 1 にぎにぎ ねん土	1 にぎにぎ ねん土 3 わつから へんしん 3 ふしぎな たまご	2 しんぶんしと なかよし 3 くしやくしやく 2 ところよるのぐで かく	5.1 さかから こんにちは 5.2 さかから こんにちは	3 たのしかったよトキキハト 2 いろの 黒えかたむげん大	2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	2 はさみの あーと 2 おもいであたらに 4 ことばの かたち	70
体育	2 休むくしの運動遊び 7 固定階段、鉄棒を使った運動遊び 1 マットを使った運動遊び	6 異遊び 4. 多様な動きをつくる運動遊び 1 マットを使った運動遊び	4 マットを使った運動遊び 7 固定階段、鉄棒を使った運動遊び 1 マットを使った運動遊び	2 マットを使った運動遊び 4 固定階段、鉄棒を使った運動遊び 1 マットを使った運動遊び	7 表現遊び 5 走の運動遊び	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	105
道徳	11 じぶんで オツケー 12 くまんの たからもの 13 ひかりが学校の じまんね	14 金の おの 15 じぶんが しんごうに 16 いそいで いても 17 かくした ボール	18 おれたのものさし 19 森の ともたち 10 ひんぎに そでて、ミニマ 11 あまも、ひるも、よるも、あまも	12 さかあがり できたよ 13 たんじよう日	14 わずかれなれない えみお 15 いろいろな 生きもの 16 ともたちやまんね、ほくら	17 せいかの、くいの、人たち 18 なかい、なかい、つうかく 19 「かむかむ」ミニエ 120 たって おにいちゃんだもん	17 せいかの、くいの、人たち 18 なかい、なかい、つうかく 19 「かむかむ」ミニエ 120 たって おにいちゃんだもん	17 せいかの、くいの、人たち 18 なかい、なかい、つうかく 19 「かむかむ」ミニエ 120 たって おにいちゃんだもん	17 せいかの、くいの、人たち 18 なかい、なかい、つうかく 19 「かむかむ」ミニエ 120 たって おにいちゃんだもん	17 せいかの、くいの、人たち 18 なかい、なかい、つうかく 19 「かむかむ」ミニエ 120 たって おにいちゃんだもん	17 せいかの、くいの、人たち 18 なかい、なかい、つうかく 19 「かむかむ」ミニエ 120 たって おにいちゃんだもん	17 せいかの、くいの、人たち 18 なかい、なかい、つうかく 19 「かむかむ」ミニエ 120 たって おにいちゃんだもん	35
特別活動	2 年生になつて 1 地区児童会 1 学級懇談会 1 家庭訪問	友達のよさを身につけよう 1 日曜参観(オープンスクール) 1 学校探検 1 校外学習	雨の日の遊びを考えよう 1 プール開き 1 土曜授業	1 学期の反省 1 プールの終わり 1 個人懇談 1 終業式	2 表現遊び 5 走の運動遊び	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	1 ボールゲーム(ドッジボール) 5 多様な動きをつくる運動遊び 5 ボールゲーム(サッカー)	35

(2) 総合的な学習の時間全体計画

総合的な学習の時間 全体計画

関係法令 ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・府・市教委教育方針	学校教育目標 ・元気な子ども 命を大切に、よく遊び、困難なことにも最後までやりぬくための体力・気力をもった子ども ・明るい子ども きまりや約束を守り、仲間を大切に、礼儀正しく思いやりのある行動ができる子ども ・考える子ども 常に自らを高めようとし、自ら課題を見つけ、自ら考え、判断して行動できるように努力し続ける子ども	児童の実態 本校児童は素直であたかぬ心をもっている。明るく、まじめで人なつこい。反面、自分が思っていることや感じていることを自分の力で表出したり、試行したり、実行してみようという行動力に弱さがあるといえる。 しかし、いったん教師の指導やアドバイスがあれば、よく努力して優れた表現力発揮できる素養を備えている。
目指す子ども像 ・自らの課題に対し、主体的に解決していく子ども ・自然や地域社会のことがらに興味・関心を持ち、共に生きていこうとする子ども		
重点目標 子どもが自ら探求できる総合的な学習を目指して		

		カリキュラム				
		シーケンス				
問題解決にかかわる態度 (知識・技能)	問題解決にかかわる能力 (思考・判断・表現)	対象にかかわる意識・かかわり方 (主体的に学習に取り組む態度)	学 年			
生活科 ・友達と仲良く活動する ・進んでかかわろうとする ・身の回りの自然や人々に触れながら不思議などどうしてかな、という思いで活動する ・聞く人に分かりやすく発表する ・自分ができるようになったことに気づき自分の生活に生かす ・自分ががんばったことを振り返る	学習課題に向かって自主的、積極的に取り組むことができる。	自分で課題を見つけ、計画を立て問題を解決する。 課題について情報を集め、整理し考えをまとめる。	6 年	食育・健康教育 健康と食べ物 バランスのいい献立を考えよう 育てた野菜を食べよう エネルギーについて考えよう	人権・福祉・平和 禁野火薬庫について 戦争を考える(修学旅行の取り組みをとおして) 国際平和に関する調べ学習	
	自分のめあてに向かって、進んで調べようとする。	自分で課題を見つけ、学習計画を立てることができる。 調べたことを整理し、自分なりに工夫して表現する。	日本や世界に興味・関心を広げる 体験学習や調べ学習を通して、友達や先生と大切にして共感したりして、自分の生き方を考える。 学んだことを生活に生かすことができる。	5 年	(生) 食育 育てた野菜を食べよう 田植えから収穫(販売)まで みんなで育てる花・野菜いっぱい運動	人とのつながりを考えよう 友達と家族のこと 色々な国のうたや絵本、遊びを知ろう
	相手のめあてに向かって、進んで調べようとする。	自分で課題を見つけ、学習計画を立てることができる。 調べたことを整理し、自分なりに工夫して表現する。	地域や他者に興味や関心を広げる 地域の良さや相手の気持ちに共感し、親しみを持つ。	4 年	食育 育てた野菜を食べよう 枝豆・大豆 調理場から出るゴミ おやつについて考えよう ゴミ・水問題(枚方の自然を調べる)	バリアフリー 車いす・アイマスク体験を通して いろいろな国を知ろう
自分や相手の生活に生かす。	調べたことを整理し、自分なりに工夫して表現する。	食について知ろう 地域の野菜調べ 収穫体験	3 年	食育 校区めぐり 枚方市探検	指文字と手話 みんなで協力して発表会 お年寄への招待状 身近な国のことを調べよう	
生命 環境・地域 人権・福祉・平和 国際理解・情報 スコープ						

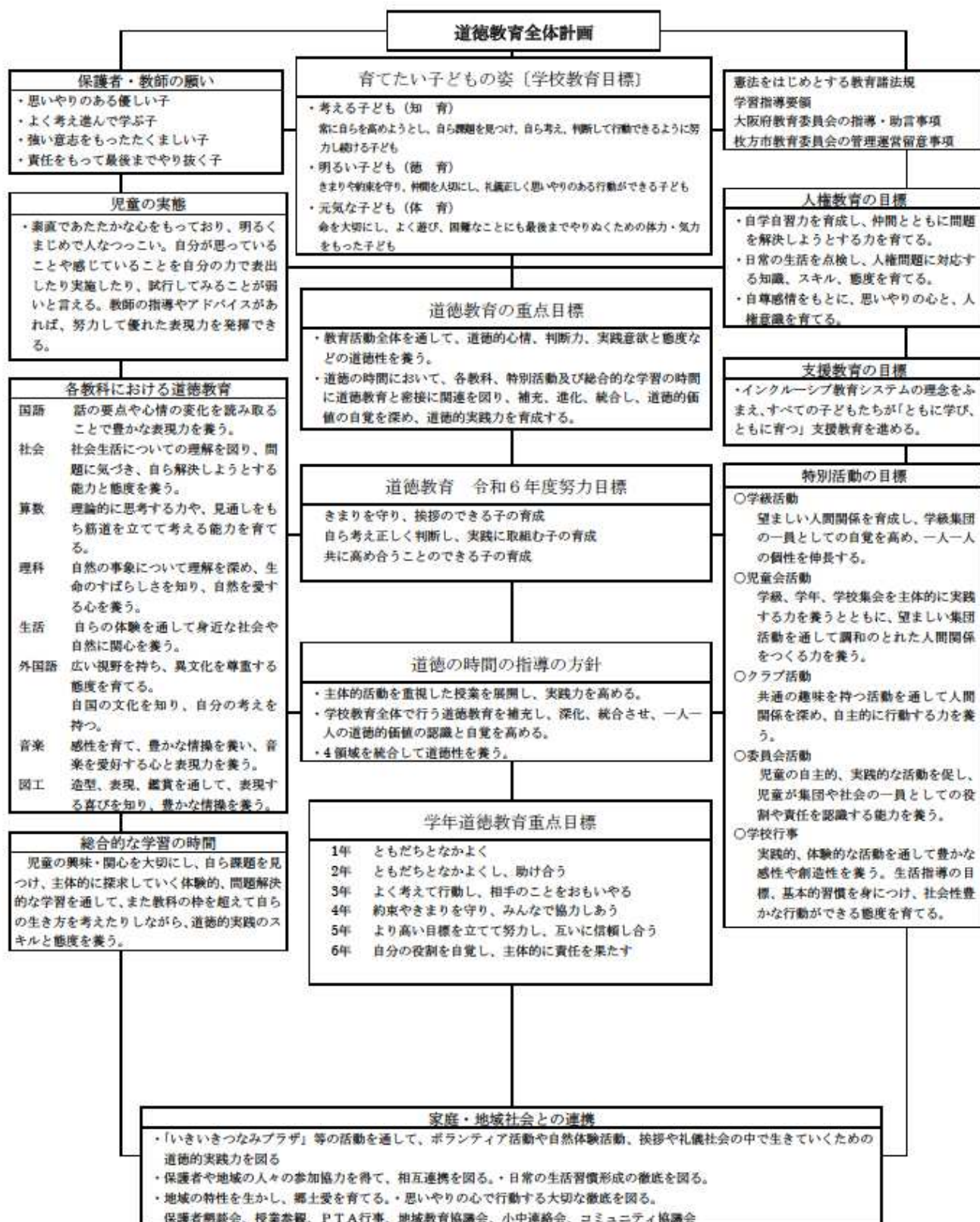
評価の観点 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	自分や相手の生活に生かす。 自分で課題を見つけ、計画を立て問題を解決する 調べたことを整理し自分なりに工夫して表現する 友達の下さや色々な人に関心を持ち、学んだことを生活に生かす
----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

道徳 ・郷土を愛する心 ・目標に向かって努力する心 ・助け合ったり支え合ったりする心 ・奉仕の心 ・日本や外国の文化を大切にしている心 ・生命尊重の心	国語 ・自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事柄を正確に理解する力 ・言語についての知識や理解、技能	社会 ・社会の事象に関心を持ち進んで調べようとする態度 ・統計、資料、年表等を読み取ったり活用したりする力 ・観察や調査をする力 ・観察や調査した事柄を関連付けて考察する力 ・調べた事柄を目的にあった方法で表現する力	算数 ・数量や図形に対して興味を持ち、調べたり試したりしながら課題を解決していくこととする態度 ・数量を正しく捉える力 ・長さ、かさ、重さなどを測定する力 ・目的に合わせて表やグラフを使って表現する力 ・筋道を立てて考える力	理科 ・自然の現象に関心を持ち進んで調べようとする態度 ・課題を設定する力 ・科学的に筋道を立てて考え、問題を解決する力 ・見通しを持って観察、実験する力 ・観察や実験をする道具を扱う技能	特別活動 ・話し合いの仕方 ・集団をよりよくしていこうとする意欲、態度 ・自発的自主的活動の進め方
・健康や安全に対する知識(体育) ・生活を工夫しようとする実践の態度、日常生活に必要な基礎的技術(家庭) ・鑑賞を通して日本や諸外国の文化への理解(音楽、園工)					

総合的な学習の時間 年間計画

	3年		4年		5年		6年	
4月	校区調べ	6h	環境(学習の見通し)	3h	人権仲間づくり	2h	キャリア教育	4h
					食育(米づくり)	2h	(わたしたちの暮らし学習) 歴史文化調べ	2h
		6h	3h		4h		6h	
5月	校区調べ	4h	環境(ゴミ)	4h	マキノ高原調べ	3h	キャリア教育	2h
	食育 (たまねぎ掘りと枚方の農作物)	4h	ごみ新聞 植物を育てよう	2h 2h	食育(米づくり) 性に関する指導	2h 2h	(わたしたちの暮らし学習) 歴史文化調べ	5h
		8h	8h		7h		7h	
6月	校区調べ	4h	環境(水)	4h	マキノ高原調べ	6h	キャリア教育	5h
	校区調べまとめ	2h	水スライドショーづくり	4h	食育(米づくり)	3h	(わたしたちの暮らし学習)	
	枚方市のようす	3h			情報モラル	1h	情報教育(インターネット)	3h
		9h	8h		10h		8h	
7月	枚方市のようす	4h	食育(おやつを取り方)	1h	食育(米づくり)	2h	キャリア教育	4h
			道筋を正確に(プログラミング)	3h	宿泊学習まとめ	2h	(わたしたちの暮らし学習)	
		4h	4h		4h		4h	
8月	枚方市調べ (タブレットを使って)	2h	道筋を正確に(プログラミング)	2h	食育(栄養バランス)	2h	平和学習	2h
			2h		2h		2h	
9月	枚方市調べ (タブレットを使って)	5h	福祉(車イス・白杖)	7h	食育(米づくり)	5h	平和学習	5h
			7h		多角形を描く(プログラミング)	3h		
		5h	7h		8h		5h	
10月	枚方市めぐり	7h	福祉についてのまとめ	8h	食育(朝食の意義)	4h	平和学習	5h
			8h		米作り	4h		
		7h	8h		8h		5h	
11月	枚方市めぐり	4h	点字について	5h	稲刈り	4h	平和学習まとめ	6h
	枚方市まとめ	3h	点字体験	3h	食育(お米を売ろう)	4h	食育(あなたの夢は何ですか)	2h
		7h	8h		8h		8h	
12月	国際理解(枚方市とのつながり)	5h	バリアフリー新聞	6h	米づくりまとめと発表	3h	身の回りにおける電気	8h
			6h		環境教育	2h	(プログラミング)	
		5h	6h		5h		8h	
1月	昔の道具調べ	6h	都道府県調べ	6h	環境教育	2h	国際理解	5h
			6h		人権仲間作り	4h	(私をとりまく世界)	
		6h	6h		6h		5h	
2月	昔の道具調べ	2h	いろいろな国を知ろう	4h	情報教育	2h	身の回りにおける電気	3h
	枚方市の移り変わり	5h	都道府県調べ(新聞)	4h	(インターネットについて)	4h	(プログラミング)	
		7h	8h		6h		9h	
3月	昔の道具調べ(まとめ・発表)	4h	都道府県調べ(まとめ・発表)	2h	最高学年にむけて	4h	小学校生活を振り返って	3h
			2h		4h		3h	

(3) 道徳教育全体計画



全体計画別業作成資料 1年 道徳と教科等との関連(指導時期順)

低学年の重点指導内容	A善悪の判断、自律、自由と責任 B礼儀
------------	------------------------

全学年を通しての重点指導内容	A節度、節制 B親切、思いやり C規則の尊重 D生命の尊さ D自然愛護
----------------	-------------------------------------------------

* 単元名の○数字は配当時間数を示す。

教科他/月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
道徳	1「わたしのすきなこと」 A個性の伸長 B礼儀	3「あいさつをする」と B礼儀 スタートカリキュラム	6「まきをつけて」 A節度、節制 スタートカリキュラム、防災・安全、消費者教育	10「はしのうしろのおかみ」 B親切、思いやり いじめ防止	12「どきどきどつきんぐ」 D生命の尊さ 生命の尊重	16「ぼくのしごと」 C勤労、公共の精神 キャリア教育	20「ほかのくからきたたべもの」 C国際理解、国際親善	26「ええところ」 A個性の伸長	28「はなはあちやんがわらった」 B親切、思いやり	29「二つのことり」 B友情、信頼	33「もうすぐはるです」 D自然愛護	
	2「みんな いっしょ」 C公正、公平、社会正義	4「きもちがよいのは？」 A節度、節制	7「がっこうのものは？」 C規則の尊重	11「ぼくのあさがお」 D自然愛護	13「あめがあがって…」 D感動、畏敬の念	17「ぐまのらっぱ」 A希望と勇気、努力と強い意志	21「かぼちゃのつる」 A節度、節制	25「どうぶつのかぞく」 C家族愛、家庭生活の充実	27「おたんだんぼどうで」 B礼儀	30「おたんだんぼどうで」 D生命の尊さ	34「もうすぐ二ねんせい」 環境教育	
	8「ハムスターのあかちゃん」 D生命の尊さ	5「がっこうにはね……」 B感謝	8「ハムスターのあかちゃん」 D生命の尊さ	11「ぼくのあさがお」 D自然愛護	14「みんなだれかに」 B感謝	18「だま」 A善悪の判断、自律、自由と責任	22「みつけてみよう」 C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	28「みんなのボール」 C規則の尊重	28「みんなのボール」 C規則の尊重	31「それぞれ、おかしいよ」 A善悪の判断、自律、自由と責任		
	9「うかんだうかんだ」 A希望と勇気、努力と強い意志	9「うかんだうかんだ」 A希望と勇気、努力と強い意志	9「うかんだうかんだ」 A希望と勇気、努力と強い意志	15「よみみち」 C規則の尊重	16「よみみち」 C規則の尊重	19「ころはっぱ」 B友情、信頼	23「どんぐり」 A正直、誠実					
学校行事	1学期始業式 A節度、節制 入学式 B礼儀 B親切、思いやり Cよい学校生活、集団生活の充実 身体計測 C家族愛、家庭生活の充実 D生命の尊さ	交通安全教室 C規則の尊重 内科検診 D生命の尊さ 眼科検診 D生命の尊さ 耳鼻科検診 D生命の尊さ	資料検診 D生命の尊さ 避難訓練(地震) D生命の尊さ Cよい学校生活、集団生活の充実 プール開き D生命の尊さ	遠足 B友情、信頼 D自然愛護 C規則の尊重 1学期終業式 A節度、節制 B礼儀	身体計測 C家族愛、家庭生活の充実 2学期始業式 A節度、節制 B礼儀	運動会 A希望と勇気、努力と強い意志 B友情、信頼 Cよい学校生活の充実 秋の緑化活動 D生命の尊さ D自然愛護 D感動、長歌の念 避難訓練(火災) D生命の尊さ	学習発表会(学芸会) A希望と勇気、努力と強い意志 B友情、信頼 Cよい学校生活、集団生活の充実 2学期終業式 A節度、節制 B礼儀	年末大掃除 B感謝 C勤労、公共の精神 Cよい学校生活、集団生活の充実 2学期終業式 A節度、節制 B礼儀	身体計測 C家族愛、家庭生活の充実 D生命の尊さ 3学期始業式 A節度、節制 B礼儀		修了式 A節度、節制 B礼儀 卒業式 A節度、節制 B感謝 Cよい学校生活、集団生活の充実	
特別活動	1年生を迎える会 B感謝 体をためよう C勤労、公共の精神 自分の名前をつくる A個性の伸長 Cよい学校生活、集団生活の充実	たてわりグループをつくらう B礼儀 C規則の尊重 あいさつ運動をしよう A正直、誠実 B礼儀	地域のこわさ A善悪の判断、自律、自由と責任 D生命の尊さ	たてわりグループで遊ぼう B礼儀 C規則の尊重 七夕集会をしよう C伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度 Cよい学校生活、集団生活の充実 夏休みを楽しくすごそう A節度、節制 A希望と勇気、努力と強い意志	運動会に向けて A希望と勇気、努力と強い意志 Cよりの充実 7月集いをしよう C伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度 Cよい学校生活、集団生活の充実 夏休みを楽しくすごそう A節度、節制 A希望と勇気、努力と強い意志	運動会 A希望と勇気、努力と強い意志 B友情、信頼 Cよい学校生活の充実 秋の緑化活動 D生命の尊さ D自然愛護 D感動、長歌の念 避難訓練(火災) D生命の尊さ	運動会 A希望と勇気、努力と強い意志 B友情、信頼 Cよい学校生活の充実 秋の緑化活動 D生命の尊さ D自然愛護 D感動、長歌の念 避難訓練(火災) D生命の尊さ	学習発表会(学芸会) A希望と勇気、努力と強い意志 B友情、信頼 Cよい学校生活、集団生活の充実 2学期終業式 A節度、節制 B礼儀	年末大掃除 B感謝 C勤労、公共の精神 Cよい学校生活、集団生活の充実 2学期終業式 A節度、節制 B礼儀	身体計測 C家族愛、家庭生活の充実 D生命の尊さ 3学期始業式 A節度、節制 B礼儀		修了式 A節度、節制 B礼儀 卒業式 A節度、節制 B感謝 Cよい学校生活、集団生活の充実

全体計画別業作成資料 3年 道徳と教科等との関連(指導時期順)

A 善悪の判断、自律、自由と責任 B 親切、思いやり C 規則の尊重 D 生命の尊重 E 自然愛護	A 善悪の判断、自律、自由と責任 B 親切、思いやり C 規則の尊重 D 生命の尊重 E 自然愛護
---------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------

A 善悪の判断、自律、自由と責任 B 親切、思いやり C 規則の尊重 D 生命の尊重 E 自然愛護	A 善悪の判断、自律、自由と責任 B 親切、思いやり C 規則の尊重 D 生命の尊重 E 自然愛護
---------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------

A 善悪の判断、自律、自由と責任 B 親切、思いやり C 規則の尊重 D 生命の尊重 E 自然愛護	A 善悪の判断、自律、自由と責任 B 親切、思いやり C 規則の尊重 D 生命の尊重 E 自然愛護
---------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------

* 単元名の○数字は配当時間数を示す。

教科他/月	4月	5月	6月	7月	8-9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
道徳	1「あいさつをすくと」 B礼儀 2「マクススグスージ(いのちのまつり)」 D生命の尊重 3「ふっからちゃん(の町)」 C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 4「あざつと」 B親切、思いやり	4「ツバの赤ちゃん」 D自然愛護 5「ゆりすけの朝」 A節度、節制 6「なれた本——リンカーン」 A正直、誠実 7「みんなの学校なの」 Cよりよい学校生活、集団生活の充実 8「いらい、にい、い」 B友情、信頼 9「SL公園で」 A善悪の判断、自律、自由と責任 10「一さつのおくりもの」 B親切、思いやり	7「作ひんのかち」 C規則の尊重 8「いきまじやないか」 C規則の尊重 9「きまじやないか」 C規則の尊重 10「ボタルの引っこし」 D自然愛護	11「作ひんのかち」 C規則の尊重 12「ごみステーション」 C勤労、公共の精神 13「いたいたい」 D生命の尊重 14「きまじやないか」 A節度、節制 15「きまじやないか」 C規則の尊重 16「ボタルの引っこし」 D自然愛護	17「みさきさんのえが」 C公正、公平、社会正義 18「教えて！なんでもうたんだん」 C勤労、公共の精神 19「かしたもつり」 B相互理解、寛容 20「りーん車にのれた」 A希望と勇気、努力と強い意志 21「三つこの国」 C国際理解、国際親善 22「たまちゃん、大すき」 B友情、信頼 23「耳の聞こえないお母さんへ」 C家族愛、家庭生活の充実	25「百羽のツル」 D感動、畏敬の念 26「よむむし太鼓」 A善悪の判断、自律、自由と責任 27「やさい人だぞくせ」 B親切、思いやり 28「じゃがいもの歌」 A個性の伸長 29「なまよしだけから」 自己肯定感 30「ぼくのおおあちゃん」 C家族愛、家庭生活の充実 31「あわせの王子」 D感動、畏敬の念 32「そびえ立つ、伊予松山城」 C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 33「おひらちゃん、おぼあちゃん、見ていてね」 D生命の尊重	27「やさい人だぞくせ」 B親切、思いやり 28「じゃがいもの歌」 A個性の伸長 29「なまよしだけから」 自己肯定感 30「ぼくのおおあちゃん」 C家族愛、家庭生活の充実 31「あわせの王子」 D感動、畏敬の念 32「そびえ立つ、伊予松山城」 C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 33「おひらちゃん、おぼあちゃん、見ていてね」 D生命の尊重	27「やさい人だぞくせ」 B親切、思いやり 28「じゃがいもの歌」 A個性の伸長 29「なまよしだけから」 自己肯定感 30「ぼくのおおあちゃん」 C家族愛、家庭生活の充実 31「あわせの王子」 D感動、畏敬の念 32「そびえ立つ、伊予松山城」 C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 33「おひらちゃん、おぼあちゃん、見ていてね」 D生命の尊重	25「百羽のツル」 D感動、畏敬の念 26「よむむし太鼓」 A善悪の判断、自律、自由と責任 27「やさい人だぞくせ」 B親切、思いやり 28「じゃがいもの歌」 A個性の伸長 29「なまよしだけから」 自己肯定感 30「ぼくのおおあちゃん」 C家族愛、家庭生活の充実 31「あわせの王子」 D感動、畏敬の念 32「そびえ立つ、伊予松山城」 C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 33「おひらちゃん、おぼあちゃん、見ていてね」 D生命の尊重	27「やさい人だぞくせ」 B親切、思いやり 28「じゃがいもの歌」 A個性の伸長 29「なまよしだけから」 自己肯定感 30「ぼくのおおあちゃん」 C家族愛、家庭生活の充実 31「あわせの王子」 D感動、畏敬の念 32「そびえ立つ、伊予松山城」 C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 33「おひらちゃん、おぼあちゃん、見ていてね」 D生命の尊重	27「やさい人だぞくせ」 B親切、思いやり 28「じゃがいもの歌」 A個性の伸長 29「なまよしだけから」 自己肯定感 30「ぼくのおおあちゃん」 C家族愛、家庭生活の充実 31「あわせの王子」 D感動、畏敬の念 32「そびえ立つ、伊予松山城」 C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 33「おひらちゃん、おぼあちゃん、見ていてね」 D生命の尊重	34「大通りのサクラなみ木」 B感謝 35「あんぱんの日」 A希望と勇気、努力と強い意志 キャンパス教育
学校行事	1学期始業式、A節度、節制 B礼儀 入学式、B親切、思いやり 礼儀、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 身体計測、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 1年生を迎える会、B親切、思いやり	交通存全教室、D生命の尊重 内科検診、D生命の尊重 眼科検診、D生命の尊重 耳鼻科検診、D生命の尊重 たてわりグループをつくる会、B親切、思いやり あいさつ運動会、A正直、誠実、B礼儀	運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重 運動会に向けて、A希望と勇気、努力と強い意志、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 児童集会の計画を立てよう、A正直、誠実、B礼儀、Cよりよい学校生活、集団生活の充実	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重
特別活動	1「年をむかえる会」 B親切、思いやり 係をめぐらそう、A正直、誠実、B礼儀 はじめてのクラブ活動、A個性の伸長、A希望と勇気、努力と強い意志、Cよりよい学校生活、集団生活の充実	たてわりグループをつくる会、B親切、思いやり あいさつ運動会、A正直、誠実、B礼儀	運動会に向けて、A希望と勇気、努力と強い意志、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 児童集会の計画を立てよう、A正直、誠実、B礼儀、Cよりよい学校生活、集団生活の充実	運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重	学年末大掃除、B感謝、勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式、A節度、節制、B礼儀 運動会、B友情、信頼、C勤労、公共の精神、Cよりよい学校生活、集団生活の充実 秋の祭活動、D自然愛護 避難訓練(火災)、D生命の尊重
外国語活動	1「Hello!」 ②国際理解、国際親善	2「How are you?」 ②B友情、信頼	3「How many?」 ④C個性の伸長	4「I like blue.」 ④A個性の伸長	5「What do you like?」 ④B友情、信頼	6「I like blue.」 ④C個性の伸長	7「This is for you.」 ⑤B友情、信頼	8「What's this?」 ⑤A真理の探究	9「What's this?」 ⑤B友情、信頼	10「Who are you?」 ⑤B友情、信頼	11「Who are you?」 ⑤B友情、信頼	12「Who are you?」 ⑤B友情、信頼
総合的な学習	※総合的な学習の時間のねらいをふまえて、各学校におけるカリキュラムと道徳の価値項目を適宜関連させて指導する。											

会社	教科
東書	国語
光村	書写
教出	社会
東書	算数

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>あなただのこと、教えて②</p> <p>A副詞の伸長 B相互理解、寛容</p> <p>「青森を聞き合おう!」すいせん」のフリップ①② D自然愛護 D感動、長歌の念</p> <p>「図書館へ行こう!」② C報知の尊重 Cよりよい学校生活、集団生活の充実</p> <p>「国語じんの使い方」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「メモを取りながら話を聞こう!」④ C動労、公共の精神</p> <p>「勝手に考え合おう!」自然のふし⑤ D自然愛護</p>	<p>「じゃがほろのとびら」全体②</p> <p>「わたしたち」の読解文を書こう!② A副詞の伸長 Cよりよい学校生活、集団生活の充実</p> <p>「図書館へ行こう!」すいせん」のフリップ①② D自然愛護 D感動、長歌の念</p> <p>「人物やものの様子を書こう!」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「心がいたことを詩で表そう!」⑥ D感動、長歌の念</p> <p>「ローマ字」③ C国際理解、国際親善</p>	<p>「漢字の読みかた」を覚えてみよう!① A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「物語をよみかきまよおしてしよう!」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「いっしょのたのしみ」③ D感動、長歌の念</p> <p>「人物やものの様子を書こう!」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「心がいたことを詩で表そう!」⑥ D感動、長歌の念</p> <p>「ローマ字」③ C国際理解、国際親善</p>	<p>「書きのくまを考えよう!」① A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「3年生の本だな」② D感動、長歌の念 C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 D自然愛護</p> <p>「慣用句を覚えよう!」③ C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p> <p>「グループの合い言葉を書こう!」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「主眼としゅつ語、つながつてみる?」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「中心人物について考えたことをまとめよう!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「書き広げたい!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「左ははらい」⑤ B(木)</p>	<p>「詩を讀もう!」① A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「夕日がせなかをおして行く」② D感動、長歌の念</p> <p>「案内の手紙を書こう!」⑤ B礼儀</p> <p>「慣用句を覚えよう!」③ C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p> <p>「グループの合い言葉を書こう!」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「主眼としゅつ語、つながつてみる?」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「中心人物について考えたことをまとめよう!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「書き広げたい!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「左ははらい」⑤ B(木)</p>	<p>「きおみを持つたこととようかい」① A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「いっしょのたのしみ」③ C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p> <p>「じょうほうのとびら」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「道具のひみつをつたえよう!」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」</p>	<p>「こそめと言葉」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「話しあいな、すきな時間」④ A副詞の伸長</p> <p>「漢字の読みかた」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「ローマ字」③ C国際理解、国際親善</p> <p>「編み物について考えたことをまとめよう!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「主眼としゅつ語、つながつてみる?」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「中心人物について考えたことをまとめよう!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「書き広げたい!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「左ははらい」⑤ B(木)</p>	<p>「人物の気持ちを表す言葉」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「いろいろならったええお!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「本から発見したことをまとめよう!」④ D感動、長歌の念 B友情、信頼</p> <p>「文の組み立て」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「漢字の読みかた」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「点字」⑤ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「書き広げたい!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「左ははらい」⑤ B(木)</p>	<p>「俳句に親しもう!」③ C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 D自然愛護 D感動、長歌の念</p> <p>「生き物についての考えを深めよう!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「深き川」⑤ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「じょうほうのとびら」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「理由」② B相互理解、寛容</p>	<p>「何となく」③ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「三年生のまとめ」②(水玉)</p> <p>「何となく」③ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「書き広げたい!」④ A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「左ははらい」⑤ B(木)</p>	<p>「物語のしあわせのおもしろさ」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「あなただのこと、教えて」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「いっしょのたのしみ」③ C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</p> <p>「道具のひみつをつたえよう!」② A希望と勇気、努力と強い意志</p> <p>「伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」</p>
光村	書写	社会	算数							

全体計画別業作成資料 5年 道徳と教科等との関連(指導時期順)

A 節度、節制
B 親切、思いやり
C 規則の尊重
D 生命の尊重
D 自然愛護

A 希望と勇氣、努力と強い意志
B 友情、信頼
C 勤労、公共の精神
C よりよい学校生活、集団生活の充実
C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
C 国際理解、国際親善

* 単元名の○数字は配当時間数を示す。

教科他/月	4月	5月	6月	7月	8-9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
道徳	1「泣いた赤鬼」 B 友情、信頼	4「ヒヤリ・ハット」 A 節度、節制	7「どうすればいいんだ」 C 公正、公平、社会正義	11「共有しちやえ！」 A 善悪の判断、自律、自由と責任	13「お母さんへの手紙」 B 礼儀	17「オーストラリアでんだこと」 B 礼儀	21「ペーパーベーン」 A 希望と勇氣、努力と強い意志	25「最後ののおくり物」 B 親切、思いやり	27「ありがとう上手」 B 感謝	30「天から送られた手紙」 A 真理の探究	34「一本松は語った」 D 感動、畏敬の念	
	2「見えた答案」 A 正直、誠実	5「遠足の子どもたち」 A 善悪の判断、自律、自由と責任	8「心のレジーナ」 B 友情、信頼	12「イルカの海を守る」 D 自然愛護	14「かかれてしまったヒマワリ」 C よりよい学校生活、集団生活の充実	18「卵焼き」 C 家族愛、家庭生活の充実	22「遊園地のごっこ」 C 規則の尊重	26「正月料理」 C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	28「くずれ暮らしたんだんボール箱」 B 親切、思いやり	31「ペルーは泣いてる」 C 国際理解、国際親善	35「ハトをつなげ」 C よりよい学校生活、集団生活の充実	
	3「お父さんは救急隊員」 C 勤労、公共の精神	6「ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ」 A 希望と勇氣、努力と強い意志	9「駅前広場は自転車を置き場？」 C 規則の尊重	12「イルカの海を守る」 D 自然愛護	15「流行おくれ」 A 節度、節制	19「折り紙大使」 加藤三郎	23「プラコン乗りとどエロ」 B 相互理解、寛容	29「感動したこと、それがぼくの作品——パプアニューギニア」 A 個性の伸長	32「コースチャチャぼうやを教え」 D 生命の尊重	33「わたしのボランティア体験」 C 勤労、公共の精神		
学校行事	1 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀 入学式 B 親切、思いやり B 礼儀 C よりよい学校生活、集団生活の充実 身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実	交通安全教室 C 規則の尊重 D 生命の尊重 内科検診 D 生命の尊重 眼科検診 D 生命の尊重 耳鼻科検診 D 生命の尊重	資料観賞 D 生命の尊重 海難訓練(地震) D 生命の尊重 C よりよい学校生活、集団生活の充実 プール開き D 生命の尊重	宿泊学習(林間学校・臨海学校) A 節度、節制 B 友情、信頼 D 自然愛護 1 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀	運動会に向けて C 勤労、公共の精神 C よりよい学校生活、集団生活の充実 2 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀	運動会 B 友誼、信頼 C よりよい学校生活、集団生活の充実 秋の緑化活動 D 生命の尊重 D 自然愛護 D 感動、畏敬の念 避難訓練(火災) D 生命の尊重	学習発表会(学芸会) A 希望と勇氣、努力と強い意志 C よりよい学校生活、集団生活の充実 2 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀	身体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 D 生命の尊重 3 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀	年末大掃除 B 感謝 C 勤労、公共の精神 C よりよい学校生活、集団生活の充実 2 学期終業式 A 節度、節制 B 礼儀	全体計測 C 家族愛、家庭生活の充実 D 生命の尊重 3 学期始業式 A 節度、節制 B 礼儀	修了式 A 節度、節制 B 礼儀 卒業式 B 相互理解、畏敬 C 家族愛、家庭生活の充実 C よりよい学校生活、集団生活の充実	6年生との会 B 感謝 B 礼儀
特別活動	1年生を迎える会 B 親切、思いやり 係を定めよう C よりよい学校生活、集団生活の充実 はじめての委員会に所属しよう C 公正、公平、社会正義 C よりよい学校生活、集団生活の充実 C 勤労、公共の精神	たてわりグループをつくらう B 親切、思いやり C 規則の尊重 おいさつ運動しよう A 正直、誠実 B 礼儀	地震のこわさ A 善悪の判断、自律、自由と責任 D 生命の尊重 夏休みの計画を立てよう A 正直、誠実 B 礼儀 C 公正、公平、社会正義 C よりよい学校生活、集団生活の充実	運動会に向けて C 勤労、公共の精神 C よりよい学校生活、集団生活の充実 夏休みの計画を立てよう A 正直、誠実 B 礼儀 C 公正、公平、社会正義 C よりよい学校生活、集団生活の充実	運動会 A 節度、節制 B 礼儀 たてわりグループで遊ぼう B 親切、思いやり C 規則の尊重 夏休みの計画を立てよう A 正直、誠実 B 礼儀 C 公正、公平、社会正義 C よりよい学校生活、集団生活の充実	運動会 A 節度、節制 B 礼儀 たてわりグループで遊ぼう B 親切、思いやり C 規則の尊重 冬休みの楽しみよう A 節度、節制 C 家族愛、家庭生活の充実	運動会 A 節度、節制 B 礼儀 たてわりグループで遊ぼう B 親切、思いやり C 規則の尊重 冬休みの楽しみよう A 節度、節制 C 家族愛、家庭生活の充実	運動会 A 節度、節制 B 礼儀 たてわりグループで遊ぼう B 親切、思いやり C 規則の尊重 冬休みの楽しみよう A 節度、節制 C 家族愛、家庭生活の充実	運動会 A 節度、節制 B 礼儀 たてわりグループで遊ぼう B 親切、思いやり C 規則の尊重 冬休みの楽しみよう A 節度、節制 C 家族愛、家庭生活の充実	運動会 A 節度、節制 B 礼儀 たてわりグループで遊ぼう B 親切、思いやり C 規則の尊重 冬休みの楽しみよう A 節度、節制 C 家族愛、家庭生活の充実	運動会 A 節度、節制 B 礼儀 たてわりグループで遊ぼう B 親切、思いやり C 規則の尊重 冬休みの楽しみよう A 節度、節制 C 家族愛、家庭生活の充実	運動会 A 節度、節制 B 礼儀 たてわりグループで遊ぼう B 親切、思いやり C 規則の尊重 冬休みの楽しみよう A 節度、節制 C 家族愛、家庭生活の充実

総合的な学習		※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、各学校におけるカリキュラムと道徳の価値項目を適宜関連させて指導する。												
会社	教科	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
東書	国語	「集めよう、いよいよ」② B「敬語」② C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 「要旨をまとめ、自分の考えを伝えよう」① E「インターネットで調べよう」② A「インターネットで調べよう」② A「インターネットで調べよう」② A	「敬語」② B「敬語」② C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 「要旨をまとめ、自分の考えを伝えよう」① E「インターネットで調べよう」② A「インターネットで調べよう」② A	「漢字の組み合わせ」② C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 「いよいよの言葉に親しみ、敬語を使いこなそう」② C伝説と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 「物語の組み合わせについて考えてみよう」② A「敬語」② B「敬語」② C	「思考に迫る言葉」① A「思考に迫る言葉」① A「思考に迫る言葉」① A 「書き手の意図を考えよう」② A「書き手の意図を考えよう」② A 「新聞記事を読み比べてみよう」② A「新聞記事を読み比べてみよう」② A	「心の動きを短歌で表そう」② A「心の動きを短歌で表そう」② A 「親切、思いやり」② B「親切、思いやり」② B 「和の文化を受けつづけていこう」② C「和の文化を受けつづけていこう」② C	「和の文化を深めよう」② A「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A	「和の文化を深めよう」② A「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A	「和の文化を深めよう」② A「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A	「和の文化を深めよう」② A「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A	「和の文化を深めよう」② A「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A	「和の文化を深めよう」② A「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A	「和の文化を深めよう」② A「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A 「和の文化を深めよう」② A	
光村	書写	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	「いよいよ」② A「いよいよ」② A 「いよいよ」② A 「いよいよ」② A	
教出	社会	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A	「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A 「日本の国土とわたしたちの暮らし」① A
東書	算数	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A	「学びのよび」① A「学びのよび」① A 「学びのよび」① A 「学びのよび」① A

全体計画別業作成資料 6年 道徳と教科等との関連(指導時期順)

A. 節度、節制 B. 親切、思いやり C. 規則の尊重 D. 生命の尊さ D. 自然愛護

A. 希望と勇気、努力と強い意志 B. 友情、信頼 C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 C. 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 C. 国際理解、国際親善

* 单元名の○数字は配当時間数を示す。

教科他/月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
道徳	1「心を形に」 B. 礼儀 心身の健康 2「お母さん、お願いね」 A. 節度、節制 防災・安全 5「世界遺産 白神山 地」 C. 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 郷土・地域、環境教育 郷土・地域、環境教育	4「天災は、わすれないうちでもやってくる」 A. 節度、節制 防災・安全 5「世界遺産 白神山 地」 C. 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 郷土・地域、環境教育 郷土・地域、環境教育	7「法律」ってなんだろ C. 規則の尊重 いじめ防止、法教育 8「はかじやん！」 B. 友情、信頼 いじめ防止 9「ある犬のおはなし」 D. 生命の尊さ 生命の尊重	11「あなたはどう考えますか？」 C. 公正、公平、社会正義 情報モラル、人権教育 12「土石流の中で救われた命」 B. 感謝 生命の尊重、防災・安全	13「たった一つの命だから」 D. 生命の尊さ 生命の尊重 14「タマノ川」 D. 自然愛護 環境教育、法教育、SDGs 15「心をなごませよう」 A. 希望と勇気、努力と強い意志 キャリア教育 16「ともにくらすわたしたち」 C. 国際理解、国際親善 国際理解、SDGs	17「修学旅行の夜」 A. 善悪の判断、自律、自由と責任 主権者教育 18「うちら『ネコの手』がフアンティア」 C. 勤労、公共の精神 防災・安全、主権者教育 19「みんないっしょだよ——黒柳徹子」 B. 親切、思いやり 国際理解、人権教育、ダイバーシティ	21「ぼくの名前呼んで」 C. 家族愛、家庭生活の充実 主権者教育 22「せんぱいの心を大切に」 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 主権者教育 23「ピアノの音が……」 C. 規則の尊重 主権者教育、法教育	25「夜空——光の旅」 D. 感動、畏敬の念 主権者教育 26「新しい日本に——龍馬の心」 C. 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 伝統・文化、SDGs 27「まんがに命を——手塚治虫 日本のアニメーション」 A. 真理の探究 キャリア教育	29「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 国際理解、キャリア教育、SDGs 30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 国際理解、キャリア教育 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 国際理解、キャリア教育	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 国際理解、キャリア教育 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 国際理解、キャリア教育	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 国際理解、キャリア教育 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 国際理解、キャリア教育	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 国際理解、キャリア教育 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 国際理解、キャリア教育	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 国際理解、キャリア教育 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 国際理解、キャリア教育
学校行事	1学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 入学式 B. 親切、思いやり B. 礼儀 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 身体計測 C. 家族愛、家庭生活の充実 1年生を迎える会 B. 親切、思いやり 1年生を迎える会 B. 親切、思いやり C. よりよい学校生活、集団生活の充実 委員会に所属 C. 公正、公平、社会正義 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 5年生に委員会の仕事を紹介しよう B. 親切、思いやり C. よりよい学校生活、集団生活の充実	交通安全教室 C. 規則の尊重 D. 生命の尊さ 内科検診 D. 生命の尊さ 眼科検診 D. 生命の尊さ 耳鼻科検診 D. 生命の尊さ 交通安全教室 C. 規則の尊重 D. 生命の尊さ 内科検診 D. 生命の尊さ 眼科検診 D. 生命の尊さ 耳鼻科検診 D. 生命の尊さ	歯科検診 D. 生命の尊さ 避難訓練(地震) D. 生命の尊さ プール開き D. 生命の尊さ 運動会に向けて C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 1学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 運動会に向けて C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀	修学旅行 A. 節度、節制 B. 友情、信頼 D. 自然愛護 1学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 運動会に向けて C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀	身体計測 C. 家族愛、家庭生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 運動会に向けて C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀	年末大掃除 B. 感謝 C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 春から返る遊びで遊ぼう C. 家族愛、家庭生活の充実 全体みを楽しくすごそう A. 節度、節制 C. 家族愛、家庭生活の充実	3学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 身体計測 C. 家族愛、家庭生活の充実 D. 生命の尊さ 3学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 春から返る遊びで遊ぼう C. 家族愛、家庭生活の充実 全体みを楽しくすごそう A. 節度、節制 C. 家族愛、家庭生活の充実	27「言葉のおくりもの」 B. 友情、信頼 自己肯定感 28「銀のしよく白」 B. 相互理解、寛容 29「まんがに命を——手塚治虫 日本のアニメーション」 A. 真理の探究 キャリア教育 30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ
特別活動	1年生を迎える会 B. 親切、思いやり 入学式 B. 親切、思いやり B. 礼儀 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 身体計測 C. 家族愛、家庭生活の充実 1年生を迎える会 B. 親切、思いやり C. よりよい学校生活、集団生活の充実 委員会に所属 C. 公正、公平、社会正義 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 5年生に委員会の仕事を紹介しよう B. 親切、思いやり C. よりよい学校生活、集団生活の充実	交通安全教室 C. 規則の尊重 D. 生命の尊さ 内科検診 D. 生命の尊さ 眼科検診 D. 生命の尊さ 耳鼻科検診 D. 生命の尊さ	歯科検診 D. 生命の尊さ 避難訓練(地震) D. 生命の尊さ プール開き D. 生命の尊さ 運動会に向けて C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 1学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 運動会に向けて C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀	修学旅行 A. 節度、節制 B. 友情、信頼 D. 自然愛護 1学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 運動会に向けて C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀	身体計測 C. 家族愛、家庭生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 運動会に向けて C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀	年末大掃除 B. 感謝 C. 勤労、公共の精神 C. よりよい学校生活、集団生活の充実 2学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 春から返る遊びで遊ぼう C. 家族愛、家庭生活の充実 全体みを楽しくすごそう A. 節度、節制 C. 家族愛、家庭生活の充実	3学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 身体計測 C. 家族愛、家庭生活の充実 D. 生命の尊さ 3学期始業式 A. 節度、節制 B. 礼儀 春から返る遊びで遊ぼう C. 家族愛、家庭生活の充実 全体みを楽しくすごそう A. 節度、節制 C. 家族愛、家庭生活の充実	27「言葉のおくりもの」 B. 友情、信頼 自己肯定感 28「銀のしよく白」 B. 相互理解、寛容 29「まんがに命を——手塚治虫 日本のアニメーション」 A. 真理の探究 キャリア教育 30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ	30「青の酒門」 D. 感動、畏敬の念 31「さばくを緑の農地に——中村哲医師」 D. よりよく生きる喜び 32「『あまをめぐらない』を手助けしたい——義経義経」 C. 勤労、公共の精神 キャリア教育、ダイバーシティ 33「東京大空襲の中で」 D. 生命の尊さ

<p>総合的な学習</p> <p>会社</p> <p>教科</p> <p>東書</p> <p>国語</p> <p>光村</p> <p>書写</p> <p>社会</p>	<p>※総合的な学習の時間の時間をいふまえ、各学校におけるカリキュラムと道徳の価値項目を適宜関連させて指導する。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="220 47 343 309"> <p>4月</p> <p>「たずね合っ」② 「朗読で表現しよう」③ 「社会教育施設へ行こう」④</p> </td> <td data-bbox="220 309 343 571"> <p>5月</p> <p>「三文字以上の動脈の構成」① 「筆者の論の進め方を確かめよう」② 「社会教育施設へ行こう」③</p> </td> <td data-bbox="220 571 343 833"> <p>6月</p> <p>「いざいざいまの」① 「文と文とのつながり」② 「漢文に頼らう」③</p> </td> <td data-bbox="220 833 343 1095"> <p>7月</p> <p>「インターネットでの議論から考えよう」① 「文と文とのつながり」② 「漢文に頼らう」③</p> </td> <td data-bbox="220 1095 343 1357"> <p>9月</p> <p>「いざいざいまの」① 「文と文とのつながり」② 「漢文に頼らう」③</p> </td> <td data-bbox="220 1357 343 1619"> <p>10月</p> <p>「その傍には、どこにか」① 「アラスカチック」② 「情報とつながり」③</p> </td> <td data-bbox="220 1619 343 1881"> <p>11月</p> <p>「我儘しやう、私なもの」① 「物産展をめぐって」② 「情報とつながり」③</p> </td> <td data-bbox="220 1881 343 2143"> <p>12月</p> <p>「似た意味の言葉の使い分け」① 「心に読んだ、この一文」② 「書写を広げよう」③</p> </td> <td data-bbox="220 2143 343 2240"> <p>1月</p> <p>「古典書簡への招待状」① 「言葉の移り変わり」② 「宇宙や地球の未来について話し合おう」③</p> </td> <td data-bbox="220 2405 343 2240"> <p>2月</p> <p>「ひろ立ち向かう？ もしも」① 「表現をよぶよう」② 「伝えよう、感謝の気持ち」③</p> </td> <td data-bbox="220 2667 343 2240"> <p>3月</p> <p>「成長をとり返して手紙」① 「春に」② 「君たちと伝えたいこと」③</p> </td> </tr> </table>	<p>4月</p> <p>「たずね合っ」② 「朗読で表現しよう」③ 「社会教育施設へ行こう」④</p>	<p>5月</p> <p>「三文字以上の動脈の構成」① 「筆者の論の進め方を確かめよう」② 「社会教育施設へ行こう」③</p>	<p>6月</p> <p>「いざいざいまの」① 「文と文とのつながり」② 「漢文に頼らう」③</p>	<p>7月</p> <p>「インターネットでの議論から考えよう」① 「文と文とのつながり」② 「漢文に頼らう」③</p>	<p>9月</p> <p>「いざいざいまの」① 「文と文とのつながり」② 「漢文に頼らう」③</p>	<p>10月</p> <p>「その傍には、どこにか」① 「アラスカチック」② 「情報とつながり」③</p>	<p>11月</p> <p>「我儘しやう、私なもの」① 「物産展をめぐって」② 「情報とつながり」③</p>	<p>12月</p> <p>「似た意味の言葉の使い分け」① 「心に読んだ、この一文」② 「書写を広げよう」③</p>	<p>1月</p> <p>「古典書簡への招待状」① 「言葉の移り変わり」② 「宇宙や地球の未来について話し合おう」③</p>	<p>2月</p> <p>「ひろ立ち向かう？ もしも」① 「表現をよぶよう」② 「伝えよう、感謝の気持ち」③</p>	<p>3月</p> <p>「成長をとり返して手紙」① 「春に」② 「君たちと伝えたいこと」③</p>
<p>4月</p> <p>「たずね合っ」② 「朗読で表現しよう」③ 「社会教育施設へ行こう」④</p>	<p>5月</p> <p>「三文字以上の動脈の構成」① 「筆者の論の進め方を確かめよう」② 「社会教育施設へ行こう」③</p>	<p>6月</p> <p>「いざいざいまの」① 「文と文とのつながり」② 「漢文に頼らう」③</p>	<p>7月</p> <p>「インターネットでの議論から考えよう」① 「文と文とのつながり」② 「漢文に頼らう」③</p>	<p>9月</p> <p>「いざいざいまの」① 「文と文とのつながり」② 「漢文に頼らう」③</p>	<p>10月</p> <p>「その傍には、どこにか」① 「アラスカチック」② 「情報とつながり」③</p>	<p>11月</p> <p>「我儘しやう、私なもの」① 「物産展をめぐって」② 「情報とつながり」③</p>	<p>12月</p> <p>「似た意味の言葉の使い分け」① 「心に読んだ、この一文」② 「書写を広げよう」③</p>	<p>1月</p> <p>「古典書簡への招待状」① 「言葉の移り変わり」② 「宇宙や地球の未来について話し合おう」③</p>	<p>2月</p> <p>「ひろ立ち向かう？ もしも」① 「表現をよぶよう」② 「伝えよう、感謝の気持ち」③</p>	<p>3月</p> <p>「成長をとり返して手紙」① 「春に」② 「君たちと伝えたいこと」③</p>		

1 学年 道徳指導計画

月	【主題名】 教材名	内容項目	ねらい
4 月	【自分らしさ】 1. わたしの すきな こと	A：個性の伸長	自分の好きなことをほかの人に伝えることを通して、自分の好きなことや得意なことを見つけることよさに気づき、それを伸ばしていこうとする態度を育てる。
	【誰にでも公平に】 2. みんな いっしょ	C：公正、公平、社会正義	自分の好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公正、公平に接しようとする心情を育てる。
5 月	【言葉遣いや挨拶】 3. あいさつを すると	B：礼儀	時と場に応じた挨拶や言葉遣いを身につけることを通して、身近な人々と明るく接しようとする実践意欲と態度を育てる。
	【自分でできること】 4. きもちが よいのは？	A：節度、節制	ものを大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、自分でできることを進んで行い、規則正しい生活をしようとする態度を育てる。
	【お世話になっている人】 5. がっこうにはね……	B：感謝	日頃自分たちの学校生活を支えてくれたり助けてくれたりしている人々に感謝し、自分ができることをしようとする心情を育てる。
6 月	【安全に大切に】 6. きを つけて	A：節度、節制	危ない場所や遊びを理解し危険から身を守るとともに、ものや金銭を大切に節度や節制のある態度を育てる。
	【みんなが使うもの】 7. がっこうの ものは？	C：規則の尊重	約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にしようとする心情を育てる。
	【命の素晴らしさ】 8. ハムスターの あかちゃん	D：生命の尊さ	身近な生き物の誕生や成長の様子を優しく見つめ、命あるものを大切にしようとする態度を育てる。
	【頑張る心】 9. うかんだ うかんだ	A：希望と勇気、努力と強い意志	自分の目標に向かって、一生懸命努力しようとする意欲を育てる。
7 月	【親切な心で】 10. はしの うえの おおかみ	B：親切、思いやり	身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。
	【生き物への優しさ】 11. ぼくの あさがお	D：自然愛護	身近な自然に親しみ、優しい心で動植物の世話をしようとする心情を育てる。
9 月	【生きていることの素晴らしさ】 12. どきどき どっきんぐ	D：生命の尊さ	生きていることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。
	【美しいもの】 13. あめが あがって……	D：感動、畏敬の念	美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。
	【感謝の気持ち】 14. みんな だれかに	B：感謝	日頃、自分たちの生活を支えてくれたり助けてくれたりしている人々に感謝し、自分ができることをしようとする心情を育てる。
	【きまりの大切さ】 15. よりみち	C：規則の尊重	学校や家庭でのきまりや規則の大切さを知り、きまりや規則を守ろうとする心情を育てる。
10 月	【みんなのために、働く……】 16. ぼくの しごと	C：勤労、公共の精神	家族の役に立つ喜びを感じ、家族やみんなのために進んで働こうとする心情を育てる。
	【あきらめないで最後まで】 17. こぐまの らっぱ	A：希望と勇気、努力と強い意志	自分がやらなくてはならないことは、最後まで粘り強く行おうとする心情を育てる。
	【勇気を出して】 18. ダメ	A：善悪の判断、自律、自由と責任	よいと思ったことは、恐れなくて、勇気を持って行おうとする意欲や態度を育てる。
	【友達っていいな】 19. こころはっぱ	B：友情、信頼	友達と進んで関わり、仲良くしようとする心情を育てる。
11 月	【ほかの国の人たちと】 20. ほかの くから きた たべもの	C：国際理解、国際親善	他国の人々に親しみを持ち、自分たちと異なる文化のよさに気づいて積極的に関わっていこうとする心情を育てる。
	【わがままをしないで】 21. かぼちゃの つる	A：節度、節制	周囲の人と自分のことを考え、わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。

11月	【私たちの住む町】 22. みつけて みよう	C : 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	我が国や自分の暮らす町に親しみ、愛着を持って生活しようとする心情を育てる。
	【正直な心】 23. どんぐり	A : 正直、誠実	うそをついたりごまかしたりしないで、明るい心で生活しようとする心情を育てる。
12月	【優しい気持ち】 24. はなばあちゃんが わらった	B : 親切、思いやり	友達やお年寄りなどに優しい気持ちを持ち、相手を大切に思う心情を育てる。
	【家族のために】 25. どうぶつのかぞく	C : 家族愛、家庭生活の充実	家族の優しい心遣いや努力に感謝し、家族のためにできることを進んでやっていこうとする心情を育てる。
1月	【自分のよさ】 26. ええところ	A : 個性の伸長	自分の特徴に気づき、長所を大切にしようとする心情を育てる。
	【気持ちを込めて】 27. おうたんほどうで	B : 礼儀	気持ちを込めた挨拶の大切さを知り、自分から進んで人に明るく接しようとする心情を育てる。
	【みんなが使うもの】 28. みんなの ボール	C : 規則の尊重	みんなで使うものを大切に扱おうとする心情を育てる。
2月	【友達を思う心】 29. 二わの ことり	B : 友情、信頼	友達と仲良くし、思いやりを持って助け合っていこうとする心情を育てる。
	【私の命】 30. おたんじょうびカード	D : 生命の尊さ	自分の生命そのもののかけがえのなさに気づき、生命を大切にしようとする心情を育てる。
	【よいと思うことを進んで】 31. それって、おかしいよ	A : 善悪の判断、自律、自由と責任	よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てる。
	【温かい心】 32. ほくの はな さいたけど	B : 親切、思いやり	身近な人たちに温かい心で接し、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。
3月	【自然と仲良く】 33. もう すぐ はるです	D : 自然愛護	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。
	【楽しいクラス】 34. もう すぐ 二ねんせい	C : よりよい学校生活、集団生活の充実	友達といっしょに自分たちの学級を大切にする心情を育てる。

2学年 道徳年間計画

月	【主題名】 教材名	内容項目	ねらい
4月	【自分でできるように】 1. じぶんで オツケー	A：節度、節制	健康や安全に気をつけ、ものや金銭を大切に、身の回りを整え、自分でできることは自分でしようとする態度を育てる。
	【優しい心の温かさ】 2. くまくんの たからもの	B：親切、思いやり	身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。
	【私たちの学校のよさ】 3. ひかり小学校の じまはね	C：よりよい学校生活、集団生活の充実	先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくしようとする態度を育てる。
5月	【正直でいるよさ】 4. 金の おの	A：正直、誠実	うそやごまかしをしないで、素直にのびのびと生活しようとする判断力を育てる。
	【支えてくれる人々】 5. じぶんが しんごうきに	B：感謝	日頃お世話になっている人に感謝する心情を育てる。
	【気持ちよい挨拶や言葉】 6. いそいで いても	B：礼儀	気持ちのよい挨拶、言葉遣いなどを心がけ、人と明るく接しようとする態度を育てる。
6月	【みんなが使うもの】 7. かくした ボール	C：規則の尊重	約束やきまりの大切さを知り、みんなが使うものを大切にしようとする態度を育てる。
	【正しいことを進んで】 8. おれた ものさし	A：善悪の判断、自律、自由と責任	よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる。
	【助け合う友達】 9. 森の ともだち	B：友情、信頼	友達と仲良く助け合っていこうとする態度を育てる。
7月	【優しい心】 10. げんきに そだて、ミニトマト	D：自然愛護	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心を持って接しようとする態度を育てる。
	【規則正しく】 11. あさも ひるも よるも あそびたい	A：節度、節制	健康や安全に気をつけ、わがままをしないで規則正しく生活しようとする心情を育てる。
	【やりぬく心】 12. さかあがり できたよ	A：希望と勇気、努力と強い意志	自分のやるべきことは最後までやり遂げようとする態度を育てる。
9月	【大切な命】 13. たんじょう日	D：生命の尊さ	多くの人に支えられ、守られている自分の命を大切にしようとする心情を育てる。
	【よいと思うことを】 14. わすれられない えがお	A：善悪の判断、自律、自由と責任	よいと思ったことは、進んで行おうとする心情を育てる。
	【自然と仲良く】 15. いろいろな 生きもの	D：自然愛護	自然や生き物に親しみ、優しい心で接しようとする態度を育てる。
	【友達を思って】 16. ともだちやもんな、ぼくら	B：友情、信頼	友達を思うことの大切さに気づき、友達と仲良くし、助け合っていこうとする判断力を育てる。
10月	【ほかの国の人たちと仲良く】 17. せかいの くにの 人たちと	C：国際理解、国際親善	ほかの国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。
	【私たちの町】 18. ながい ながい つうがくる	C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	郷土や我が国の伝統と文化を大切にしようとする心情を育てる。
	【体のことを考えて】 19. 「かむかむメニュー」	A：節度、節制	健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をしようとする態度を育てる。
	【家族のために】 20. だって おにいちゃんだもん	C：家族愛、家庭生活の充実	家族に対して親愛の念を持ち、家族の一員として役に立とうとする態度を育てる。

11月	【みんなが使うみんなのもの】 21. きいろい ベンチ	C：規則の尊重	約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にしようとする態度を育てる。
	【自分のよさ】 22. ありがとう、りょうたさん	A：個性の伸長	自分の特徴に気づいて、よいところを大切にしようとする心情を育てる。
	【温かい心で】 23. 学きゆうえんの さつまいも	B：親切、思いやり	身近な人々に温かい心で接し、進んで親切にしようとする心情を育てる。
	【私たちのクラスのために】 24. 「三くみ 大すき」	C：よりよい学校生活、集団生活の充実	先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくしていこうとする態度を育てる。
12月	【気持ちのよい挨拶】 25. 「あいさつ」って いいな	B：礼儀	誰に対しても進んで気持ちのよい挨拶をしようとする態度を育てる。
	【みんなに公平に】 26. 大すきな フルーツポンチ	C：公正、公平、社会正義	自分の好き嫌いにとらわれないで人に接しようとする判断力を育てる。
1月	【生きていること】 27. ぼく	D：生命の尊さ	生きていることの素晴らしさを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。
	【明るい心で】 28. さるへいと 立てふだ	A：正直、誠実	うそをついたり、ごまかしをしたりしないで、明るい心で生活をしようとする判断力を育てる。
	【心の美しさ】 29. 七つの ほし	D：感動、畏敬の念	美しいものに触れ、すがすがしい心を持つようとする心情を育てる。
2月	【温かい心で】 30. ぐみの木と 小とり	B：親切、思いやり	身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。
	【やるべきことをしっかりと】 31. ぼくは「のび太」でした ——藤子・F・不二雄	A：希望と勇氣、努力と強い意志	自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする態度を育てる。
	【ものを大切に】 32. もったいないの ズボン	A：節度、節制	周囲に対する気配りと思いやりを持ち、わがままをしないでものを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
	【命のつながり】 33. ゆきひょうの ライナ	D：生命の尊さ	生きることの素晴らしさを知り、生命を大切にしようとする態度を育てる。
3月	【みんなのために働く喜び】 34. いま、ぼくに できる こと	C：勤労、公共の精神	働くことのよさを知り、みんなのために働いて役立とうとする態度を育てる。
	【家族のためにできること】 35. まる子の かぞくへの しつもん	C：家族愛、家庭生活の充実	家族を敬愛し、進んで家族のために役立とうとする心情を育てる。

3学年 道徳年間計画

月	【主題名】 教材名	内容項目	ねらい
4 月	【心を形に】 1. あいさつをすると	B：礼儀	挨拶や言葉遣いなどの礼儀の大切さに気づき、誰に対しても真心を持って礼儀正しく接しようとする態度を育てる。
	【命の不思議】 2. ヌチヌグスージ(いのちのまつり)	D：生命の尊さ	生命は過去からつながっていることを知り、生命を大切にしている心情を育てる。
	【この町の素敵】 3. ふっかちゃん町の町じまん	C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する態度を育てる。
5 月	【自然の中の生き物】 4. ツバメの赤ちゃん	D：自然愛護	自然の大切さに気づき、動植物を大切にしていこうとする態度を育てる。
	【気持ちのよい生活】 5. ゆうすけの朝	A：節度、節制	規則正しい生活をしようとする心情を育てる。
	【正直な心】 6. めれた本 —リンカーン	A：正直、誠実	正直に真心を持って行動し、明るく生活しようとする心情を育てる。
6 月	【私たちの学校】 7. みんなの学校なのに	C：よりよい学校生活、集団生活の充実	学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくろうとする態度を育てる。
	【友達と通い合う心】 8. いいち、にいっ、いいち、にいっ	B：友情、信頼	友達と互いに理解し、助け合っていこうとする態度を育てる。
	【正しいと思ったら】 9. SL公園で	A：善悪の判断、自律、自由と責任	正しいと判断したことは、自信を持って行おうとする態度を育てる。
	【思いやりの心】 10. 一さつのおくりもの	B：親切、思いやり	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。
7 月	【そんなきまりがあったとは】 11. 作ひんのかち	C：規則の尊重	約束やきまりの意義を理解し、進んで守ろうとする心情を育てる。
	【みんなのために働く】 12. ごみステーション	C：勤労、公共の精神	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする態度を育てる。
9 月	【支えられている命】 13. いただいたいのち	D：生命の尊さ	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする態度を育てる。
	【自分でできることは自分で】 14. こうすけならだじょうぶ	A：節度、節制	自分でできることは、自分でやろうとする態度を育てる。
	【きまりを守る】 15. きまりじゃないか	C：規則の尊重	きまりを守ることの意義を理解し、きまりを守ろうとする心情を育てる。
	【身近な自然や動植物を思っ】 16. ホタルの引っこし	D：自然愛護	自然の大切さに気づき、進んで動植物を大切にしようとする態度を育てる。
10 月	【誰に対しても同じ態度で】 17. みさきさんのえがお	C：公正、公平、社会正義	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平に接しようとする態度を育てる。
	【何のために働くのか】 18. 教えて！ なんでもそうだん室	C：勤労、公共の精神	働くことの大切さを理解し、進んでみんなのために働こうとする態度を育てる。
	【お互いの思いをわかり合う】 19. かしたつもり×もらったつもり	B：相互理解、寛容	自分の考えを相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる考えを大切にしようとする態度を育てる。
	【頑張り続けると】 20. 一りん車にのれた	A：希望と勇気、努力と強い意志	自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり抜こうとする態度を育てる。

11月	【世界の国々】 21. 三つの国	C：国際理解、国際親善	ほかの国の人々や文化に親しみ、関心を持つようとする態度を育てる。
	【友達のよさ】 22. たまちゃん、大すき	B：友情、信頼	友達と互いに理解し合い、友達を大切にしようとする心情を育てる。
	【家族とともに】 23. 耳の間こえないお母さんへ	C：家族愛、家庭生活の充実	父母を敬い、家族の一員として家庭を明るく楽しくしていこうとする心情を育てる。
	【人を思いやる心】 24. 六べえじいとちよ	B：親切、思いやり	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする態度を育てる。
12月	【美しい、素晴らしいと感じる心】 25. 百羽のツル	D：感動、畏敬の念	仲間を思う心の気高さ、美しさに感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。
	【正しいと思ったことを】 26. よわむし太郎	A：善悪の判断、自律、自由と責任	正しいと判断したことは、自信を持って行おうとする心情を育てる。
1月	【親切の広がり】 27. やさしい人大さくせん	B：親切、思いやり	困っている人の気持ちを考え、優しい思いやりの心で接しようとする態度を育てる。
	【自分のよいところに目を向けて】 28. じゃがいもの歌	A：個性の伸長	自分の特徴を知り、長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。
	【よい友達に】 29. なかよしだから	B：友情、信頼	友達のことをよく考えて、友達を大切にしようとする態度を育てる。
2月	【家族の支え】 30. ぼくのおばあちゃん	C：家族愛、家庭生活の充実	家族を敬い、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくらうとする態度を育てる。
	【美しい心】 31. しあわせの王子	D：感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心情を育てる。
	【残したいもの、伝えたいもの】 32. そびえ立つ、伊予松山城	C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心情を育てる。
	【受け継がれる命】 33. おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね	D：生命の尊さ	生命の尊さを知り、生命を大切にしようとする態度を育てる。
3月	【ありがとうの気持ち】 34. 大通りのサクラなみ木	B：感謝	家族など生活を支えてくれている人々や、現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちを持って接しようとする態度を育てる。
	【チャレンジの道のり】 35. 「あんぱんの日」 —— 木村安兵衛・英三郎	A：希望と勇気、努力と強い意志	自分でやろうと決めた目標に向かって、強い心を持ち、粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。

4学年 道徳年間計画

月	【主題名】 教材名	内容項目	ねらい
4月	【相手に寄り添う心】 1. なにかお手ついでできることはありますか？	B：親切、思いやり	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。
	【自然や動植物とともに】 2. また来年も待ってるよ	D：自然愛護	自然や動植物が持つ力強さや素晴らしさを感じ、それらを大切にしようとする態度を育てる。
	【自分がやり抜くとき】 3. やったぞ！ 漢字テスト	A：希望と勇気、努力と強い意志	自分で決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強く努力しようとする態度を育てる。
5月	【自分でよく考えて】 4. どんどん橋のできごと	A：節度、節制	よく考えて行動し、安全に気をつけ、節度のある生活をしようとする態度を育てる。
	【わかり合うために】 5. 合い言葉は「話せばわかる！」	B：相互理解、寛容	相手と互いに理解し合って、自分と違う意見も大切にできる態度を育てる。
	【正直って、誰のため】 6. ひびが入った水そう	A：正直、誠実	過ちは素直に認め、明るい心で元よく過ごそうとする心情を育てる。
6月	【命は体の内側から】 7. がんばれ、ぼくのからだ！	D：生命の尊さ	体の仕組みを知ることを通して、生命の尊さに気づき、生命を大切にし、与えられた生命を一生懸命に生きようとする心情を育てる。
	【判断したことは自信を持って】 8. いっしょになって、わらっちゃだめだ	A：善悪の判断、自律、自由と責任	正しいと判断したことは、自信を持って行おうとする態度を育てる。
	【公平な態度】 9. となりのせき	C：公正、公平、社会正義	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平に接しようとする態度を育てる。
	【働くときの思い】 10. 「もっこ」をせおって	C：勤労、公共の精神	働くことのよさに気づき、進んで人のために働こうとする態度を育てる。
7月	【友情を深めるために】 11. いっしょに遊ばない	B：友情、信頼	友達と互いに理解し、信頼し、助け合って友情を深めていこうとする心情を育てる。
	【日本に古くから伝わるよいところ】 12. ふろしき	C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	我が国に伝わる伝統や文化のよさを知り、それらを大切にしていこうとする心情を育てる。
9月	【命があるということ】 13. わたしの見つけた小さな幸せ	D：生命の尊さ	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする態度を育てる。
	【感謝の心】 14. 日ごろの気持ちをつたえよう	B：感謝	生活を支えてくれる人々を尊敬し、感謝する心情を育てる。
	【美しいもの、気高いもの】 15. 一びきのセミに「ありがとう」	D：感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心情を育てる。
	【自分で考え、決めたこと】 16. 目ざまし時計	A：節度、節制	自分で考えて、度を過ぎることなく規則正しい生活をしようとする実践意欲と態度を育てる。
10月	【家族の一員として】 17. お母さんのせいきゆう書	C：家族愛、家庭生活の充実	家族の一員として、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする態度を育てる。
	【社会のきまり】 18. 日曜日のパーベキュー	C：規則の尊重	約束や社会のきまりの意義を考え、守っていこうとする態度を育てる。
	【自然とともに生きる】 19. 「ふれあいの森」で	D：自然愛護	自然の不思議さを感じ取り、自然やそこにすむ動植物を大切にしようとする態度を育てる。
	【正しいと思うことは】 20. ドッジボール	A：善悪の判断、自律、自由と責任	正しいと思うことは、自信を持って行おうとする態度を育てる。

11 月	〔ぼくたち、私たちの町〕 21. ふるさとを守った大イチョウ	C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	地域のよさを考え、郷土を大切にしようとする態度を育てる。
	〔楽しい学校生活〕 22. 秋空にひびくファンファーレ	C：よりよい学校生活、集団生活の充実	自分の学校のよさに気づき、協力し合って明るく楽しい学校をつくらうとする態度を育てる。
	〔心を通わせ、助け合う友達〕 23. ぼくらだってオーケストラ	B：友情、信頼	友達と互いに理解し信頼し合いながら、助け合おうとする心情を育てる。
	〔心を伝える言葉〕 24. 「ありがとう」の言葉	B：礼儀	礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心を持って接しようとする態度を育てる。
12 月	〔働くよさ〕 25. 点字メニューにちょうせん	C：勤労、公共の精神	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする態度を育てる。
	〔正直な心〕 26. ふくびき	A：正直、誠実	正直な心を大切にして、明るくのびのびと生活する態度を育てる。
1 月	〔自分のよさ〕 27. うめのき村の四人兄弟	A：個性の伸長	自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする心情を育てる。
	〔家族に協力〕 28. 小さなお父さん	C：家族愛、家庭生活の充実	家族の一員としての自覚を持ち、家族みんなと協力し合って楽しい家庭をつくらうとする心情を育てる。
	〔つながる命〕 29. バルバオの木	D：生命の尊さ	受け継がれる生命のたくましさや素晴らしさを知り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。
2 月	〔約束やきまりを守る〕 30. 雨のバスでいりゆう所で	C：規則の尊重	約束やきまりの意義を理解し、これらを守ろうとする態度を育てる。
	〔美しい心〕 31. 花さき山	D：感動、畏敬の念	人の心の美しさや気高さに感動し、それらを大切にしようとする心情を育てる。
	〔友達のために〕 32. 大きな絵はがき	B：友情、信頼	友達と互いに信頼し合い、助言し合いながら、友情を深めていこうとする態度を育てる。
	〔ほかの国の人々や文化〕 33. 世界の小学生	C：国際理解、国際親善	ほかの国の人々や文化に関心を持ち、親しもうとする心情を育てる。
3 月	〔思いやりの心〕 34. ポロといっしょ	B：親切、思いやり	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。
	〔決めた目標に向かって〕 35. 花丸手帳とともに ――池江璃花子選手のちょうせん	A：希望と勇気、努力と強い意志	自分で決めた目標の実現を目指して、強い心を持ち、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。

5学年 道徳年間計画

月	【主題名】 教材名	内容項目	ねらい
4 月	【友情のあり方】 1. 泣いた赤鬼	B：友情、信頼	友達どうしの相互の信頼のもとに、人格を尊重し合いよりよい人間関係を築いていこうとする心情を育てる。
	【自分に正直に】 2. 見えた答案	A：正直、誠実	正直な心で、明るく誠実に行動しようとする態度を育てる。
	【働くために大切なこと】 3. お父さんは救急救命士	C：勤労、公共の精神	働くことの大切さを知り、公共のために役立とうとする心情を育てる。
5 月	【安全に過ごすために】 4. 「ヒヤリ・ハット」	A：節度、節制	自分の生活を見直し、危険から身を守り、自分だけでなく周囲の人々の安全にも気をつけようとする判断力を育てる。
	【自由と責任】 5. 遠足の子どもたち	A：善悪の判断、自律、自由と責任	自由を大切にし、自律的で責任のある行動をしようとする態度を育てる。
	【夢の実現に向けて】 6. ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ	A：希望と勇氣、努力と強い意志	夢や目標に向かって、困難があってもあきらめずに努力しようとする心情を育てる。
6 月	【身近にあるいじめ】 7. どうすればいいんだ	C：公正、公平、社会正義	誰に対しても差別をしたり偏見を持ったりすることなく、公正、公平にし、正義の実現に努めようとする態度を育てる。
	【友情を深める】 8. 心のレシーブ	B：友情、信頼	友達と互いに理解し合い、よさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を育てる。
	【きまりを守る心】 9. 駅前広場は自転車置き場？	C：規則の尊重	社会の一員としての自覚を持って、進んできまりや約束を守って行動しようとする態度を育てる。
	【生きているからこそ】 10. クマのあたりまえ	D：生命の尊さ	生きていることの素晴らしさや喜びを感じ、かけがえのない生命を尊重し大切にしようとする心情を育てる。
7 月	【責任ある行動とは】 11. 共有しちやえ！	A：善悪の判断、自律、自由と責任	自由を大切にし、自律的で責任のある行動をしようとする心情を育てる。
	【自然環境を大切に】 12. イルカの海を守ろう	D：自然愛護	自然の素晴らしさを知り、自然環境を大切にしようとする態度を育てる。
9 月	【支え合う命】 13. お母さんへの手紙	D：生命の尊さ	生命のかけがえのなさを自覚するとともに、人間の誕生の喜びや死の重さについて知り、よりよく生きようとする心情を育てる。
	【自分の役割を果たす】 14. かれてしまったヒマワリ	C：よりよい学校生活、集団生活の充実	集団の中での自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする態度を育てる。
	【生活を見直す】 15. 流行おくれ	A：節度、節制	自分の生活を見直し、ものを大切にすることのよさに気づいて、節度のある生活をしようとする心情を育てる。
	【自然を守る】 16. 一ふみ十年	D：自然愛護	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。
10 月	【挨拶をすると】 17. オーストラリアで学んだこと	B：礼儀	相手の立場や気持ちを考えて、礼儀正しく心のこもった接し方をしようとする態度を育てる。
	【家族の幸せのために】 18. 卵焼き	C：家族愛、家庭生活の充実	家族の幸せをを考えて、進んで役立とうとする心情を育てる。
	【世界の人々のために】 19. 「折り紙大使」——加瀬三郎	C：国際理解、国際親善	日本人としての自覚を持って、国際親善に努めようとする心情を育てる。
	【伝統や文化を受け継いで】 20. 親から子へ、そして孫へと	C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	郷土に伝わる伝統と文化を愛し、受け継いでいこうとする態度を育てる。

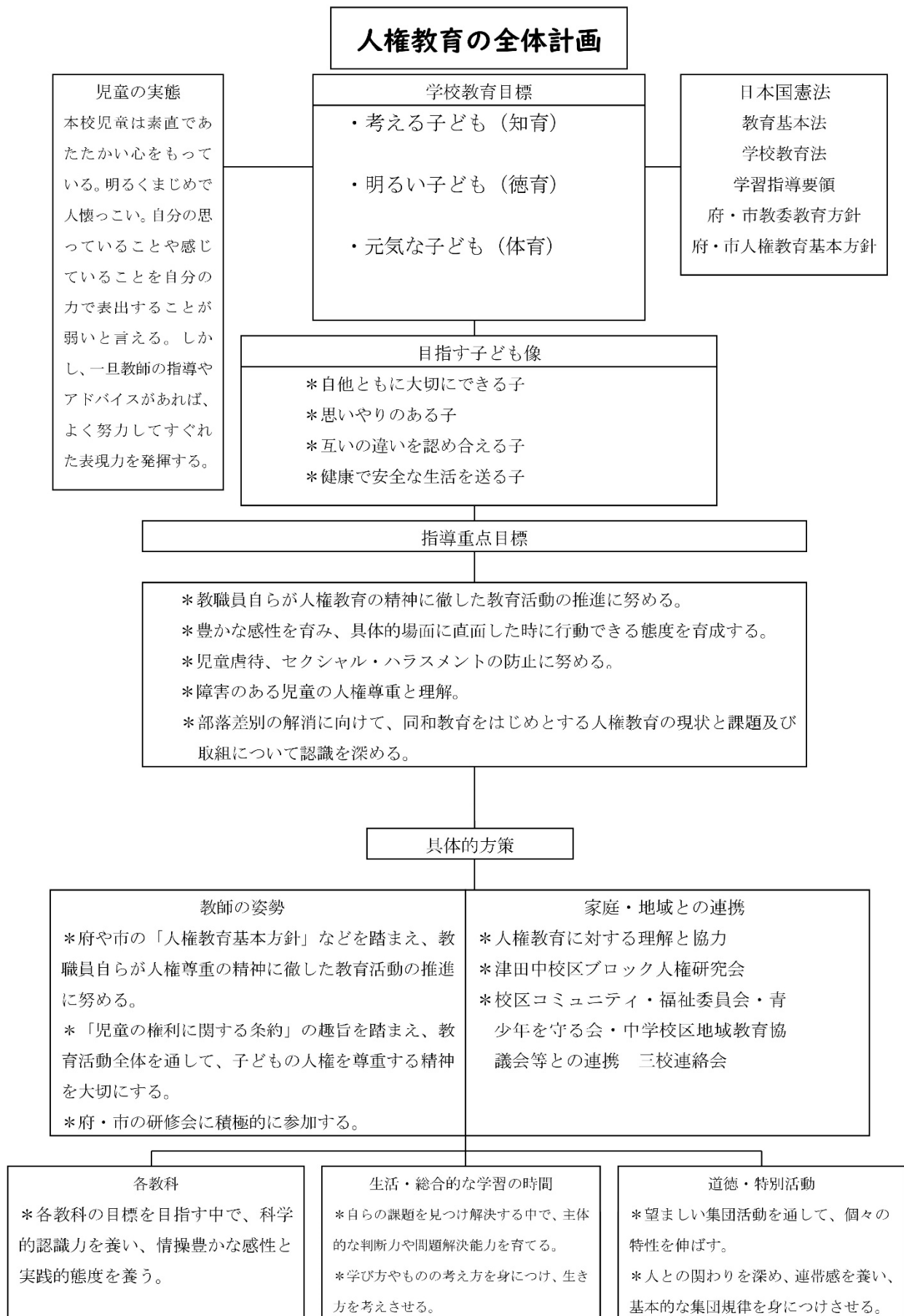
11月	【希望を持って】 21. ベートーベン	A：希望と勇気、 努力と強い意志	困難があってもくじけず、希望を持って、自分の夢や目標を実現しようとする意欲を育てる。
	【権利の主張】 22. 遊園地のできごとから	C：規則の尊重	権利や義務の観点から自分や相手の行動などについて考えを深め、互いの権利を尊重していこうとする心情を育てる。
	【わかり合うために】 23. ブランコ乗りとピエロ	B：相互理解、 寛容	自分と異なる意見や立場を尊重し、広い心で人と接しようとする態度を育てる。
	【よりよく生きる】 24. そういうものにわたしは なりたい ——宮沢賢治	D：よりよく生 きる喜び	よりよく生きようとする人間の強さや気高さに触れ、よりよく生きていこうとする心情を育てる。
12月	【あなたのことを考えて】 25. 最後のおくり物	B：親切、思い やり	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする態度を育てる。
	【日本の伝統と文化】 26. 正月料理	C：伝統と文化 の尊重、国や郷 土を愛する態度	日本の伝統と文化のよいところに気づき、伝統と文化を育んできた日本と日本人の心を愛する心情を育てる。
1月	【多くの人に支えられて】 27. 「ありがとう上手」に	B：感謝	日々の生活が、多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに気づき、感謝の心で応えようとする心情を育てる。
	【親切な心で】 28. くずれ落ちたダンボール箱	B：親切、思い やり	思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする態度を育てる。
	【自分らしく生きる】 29. 感動したこと、それがぼくの 作品 ——パブロ・ピカソ	A：個性の伸長	自分の特徴を知り、短所を改め長所を伸ばそうとする態度を育てる。
2月	【真理を求めて】 30. 天から送られた手紙	A：真理の探究	真理を大切にし、真理を探究しようとする心情を育てる。
	【世界の人々と繋がって】 31. ペルーは泣いている	C：国際理解、 国際親善	他国の文化や人々について理解し、日本人としての自覚を持って国際親善に努めようとする心情を育てる。
	【かけがえない命】 32. コースチャぼうやを救え	D：生命の尊さ	生命が支え合いの中で存在するかけがえないものであることを理解し、生命を尊重し大切にしようとする心情を育てる。
	【社会への奉仕】 33. わたしのボランティア体験	C：勤労、公共 の精神	社会に奉仕する喜びを知り、その意義を理解し、公共のために役立とうとする態度を育てる。
3月	【人間の力を超えるもの】 34. 一本松は語った	D：感動、畏敬 の念	人間の力を超えたものに対する畏敬の念を持つようとする心情を育てる。
	【自分の役割の自覚】 35. バトンをつなげ	C：よりよい学 校生活、集団生 活の充実	学校に愛情を持ち、学校の一員としての自覚を持って、みんなで協力し合っってよりよい学校をつくっていこうとする心情を育てる。

6学年 道徳年間計画

月	【主題名】 教材名	内容項目	ねらい
4月	【礼儀は心の表れ】 1. 心を形に	B：礼儀	礼儀は心の様子を表すことを知り、心のこもった礼儀を大切に、時と場に応じ礼儀にかなった生活をしようとする心情を育てる。
	【自分の生活を見直す】 2. お母さん、お願いね	A：節度、節制	自立を意識して自分の生活を見直し、節度を守り、節制を心がける態度を育てる。
	【心のぬくもり】 3. 心に通じた「どうぞ」のひとつ	B：親切、思いやり	相手の立場に立って思いやりの心を持ち、親切にしようとする心情を育てる。
5月	【安全への備え】 4. 天災は、わすれていなくてもやってくる	A：節度、節制	自分の生活を見直し、災害から身を守り、節度ある生活をしようとする態度を育てる。
	【地域のよさを守る】 5. 世界遺産 白神山地	C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	郷土の伝統や文化を育てた先人の努力を知り、郷土のよさを大切に、郷土を愛する心情を育てる。
	【国際親善】 6. エンザロ村のかまど	C：国際理解、国際親善	日本人としての自覚や誇りを持ち、進んで他国の人々とつながり、国際親善に努めようとする態度を育てる。
6月	【法律やきまり】 7. 「法律」ってなんだろう	C：規則の尊重	法やきまりの意義を理解したうえで進んでそれらを守ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	【友達との間で】 8. ばかじゃん！	B：友情、信頼	友達と信頼し合って、友情を深めていこうとする態度を育てる。
	【かけがえのない命のために】 9. ある犬のおはなし	D：生命の尊さ	生命ある全てのものをかけがえのないものとして、生命を大切にしようとする心情を育てる。
	【自信を持って自分らしく】 10. 雨上がりの日のこと	A：個性の伸長	自分の特徴を知り、短所を改め長所を伸ばそうとする態度を育てる。
7月	【社会正義とは】 11. あなたはどう考える？	C：公正、公平、社会正義	誰に対しても差別したり偏見を持ったりせずに、公正、公平な態度で接し、社会正義の実現に努めようとする心情を育てる。
	【感謝の心】 12. 土石流の中で救われた命	B：感謝	私たちの生活が、互いの助け合いや協力によって成り立っていることを理解し、感謝する心情を育てる。
9月	【限りある命の中で】 13. たった一つの命だから	D：生命の尊さ	命の大切さを自覚し、限りある命の中でよりよく生きようとする心情を育てる。
	【自然への関心】 14. タマゾン川	D：自然愛護	自然環境に関わる問題について理解し、自ら自然環境を大切にしていこうとする態度を育てる。
	【なりたい自分に】 15. 心をつなぐ音色 ——ピアニスト 辻井伸行	A：希望と勇氣、努力と強い意志	目標を立て、なりたい自分に向けて、あきらめずに努力しようとする心情を育てる。
	【世界の人々とともに】 16. ともにくらすわたしたち	C：国際理解、国際親善	世界の諸問題に目を向け、進んで他国の人々とつながり、国際親善に努めようとする態度を養う。
10月	【自由と責任】 17. 修学旅行の夜	A：善悪の判断、自律、自由と責任	自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重した責任ある行動が取れるよう、自律的に判断する力を育てる。
	【奉仕する心】 18. うちら「ネコの手」ボランティア	C：勤労、公共の精神	働くことや社会に奉仕することの意義を知り、進んで人のためになる仕事をしようとする心情を育てる。
	【相手の立場に立って】 19. みんないっしょだよ ——黒柳徹子	B：親切、思いやり	誰に対しても思いやりの心を持ち、親切にしようとする態度を育てる。
	【地球を守る】 20. 愛華さんからのメッセージ	D：自然愛護	自然環境を大切に、持続可能な社会の実現に努めようとする態度を育てる。

11月	〔家族と心を通わせて〕 21. ぼくの名前呼んで	C：家族愛、家庭生活の充実	家族を敬愛し、家族と心を通わせて、温かい家庭を築こうとする態度を育てる。
	〔私たちの学校〕 22. せんばいの心を受けついで	C：よりよい学校生活、集団生活の充実	最上級生としての役割を自覚し、学校に愛着を持ち、進んでよりよい学校をつくらうとする態度を育てる。
	〔権利と義務〕 23. ピアノの音が……	C：規則の尊重	権利と義務について考え、自他の権利を大切にするとともに、自らの義務を果たそうとする態度を育てる。
	〔誠実とは〕 24. 手品師	A：正直、誠実	どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。
12月	〔大いなるもの〕 25. 夜空 ——光の旅	D：感動、畏敬の念	人間の力を超えた大いなるものに気づき、感動する豊かな心情を育てる。
	〔国を思う心〕 26. 新しい日本に ——龍馬の心	C：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	先人の努力を知り、日本人として大切なことを考え、国を愛そうとする態度を育てる。
1月	〔友情を深める〕 27. 言葉のおくりもの	B：友情、信頼	性別にこだわらず、互いに信頼し合って友情を深め、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。
	〔人の過ちに対して〕 28. 銀のしょく台	B：相互理解、寛容	謙虚な心で相手の立場を考え、広い心で相手を尊重しようとする心情を育てる。
	〔新しいものを生み出す力〕 29. まんがに命を ——手塚治虫 日本のテレビアニメの生みの親	A：真理の探究	進んで新しいものを求め、工夫してよりよい生活をつくり上げようとする態度を育てる。
2月	〔気高い心〕 30. 青の洞門	D：感動、畏敬の念	崇高なものに感動する心や、人間の力を超えた出来事に対する畏敬の念を大切にしようとする心情を育てる。
	〔人間の強さや気高さ〕 31. さばくを緑の農地に ——中村哲医師	D：よりよく生きる喜び	人間には困難を克服する強さや気高さがあることを理解し、人間として生きる喜びを感じて、よりよく生きようとする心情を育てる。
	〔社会や公共のために役立つ〕 32. 「あきらめない」を手助けしたい ——義肢装具士 臼井二美男	C：勤労、公共の精神	働くことの意義を理解し、社会のために役立とうとする態度を育てる。
	〔人命を守るために〕 33. 東京大空襲の中で	D：生命の尊さ	生命のかけがえのなさを理解して、自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。
3月	〔自分の役割〕 34. 小さな連絡船「ひまわり」	C：よりよい学校生活、集団生活の充実	自分が所属する集団の中での役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする心情を育てる。
	〔努力がもたらすもの〕 35. 夢	A：希望と勇気、努力と強い意志	より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとする態度を育てる。

(4) 人権教育



2年生 人権教育年間計画

月	実施計画	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関
4	外国の歌、遊び	いろいろな国の歌や遊びを知る	いろいろな文化があることを知る	音楽
5	学校探検	1年生を案内して学校を探検する	2年生の自覚を持たせ思いやりの心を育てる	生活
6	「げんきにそだて、ミニトマト」	ミニトマト等の野菜を育てる。	野菜を大事に栽培し、自然愛護の心を育てる	道徳、生活
7	「たんじょう日」	道徳の本を使った授業	自分の命を大切にしようとする心情を育てる	道徳
8・9	手や指で話そう	手話を付けて歌う	誰でもみんな友達になれるようにする	音楽
10	折り鶴づくり	6年生と一緒に千羽鶴をおる	平和の大切さを知る	道徳
11	給食交流会	高学年と一緒に給食を食べる	他学年とも仲よく過ごす	特活
12	「三くみ大すき」	道徳の本を使った授業	係活動を通して、よりよい学校生活の過ごし方を考える	道徳
1	「いま、ぼくにできること」	道徳の本を使った授業	災害に関わり活動する人々の思いを知り、みんなのために働こうとする態度を育てる	道徳
2	これまでのわたし これからのわたし	自分の成長について身近な人に聞く	これまで自分の成長を支えてくれた人々に感謝する	生活
3	6年生を送る会	送る会に向けて	6年生の卒業を祝い、感謝の気持ちを表す	特活

3年生 人権教育年間計画

月	実施計画	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関
4	ツバメの赤ちゃん	道徳教材を活用した授業	自然の大切さに気づき、進んで動植物を大切にしていこうとする態度を育てる	道徳・理科
5	わたしたちの町	学校のまわりをたんけんして町を見つめ、よりよい町づくりを考える	自分たちの町を見つめよりよい町を作ろうとする意欲や態度を養う	社会
6	手紙を書こう	暑中見舞いを出す	相手を思いやる気持ちを育む	総合
7	ごみステーション	道徳教材を活用した授業	働くことの大切さを知り、自ら進んでみんなのために働こうとする態度を育てる	道徳
8・9	きまりじゃないか	道徳教材を活用した授業	新学期を迎えて改めてルールについてその大切さを知る	道徳
10	折り鶴づくり	6年生と一緒に千羽鶴の鶴を折る	平和の大切さを知る	総合
11	地域で働く人々	いろいろな場所で働く人々の様子を知る	自分たちのくらしは、たくさんの人々に支えられていることを知る	社会
12	しあわせの王子	道徳教材を活用した授業	畏敬の念を育てる	道徳
1	外国のことをしようかいしよう	国語教材を活用した授業	外国のことを紹介することで、国際理解を深める。	国語
2	昔の道具調べ	昔の道具を調べる	道具を発展させてきた先人の知恵を学ぶ	総合
3	これからもかがやく自分に！	道徳教材を活用した授業	3年生のふりかえりと4年生への目標を持つ	道徳

4年生 人権教育年間計画

月	実施計画	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関
4	なにかおてつだいできることはありますか？	親切、思いやり	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。	道徳
5	合い言葉は「話せば分かる！」	相互理解、寛容	相手とお互いに理解し合って、自分と違う意見も大切にする態度を育てる。	道徳
6	ゴミ処理のしごと	ゴミ処理の仕事について知っていることを話し合う	ゴミはたくさんの人の手で処理されていることを知り、感謝の気持ちを育てる。	社会
7	一匹のセミに「ありがとう」	感動、畏敬の念	自然の神秘や美しさに素直に感動する心情を育てる。	道徳
8・9	ぼくらだってオーケストラ	友情、信頼	友達と互いに理解し励まし合いながら、助け合おうとする心情を養う。	道徳
10	白杖・車いす体験 バリアフリー	福祉	白杖・車いす体験を通して、障がい者理解を深める	総合
11	点字を学ぼう	点字作成機で簡単な文章を書く	点字の必要性を知る。	総合
12	お母さんのせいきゅう書	家族愛、家庭生活の充実	家族の一員として、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくらうとする態度を育てる。	道徳
1	わたしたちの県のまちづくり	社会の教科書から	日本には工業や産業の面で外国と深いつながりがあることを知る	社会
2	世界の小学生	国際理解、国際親善	自国の文化と比べながら、他国の人々や文化に関心を持ち、親しもうとする心情を育てる。	道徳
3	国際交流がさかんなまちづくり	社会の教科書から意見を出し合う	世界に視野を向ける。	社会

5年生 人権教育年間計画

月	実施計画	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関
4	奉仕する喜び	道徳の教科書を読み、話し合う	勤労・社会奉仕の心を育てる	道徳
5	宿泊学習の取り組み	宿泊学習にむけて	宿泊学習を通して、仲間との関わり方を学び、お互いの考えや思いやりの心を育てる	総合
6	宿泊学習の取り組み	宿泊学習にむけて	宿泊学習を通して、仲間との関わり方を学び、お互いの考えや思いやりの心を育てる。	総合
7	アジアの音楽に親しむ	アジアの音楽を鑑賞する	アジアの国々に関心を持つ	音楽
8・9	伝統文化に親しむ	南中ソーラン	南中ソーランを通し、日本の伝統の民舞を知る	総合、体育
10	自然を守る	道徳の教科書を読み、話し合う	自然愛・環境保全について考える	道徳
11	相手の立場に立って親切に	道徳の教科書を使って話し合う	思いやり、親切の心を育てる	道徳
12	私たちの生活と情報	自分たちでニュースを作る メールの送受信をクラス内でする	情報を正しく活用する能力をつける	社会
1	自分や相手の安全を考えて	道徳の教科書を使って話し合う	自他の安全に気を付けて、自律的で責任のある行動を心がける意欲を育てる	道徳
2	情報モラル	情報リーフレットを使って話し合う	情報を正しく活用する能力をつける	総合
3	卒業式の取り組み	卒業式に向けて 入学式に向けて	学校代表として式に参加するという意識や態度を養う 最高学年になるという自覚をもつ	総合

6年生 人権教育年間計画

月	実施計画	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
4	クラスの仲間作り	クラスのルールや友達作り	新しいクラスをみんなでよくしていこうという心構えを持たせる	特活
5	憲法の学習	日本国憲法の趣旨を知る	平和の大切さを知る	社会
6	お互いのことをおもしろく考える	よりよい仲間作りのための話し合い	お互いの考えや思いやる心を育てる	特活
7	「愛華さんからのメッセージ」	自然や生命の大切さ	自然や生命を大切にする心を育てる	道徳
8・9	修学旅行の取り組み	歴史学習 修学旅行にむけて	平和学習と仲間	総合・社会
10	思い出に残る運動会 海の命	リレー・組体操・表現運動 物語を読んで	リレー・組体操を通し、信頼関係を築く 人物の関係をと心情の変化を捉える。	体育・道徳 国語
11	修学旅行の取り組み	歴史学習 修学旅行にむけて	平和学習と仲間	総合・社会
12	修学旅行の取り組み	歴史学習 修学旅行にむけて	平和学習と仲間	総合・社会
1	キャリア教育	将来に向けて	現状把握をし、将来のために計画を立てる	総合
2	世界の中の日本	日本と結びつきが深い国について知る	自分達の生活が世界の多くの国との結びつきの中で成り立っていることに目を向ける	社会
3	卒業式の取り組み	卒業式に向けて	六年間をふり返る	総合

1年1学期

月	週	実施内容(題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
4月	1週				
	2週	今日から1年生 (1)ーウ	学校の様子を知り、楽しく小学校生活が送れるように話をする。	学校に入学したことの喜びを感じさせる。	対面式 生活
	3週	楽しい給食 (2)ーエ	給食当番の仕方を覚える。	みんなと一緒に楽しく給食を食べようとする気持ちを持たせる。	生活
	4週	学校のきまり (1)ーウ	学校には、どんなきまりがあるかを知る。	学校のきまりを知らせ、きまりを守ろうとする意識を持たせる。	
5月	1週	学級の約束 (1)ーア	学級での約束を決める。	学級での約束をみんなで守り、諸問題を解決する。	
	2週	そうじ当番の仕事 (3)ーイ	そうじ当番の仕事を知る。	クラスの一員として仕事をしようとする意識を持たせる。	
	3週	係を決めよう (3)ーイ	それぞれの係の役割について話し合う。	係活動がんばろうとする意欲を持たせる。	
	4週	雨の日の過ごし方 (2)ーウ	雨の日は、室内でどのように過ごせばよいかを話し合う。	雨の日、室内で安全に過ごせるようにする。	
6月	1週	楽しい遠足 (2)ーイ	遠足についての話を聞き、集団行動のきまりや交通ルールについて考える。	楽しい遠足になるよう、約束やルールに確認をさせ、協力して行動させる。	遠足
	2週	本を読もう (3)ーウ	図書室の利用の仕方を知らせ、読書のおもしろさを知る。	休み時間にも一人で図書室を利用できるようにする。	国語
	3週	食を学ぶ (2)ーエ	調理場を見学する	調理場見学を通して、食について学ぶ。	食育
	4週	安全にすごす (2)ーウ	学校内でどのようなことに気を付けて安全にすごすかを知らせる。	学校内で安全に過ごせるようにする。	
7月	1週	はじめての夏休み (2)ーア	夏休みのことについて話し合う。	規則正しく生活し、安全な楽しい夏休みになるようにする。	
	2週	みんな仲良く (2)ーイ	男の子も女の子も仲良く助け合って生活する。	男女仲良く協力し助け合う。	
	3週	1学期を振り返ろう (3)ーア	1学期はどうだったか、学習面・生活面を振り返る。	1学期を振り返り、次の目標を持たせる。	
	4週				

1年 2学期

月		実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
8月	4週	夏休みの思い出 (2) -イ	夏休みの思い出やがんばったことなどを交流し合う。	友達のがんばりにふれたり、話を聞いたりする中で、友達理解を深めさせる。	生活
9月	1週	夏休みの思い出 (2) -イ	夏休みの思い出やがんばったことなどを交流し合う。	友達のがんばりにふれたり、話を聞いたりする中で、友達理解を深めさせる。	生活
	2週	2学期のめあて (3) -ア	2学期のクラスや自分の目標を考える。	目標に向かってがんばろうとする意欲を持たせる。	道徳
	3週	係を決めよう (1) -イ	それぞれの係の役割について話し合う。	係活動がんばろうとする意欲を持たせる。	
	4週	みんな仲良く (2) -イ	男の子も女の子も仲良く助け合って生活する。	男女仲良く協力し助け合う。	道徳
10月	1週	がんばろう運動会 (3) -ア	一人一人が目標をもって運動会に参加できるように話し合う。	自分の目標に向かってがんばることができるように意欲を持たせる。	運動会
	2週	がんばろう運動会 (3) -ア	一人一人が目標をもって運動会に参加できるように話し合う。	自分の目標に向かってがんばることができるように意欲を持たせる。	運動会
	3週	がんばろう運動会 (3) -ア	一人一人が目標をもって運動会に参加できるように話し合う。	自分の目標に向かってがんばることができるように意欲を持たせる。	運動会
	4週	楽しい遠足 (2) -イ	遠足についての話を聞き、集団行動のきまりや交通ルールについて考える。	楽しい遠足になるよう、約束やルールの確認をさせる。	遠足
11月	1週	きれいに掃除をしよう (3) -イ	これまでの掃除の仕方を振り返る。	掃除の仕方を考え、より美しくできるようにする。	
	2週	約束を守ろう (2) -イ	約束を守って、仲よく遊ぶ。	ルールを守り、仲よく遊べるようにする。	
	3週	学校のきまりは守れているかな (1) -ア	学校のきまりは守れているのか振り返り、きまりを確認する。	入学して半年が経ち、学校のきまりを守れているのか振り返り、きまりを確認させ、問題を解決させる。	
	4週	給食交流会に向けて (2) -エ	高学年と一緒に給食を食べ交流を図る。	仲よく行儀よく食べ、食を楽しむ。	食育
12月	1週	2学期を振り返ろう (3) -ア	2学期はどうだったか、学習面・生活面を振り返る。	2学期を振り返り、次の目標を持たせる。	
	2週	初めての冬休み (2) -ア	冬休みのことについて話し合う。	規則正しく生活し、安全な楽しい冬休みになるようにする。	
	3週	カルタづくり (2) -イ	冬休みの生活からカルタを作る。	協力して、楽しくカルタづくりをする。	国語生活

1年3学期

月	週	実施内容(題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
1月	1週				
	2週	新年のめあて (3) -ア	今年目標を考える。	目標を持ち、がんばろうとする自覚を持たせる。楽しくカルタあそびができるよう、ルールを守ることができる。	生活
	3週	係を決めよう (1) -イ	それぞれの係の役割について話し合う。	係活動をがんばろうとする意欲を持つ。	
	4週	元気な体 (2) -ウ	外遊びの良さについて話し合う。	寒さに負けず、元気に体を動かそうとする子を育てる。	
2月	1週	みんなで遊ぼう (2) -イ	クラスみんなで仲良く遊ぶ。	みんなで一緒に遊び、仲間意識を高める。	
	2週	1年生の思い出アルバムを作ろう (2) -ア	1年間の出来事を振り返りながら、絵や作文を書く。	アルバムに、1年間の足跡を残すとともに、今後の自分を考える。	国語生活
	3週	発表会にとりくもう (2) -ア	発表の形で1年間の成長を見てもらう。	1年のまとめの発表をし、これからの自分を考える。	国語音楽
	4週	1年を振り返ろう (3) -ア	この1年間の自分をふりかえる。	1年間の自分の成長について考えさせる。	
3月	1週	6年生にありがとう (3) -ア	お世話になった6年生へ歌や呼びかけの準備をする。	6年生に対する感謝の気持ちを持たせる。	6年生を送る会音楽
	2週	みんなで大掃除 (1) -イ	役割分担をし、協力して教室をきれいにする。	教室をきれいに掃除しようとする意欲を持たせ、実行する。	大掃除
	3週	もうすぐ2年生 (3) -ア	2年生になることを自覚し、新1年生を迎える話を聞く。	2年生になることを自覚させる。	生活修了式
	4週				

2年1学期

月	週	実施内容（題材）	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
4月	1週				
	2週	1学期の目標を立てる。 (3) -ア	自分の頑張ることを紙に書いて教室に掲示する。	めあてをもって学校生活をおくるようにする。	
	3週	学級の役割分担 (1) -イ	係を決めて、クラスでの役割を持つ。	自分の仕事を果たせるようにさせる。	
	4週	1年生との学校探検の準備 1年生徒の学校探検 (2) -イ	特別教室の場所と役目を知る。 1. 2年生でグループを作り、学校を探検する。	上級生の自覚を持たせる。 1年生と仲良く学校を探検する。	生活
5月	1週	町たんけん準備 (2) -イ	町たんけんのグループを決める。 学年いっしょに行動 町たんけんのめあてを考える。	めあてを持って、協力して町たんけんに出られるようにする。	生活
	2週	町たんけん (2) -イ	校区内の公園を見つけて遊ぼう。	ルールを守り、協力することの大切さを知る。 校区を知る。	生活
	3週	楽しい遠足 (2) -イ	遠足についての話を聞き、集団行動のきまりについて考える。	楽しい遠足になるよう、約束やルールの確認をさせ、協力して行動させる。	生活 遠足
	4週	皮むきをしよう (2) -エ	校区でとれたえんどう豆の皮むき体験	校区でとれた給食用のえんどうの皮むきをし、食べ物に感謝する心を育てる。	食育
6月	1週	生活の仕方を考えよう (2) -ア	規則正しい生活ができているか発表し合う。	規則正しい生活習慣を身につける。	
	2週	仲間づくりゲーム (2) -ア	フルーツバスケットをして、楽しくゲームができるようにする。	ルールを守ってみんなでゲームができるようにする。	
	3週	雨の日の過ごし方 (2) -ウ	雨の日にはどんなことをして過ごせばいいか話し合う。	雨の日も、安全にけがをしないように過ごさせるようにする。	
	4週	食を学ぶ (2) -エ	委員会活動と連携し、食について学習する	紙芝居等の教材を使って、食について学ぶ。	
7月	1週	1学期を振り返る。 (3) -ア	振り返りシートに1学期がんばったこと、がんばれなかったことを書く。	夏休みの目標を持たせる。	
	2週	大掃除をしよう (3) -イ	大掃除の計画をたて、責任をもって掃除をする。	より美しく掃除ができるように計画をする。	大掃除
	3週	夏休みにむけて (2) -ア	夏休みのことについて話し合う	規則正しく生活できるように話し合う。	生活
	4週				

2年 2学期

月		実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
8月	4週	2学期の目標を立てる。 (3) -ア	自分の目標を見つける。	めあてをもって、生活をする。	
9月	1週	学級の役割分担 (1) -イ	クラスの係を決める。	自分の役割を果たせるようにする。	
	2週	運動会の目標を立てる。 (3) -ア	出場する競技や演技についての目標を立てる。	めあてをもって、運動会に臨ませる。	運動会
	3週	運動会への取り組み (1) -ウ	自分たちから進んで取り組んでいるか話し合う。	楽しく運動会に取り組めるようにする。	運動会
	4週	頑張ろう、運動会 (1) -ウ	力いっぱい、頑張る。	楽しく運動会に取り組めるようにする。	運動会
10月	1週	遊びのルール決め (1) -ア	みんなが楽しめる遊びを考え仲良くできるようにルールを決める。	ルールを守って楽しみ、問題を解決する。	
	2週	平和への願い (折鶴) (1) -ウ	折鶴を折ることにより、千羽鶴づくりに参加する。	千羽鶴を折り、平和への気持ちを持たせる。	
	3週	校外学習の準備 (2) -イ	クラスでグループを作り、班活動をする。	めあてを持って、協力して校外学習に行けるようにする。	遠足
	4週	学校のきまりは守られているか考える (3) -ア	学校のきまりが守られているか振り返り、きまりを確認する。	きまりを守ることの大切さを再確認する。	
11月	1週	元気な体 (2) -ウ	外遊びの良さについて話し合う。	寒さに負けず、元気に体を動かそうとする子を育てる。	
	2週	給食交流会に向けて (2) -エ	高学年と一緒に給食を食べ、交流を図る。	高学年と仲良く、行儀よく給食を楽しむ。	食育
	3週	本を読もう (3) -ウ	図書室の利用の仕方を確認し、読書のおもしろさを知る。	休み時間にも図書室を利用し、読書を楽しむ。	国語
	4週	学年交流会 (2) -イ	みんなで楽しんでゲームをする。	ルールを守り、楽しく取り組む。	
12月	1週	2学期を振り返ろう (3) -ア	振り返りシートに2学期がんばったこと、がんばれなかったことを書く。	振り返ってめあてを見つける。	
	2週	登校班について (1) -ア	登校のきまりをふりかえる。	登校班のきまりを守って登校できるようになる。	
	3週	冬休みにむけて (2) -ア	冬休みのことについて話し合う。	規則正しく生活できるように話し合う。	生活

2年3学期

月	週	実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
1月	1週				
	2週	3学期の目標を立てる。 (3) -ア	自分が頑張ることを見つける。	めあてを持って生活をする。	
	3週	学級の役割分担 (1) -イ	クラスの係を決める。	自分の役割を果たせるようにする。	
	4週	仲間づくり オペレッタに向けて (2) -イ	みんなが楽しむオペレッタに取り組む。	協力し合う大切さに気付かせる。	音楽
2月	1週	オペレッタに取り組む。 (2) -イ	みんなで合奏・合唱する喜びを味わう。	他のクラスの人たちを楽しませる気持ちを持つ。	音楽
	2週	仲間づくり (2) -イ	みんなが楽しめるゲームを考え、仲よくゲームをする。	ルールを守る態度を養う。	
	3週	6年生を送る会 (1) -ウ	6年生との思い出を振り返る。	6年生に対し、感謝の気持ちを持つ。	6年生を送る会 音楽
	4週	6年生を送る会の準備 (1) -ウ	6年生を送る会について、音楽・歌の練習。	意欲をもって練習に取り組む。	6年生を送る会 音楽
3月	1週	1年を振り返って (3) -ア	1年を振り返り自分の成長を確かめる。	3年生へめあてを持たせる。	
	2週	困ったことを話し合おう (1) -ア	みんなで困ったことを話し、解決策を考える。	問題を解決し、安心して3年生にむかえるようにする。	
	3週	お楽しみ会 (2) -イ	協力してお楽しみ会をする。	観る態度、全体のことを考える態度を養う。	
	4週				

3年1学期

月	週	実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
4月	1週				
	2週	3年生の抱負 (3) -ア	3年生のスタートとして目標を発表する。	進級した喜び、期待を持つことができる。	
	3週	学級の係分担 (1) -イ	クラスに必要な係を決める。	より良いクラスにしようとする気持ちを持つことができる。	
	4週	掃除をうまくするには (3) -イ	掃除の分担場所を交代で責任をもってきれいにする。	力を合わせて自分たちの教室をきれいにしようとする意識を持つことができる。	
5月	1週	学級のルールを決める。 (2) -イ	話し合いにより解決するルール作りをする。	クラスの友達をよく知り、互いに認め合う学級をつくる。	
	2週	本を読もう (3) -ウ	図書室の利用の仕方を確認し、読書の楽しさを知る。	進んで図書室を利用し、読書の楽しさを知る。	国語
	3週	給食について (2) -エ	給食時間の過ごし方を考える。	楽しく行儀よく給食をいただくためにできることを考える。	食育
	4週	クラス遊びをしよう (2) -イ	クラスで計画を立て、楽しく遊ぶ。	クラスで計画を立て、みんなで協力して楽しく遊べるようにする。	
6月	1週	友だちの紹介文作り (2) -イ	友だちの良さを文章にまとめる。	友だちの良さをお互いに認めあう。	
	2週	話し合いによる解決 (1) -ア	クラスのルールを見直し、話し合いによる解決をする。	クラスの友達とのかかわりを持ち、友達を大切にすることを意識する。	
	3週	梅雨時の生活の仕方 (2) -ウ	衛生面に気を付ける話し合いを持つ。	衛生面に気を付けるような意識を育てる。	
	4週	梅雨時の教室での過ごし方について (2) -ウ	安全に、静かに過ごすためのルールを作る。	ルールを守ってみんなが楽しく過ごそうとする意識を育てる。	
7月	1週	1学期をふりかえる (3) -ア	自分ががんばったことを発表する。	目標を立て実行したことを振り返り、今後に活かす。	
	2週	食を学ぶ (2) -エ	委員会活動と連携し、食について学習する。	紙芝居等の教材を使って、食について学ぶ。	食育
	3週	夏休みの過ごし方について (2) -ア	規則正しく、有意義な夏休みになるような過ごし方について話し合う。	一人一人の目標を決める。	
	4週				

3年 2学期

月		実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
8月	4週	2学期の抱負 (3) -ア	自分の目標を発表し、2学期のスタートを切る。	2学期の目標を達成しようとする意識を持つことができる。	
9月	1週	学級の係分担 (1) -イ	良い学級にするために1学期の係を見直す。	クラスの活動がスムーズにいくように自覚を持つことができる。	
	2週	クラスの問題点を話し合う。 (1) -ア	休み時間の友達とのかかわりについて考える。	クラスの問題を解決し、仲間意識を育てることができる。	
	3週	遊具の譲り合い (2) -イ	休み時間にみんなで楽しく遊べるような方法を考える。	遊具を譲り合って、楽しく仲良く遊べるように考えることができる。	
	4週	運動会にむけて (3) -ア	運動会に向けて自分のめあてを決める。	みんなが自分なりのめあてを持ち、仲よく運動会を楽しむことができる。	運動会
10月	1週	運動会を終えて (3) -ア	ルールや自分のきめためあてを確認する。	自分のめあてが達成されたか振り返り、今後に活かすことができる。	運動会
	2週	市内めぐりの計画を立てる。 (2) -イ	見学にあたり、自分が知りたいことのめあてを持つ。	互いに協力し、集団行動をスムーズに行う。	総合
	3週	クラス遊びの計画 (2) -イ	クラスで楽しく遊ぶ計画を立てる。	みんなで協力して楽しく遊べるように計画ができる。	
	4週	校外学習の準備 (2) -イ	班活動が協力してできるようにする。	めあてを持って協力して、校外学習に行くことができる。	校外学習
11月	1週	掃除をうまくするには (3) -イ	掃除の分担場所の工夫を発表する。	力を合わせて自分たちの掃除場所をきれいにしようとする意識を持つことができる。	
	2週	クラスの問題点を話し合う。 (1) -ア	休み時間の友達とのかかわりについて考える。	クラスの問題を解決し、仲間意識を育てることができる。	
	3週	ボール運動を楽しむ。 (2) -イ	役割分担を決めゲームをする。	ルールを守ってクラスみんなが楽しむことができる。	体育
	4週	係活動の反省 (1) -イ	学級の係がうまく働いているかを振り返る。	係活動を振り返り、責任を果たす。	
12月	1週	大掃除をしよう (3) -イ	大掃除の計画をたてる。	大掃除の計画を立て、美しく掃除ができる。	大掃除
	2週	給食交流会にむけて (2) -エ	高学年と一緒に給食を食べ、交流をはかる。	仲よく行儀よく給食を食べ、食を楽しむ。	食育
	3週	お楽しみ会の計画立案 (2) -イ	プログラム、時間の配分など、班の話し合いを持つ。	自分たちで運営し、お楽しみ会を楽しむ。	

3年3学期

月	週	実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
1月	1週				
	2週	3学期の抱負 (3) -ア	自分の目標を発表し、3学期をスタートする。	3学期の目標を達成しようとする意識を持つことができる。	
	3週	学級の係分担 (3) -イ	係の仕事を再確認する。	クラスの活動がスムーズにいくよう自覚を持つことができる。	
	4週	児童会まつりへ向けて (1) -ウ	出し物を考える。	みんなで力を合わせて楽しい児童会まつりにしようとする。	児童会まつり
2月	1週	クラスの問題点を話し合う。 (1) -ア	休み時間の友達とのかかわりについて考える。	クラスの問題を解決し、仲間意識を育てることができる。	
	2週	6年生を送る会 (1) -ウ	6年生に対して、どんな言葉を送るのかを話し合う。	6年生に対しての感謝の気持ちを持てるようにする。	6年生を送る会 音楽
	3週	クラスの問題点を話し合う。 (1) -ア	クラスの反省を話し合う。	クラスの現状を振り返り、今後に活かす。	
	4週	お楽しみ会の計画を立てる。 (2) -イ	それぞれ班で出し物を企画し、工夫する。	自分たちの力で運営し、楽しむことができる。	
3月	1週	クラス遊びの計画 (2) -イ	クラスで楽しく遊ぶ計画を立てる。	みんなで協力して楽しく遊べるように計画ができる。	
	2週	1年間で振り返る (3) -ア	自分の目標が達成できたか振り返る。	目標を立てて実行できたことを知り、今後に活かすことができる。	
	3週	春休みについて (2) -ア	規則正しい春休みを過ごせるようにする。	春休みの計画を立て、規則正しく有意義に過ごすことができる。	
	4週				

4年1学期

月	週	実施内容(題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
4月	1週				
	2週	学級目標を決めよう。 (3) -ア	みんなの願いを出し合い、簡単な言葉にまとめる。	高学年としての自覚を持ち、よい学級にしようとする意識を持たせる。	
	3週	学級の係を決めよう。 (1) -イ	役に立つ係や、やってみたい係を出し合い、決定する。	学級の中で自分が活躍しようという意識を持たせる。	
	4週	クラブ、代表委員を決めよう (3) -イ	自分のやりたいクラブや代表委員をきめる。	意欲を持って学校のための仕事をする。	クラブ委員会
5月	1週	学級活動 (2) -イ	みんなが楽しめる遊びを考える。	学級活動は自分たちの力で協力して行うという意欲を持たせる。	
	2週	学級活動 (1) -ア	よりよい仲間づくりのために困っていることを話し合う。	困っていることを話す中で互いの思いを知る。	
	3週	学級活動 (2) -イ	自主的に目標をもって仲間はずれがないようにゲームを楽しむ。	自分だけでなくクラスみんなが楽しく過ごせるように自分の行動を考える。	
	4週	校外学習に向けて (3) -イ	目標を持ち、協力して行動する。	見学の意識を高め、協力して行動する。	
6月	1週	校外学習に向けて (3) -イ	目標を持ち、協力して行動する。	見学の意識を高め、協力して行動する。	
	2週	児童会交流行事 (1) -ウ	低学年との交流行事を4年生が進行役として行う。	高学年としての自覚を持ち、みんなが楽しく過ごせるよう意識させる。	
	3週	音楽会に向けて目標を持つ (3) -ア	より良い表現につながるように互いに気付いたことを話し合う。	今までの練習を通して気付いたこと・さらによくなるアイディアを出し合う。	音楽
	4週	雨の日の過ごし方 (2) -ウ	雨の日の過ごし方を考える。	雨の日も安全にけがをしないように過ごす	
7月	1週	学級活動 (2) -イ	みんなが楽しめるクラス遊びを考える。	それぞれが協力して楽しく1時間を過ごす。	
	2週	食を学ぶ (2) -エ	食について学習する	食について学び、望ましい食生活の形成を図る。	食育
	3週	夏休みにむけて (2) -ア	夏休みの計画を立てる。	規則正しく、充実した夏休みを過ごせるようにする。	
	3週				

4年 2学期

月		実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
8月	4週	夏休みを振り返って (3) -ア	有意義な夏休みを過ごせたか振り返る。	目標が達成できたか考え、今後に活かす。	
9月	1週	夏休み作品展 (2) -イ	ほかの人の作品を見て、感想を持つ。	他の人の作品を鑑賞し、それぞれの工夫と良さを知り、感想を持つ。	図工
	2週	2学期の係を決めよう (1) -イ	1学期の反省を活かしながら、係を決める。	今まで以上に学級をよくしたいという意欲を持って係を決める。	
	3週	運動会の目標を考えよう (3) -ア	代表委員会の提案を受けて、話し合う。	一人一人が運動会に目標をもって取り組む。	運動会
	4週	学級活動 (2) -イ	遊び係が中心になってクラス遊びを考える。	学級活動は自分たちの力でやるという意欲を持たせる。	
10月	1週	運動会の反省をしよう (3) -ア	目標に照らし、活動できたか反省する。	それぞれの係活動・競技の中で協力できたか等を話し合う。	運動会
	2週	後期代表委員とクラブを決めよう (3) -イ	前期と重ならないようにし、意欲的に分担を決める。	経験のない委員会を自分で選ぶことで意欲を持って取り組む。	クラブ委員会
	3週	学級活動 (1) -ア	暴力について考える。口の暴力、力の暴力についての話し合い。	口の暴力、力の暴力について話し合い、それぞれが意見を出していく。	
	4週	校外学習について (2) -イ	目標を持ち、協力して行動する。	見学の意識を高め、協力して行動する。	校外学習
11月	1週	読書を楽しもう (3) -ウ	学校図書館の利用の仕方を確認し、読書を楽しむ。	図書館を活用し、読書を楽しむ。	国語
	2週	学級活動 (2) -イ	自主的に目標をもって仲間はずれがないようにゲームを楽しむ。	自分だけでなく、クラスみんなが楽しく過ごせるように自分の行動を考える。	
	3週	室内での遊びを考えよう (2) -ウ	どんな遊びができそうか考える。	楽しく安全に過ごせるように考えさせる。	
	4週	給食交流会にむけて (2) -エ	低学年と楽しく交流するためどんなことをするのか決める。	高学年としての自覚を持ち、低学年とともに楽しく過ごそうとする意欲を持ち、行儀の手本となる。	食育
12月	1週	児童会交流行事に向けて (1) -ウ	内容やルールを話し合う。	低学年の児童とともに楽しく過ごせるように考えさせる。	児童会祭り
	2週	児童会交流行事に向けて (1) -ウ	内容やルールを話し合う。	低学年の児童とともに楽しく過ごせるように考えさせる。	児童会祭り
	3週	2学期を振り返ろう (3) -ア	生活面・学習面を振り返る。	2学期を過ごす中で互いの努力を認め、自分の目標を持つ。	

4年3学期

月	週	実施内容(題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
1月	1週				
	2週	3学期の係を決めよう (1) -イ	2学期の反省を活かしながら、係を決める。	学級の中で自分が活躍しようという意識を持たせる。	
	3週	児童会交流行事に向けて (1) -ウ	低学年から高学年までみんなが楽しめる児童会まつりになるように内容を考える。	学校みんなが楽しく過ごせるようにクラスとしての取り組みを考える。	児童会祭り
	4週	児童会交流行事の反省 (1) -ウ	児童会交流行事の仕事内容について振り返る。	児童会交流行事について、それぞれの反省や楽しかったことを聞く。	児童会祭り
2月	1週	係活動を考える (1) -イ	係活動の問題点を話し合う。	係活動の問題を話し合い、責任を持って取り組めるようにする。	
	2週	学級活動 (1) -ア	よりよい仲間づくりのために困っていることを話し合う。	困っていることを話す中で、互いの思いを知る。	
	3週	6年生を送る会に向けて (3) -ア	6年生を送る会について言葉を考えたり、練習を行う。	高学年としての自覚を持つ。	6年生を送る会 音楽
	4週	学級活動 (2) -イ	みんなで楽しくクラス遊びをする。	それぞれが自分の力を発揮し、協力して楽しく過ごせるよう、意識させる。	
3月	1週	クラブ・委員会についてのまとめ (3) -イ	1年間のクラブ活動や委員会活動について振り返る。	他のクラブを知る意味で、それぞれの反省や楽しかったことを聞く。	クラブ委員会
	2週	4年生を振り返ろう (3) -ア	1年間の自分のがんばりを振り返り、反省をする。	1年間を通して自分でがんばったこと・みんなに励まされてがんばったことを振り返る。	
	3週	春休みについて (2) -ア	春休みの計画を立てる。	規則正しく、充実した春休みを過ごすようにする。	
	4週				

5年1学期

月	週	実施内容(題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
4月	1週				
	2週	学級目標を決めよう (3) -ア	みんなの願いを出し合い、簡単な言葉にまとめる。	高学年としての自覚をもち、よい学級にしようとする意識を持たせる。	
	3週	1年生との対面式 (1) -ウ	新1年生を歓迎する。	新1年生と仲良くし、楽しく過ごさせてあげたいという気持ちを持たせる。	対面式
	4週	クラブ・委員会を決めよう (3) -イ	自分のやりたいクラブや委員会の所属を決める。	学校の一員として自分の仕事を考えたり、楽しいクラブにしようとする意欲を持たせる。	クラブ委員会
5月	1週	学級の係を決めよう (2) -ア	役に立つ係や、やってみたい係を出し合い、決定する。	学級の中で自分が活躍しようという意識を持たせる。	
	2週	雨の日の遊びを考える (2) -ウ	雨の日に、どんなことをして遊んだら楽しいか、学級でのルールとともに考え、決めていく。	楽しく安全に過ごす意識を持たせる。	
	3週	宿泊学習へ向けて (3) -ア	宿泊学習の心構え	みんなで力を合わせて楽しい宿泊学習にしようという意欲を持たせる。	宿泊行事
	4週	宿泊学習へ向けて (3) -ア	目標や班・係を決める。	みんなで力を合わせて楽しい宿泊学習にしようという意欲を持たせる。	宿泊行事
6月	1週	宿泊学習へ向けて (3) -ア	宿舎でのミーティングに向けて。	みんなで力を合わせて楽しい宿泊学習にしようという意欲を持つ。	宿泊行事
	2週	宿泊学習へ向けて (3) -ア	ミーティングの確認。 宿泊学習の心構え。	クラスや友だちに対して、自分の思いを持たせる。	宿泊行事
	3週	読書に親しむ (3) -ウ	学校図書館の利用の仕方を確認し、読書の楽しみを知る。	進んで図書館を利用し、読書に親しみを持てるようにする。	国語
	4週	学級活動 (2) -イ	クラスで計画を立てて、楽しく遊ぶ。	それぞれが自分の力を発揮し、協力して楽しく1時間を過ごす。	
7月	1週	1学期を振り返ろう (3) -ア	生活面・学習面を振り返る。	1学期間の反省からよりよくなる目標を持たせる。	
	2週	食を学ぶ (2) -エ	委員会活動と連携し、食について学習する	紙芝居等の教材を使って、食について学ぶ。	食育
	3週	夏休みにむけて (3) -ア	夏休みの計画を立てる。	規則正しく、有意義な夏休みを過ごすための計画を持たせる。	
	4週				

5年 2学期

月		実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
8月	4週	2学期の目標を立てる (3) -ア	1学期の反省をもとに、自分の目標をたてる。	2学期のめあてを持ち、新学期の心構えを持たせる。	
9月	1週	学級活動の計画 (1) -イ	係や座席について話し合うとともに、2学期の計画についても話し合う。	運動会を前にして責任ある行動の大切さについて考えさせる。	
	2週	学校のルールを振り返る (1) -ア	学校のルールを守れているか再確認する。	集団の中で必要な規律の大切さを知り、課題を解決する力を育てる。	
	3週	運動会の目標を考えよう (3) -ア	代表委員会の提案を受けて、話し合う。	みんながその目標に向けてがんばれるよう、目標を考えさせる。	運動会
	4週	クラス遊びをしよう (2) -イ	クラスで計画を立て、楽しく遊ぶ。	クラスで計画を立て、みんなで協力して楽しく遊べるようにする。	
10月	1週	運動会の反省をしよう (2) -イ	目標に照らし、活動できたか、反省する。	一人一人が反省を持ち、今後に活かせるようにする。	運動会
	2週	稲刈りへ向けて (2) -イ	目標や班・係をきめる。	みんなで力を合わせて、楽しい稲刈りにしようとする意欲を持たせる。	総合
	3週	米作りのまとめ (3) -ア	新聞を作る。	自分たちが行った米作りにの活動について振り返らせる。	総合
	4週	学級の課題の解決 (1) -ア	学級の課題を話し合う。	学級の課題を話し合い、解決する力を育てる。	
11月	1週	校外学習へ向けて (2) -イ	班・ルールについて話し合い、決定する。	みんなで楽しく校外学習ができるよう意識させる。	校外学習
	2週	一年後の修学旅行に向けて (3) -ア	6年生の報告会を聞く。	平和の大切さを考えさせる。	総合
	3週	学級の課題の話し合い (1) -ア	クラスの課題を出し合い、解決に向けて話し合う。	後期の委員を中心に自分たちで話し合いを進め、課題の解決を図らせる。	
	4週	学年交流会 (2) -イ	ドッジボール。	より一層、学年としてのまとまりを意識させる。	
12月	1週	冬の室内遊びを考えよう (2) -ウ	どんな遊びができそうか考える。	楽しく安全に過ごせるように考えさせる。	
	2週	給食交流会に向けて (2) -エ	低学年と楽しく交流するためどんなことをするのか決める。	高学年としての自覚を持ち、低学年とともに楽しく過ごそうとする意欲を持たせる。	食育
	3週	2学期を振り返ろう (3) -ア	生活面・学習面を振り返る。	2学期の自分を振り返って3学期に向けての目標を持たせる。	

5年3学期

月	週	実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
1月	1週				
	2週	3学期の係を決めよう (1) -イ	2学期の反省を活かしながら、係を決める。	学級の中で自分が活躍しようという意識を持たせる。	
	3週	児童会まつりへ向けて (1) -ウ	出し物を考えよう。	みんなで力を合わせて楽しい児童会祭りにしようとする意識を持たせる。	児童会まつり
	4週	児童会まつりへ向けて (1) -ウ	出し物を考えよう。	みんなで力を合わせて楽しい児童会祭りにしようとする意識を持たせる。	児童会まつり
2月	1週	学級活動 (2) -イ	日本の冬の伝統的な遊びをみんなで楽しむ。	それぞれが冬の遊びを持ち寄り説明し合い、楽しく過ごせるよう工夫させる。	
	2週	係活動の反省 (1) -イ	係活動の反省をする	係活動の反省をし、より責任を持って取り組めるようにする。	
	3週	卒業式へむけて (1) -ウ	歌・呼びかけ。	協力して、卒業式の雰囲気を作る。	卒業式
	4週	卒業式へむけて (1) -ウ	歌・呼びかけ。	協力して、卒業式の雰囲気を作る。	卒業式
3月	1週	クラブ・委員会についてのまとめ (3) -イ	1年間のクラブ活動や委員会活動について振り返る。	ひとりひとりが振り返られるようにする。	クラブ委員会
	2週	5年生を振り返ろう (3) -ア 入学式にむけて (1) -ウ	5年生としての1年間について、生活面・学習面を振り返る。 歌・呼びかけ	ひとりひとりが自分の1年間を振りかえり、今後に活かせるようにする。	
	3週	春休みについて (2) -ア	春休みの計画を立てる	規則正しく、充実した春休みが送れるようにする。	
	4週				

6年1学期

月	週	実施内容(題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
4月	1週				
	2週	学級目標を決める クラスの仲間づくり (3)ーア	小学校最後の一年を過ごすクラスをどんなふうにしていきたいか話し合う。	新しいクラスを、みんなでよくしていこうという心構えを持たせる。	
	3週	クラブ・委員会に向けて (3)ーイ	入りたいクラブや委員会について、話し合い決定する。	1年間がんばるという気持ちを持てるようしっかり考える。	クラブ委員会
	4週	お互いのことを考える (1)ーア	よりよい仲間づくりのために困っていることを話し合う。	困っていることを話し合い、お互いの考えや思いを知る。	
5月	1週	クラス遊びをしよう (2)ーイ	クラスで計画を立て、楽しく遊ぶ。	クラスで計画を立て、みんなで協力して楽しく遊べるようにする。	
	2週	校外学習について (2)ーイ	班内の役割や行事の約束ごとを決める。	校外学習が安全に楽しく行えるように心構えを持たせる。	校外学習
	3週	お互いのことを思いやる (2)ーイ	全員で楽しく遊ぶためにはどのようなことが大切か話し合う。	協力して取り組めるようにする。	
	4週	学年目標を振り返る (3)ーア	4, 5月の学級の様子を振り返る。	良い点を見つけ、さらに目標を意識できるようにする。	
6月	1週	水泳学習について (2)ーウ	水泳学習の意味や意義について話し合う。	安全にかつ意欲的に水泳学習に取り組む態度を育てるとともに、水の危険性について考える。	体育
	2週	学級レクリエーションを 計画して取り組む (2)ーイ	レク係のリードでみんなで協力して楽しむ。	クラスのみならず仲良く過ごせる機会を作る。	
	3週	学級の係活動について (1)ーイ	係活動について振り返る。	責任が果たせるように心構えを持たせる。	
	4週	雨の日を楽しく (2)ーウ	雨の日楽しく遊べる活動を考える。	雨の日にはふさわしい遊びを考える。	
7月	1週	1学期を振り返ろう (2)ーイ	1学期の反省をする。	1学期の自分を振り返って2学期に向けての目標をもつ。	
	2週	食を学ぶ (2)ーエ	委員会活動と連携し、食について学習する	紙芝居等の教材を使って、食について学ぶ。	食育
	3週	夏休みのすごしかたについて (2)ーア	有意義な夏休みになるような過ごし方を考える。	一人一人の夏休みのめあてを持たせ、規則正しい生活を送らせる。	
	4週				

6年 2学期

月		実施内容 (題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
8月	4週	2学期の目標を立てる (2) -イ	1学期の反省をもとに、自分の目標を立てる。	2学期の目当てを持ち、新学期の心構えを持たせる。	
9月	1週	学級活動の計画 (1) -イ	係や座席について話し合うとともに、2学期の計画についても話し合う。	運動会を前にして責任ある行動の大切さについて考える。	
	2週	学校のルールを振り返る (1) -ア	学校のルールを守られているか再確認する。	集団の中で必要な規律の大切さを知り、課題を解決していく。	
	3週	読書に親しむ (3) -ウ	学校図書館を利用し、読書に親しむ。	積極的に読書をし、その楽しさを知る。	国語
	4週	運動会の取り組み (3) -ア	表現運動のペアやグループになって、どんなところを工夫すれば難しい技も成功させられるかを相談する。	グループの友達と協力して必ず成功させる、という前向きな気持ちを持たせる。	運動会
10月	1週	運動会を振り返って (3) -ア	運動会が終わり、心に残ったことについて作文を書く。	自分のがんばりを振り返り、次の活動につなげていく。	運動会
	2週	修学旅行の取り組み (3) -ア	広島へ修学旅行に行く意味を考える。	平和の大切さや修学旅行に行くにあたっての自分なりの目当てを立てる。	修学旅行
	3週	修学旅行の取り組み (3) -ア	セレモニーの練習	平和の大切さを歌や言葉にこめて発表する。	修学旅行
	4週	修学旅行の取り組み (1) -イ	自分たちで修学旅行当日の動きがしっかりできるように打ち合わせる。	班や部屋の役割を確認したり、約束事を確認する。最終的な打ち合わせをする。	修学旅行
11月	1週	修学旅行を振り返って (3) -ア	心に残ったことについて話し合う。	修学旅行を振り返り、得たことをまとめる。	修学旅行
	2週	学年の課題を考えよう (1) -ア	修学旅行を通して見えてきた学年の課題を考える。	修学旅行を通して見えてきた学年の課題の解決を図る。	
	3週	中学校へ向けて (3) -ア	クラブ見学	中学校のクラブ見学することによって、中学校進学への意識づけをする。	津田中クラブ 見学
	4週	卒業アルバム作り (3) -ア	アルバム委員が中心になってクラスのページについて話し合う。	思い出に残るようなアルバムを作れるようにみんなで話し合う。	
12月	1週	給食交流会にむけて (2) -エ	低学年と楽しく交流するためどんなことをするのか決める。	高学年としての自覚を持ち、低学年とともに楽しく過ごそうとする意欲を持ち、正しい食べ方の手本となる。	食育
	2週	児童会行事について (1) -ウ	取り組みの計画をたて準備する。	役割を確認し、協力して取り組めるようにする。	児童会祭り
	3週	2学期を振り返ろう (3) -ア	2学期の反省をする。	2学期の自分を振り返って3学期に向けての目標を持つ。	

6年3学期

月	週	実施内容(題材)	具体的内容	指導のねらい	行事・教科・領域との関連
1月	1週				
	2週	児童会行事について (1) -ウ	取り組みの計画をたて準備する。	役割を確認し、協力して取り組めるようにする。	児童会祭り
	3週	3学期の係を決めよう (1) -イ	2学期の反省をもとに、係を決める。	グループで協力して学級を活性化するためにどんな働きが必要か考える。	
	4週	中学校へ向けて (3) -ア	小学校生活を締めくくる心構えを持つ。	残り期間を意欲を持って過ごす。	
2月	1週	安全な登校 (2) -ウ	安全に登校するための話し合いをする。	登校班で協力して安全に登校できるように考える。	
	2週	卒業式に向けて (1) -ウ	6年間の行事を振り返って、卒業式の呼びかけ内容を考える。	小学校最後の行事である卒業式を自分たちで悔いのないようにできるように話し合う。	卒業式
	3週	最後の参観に向けて (2) -イ	文集を作り、保護者の前で上手に発表できるように、練習する。	聞いている人にとってわかりやすい発表になるよう工夫する。	授業参観
	4週	6年生を振り返ろう (2) -イ	学校生活、学習面、委員会やクラブなどについての1年間を振り返る。	がんばったところや課題についてしっかり反省する。	
3月	1週	メッセージ作り (1) -ウ	下級生がこれからも楽しい学校生活を送れるように考えて書く。	下級生への励ましの言葉を考える。	
	2週	卒業に向けて (1) -ウ	卒業式の練習をする。	思い出に残る卒業式にするように気持ちを込めて練習させる。	卒業式
	3週	卒業に向けて (3) -ア	小学校の締めくくりをするとともに、中学校に対する期待・不安について話し合い、進路について考える。	中学校に対する不安な気持ちを取り除くとともに、将来に向かって自信を持って歩んでいけるように声をかける。	卒業式
	4週				

委員会活動

委員会	人数	6年	5年	場所	担当
図書	36	18	18	図書室	勝山、谷口、末田
放送	24	12	12	6-4	國定、竹之内、草野、岡本
体育	32	16	16	4-4	安積、廣永、田中、村上
環境美化	32	16	16	4-1	衣川、吉田、加藤、孫入
保健	24	12	12	5-3	曳田、柏木、戸田、皆川
給食	36	18	18	家庭科室	藤田、小山、安澤、大久保、井上
理科	24	12	12	理科室	高岡、山本、安井
掲示	20	10	10	図工室	寺島、坂下、増田、野村
生活	24	12	12	6-2	長谷部、志智、森本、西村
代表	16	8	8	6-1	杉本、瀬戸川、朝倉、粗野
合計	268	134	134		

クラブ活動

クラブ	人数	6年	5年	4年	場所	担当		
バスケット	24	8	8	8	体育館	安積	朝倉	
バトミントン	18	6	6	6	体育館	岡本	廣永	
サッカー	34	10	12	12	運動場(2-1)	寺島	坂下	高岡
タグラグビー	30	10	10	10	運動場(6-3)	村上	安澤	長谷部
ドッジボール	30	10	10	10	運動場(4-1)	田中	戸田	加藤
陸上	31	11	11	9	運動場(5-2)	竹之内	森本	
なわとび	23	8	8	7	体育館横(5-1)	粗野	勝山	
モルック	26	9	9	8	運動場(6-2)	西村	志智	
マンガ・イラスト	32	10	11	11	図書室	杉本	井上	
音楽	21	8	8	5	音楽室	小山	皆川	
図工(クラフト・アート)	27	10	9	8	図工室	草野	山本	
ゲーム	26	9	9	8	6-1	瀬戸川	谷口	
伝承あそび・けん玉	20	8	7	5	5-3	孫入	野村	
ハンドメイド	23	9	8	6	家庭科室	大久保	吉田	
オセロ・将棋	22	8	8	6	理科室	増田	安井	
合計	387	134	134	119	()は雨天時			

(6) 情報教育年間指導計画

学年別年間指導計画【小学1年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 写真や本などから情報を集めることができる。 (I-2) 目的を考えて、発表したりすることができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間10文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 情報を仲間で分けたり、整理したりすることができる。 (II-2) 分かりやすく表現することができる。 (II-3) できるようになったことに気づくことができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 分解して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (III-2) 問題の解決や表現するために、順次(順番ごとにする)や反復(繰り返し)を使って考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 自分や他の人たちの情報を大切にし、ルールを守って安全にコンピュータなどをつかうことができる。 (IV-2) コンピュータやインターネットの基本的なルールやマナーがわかる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語						○なにに見えるかな ・画像を共有する (II-1)					
算数	通年 教科書のQRコードを読み取り、適宜コンテンツを活用(I-1)					○なんじ なんじはん ・ロイロ ノートで提出 (I-2)			○なんじな んぶん ・ロイロ ノートで提出 (I-2)	○かたちづ くり ・いろいろ なかたちを 集める (II-1)	
生活	通年 いろいろなものを観察する中で、新しく気づいたものを画像に残す(I-1、II-1・2)										
図工	通年 完成した作品を画像に収める(I-1)										
音楽	通年 GarageBandでいろいろな楽器を演奏する(III-2)										
体育		○マット運動 ・体の動かし 方を動画に撮 り確認する (II-3)						○跳び箱 ・体の動かし 方を動画に撮 り確認する (II-3)			
プログラミング										○バスケット ・スイミーの 学習から魚を 動かす(III)	
情報モラル	○情報モラル について (IV-1)										

学年別年間指導計画【小学2年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 写真や本などから情報を集めることができる。 (I-2) 目的を考えて、発表したりすることができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間20文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 情報を仲間に分けたり、整理したりすることができる。 (II-2) 分かりやすく表現することができる。 (II-3) できるようになったことに気づくことができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 分解して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (III-2) 問題の解決や表現するために、順次(順番ごとにする)や反復(繰り返し)を使って考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 自分や他の人たちの情報を大切に、ルールを守って安全にコンピュータなどをつかうことができる。 (IV-2) コンピュータやインターネットの基本的なルールやマナーがわかる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語			○話そう二年生のわたし ・画像を整理し、分かりやすくまとめる (I-1・2、II-2)			○ビーバーの大工事 ・インターネットを活用して調べ、ロイロノートにまとめる (I-1、II-2)					
算数	通年 教科書のQRコードを読み取り、適宜コンテンツを活用(I-1)					○かけ算(九九) ・ロイロノートで録音した九九を提出 (I-2、II-3)					
生活	通年 いろいろなものを観察する中で、新しく気づいたものを画像に残す(I-1、II-1・2) NHK For Schoolの活用 タイピング練習									○こんなに大きくなったよ ・とりだめてきた1年間の成長をまとめる (I-2、II-3)	
図工	通年 完成した作品を画像に収める(I-1)										
音楽	通年 GarageBandでいろいろな楽器を演奏する(III-2) 鍵盤ハーモニカの演奏を録音する(II-3)										
体育		○マット運動 ・体の動かし方を動画に撮り確認する (II-3)					○跳び箱 ・体の動かし方を動画に撮り確認する (II-3)				
プログラミング				○ビスケット ・目標を決めて絵を動かす (III-1)				○True True ・道順を決めて動かす (III-2)			
情報モラル							○情報モラルについて (IV-1)				○情報モラルについて (IV-2)

学年別年間指導計画【小学3年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 図書資料・インターネットなどから情報を集めることができる。 (I-2) 相手や目的に応じて発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間30文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 情報同士のつながりを見つけたり、表やグラフで整理することができる。 (II-2) 相手や目的に合わせて、適切に表現することができる。 (II-3) 改善点を考えることができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 物事を分解して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (III-2) コンピュータとプログラムの関係を体験的に理解し、順次、反復を含んだプログラムを考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	通年 教科書のQRコードを読み取り、適宜コンテンツを活用(Ⅰ-1)			○ローマ字 ・「らっこたん」でタイピング練習をする。 (Ⅰ-3)				○心が動いたことを持て表そう ・考えた詩をロイノートを使ってクラスで共有する (Ⅱ-2)	○わたしのベストブック 写真や文字を使って、一年間を振り返る。 (Ⅰ-2、Ⅱ-2)			
社会				○店ではたらく人と仕事 ・HM For Schoolを使って店ではたらく人の様子について知る (Ⅰ-1)				○わたしたちの市の歩み ・昔の道具について調べ、ロイノートにまとめ、発表する (Ⅰ-1)				
算数	通年 教科書のQRコードを読み取り、適宜コンテンツを活用(Ⅰ-1)			○かけ算の仕組み ・かけ算の筆算の方法を分解して考える (Ⅲ-1)			○かけ算の筆算を考えよう ・かけ算の筆算の方法を分解して考える (Ⅲ-2)			○わかりやすく整理して表そう データを整理して、表や棒グラフを用いて考察し表現した。		
理科	通年 いろいろなものを観察する中で、新しく気づいたものを画像に残す(Ⅰ-1、Ⅱ-1・2)			○かげと太陽 ・日なたと日陰の地面の温度を観察し、結果を比較したり、表やグラフで整理する (Ⅱ-1)						○ものと重さ種類ごとに重さを量り、表に整理して発表する (Ⅱ-1)		
図工	通年 完成した作品を画像に収める(Ⅰ-1)											
音楽	通年 リコーダー演奏を録音しロイノートで送る(Ⅰ-2)											
体育	○マット運動 ・体の動かし方を動画に撮り確認する (Ⅱ-3)						○跳び箱 ・体の動かし方を動画に撮り確認する (Ⅱ-3)					
外国語活動										○What's this? ・3ヒントクイズをロイノートでまとめ、発表する (Ⅰ-1)		
総合的な学習の時間	通年 必要な情報を図書資料やインターネットを活用して調べ、まとめる(Ⅰ-1、Ⅱ-1・3)											
プログラミング				○レゴWeDo2.0 ・コンピュータとプログラムの関係を理解し、プログラムを考える。 (Ⅲ-2)								
情報モラル				○情報モラル ・メッセージアプリについて (Ⅳ-1)						○情報モラル 自分のアカウントやパスワードについて (Ⅳ-2)		

学年別年間指導計画【小学4年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 図書資料・インターネットなどから情報を集めることができる。 (I-2) 相手や目的に応じて発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間40文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 情報同士のつながりを見つけたり、表やグラフで整理することができる。 (II-2) 相手や目的に合わせて、適切に表現することができる。 (II-3) 改善点を考えることができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 物事を分解して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (III-2) コンピュータとプログラムの関係を体験的に理解し、順次、反復を含んだプログラムを考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語				○広告を読み比べよう ・目的に合った広告を作る (II-1)		○くらしの中の和と洋 ・資料を集める (I-1)				○数え方を生みだそう ・相手に伝わりやすいようにまとめ、発表する (II-2)	
社会	○ごみはどこへ ・自分たちの地域の様子や取り組みについて調べる (I-1)	○みずはどこから ・自分たちの地域の様子や取り組みについて調べる (I-1)				○昔から今へと続くまちづくり ・まちの変化に気づく (I-1)				○都道府県について ・白地図に正確に都道府県を入れる (I-2)	
算数	○角の大きさ ・鋭角や鈍角について、視覚的に分類分けできる (II-3)					○計算のきまり ・きまりにそって計算の順を正しく表現する (III-1)					
理科	○電気のはたらき ・直列と並列のちがいについて理解し、正しく回路を組む (II-3)						○ものの温度と体積 ・予想を立て、それをもとに実験に取り組む (III-1)			○もののあたままり方 ・表やグラフで整理する (II-1)	
図工	○完成した作品を画像に収める (I-1)										
音楽	○リコーダー演奏を録音しロイロノートで送る (I-2)										
体育		○マット運動 ・体の動かし方を動画に撮り確認する (II-3)					○跳び箱 ・体の動かし方を動画に撮り確認する (II-3)				
外国語活動											
総合的な学習の時間		○大阪市町村調べ (II-2)				○世界の国調べ (II-2)					
プログラミング			○アルゴリズム (III-1)								
情報モラル					○情報モラル ・ネット、アプリについて (IV-2)						○情報モラル ・インターネットの危険性について (IV-2)

学年別年間指導計画【小学5年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて吟味する。 (I-2) 相手や目的に応じて効果的に発信する。 (I-3) キーボード文字入力(1分間50文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために調査や資料等から情報を収集する。 (II-2) 情報同士のつながりを見つけたり、表やグラフを用いて整理する。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造する。 (II-4) 改善点を分析し考える。
○ プログラミング的思考	(III-1) 順次、分岐、反復を含んだプログラムの作成を行い、評価・改善ができる。 (III-2) 情報技術の価値を自分の身の回りの生活と関連付けて考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用する。 (IV-2) 生活の中で必要となる情報セキュリティを理解する。 (IV-3) 情報社会での情報技術の働きや産業や国民生活の関わりを理解することができる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語		○おにぎり石の伝説 ・音読の様子を録画する。(I-2)	○新聞記事を読み比べよう ・見出しの工夫(II-3)	○資料を見て考えたことを話そう ・図表やグラフを用いて文章を書く(II-2)					○「弱いロボット」だからできること ・思考ツールの活用(II-4)		○手塚治虫 ・ある人物について、資料を調べてまとめる。(I-2)
社会		○世界の中の日本の国土 参考資料やインターネットから情報を収集(I-1、I-3) 通年 NHK for school まどめノート(II-4)				○日本の工業生産と貿易・運輸 ・工業製品の産地調べ(I-1)					○自然災害とともに生きる 参考資料やインターネットから情報を収集、文章を書く(I-1、I-3)
算数		○直方体や立方体の体積 ・図形の特徴を捉え、分析する(I-1) 通年			○図形の角を調べよう ・角について問題解決を行う(II-3)				○面積の求め方を考えよう ・角について問題解決を行う(II-3)		○変わり方調べ ・きまりをみつけて問題解決を行う(II-3)
理科		○ヒトのたんじょう ・調べ学習をまとめる(I-1・2) 通年 実験結果を画像に残し、考察に活かす(I-1、II-1・2)	○雲と天気の変化 ・校庭から確認できる天気の変化について観察し、動画に撮る(I-1・2)				○流れる水のはたらき ・実験の様子を動画に撮り、考察に活かす(I-1・2・3)			○ものどけ方 ・棒グラフに表す(II-2)	
図工							○鑑賞会 ・ロイロノートに送られてきたアートカードを活用(II-3)				
音楽							○音楽づくり ・Garage Bandを活用し、音楽づくりをおこなう(II-3)				
体育											
家庭科		○ソーイングはじめの 一歩 ・動画教材による手縫い手順の習得(II-4)	○整理整頓で快適に ・整理整頓の前と後を画像比較(II-3)		○ミシンでソーイング ・動画教材によるミシン縫い手順の習得(II-4)					○ミシン縫いと手縫いで作ろう ・制作したポケットティッシュ入れの工夫(I-2)	
外国語							○Unit 6 音声を聞いて、道案内についての情報を集める。(I-1、I-2)			○Unit 8 ・My townを紹介する画像を作成・発表(I-2)	
総合的な学習の時間											
プログラミング										○プログル ・多角形を書く、平均値を出す(III-1) ・信号機を動かしてみる(III-2)	
情報モラル						○情報リテラシー ・SNSの使い方(IV-1)	○情報モラル ・「うちのルールとわが家のルール」携帯電話を使う際のルール設定(IV-2)			○ネット社会の歩き方 メッセージを発信する際の対応について(IV-1)	

学年別年間指導計画【小学6年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて吟味する。 (I-2) 相手や目的に応じて効果的に発信する。 (I-3) キーボード文字入力(1分間60文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために調査や資料等から情報を収集する。 (II-2) 情報同士のつながりを見つけたり、表やグラフを用いて整理する。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造する。 (II-4) 改善点を分析し考える。
○ プログラミング的思考	(III-1) 順次、分岐、反復を含んだプログラムの作成を行い、評価・改善ができる。 (III-2) 情報技術の価値を自分の身の回りの生活と関連付けて考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用する。 (IV-2) 生活の中で必要となる情報セキュリティを理解する。 (IV-3) 情報社会での情報技術の働きや産業や国民生活の関わりを理解することができる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語			○防災ポスターを作ろう ・防災について調べポスターにまとめる (I-1、II-2)	○インターネットの議論を考えよう ・インターネットに投稿するきまりを考え自分の意見を伝える (I-2、IV-1)				○プレゼンテーションしよう・自分達の住んでいる暮らしの課題を見つけ、資料で提案する (I-2、IV-1)			○どう立ち向かう? もしもの世界 ・情報を多面的に検討しながら、意見を書く。(I-1、IV-1)
社会			○国づくりへの歩み ・縄文、弥生、古墳の3時代をシンキングツールで比較 (I-1、II-2)	○全国統一への動き ・信長、秀吉、家康の3武将をシンキングツールで比較 (I-1、II-2)			○明治の新しい国づくり・近代国家を目指して ・明治の文化と現代の文化を比較 (I-1)	○戦争と人々の暮らし ・戦争時代の人々の暮らしを調べ伝える (I-1、II-4)			
算数			○対称な図形 ・図形を動かして線対称、点対称の確認。 (II-2)	○円の面積 ・円の面積の公式のしくみを確認 (II-2)	○比例と反比例 ・比例、反比例の変わり方を確認 (II-2)			○2学期の復習 ・2学期単元を全体、個別で復習 (II-4)			
理科			○生物どうしのつながり ・シンキングツールで食べ物のもとを考える (I-1)		○月と太陽 ・月と太陽の関係についての実験結果を画像に残す (II-1)	○大地のつくりと変化 ・「地震」「火山」と大地の変化について調べ学習をし、まとめる (II-1・II-3)		○てこのはたらき ・いろいろな道具の支点、力点、作用点について考える (II-1)		○自然とともに生きる ・わたしたちの生活と環境の変化について自ら課題を決め、調べ学習をし、まとめる。 (II-1)	
図工							○鑑賞会 ・ロイロノートに送られてきたアートカードを活用 (II-3)			○鑑賞会 ・友達1年間の作品の中からお気に入りを見つけ (II-2)	
音楽							○音楽づくり ・合奏を動画に撮影し、ロイロノートで提出・共有 (II-3)				
体育											
家庭科			○グリーン大作戦 ・身の回りの掃除を自宅で実施後ロイロで提出 (I-2、II-3)		○ソーイング ・トートバッグの作り方を動画で確認して作成する。 (I-2、II-3)						
外国語			○Unit①、② ・自己紹介を動画で撮影し提出する。自分が調べた日本の紹介を動画で撮影し提出する。 (I-1、I-2、II-3)								
総合的な学習の時間							○平和学習 ・平和について考え、調べてまとめたものを他学年に報告する (I-1、II-1・3)				
プログラミング				○マイクロビット ・接続方法とプログラミングの練習 (III-1)						○マイクロビット ・電気を無駄なく使う工夫として「プログラミング」を体験する (III-2)	
情報モラル			○ネット社会の歩き方 ・メールでのやりとりで起こる問題について (IV-1)			○人との関わり方 「SNSの使い方」LINEの送り方などについて考えた。 (IV-1)				○ネット社会の歩き方 「肖像権に気をつけて」写真撮影を共有する場合の問題について考えた。 (IV-2)	

1 2. 各部会年間計画

(1) 学力向上部

		校内研修	学力向上
目標		基礎基本の定着を図り、自分の考えを表現する子をめざして ～協働的な学び 系統を意識した授業づくり～	
内容		<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業・公開授業の計画、実施 ・授業改善、教材作成および研究 ・研究冊子の作成 ・校内研究のための研修 ・一ネタ会の計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けての実態把握と具体的方策の検討 ・指導内容、方法の工夫 ・教育課程の編成上の工夫 ・家庭学習の手引き作成 ・朝学習の工夫
年間計画	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の作成 ・教材研究日、一ネタ会の計画 ・校内研究全体会 ・小中一貫教育連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回学力向上委員会 ・家庭学習習慣の確立 ・『家庭学習の手引き』配布 ・学習環境を整え、学習規律の定着を図る(『学習のやくそく』の提案) ・学力学習状況調査、すくすくウォッチの実施
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 ・小中一貫教育連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回学力向上委員会 ・基礎的基本的な学力の向上を図る(朝の読書、朝学習の計算を含む) ・学力学習状況調査、すくすくウォッチ課題対策検討会
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育連絡協議会 ・研究授業指導案検討協議会 ・研究授業 ・研究授業協議会 ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回学力向上委員会 ・学期末テスト(算数・国語)の計画
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育連絡協議会 ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回学力向上委員会 ・学期末テスト(算数・国語)・学力アンケートの実施(1年生を除く)
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力学習状況調査、すくすくウォッチの返却
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育連絡協議会 ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回学力向上委員会
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育連絡協議会 ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回学力向上委員会
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育連絡協議会 ・研究授業指導案検討協議会 ・研究授業 ・研究授業協議会 ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回学力向上委員会 ・相互参観週間(11月～1月の予定)
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育連絡協議会 ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回学力向上委員会 ・学期末テスト(算数・国語)・学力アンケートの実施 ・相互参観週間(11月～1月の予定)
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育連絡協議会 ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 ・研究授業指導案検討協議会 ・研究授業 ・研究授業協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回学力向上委員会 ・相互参観週間(11月～1月の予定)
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・指導体制、指導計画、内容についての年度反省 ・次年度校内研究テーマ検討 ・教材研究日、一ネタ会の計画、実施 ・校内研究全体会 	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回学力向上委員会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育連絡協議会 ・校内研修のまとめ ・次年度校内研究テーマ検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回学力向上委員会 ・学年末テスト(算数・国語)・学力アンケートの実施 	

(2) 生活向上部

	生活向上	人権教育	
目標	自分で気づき、考えて、行動できる子	一人一人の児童の人権が尊重され、共に生き、共に学ぶ教育活動を推進する。 ノーマライゼーションの理論を踏まえ、障がいのある児童の自主自立のもとでの社会参加を目指す。	
内容	学校のきまり 問題行動 生指パトロール PTA生指委員会 生活指導担当者 小中連絡協議会 いじめアンケート いじめ検討会	人権研修会 多文化共生 教材研究 環境の整備 研修への参加 同和教育の推進 キャリア教育 虐待対応	
年間計画	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内生活のきまり・特別活動の研修(4/30) ・遊具を使うときの決まり ・遊んではいけない場所 ・楽しい学校生活をおくるためのやくそく ・生徒指導マニュアル作成 ・朝学見回り当番表作成 ・ssw,sswsの活用について 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修講師依頼 ・キャリアパスポートの取り組み
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の目標を決める(長期・短期) ・6年学級活動相互参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権担当者会 ・人権研修(多文化) ・児童朝会での話
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート実施 ・5年学級活動相互参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権全大会(配慮をする児童) ・人権担当者会(レポート提出) ・人権研修(枚人権・多文化・人権担当者) ・LGBTQの学習(高学年)
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の目標の振り返り(短期) ・夏休みの生活指導 ・生指パトロール ・4年学級活動相互参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内人権研修会(夏季研修) ・人権レポートの校内での報告
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導担当者研修 ・生指パトロール 	大人教夏季研(2日間)
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の目標を決める(短期) ・3年学級活動相互参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権全大会(運動会) ・児童朝会での話 ・平和の取り組み
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ・人権担当者会(多文化・枚人権) ・大人教大会(2日間)
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート実施 ・2年学級活動相互参観 	・キャリアパスポートの取り組み
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の目標の振り返り(短期) ・冬休みの生活指導 ・生指パトロール ・1年学級活動相互参観 	・
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の目標を決める(短期) ・入学説明会のしおり見直し 	
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権全体会(来年度1年生) ・年間反省 ・人権担当者会
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の目標の振り返り(長期・短期) ・春休みの生活指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路保障学習会 ・キャリアパスポートの取り組み

生活指導・生活指導
ケース会議(必要に応じて)
休み時間終わりの声かけ

(3) 体力向上部

		体育的行事・体力向上の取組	食育・健康教育
目標		・健康で安全な生活を意識し、自ら体力を向上しようとする心を育てる。 ・体育的行事が安全かつ円滑に行われるよう企画・立案する。	健康に関する基本的な知識の習得や理解を通して、心身の健康を保持増進するための実践力を育成する。
内容		・運動会 ・水泳指導 ・体力向上の取り組み ・体育科評価の検討 ・環境整備	・食教育・健康教育の実施と推進 ・給食指導の実施 ・保健指導の実施
年間計画	4月	・年間計画の立案 ・体育名札・体育服装・水泳服装の提案 ・体カテスト提案	・学校保健計画および食に関する指導計画の立案・提案 ・健康状態およびアレルギー等の確認 ・「食物アレルギー対応委員会」の企画・開催
	5月	・水泳指導計画・集中訓練の立案・提案 ・救急救命法の講習	
	6月	・水泳研修(機械操作) ・着衣泳(6年)	
	7月	・運動会の立案・提案	
	8月	・運動会の提案	・緊急時対応研修
	9月		・保健指導の実施(全学年)
	10月	・運動会練習・実施 ・土入れ ・体育防寒着の提案	
	11月	・マラソンカード・なわとび表提案	
	12月		・次年度に向けてのアレルギー面談
	1月	・体力向上の取り組み提案	・保健指導の実施(全学年)
	2月		・新入生への健康状態の調査
	3月		・「食物アレルギー対応委員会」の企画、開催

水泳指導

食教育・給食指導・個別指導の実施

体力向上の取り組み

(4) 情報教育部

(5) 図書館教育部

	情報教育	図書館教育	
目標	・情報教育の普及に努める。	・本を読み味わう喜びと読書の習慣を身につけさせる。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報、放送機器の整理及び研修 ・儀式的行事の放送機器の設営 ・情報リテラシー講演会の設定 ・放送委員会の指導 ・情報教育・年間計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備 ・廃棄本の整理 ・新書の購入計画 ・図書委員会の指導 ・本の紹介 ・調べ学習における団体貸出 ・学級文庫の整備(国語科と連携して) ・学校図書館司書との連携(読み聞かせ、並行読書) 	
年間計画	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式での放送機器の設営 ・教室のICT機器の確認 ・デジタル機器及びセキュリティ研修、SDカードの配布 ・パソコン室使用簿作成 ・放送委員会指導 ・放送準備室の整備・掃除 ・ロイロノート、クラスルーム、まなびポケットの開設 ・デジタル教科書 ・まなびポケットで学年だより等配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の立案 ・紙カードの配布(各クラス1枚メモ用) ・バーコードカードのデータ作成 ・バーコードカードの作成 ・図書室PCのログイン作業・使い方の確認 ・図書室の整備 ・委員会指導 ・読書ノート取り組み提案・実施
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生タブレット配布・備品購入計画 ・タイピング検定第1回 ・クリーンアップ週間のチェックリスト作成 ・ICT研修 ・プログラミング計画の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備 ・新刊図書購入準備・延滞図書のチェック ・学級文庫の整理
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備 ・新刊図書購入・延滞図書のチェック ・学級文庫の整理
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・放送機器の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊図書の整備 ・図書室の整備・延滞図書のチェック ・学級文庫の整理 ・夏の特別貸し出し
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・放送機器の整理整頓 ・ICT研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備 ・新刊図書購入後期準備
	9月		<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備 ・新刊の閲覧 ・新刊図書購入後期・延滞図書のチェック
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の放送機器の設営 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備 ・新刊図書の整備・延滞図書のチェック ・学級文庫の整理
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内機器の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備 ・新刊の閲覧・延滞図書のチェック ・クリスマス掲示
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・故障端末の回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備・延滞図書のチェック ・冬休み図書貸出・学級文庫の整理
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備・延滞図書のチェック
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング検定第2回 ・各担任による情報モラル授業(保護者にも概要を伝える) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備・延滞図書のチェック ・学級文庫の整理
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式での放送機器の設営 ・情報、放送機器の整備 ・放送機器の点検・次年度の購入希望 ・6年生のiPad ・更新作業 ・1年生のiPadにシールを貼る ・アカウント変更 ・6年生のロイロノートを卒業させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の整備・蔵書点検 ・廃棄本の台帳整理

(6) 防災・安全指導部

(7) 特別活動教育部

		災害安全	地区児童会	特別活動
目標		避難訓練や防災教育を通じて、災害発生時に安全に行動できるようにする。	登校班を通して、集団登校・集団下校することで、安全に通学できるようにする。	望ましい集団活動を通して、個々の特性を伸ばす。
内容		避難訓練・交通安全立ち番表作成	登下校指導、転出入による班編成依頼、地区児童会、集団下校	児童会 児童朝会 委員会・クラブ活動 学級会 対面式 仲良し学年交流会 児童会種目 運動会司会 児童会まつり クラブ見学
年間計画	4月	・避難経路の作成 ・危機管理マニュアルの確認 ・引き渡しカードの配布・回収 ・緊急時集団下校の確認及びC4th備考欄へ入力/消火器点検・各担当確認 ・交通安全立ち番表作成	始業式まで…担当者決め(支援担の児童付き、職員室待機)留守家庭児童会の新名簿をもらう 4月の地区児までに新登校班の地区ファイルの表紙のビニルテープの張替え ランドセルカード(始業式に配布、担任回収) 教室配置地図配布(教室掲示用) 地区児童会提案 地区児童会・集団下校実施(留守家庭児童が集団下校する場合・前日にミルメールにてお知らせし、当日連絡帳に書いてきてもらう)教頭先生依頼 地区児童会反省	・前期委員会開始(15日) ・対面式(12日)
	5月		教育委員会提出書類 「通学路用校区地図、登校班人数の報告」 班長会	・委員会(13日) ・前期クラブ活動開始(27日) ・仲良し学年交流会
	6月	・引き渡し訓練	教育委員会提出書類 「通学路の安全点検状況報告票の作成」	・委員会(3日) ・クラブ(24日) ・仲良し学年交流会
	7月			・委員会(16日)
	8月		地区児童会提案 地区児童会	
	9月	・大阪880万人訓練 ・不審者避難訓練 ・交通安全立ち番表作成	地区児童会反省	・委員会(2日) ・クラブ(9日)
	10月	・火災避難訓練		・運動会司会 児童会種目 ・係別委員会(3回)
	11月		班長会	・委員会(1日)係別・前期反省 ・後期委員会開始(11日) ・クラブ(18日)
	12月			・委員会(16日)
	1月	・地震避難訓練	説明会資料の確認 (地区名があっているかどうか)	・児童会まつり(31日) ・委員会(14日) ・クラブ(20日 クラブ見学)
	2月	・危機管理マニュアルの見直し	新登校班の名簿を生活指導員さんより受け取る(2月末まで) 新登校班名簿差し替え・班の変わった児童の移動メモ作成・留守家庭児童のチェック	・委員会(10日) ・クラブ最終(17日)
	3月		地区児童会・集団下校実施 地区児童会反省	・委員会後期最終(3日)

転出入、校区内転居による班編成依頼

児童朝会

(8) 環境教育部

(9) 業務改善部

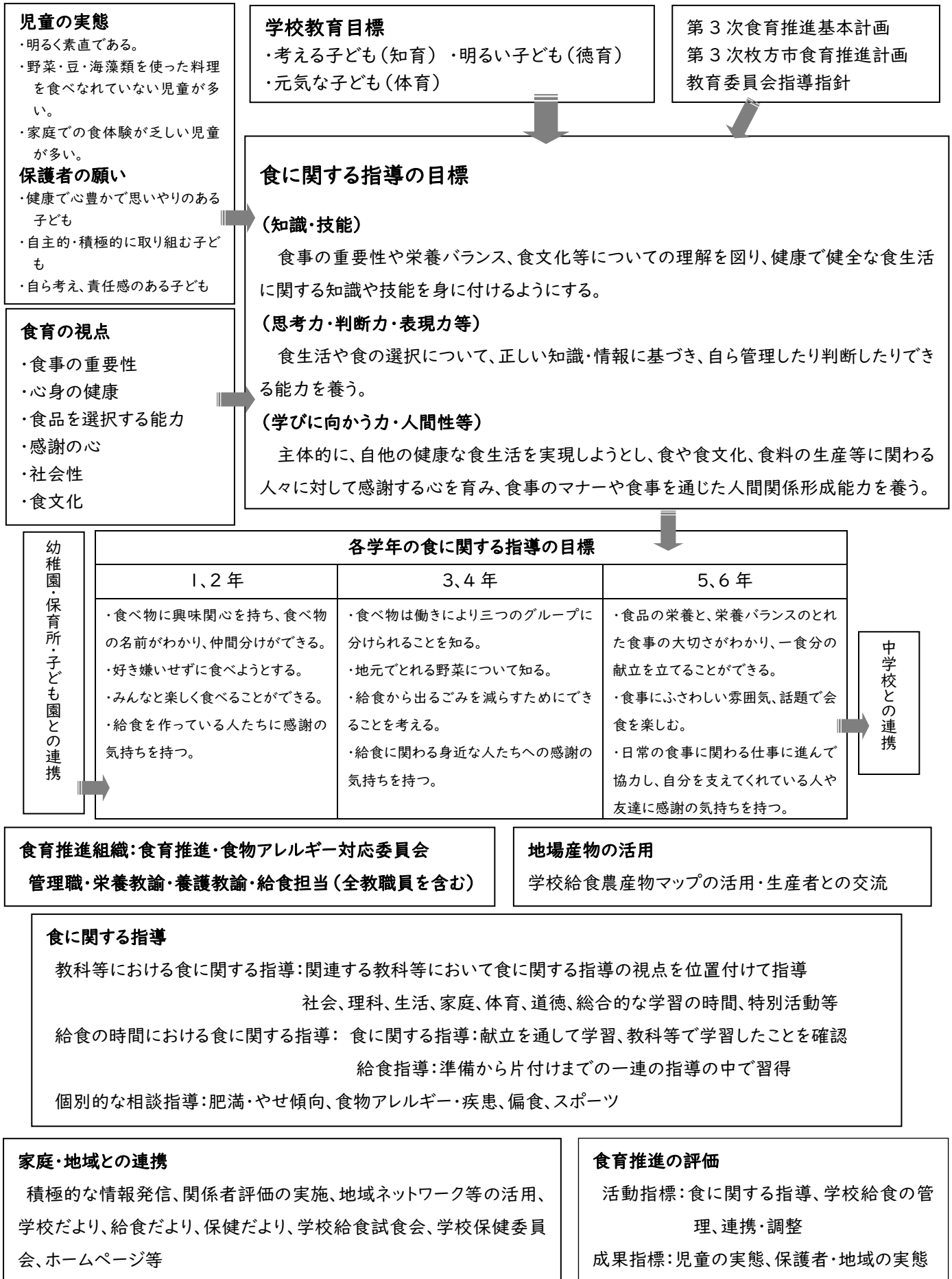
		環境教育	業務改善
目標		・健康で安全な生活を送るために教職員と児童の環境意識を高める。	・教職員の業務を見直し、ワークエンゲージメントの向上を図る。 ・児童に関わる時間を確保する。
内容		・エコオフィス取組状況調査の実施 ・施設安全点検 ・遊具点検 ・環境委員会の指導 ・清掃指導 清掃用具点検	・業務改善案の回収、検討・検証
年間計画	4月	・環境書類の確認(前年度3学期分) ・火元責任者マグネット配布 ・施設安全点検、遊具点検分担当表作成 ・清掃箇所の割り当て ・清掃道具の点検・補充	・業務改善案 回収 ・業務改善 検討・実施(1学期) ・他校交流会(委員会主催)
	5月		
	6月		
	7月	・職員向け環境研修の実施 ・エコチェック調査実施、集約 ・大掃除・油引き・扇風機 ・フィルターエアコン掃除	・業務改善 検証 ・業務改善研修
	8月	・環境書類の提出(1学期分)	・業務改善案 回収(2学期)
	9月		・業務改善 検討・実施
	10月	・清掃道具の点検・補充	
	11月		
	12月	・エコチェック調査実施、集約 ・懇談用ストーブの配布・回収 ・大掃除 ・油引き ・フィルターエアコン掃除	・業務改善 検証(2学期分) ・業務改善研修
	1月	・環境書類の提出(2学期分)	・業務改善案 回収(3学期分) ・業務改善 検討・実施
	2月		業務改善 検証(3学期・年間)
	3月	・エコチェック調査実施、集約 ・火元責任者マグネット回収 ・環境書類の作成(3学期分) ・大掃除 ・油引き ・扇風機・フィルターエアコン掃除	・業務改善 検討・実施

エコオフィスの啓発
施設安全点検・遊具点検

1 3. 健康・水泳指導計画

(1) 食育指導

① 食に関する指導の全体計画



②教科との関連及び食に関する指導年間計画											
教科等	4月	5月	6月	7月	8~9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等	入学式				防災教育の日	運動会					卒業式
推進体制	進行管理	食育推進委員会		委員会				委員会			委員会
	計画策定	計画策定						評価実施	評価結果の分析	計画案作成	
社会	健康な暮らしとまちづくり【4年】 ごみはどこへ【4年】	健康な暮らしとまちづくり【4年】 健康な暮らしとまちづくり【4年】	市の様子【3年】 米づくりのさかんな地域【5年】	米づくりのさかんな地域・水産業のさかんな地域【5年】	農家の仕事【3年】 自然災害にそなえるまちづくり・地震にそなえるまちづくり・水害にそなえるまちづくり【4年】 これからの食料生産【5年】	農家の仕事【3年】 戦争と人々の暮らし【6年】	戦争と人々の暮らし【6年】		わたしたちの市のあゆみ【3年】		
理科	春の生き物【4年】	植物の発芽と成長【5年】 ヒトや動物の体【6年】	植物の育ちとつくり【3年】 植物の発芽と成長【5年】 植物のつくりとはたらき【6年】	夏の生き物【4年】 台風と気象情報【5年】 生物どうしのつながり【6年】	花から実へ【5年】	植物の一生【3年】 ヒトの体のつくりと運動【4年】	秋の生き物【4年】		冬の生き物【4年】 ものどけ方【5年】		生き物の1年間【4年】 自然とともに生きる【6年】
生活	いくぞいがっこうたんけん【1年】 大きくそだてわたしの野さい【2年】	大きくそだて私の野さい【2年】		なつとなかよし【1年】		あきとなかよし【1年】			これまでのわたしこれからのわたし【2年】		これまでのわたしこれからのわたし【2年】
家庭	クッキングはじめの一步【5年】 できることを増やしてクッキング【6年】	クッキングはじめの一步【5年】 できることを増やしてクッキング【6年】							食べて元気に【5年】		
体育	心の健康【5年】 病気の予防【6年】	健康な生活【3年】 体の発育・発達【4年】 病気の予防【6年】 ことばあそび【1年】		健康な生活【3年】 体の発育・発達【4年】 病気の予防【6年】 おおきなかば【1年】					食べて元気に【5年】		病気の予防【6年】
国語	さとうとしお【1年】					おはなしをよもう さらだて元氣【1年】 和の文化を発信しよう【5年】			けがの防止【5年】 病気の予防【6年】		
他教科等		Welcome to Japan【6年外】	あわせていくつ ぶえるといくつ【1算】			分数と小数・整数の関係【5算】	単位数あたりの大きさ【5年】	単位数あたりの大きさ【5年】 What would you like?【5外】	昔グラフと円グラフ【5年】	昔グラフと円グラフ【5年】	
道徳		ゆうすけの朝【3年】 白神山地【6年】	げんきにそだて、ミニマト【2年】		みんながだれかに【1年】	かわももミニムービー【2年】 卵焼き【5年】		正月料理【5年】	じゃがいもの歌【3年】		「あんぱんの日」【3年】 ポロといっしょ【4年】
給食指導		安全で衛生的な給食・けがや事故の防止・食中毒の予防			楽しい給食 - 正しい食事のありかた・望ましい食習慣・好ましい人間関係				健康なからだをつくる給食・食品と栄養・体づくり		
食に関する指導		「給食ができるまで」【1年】	「えんどう豆のさやむき」【2年】 ＊玉ねぎ盛り 「野菜のことを知ろう」【3年】	「おはしを使って、魚を上手に食べよう」【1年】	「防災食について考えよう」【4年】	「おはしを使って、魚を上手に食べよう」【1年】	「食べものはたらき〜栄養三色」【2年】	行事食を知ろう「お正月の料理」【5年】	「中学生の食生活を考えよう」【6年】		

学校給食の関連事項		給食動画・掲示物等																			
月目標	津田南小学校の給食について知ろう① ～調理員さんの紹介	津田南小学校の給食について知ろう② ～調理場見学(全年)																			
食文化の伝承	端午の節句	沖繩設置	七夕	お月見	秋祭り	勤労感謝	冬至	正月鏡開き	節分	ひなまつり 卒業お祝い											
行事食	柏餅	沖繩料理	七夕そうめん	月見汁	枚方郷土料理				年越しのいわし	ちらしずし 赤飯											
その他				防災食		実りの秋	セレクトデザート	給食週間献立													
旬の食材	アスパラガス、かつお	三皮豆 きびなご	ピーマン、オクラ ゴーヤ	パプリカ	さんま、みかん	柿、りんご さば	春菊、はたはた ぶり	ぼんかん		菜の花											
地場産物	えんどう豆 玉ねぎ	じゃがいも 玉ねぎ 黒米	かぼちゃ なす	冬瓜 さつまいも	さつまいも 小松菜、チンゲンサイ、 九条ねぎ	チンゲンサイ、九条 ねぎ、ほうれん草、里 芋、大根	九条ねぎ、ほうれん 草、里芋、フロッコリ ー、大根、白菜、キャ ベツ、黒米、人参、れ んこん	九条ねぎ、里芋、大 根、白菜、キャベツ、 れんこん、白ねぎ、金 時人参	大根、白菜、キャベ ツ、黒米、人参、れん こん	れんこん											
個別的な相談指導							アレルギー面談														
家庭・地域との連携	積極的な情報発信(自治体広報誌、ホームページ)、関係者評価の実施、地域ネットワーク等の活用 学校便り、給食便り、保健便りの発行、給食参観、給食試食会																				

給食指導について(通常時)

令和6年 4月
健康・体力向上部

1. 給食指導の目標

- 楽しく給食をし、食べることの大切さを教える。
 - ・食事の場の雰囲気作りをする。
 - ・「給食カレンダー」などの活用をする。
- 給食を通して、望ましい食習慣の形成を図る。
 - ・好き嫌いをなく食べる。
 - ・食事のマナーに気を付ける。
- 好ましい人間関係を育成する。
 - ・協力して準備・後片付けをする。
 - ・給食に関わる全ての人・食材に感謝の気持ちを持つ。

2. 給食指導の徹底

① 準備

- ・食前の環境を整え(空気の入れ替え、机の上・まわりの整理、ナフキンをしく、給食の前の石けんでの手洗い・清潔なハンカチで拭く)、当番以外の児童は立ち歩かない。

<給食当番>

- ・給食当番チェック表で、健康状態や身支度の確認とチェックを行う。(下痢・嘔吐などの児童がいまいいか確認を行って、該当児童がいた場合給食当番を外す。(食中毒・感染症防止)
- ・配膳台を布巾でふく。～布巾は学期に1枚かや布きんを配布します。
- ・身支度(エプロン、帽子または三角巾、給食専用マスク)を整える。
- ★マスクはきちんと鼻と口にあてる。
- ・4時間目が体育の場合も、着替えてから身支度を整える。
- ・エプロン等をつけてトイレに入らない。
- ・調理場へは、そろって2列に並んで取りに行く。

★大食器、小食器、小おかず、大おかず、パン・ごはん、牛乳の順に並んで来る。

※給食の食器などは、全て1-1からの通し番号でセットしている。

- ・調理場では、給食を渡してくれる人に、給食番号がわかるよう、全員ならんだら声を揃えて「〇年〇組〇番です。いただきます。」と言って入る。

- ・担任は、必ず引率する。(エプロン・三角巾・マスク着用)
- ・牛乳パック回収用の青箱を教室に持っていく。(1～5年生は1個・6年生は2個)
<教室での準備>

- ・教室では、食器かごや食缶、牛乳かごを床に置かない。
- ・給食当番以外の児童は、自分の席に座って、静かに待つ。

→当番以外の児童には、配膳

★**おかず・ご飯は、児童に必要な量を計量し配缶されているので、一人分の量を知るためにも、最初は全部均等に配りきる。減らし・増やしはいただきますの後にいき、極端な増減(苦手なものは全て減らすなど)はしない。**

→減らし・増やしは児童任せにしない。

★**食物アレルギーチェックをする。(挨拶の前に日直の児童が献立表を読み上げる。～文**

言は給食カレンダーに記載しています)

→当該児童の机に、献立表通り配膳されているかは必ず教職員が行い、献立表に確認した人が押印またはサインを記入する。

・パン、牛乳、添加物、おかず(個数で配膳するもの)、食器、箸、スプーン等の不足分は調理場へ取りに行く。(調理場では、インターホンを押して伝える。)

★**食器等を落とした際(※はし・スプーンを落とした場合も洗いに行かず)、調理場で交換してもらう。(調理場では、インターホンを押して伝える。)**

・牛乳パックとストローを配る。

→R7年度から、ストローレスになります。今年度から、ストローなしで飲めるパックですが、アレルギーの対応等、まだ検討できていませんので、ストローレスで飲む練習は、こちらから声をかけるまで待ってください。

② 食事中

- ・食事中は立ち歩いたりしない。
- ・正しい姿勢でよくかんで食べる。
 - 丸いもの(うずら卵・団子)を食べるときや、パンなどを詰め込みすぎて窒息事故事例あり。
- ・出来るだけ好き嫌いせずに食べる。(どうしても苦手な物がある場合でも、一口は食べるように声をかける)。
- ・食器のおき方、箸の持ち方、食前食後のあいさつ等、基本的マナーに気を付ける。
 - ・「ごちそうさま」をするまでは、片づけ以外は立ち歩かない。

★給食終了のチャイムが鳴ってから、教室を出発する。(ただし、当面の間、1年生は除く)

★給食委員会の当番の児童も、チャイムが鳴ってから教室を出て調理場へ行く。

③ 後片付け

<食器を返却する際の注意点>

★返却時は、小おかず、大おかず、大食器、小食器、パン、ごはん、牛乳の順に並んで返却(調理場での返却がスムーズにいく為)

★担任は、やむを得ない場合(児童の指導等)を除いて必ず返却の引率をする。また、きちんと返却されているか確認する。クラスの一斉返却から遅れて返す場合も、全年齢必ず担任が引率する。(※児童だけの返却の場合、途中で残菜をこぼしたり、アレルギー対応児童との接触事故の可能性があるため。児童だけで遅れて返却することが無いようお願いします。)

・返し遅れた場合も、可能な限りその日のうちに返却してください。

・パンばさみは2つとも食器かごにかけて返却する。

・玉杓子、麵杓子、サーバーは大食缶に入れて返却する。

★はし・スプーンは同じ方向にそろえて入れ、大食器かごの上のせて返す。

・しゃもじは、調理場出口のバケツにいれる。(※ごはん容器にいれない)

・食器や食缶、牛乳パック、かごは決められた場所に返却する。(図を参照)。

★空の牛乳パックはストローをとって青いかごに返却する。ストローと袋は、まとめてプラごみに。(①飲み残しがある場合は、ストローをつけたままアルミのかごに。②全く飲んでない場合もアルミのかご。)

牛乳パックについて守っていただきたいこと

牛乳パックは、機械で洗浄しながら破砕し、リサイクルされます。そのため、セロハンテープ以外のテープが付着していたり、ストローがささったまま、牛乳が入ったままだと、この機械の故障につながります。また、パックをつぶすと、機械にかけにくくなります。空箱は450のゴミ袋に入れて専用のゴミ箱に入れるため、回収時にどんどん入れていきます。空箱にストローがさしたままや、中身が入ったままにならないようにしてください。(一つずつ点検している時間はありません) 飲み残しの牛乳は、調理員さんが中身を捨ててから廃棄しています。

・残菜は、それぞれが入っていた食缶に戻す。

★大おかずの食缶のふたを止めているゴムバンドは、食缶の内蓋の上ののせ、外蓋をかぶせて返す。

★配膳盆は、当番の児童がスポンジで水洗いする。(スポンジは学期に1回配布) <ごみの分別について>

・ごみは、クラスでまとめて調理場前のごみ箱に分別して入れる。

★給食カレンダーに表示しているごみの分別にしたがう。

※プラごみはプラと表示している。(中身が全部残っていてもプラゴミとして回収)

★パンの残り・パンの袋は、調理室出口のそれぞれの袋・箱に入れる。

・みかんの皮、ゼリーのカップ等の燃えるごみは、食缶に入れて返却。

・梅干しの種は紙の箱に入れ、調理場前の紙ごみのゴミ箱へ捨てる。

④ その他

・パンだけ持ち帰りが可能です。食中毒防止のため、添加物を含め他のものは絶対に持ち帰らない。(パンもおかずをばさんだ場合は、残菜として調理場へ返す)

・おにぎりは禁止。

★嘔吐物のついた食器は、吐物と別のビニール袋に入れ保健室で消毒。

※調理場には嘔吐物を持ち込まない(食中毒予防)

・献立の感想は、1学年1か月単位でまわします。学年内で振り分けて記入してください。

・エプロンは体操服等と分けて衛生的に保管する。

・遠足等で給食をストップする時や、入院などで長期欠席になる児童がいる場合は、早い目に食数報告担当者に連絡する。

→調理実習での給食停止も可。(停止期限は遠足時と同様)

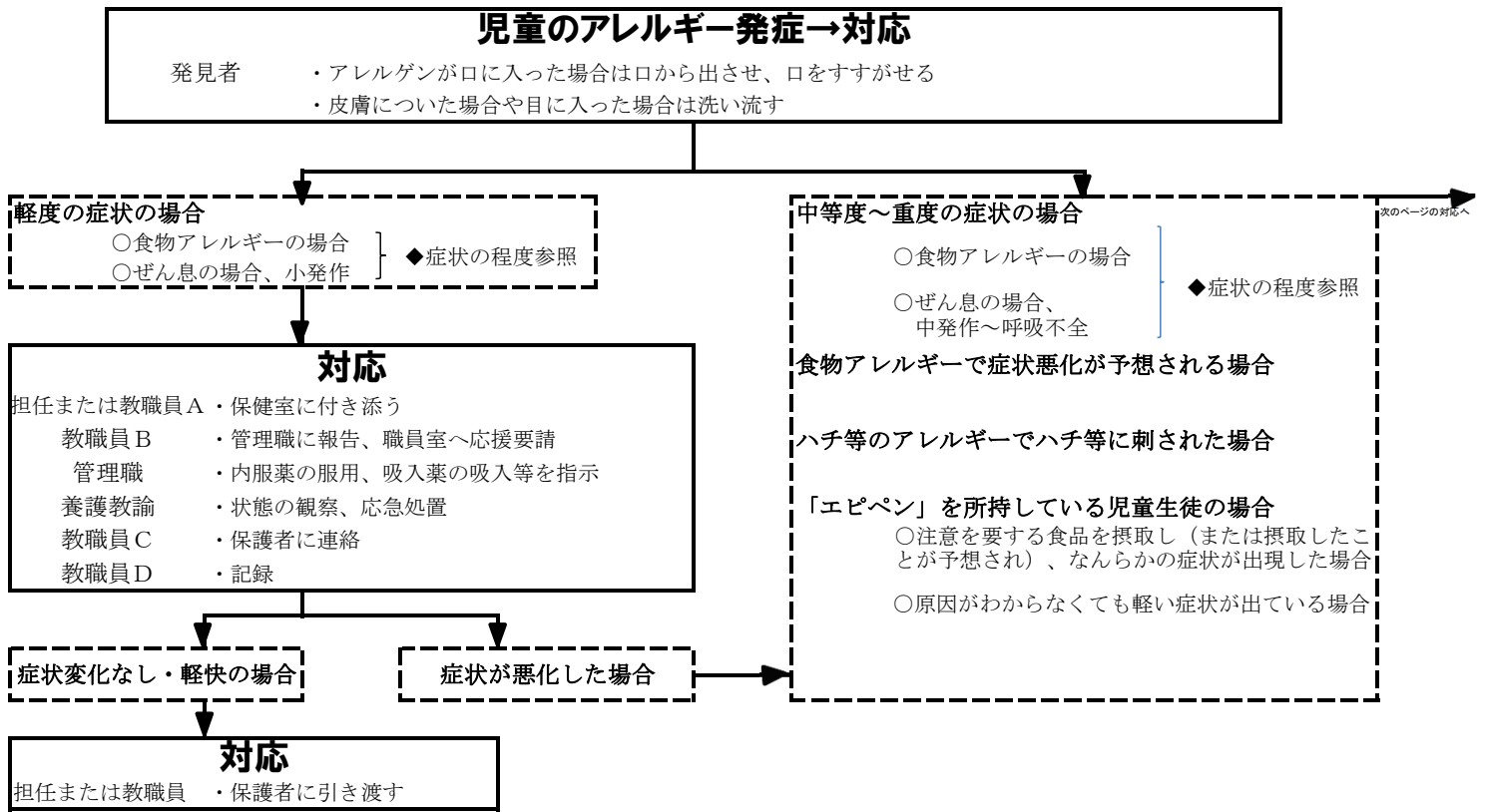
★取りに行く時、返す時の順路を守る。

⑤ 移動の順路(調理場内は常時奥から入る一方通行)

2、3階の学級は管理棟階段(保健室側)から降りて調理場へ行き、北校舎階段(調理場側)より上がって教室へ戻る。

★食器等返却時 ※昼休みは、全児童北校舎階段を使って降りる。給食当番が左側を通る。それ以外の児童が右側を通る。※走らず一方通行を厳守してください。2、3階の学級は、北校舎階段(調理場側)から降りて調理場へ行き、靴箱スペースを通して、管理棟階段(保健室側)から上がって教室へ戻る。全児童・教職員は上がるときは管理棟階段を使用。(緊急時以外)北校舎1階のクラスも、中庭側から入って教室に戻る。

④アレルギー発症時等の緊急対応マニュアル

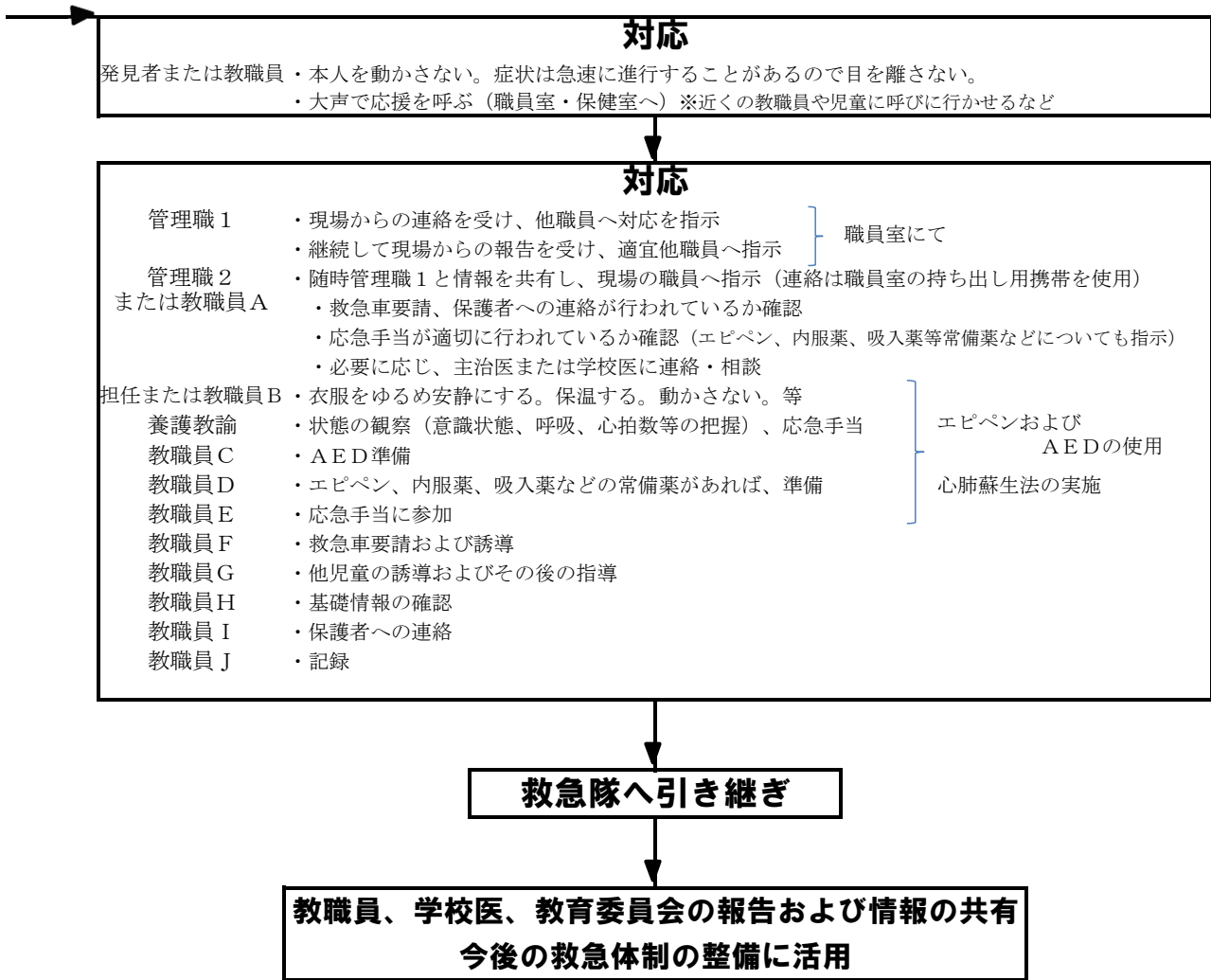


◆アレルギー症状の程度

	軽度の症状	中等度の症状	重度の症状
皮膚	・限られた範囲のかゆみ ・部分的に赤い斑点 ・じんましん（数個以内） ・唇が少し腫れている	・強いかゆみ ・赤い斑点があちこちに出現 ・じんましん（10個以上） ・まぶたや唇が腫れあがる	・激しい全身のかゆみ ・全身が真っ赤 ・全身にじんましん
口・お腹	・口の中のかゆみ	・吐き気もしくは1回の嘔吐 ・軟便もしくは1回の下痢 ・時々腹痛が起きる	・嘔吐を繰り返す ・数回以上の下痢 ・激しい腹痛
呼吸	・時々咳が出る ・くしゃみ	・断続的な咳 ・鼻づまり、鼻水 ・のどのイガイガ、のどのかゆみ	・声がれ、声がでにくい ・絶え間ない激しい咳込み ・犬が吠えるような咳 ・呼吸時ゼーゼー、ヒューヒューと鳴る ・息切れ、息苦しい、呼吸困難
脈・顔色	変化なし	変化なし	・脈が速い ・脈が不規則 ・顔色が青白い ・唇や爪が白い、紫
様子	変化なし	変化なし	・不安感 ・ぐったり、うとうと ・意識朦朧

◆ぜん息症状の程度

	小発作	中発作	大発作	呼吸不全
症状	軽い喘鳴がある、軽い陥没呼吸を伴うことがある	あきらかな喘鳴と陥没呼吸を認め、呼吸困難がある	著名な喘鳴、呼吸困難、起坐呼吸を呈し、時にチアノーゼを認める	著名な呼吸困難、チアノーゼ、呼吸音減弱、尿便失禁、意識障害（疼痛等への反応低下）
動脈血酸素飽和度	96%以上	92～95%	91%以下	91%未満



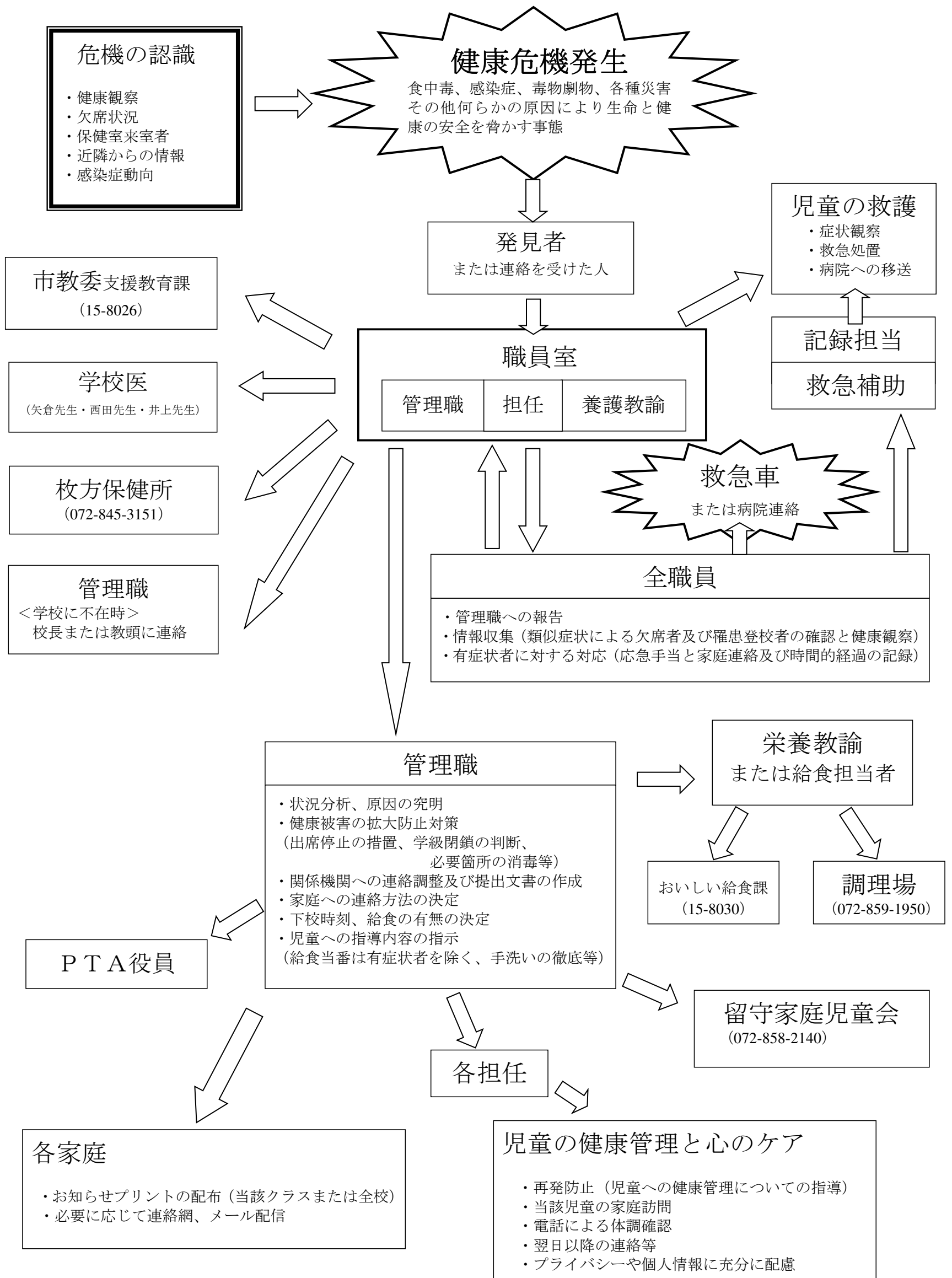
参考文献) 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン
 学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル（兵庫県教育委員会2013）
 食物アレルギー緊急時対応マニュアル（東京都発行2013）
 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン（日本小児アレルギー学会）

(2) 学校保健計画

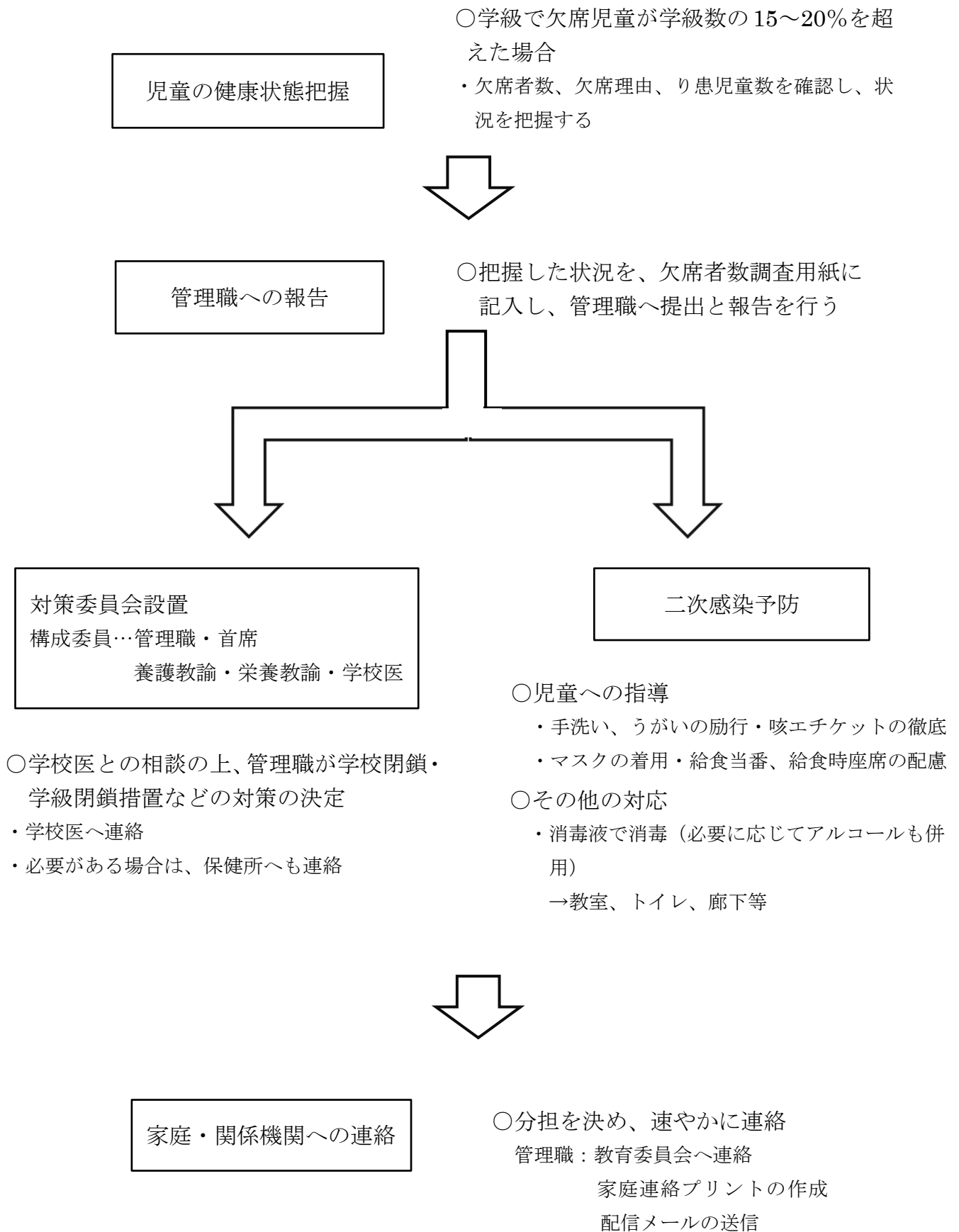
- 学校保健目標**
 ・自他の生命を大切にし、生涯にわたって健康で安全な生活ができるように、自主的に健康管理をする能力と態度を育てる。
具体的方策
 ・年間の保健、体育的行事や授業を通して学年の発達段階に応じた6年一環の健康教育を行い調和のとれた心身の発達を図る。

	4・5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
保健目標	自分の体を知ろう	歯を大切にしよう	夏を元気にすごそう	規則正しい生活をしよう	けがに気をつけよう	目を大切にしよう	姿勢を正しくしよう	冬を元気にすごそう	かぜを予防しよう	「食」について考えよう	1年間の生活をふりかえろう	
保健行事	身体測定 内科検診 運動器健診 結核検診 心臓検診 耳鼻咽喉科検診 尿検査 視力検査 眼科検診 聴力検査	歯科検診 心臓2次検診 結核2次検診 色覚検査 (4年希望者) 心肺蘇生法講習 (5年)	身体測定 尿再検査 (該当者のみ)	視力検査	就学時健康診断 ブラッシング指導 (1年) モアレ撮影検査 (5年希望者・6年対象者)	視力検査	身体測定 尿再検査 (該当者のみ)	就学時健康診断 ブラッシング指導 (1年) モアレ撮影検査 (5年希望者・6年対象者)	身体測定			
保健管理	保健調査の実施 健康観察の開始 救急体制の確立 健康診断票整理 健康診断事後措置 配慮児童の確立	健康診断事後措置 水泳時の健康管理 食中毒の蔓延防止 感染症流行状況把握 宿泊行事前 健康調査(5年)	健康診断票記入 水泳時の健康管理 感染症流行状況把握	健康診断票の記入	夏季休業中の健康状態把握 感染症流行状況把握	宿泊行事前健康調査(6年) 感染症流行状況把握	感染症流行状況把握	感染症流行状況把握	冬季休業中の健康状態把握 感染症流行状況把握	感染症流行状況把握	感染症流行状況把握	学校保健統計 (疾病治療状況集計 保健室利用状況集計 感染症流行状況集計 学校事故集計 健康診断のまとめ)
保健教育	保健室の整備 薬品の点検 健康診断について 保健室の利用の仕方	プール・水道 水質検査 冷房器具の点検 口腔の健康 水泳時の健康安全 宿泊行事前 保健指導(5年)	プール水質検査 教室内空気検査 教室内照度検査 熱中症の予防 夏休みの過ごし方	規則正しい生活	けがの予防と応急処置	目の健康	正しい姿勢 骨の仕組み	衣服の調節 睡眠と休養	かぜの予防 手洗い・うがい 薬物乱用防止教育	薬品の点検 栄養と消化	1年間の生活の反省 成長の振り返り 心の健康	
その他	学校保健計画の作成 世界保健デー(5/31) 歯と口の健康週間 (6/4～10)	世界環境デー(6/5)	鼻の日(8/7)	防災の日(9/1) 救急の日(9/9) 結核予防週間(9/29～30) 健康増進普及月間	目の看護デー(10/10) 世界手洗いの日(10/15) 薬と健康の週間(10/17～24)	いい歯の日(11/8) いい皮膚の日(11/12)	世界エイズデー(12/1) 世界人権デー(12/10) 人権週間(12/4～10)	学校保健のまとめと反省	耳の日(3/3)			
保健教育	<ul style="list-style-type: none"> ・3年:かたがえのない健康、1日の生活のしかた、体の清けつ、身の回りのかんきょう(保健) ・4年:ヒトの体のつくりと運動(理科)、変化してきたわたしの体、大人に近づく体、体の中で起こる変化、よりよい発育・発達のために(保健) ・5年:ヒトのたんじょう(理科)、心の健康、けがの防止(保健) ・6年:ヒトや動物の体、食べ物のゆくえ(理科)、病気の予防・健康な生活(保健) 											
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・児童保健委員会・組織作りと活動計画(4月・10月) 											

健康危機発生時の対応マニュアル



感染症集団発生の初期対応マニュアル



※参考 大阪府学校保健会編「学校長のための危機管理マニュアル」

(3) 水泳指導

指導目標

- ・一人ひとりの児童が自分の目標に向かえるように練習を工夫し、互いに協力して水泳の楽しさを味わえるように指導する。
- ・安全に十分に留意し、事故のない水泳学習を進める。
- ・各学年目標にそって、段階的な指導計画のもとに指導する。

指導期間

プール給水日	1回目 6月 3日(月)
	2回目 6月 28日(金)
プール開き	6月 6日(木)
着衣泳	6月 28日(金) 小雨決行
プール納め	7月 18日(木)

プール使用条件

- ・水温 23℃以上
- ・気温 25℃以上
- ・天候 雨ではないこと。雷が鳴っていないこと。
- ・光化学 注意報以上が発令されていないこと。(予報は可)
- ・水質 残留塩素 0.4~1.0 mg/l
PH 5.8 ~ 8.6
- ・暑さ指数(WBGT) 31℃以上(水泳指導中止)

学年目標(コロナ対策よりの段階的移行)

- 1年 水に慣れ、10秒程度浮く。
- 2年 けのびをして、きれいなふしうきをする。(バタ足、ビート板)
- 3年 ビート板を用いて、12mまでバタ足で泳ぐ。
- 4年 クロールで12m泳ぐ。(息継ぎ含む)
- 5年 クロールで25m泳ぐ。
平泳ぎで12m泳ぐ。ビート板を用いて、12mまでカエル足で泳ぐ。※
(※ビート板だけを用いた泳法や、息継ぎを教えて足だけの評価でも良い)
- 6年 平泳ぎで25m泳ぐ。
※クロールで25m泳ぐ

尚、結果は反省へ記録し、次年度の目標設定の際に活用する。

プール使用上の注意

◎プール使用前

○水中用担架の確認・AED をプールに持参・熱中症患者のための氷をクーラーボックスで持参・WGBT 測定機器の設置・入水該当学年の既往症確認

(1) 水温・気温・暑さ指数(WBGT)等を確認して、水泳指導が可能か判断する。

(2) 脱衣する。

※ 1・2年生は、各教室。3年生以上は、プール更衣室を使用。

※ 用便は済ませておく。

(3) プールまではサンダルを使用。

※ くつ箱で履き替えること。(教室からサンダルを履かない。)

※ プールサイドが熱い時は、サンダルを履いてよい。

(4) 準備体操をする。

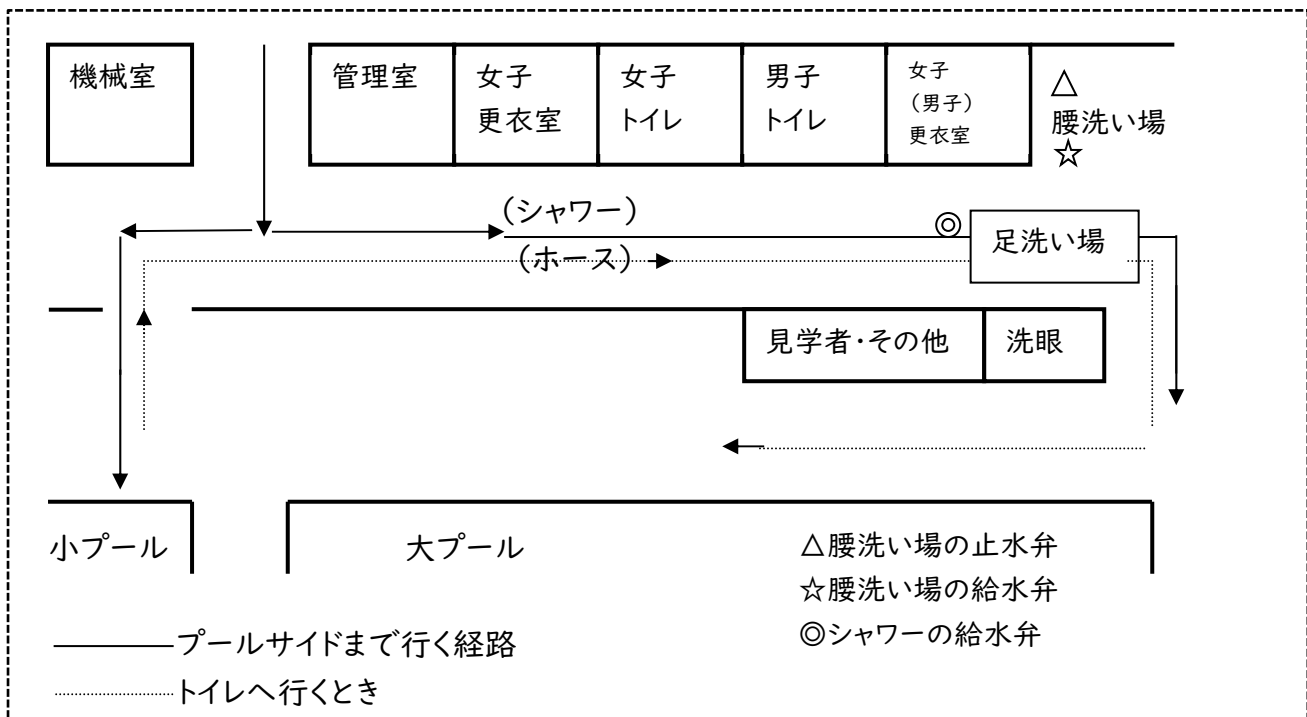
(5) 人員点呼をする。＜バディの徹底＞

(6) (1.2年) 通用門 ⇒サンダルを脱ぐ⇒タオルをかける ⇒シャワー

(3年以上) 通用門 ⇒サンダルを脱ぐ ⇒シャワー

※ サンダルは、プールの靴箱前で脱ぐ。

※ シャワーで全身をよく洗うこと。



◎プール使用中

(1) 暑さ指数(WBGT)測定装置を適宜確認し、水泳指導が可能か判断する。

(2) 水から上がった後、毎回必ず人員点呼をする。

(3) 水泳指導中は、プールの出入り口を閉めておく。

(4) プール時間内でトイレを使用した場合は、その都度ホースで水をかけてプールサイドへ戻る。

(5) プールサイドでの履物の使用は原則禁止。(暑さによるサンダル使用は判断)

※児童への指導

- ・プールサイドを走らない。
- ・男女とも必ず水泳帽をかぶり、長い髪の児童は帽子の中に入れる。
- ・ヘアピン等は必ず外して入る。
- ・溺れる真似をしたり、他人にいたずらをしたりしない。

◎プール使用後

- (1) 人員点呼をする。
- (2) 整理体操(プールサイド) ⇒シャワー ⇒通用門

★★★★ 緊急事態発生の場合 ★★★★★

- (1) 一人の指導者は、その児童につく。(応急処置)
もう一人の指導者は、他の児童に指示を与え、携帯電話等で職員室に連絡をする。
- (2) 実態を確かめた上、学校長・消防署・病院等に連絡する。
(電話番号は職員室電話機の下に掲示)

児童の健康管理について

1、プール対象者

問診票で保護者と主治医の承諾を得た者。

2、安全管理面

安全には十分留意し、事故を未然に防ぐ。

- ① 水温、気温、暑さ指数(WBGT)を指導前に必ず測定する。風がある時は体温を奪われ寒く感じるので、低学年は注意をする。
- ② 残留塩素、PHの測定・機械操作は毎時行う。プール日誌は必ず記入する。
- ③ 着替えは、教室または更衣室で行う。
- ④ 十分な準備運動、整理運動をする。シャワー、洗顔、手足のつめ、感染症疾患のチェックをする。
- ⑤ 水泳キャップの着用をする。水質維持の点からも、シャワーでの衛生指導をする。汗をしっかりと流す。トイレ後のシャワー指導など。
- ⑥ バディをして、整列をして人数点呼の励行をする。
- ⑦ プールサイドを走らない。飛び込みは禁止。
- ⑧ 見学者は、原則として担任の目のとどく所で、体操服に着替えて見学する。
- ⑨ 指導には小プールは2人以上、大プールは3人以上の指導者がいることとする。
- ⑩ バスタオルを着用する時は、わきの下まで下げるようにする。

3、健康観察のチェックポイント

- ① 水に入るのを嫌がり、ひどく寒がる。
 - ② 顔色が悪い。くちびるが紫色になる。皮膚全体が白っぽくなる。
 - ③ 元気がなく、動作が鈍くなる。ぼうっとしていることが多い。
 - ④ ふだんの泳ぎより急にへたになったり、すぐ水を飲んだり、おせたりする。
- ※ 以上のような状態に気づいたら、直ちに水中から出るように指示する。
回復してもプールへ入れない。

4、その他

- ① 感染予防のため、持ち物その他は原則共用しない。
- ② 不安定な気持ちになった児童がいた場合は、タオル等で保温し、安心させる。
- ③ 出血が少しでもある場合は、プールに入れない。
- ④ 熱中症・皮膚の弱い児童は、日陰で休ませる。
- ⑤ けいれんを起こした場合は、すぐに安静にする。
- ⑥ 呼吸停止 →→→ 胸骨圧迫、AEDの措置

※ プールサイドでは、あくまで応急的なものであって、すみやかに医師の診断と処置を依頼する。

※ 当番および指導者の役割

校時	当 番	使用 者
朝	①安全点検 (AED、氷持参) ②水温、気温、WBGT測定 ③水質検査 ④滅菌器へ殺菌消毒剤投入	
1		残留塩素を測定する。 機械が動いているか確認する。
2		
3		残留塩素を測定する。 機械が動いているか確認する。
4		
5		残留塩素を測定する。 機械が動いているか確認する。
6		
放課後	機械停止の確認 機械の殺菌消毒剤の確認 プール水位のチェック トイレ掃除	

* プール用殺菌消毒剤/持続型(顆粒剤)投入量

- ・ 滅菌器 (1袋)
- ・ プールに直接投入はしない。

* 休み前の帰り、大プール…プール用消毒剤 (20錠)

小プール…プール用消毒剤 (8錠)

をボーリングのピン状のものに入れて、プールサイドを歩く。

* ろ過装置には、珪藻土をバケツ半分ほど入れる

* プール日誌は、その都度必要事項を記入する。

☆購入予定プール用消毒剤

奇数年度	偶数年度
スタートリクロン(顆粒) (機械室・ろ過装置用) スターダイクロン(錠剤) (プール直接投入用)	ハイライト90GHn(顆粒) (機械室・ろ過装置用) ハイライトニューエース(錠剤) (プール直接投入用)

プールの安全確保についての水泳指導マニュアル

事故を未然に防ぐ安全管理の徹底

I 管理体制の整備

プールを安全に利用できるよう、適切かつ安全管理を行うための管理体制の明確化。

II プール使用期間前後の点検

- i プール使用期間前の清掃と、点検チェックカードを用いて施設の点検・整備。
- ii 排（環）水口の点検は蓋等のネジ、ボルト等の正常な位置に固定されていること。
- iii 蓋等やそれを固定しているネジ・ボルト等の腐敗、変色、欠落、ゆるみ等がないこと。
- iv 配管の取り付け口の吸い込み防止金具等の点検。
- v 使用期間終了後、排（環）水口の蓋等のネジ・ボルト等に異常がないことを点検。

III 日常の点検及び監視

- i 毎日のプール使用時間前後及び使用中の定時ごとに、排（環）水口の蓋等がネジ・ボルト等の正常な位置に固定されていることを点検。
- ii 気温、水温、利用者数、水質検査結果、施設の安全点検等を管理日誌に記載する。
- iii プール全体が容易に見渡せる位置に立ち、プールサイドでの転倒事故等を防止する。

IV 緊急時への対応

児童に危害が及ぶ可能性のある施設の異常が発見された時

- i 危険箇所に児童を近づけない
- ii 児童を速やかに避難させ、プール使用を中止する。
- iii 当該箇所の修理が完了するまでプールを使用しない。

人身事故が起きた時

- i 傷病者を救助し、安全な場所へ移動する。
- ii 適切な応急手当を行う。
- iii 二次災害の防止から、必要なときは児童を速やかにプールサイドに避難させる。
- iv 必要に応じて救急車を要請し、緊急対応の内容に従い関係者に連絡する。

V 水泳指導教職員の教育・訓練

- i プールの構造及び維持管理
- ii プールの施設内での事故防止対策
- iii 事故発生時等の緊急時の措置と救護
- iv 緊急事態の発生を想定した実施訓練

VI 児童への安全指導

児童へ注意すべき事項・禁止事項、利用にあたって注意喚起を促す。

《体育授業時の熱中症予防について》

☆「暑さ指数計」をもとに、運動を中止するかどうかを判断することを目的とする。

「暑さ指数計」による運動に関する指針

気温	WBGT	指針
35 度以上	31 度以上	運動は原則中止。特別の場合を除いて、運動の中止。 <u>特に、子供の場合は、中止すべき。</u>
31～35 度	28～31 度	厳重警戒。激しい運動は避けること。運動をする場合には、 <u>頻繁に休息を取り、水分と塩分の補給を行う。</u>
28～31 度	25～28 度	警戒。積極的に休息を取り、水分と塩分の補給を行う。 <u>激しい運動では、30 分おきくらいに、休息をとる。</u>

[体育授業時における諸注意]

- ① 児童の健康状態の観察。※連絡帳に見学となっていないなくても、様子を見て判断。
- ② 運動時には、適宜水筒を持ってこさせること。
- ③ 運動時に「暑さ指数計」を日陰に置き、上表の基準をもとに判断、休息を取ったのち、
運動の継続か中止を判断する。

<その他>

- ・学年全体への話をするときは、日陰に集合させて行う。
- ・早めの自主申告を促す。
- ・WBGT が25～28度の時でも練習時間の継続は、20 分を最大限とする。
※20(練習)－5(休息)－20(練習)
- ・運動会の練習時にミストの設置を行い活用する。

1 4. 生徒指導

(1) いじめ防止基本方針

I. いじめ防止に向けた学校の考え方

① いじめの定義

いじめ防止対策推進法（以下、「法」という。）第2条にあるように、「いじめ」とは、「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であつて、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」をいう。

② 津田南小学校いじめ防止基本方針の目的

津田南小学校いじめ防止基本方針（以下、「学校基本方針」という。）は、いじめの防止及び解決を図るための基本事項等を定めることにより、いじめ問題に対して教職員・児童・保護者・地域の方々等が相互に協力しながら子どもの健全育成を図り、「いじめをしてはならない」という気持ちを醸成させ、いじめのない学校を目指すものである。

③ いじめを防止するための基本的な方向性

◎いじめの未然防止

- ・いじめを許さない風土づくり
- ・あいさつ運動
- ・基本的生活習慣の確立
- ・「わかる授業」「児童が主体的に参加できる授業」
- ・適切な人間関係づくり
- ・自尊感情を高める

◎いじめの早期発見・早期対応

- ・いじめを見逃さないための意識向上
- ・教職員相互の積極的な情報交換
- ・教育相談体制の充実

◎いじめに対する適切な対処・措置

- ・組織的な対応
- ・児童、保護者との信頼関係の確立
- ・関係機関との連携強化

Ⅱ. いじめ防止対策委員会の設置・役割

① 設置

○法第22条に基づき、本校に「いじめ防止対策委員会（以下、「対策委員会」という。）」を設置する。

② 構成

○対策委員会の構成員は原則として次の者とする。

校長、教頭、教務主任、生徒指導担当、養護教諭、該当学級担任

○事案の状況により、関係する教職員等を加える。

○必要に応じて、心理や福祉等の専門家（心の教室相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）の参加を求める。

③ 役割

○いじめの未然防止及び早期発見のための取組を企画・推進する。

○いじめ事案に対して中核となり、組織的な取組を展開する。

○いじめに関する情報収集、記録、対応の際の役割分担等を行う。

○重大事態発生の際には、中核となり調査を行う。

○学校基本方針、年間計画の作成、検証、修正を行う。

④ 年間計画

月	内容
4月	いじめ対策委員会（年間活動方針等の確認） 保護者への相談窓口周知・児童への相談窓口周知
5月	家庭訪問週間（家庭での子どもの様子の把握）
6月	いじめアンケート
7月	個人懇談会
8月	人権教育研修
9月	第2回対策委員会（前期の振り返り及び後期に向けて）
10月	
11月	いじめアンケート
12月	個人懇談会（家庭での子どもの様子の把握）
1月	
2月	いじめアンケート・対策委員会（年度末反省検討）
3月	対策委員会（次年度に向けて）

Ⅲ. いじめ防止及び早期発見のための取組

① いじめの防止

児童が、周囲の友人や教職員と信頼できる関係の中、「だれもが、安心して、豊かに」学校生活を送ることができ、規律正しい態度で授業や行事に主体的に参加・活躍できるような授業づくりや集団づくり、学校づくりを行っていく。

- *いじめを許さない風土づくりに努める。
- *児童が主体的に参加できる授業づくり・集団づくりを行う。
 - ・授業での学び合い
 - ・児童会の企画
- *児童の自尊感情が高められる機会を充実させる。
 - ・行事での体験学習
 - ・校外学習や運動会等の学校行事
- *人権教育、道徳教育、体験活動の充実を図る。
- *暴力、いじめ防止教室、情報モラル教室を推進する。

② いじめの早期発見

たとえ、些細な兆候であっても、疑いをもって、早い段階から複数の教職員で的確に関わり、いじめの早期発見に努める。日頃からの児童との信頼関係の構築等に努め、児童が示す小さな変化やサインを見逃さないようアンテナを高く保つとともに、教職員相互が積極的に情報交換を行い、情報を共有していく。

- *いじめを見逃さない教職員の体制づくりを推進する。
- *定期的なアンケートを実施する。（6月、11月、2月）

③ いじめに対する措置

いじめを認知した場合は、特定の教職員で抱え込まず、速やかに組織的に対応する。被害児童を守り通すとともに、教育的配慮のもと、毅然とした態度で、加害児童を指導する。その際、謝罪や責任を形式的に問うことに主眼を置くのではなく、社会性の向上等、児童の人格の成長に主眼を置いた指導を行う。

- *対策委員会を中核として、組織的な対応を徹底する。
- *速やかに事実確認を行い、被害児童及び保護者への支援、加害児童及び保護者への指導・支援を行う。
- *集団全体への指導・支援を適切に行う。
- *状況によって警察署等関係機関、専門機関との連携を適切に図る。

④ 教職員研修の実施

すべての教職員の共通認識を図るため、年間計画に位置付けた、いじめを始めとする児童指導上の諸問題に関する校内研修を行う。

*日頃から、児童理解に努める。

*いじめ防止、未然防止対応に向けた校内研修を計画的に実施（4月）する。

⑤ 学校づくり懇話会・PTA等との連携

学校基本方針等について保護者や地域の方々の理解を得ながら、いじめ問題の重要性の認識を広めるとともに、いじめ問題について協議する機会を設けるなど、緊密な連携協力を図る。

*いじめ問題に対して、個人情報に配慮し、保護者や地域の方々と情報を共有し、共通理解のもと対応を図る。

IV. 重大事態への対処

① 発生時の報告

○いじめが原因で、欠席が連続して7日になった場合、重大事態として、直ちに教育委員会に報告する。

② 調査・報告

○対策委員会を市教委と連携しながら、直ちに対応するとともに、調査を実施する。

○さらに、その調査結果を教育委員会に報告する。

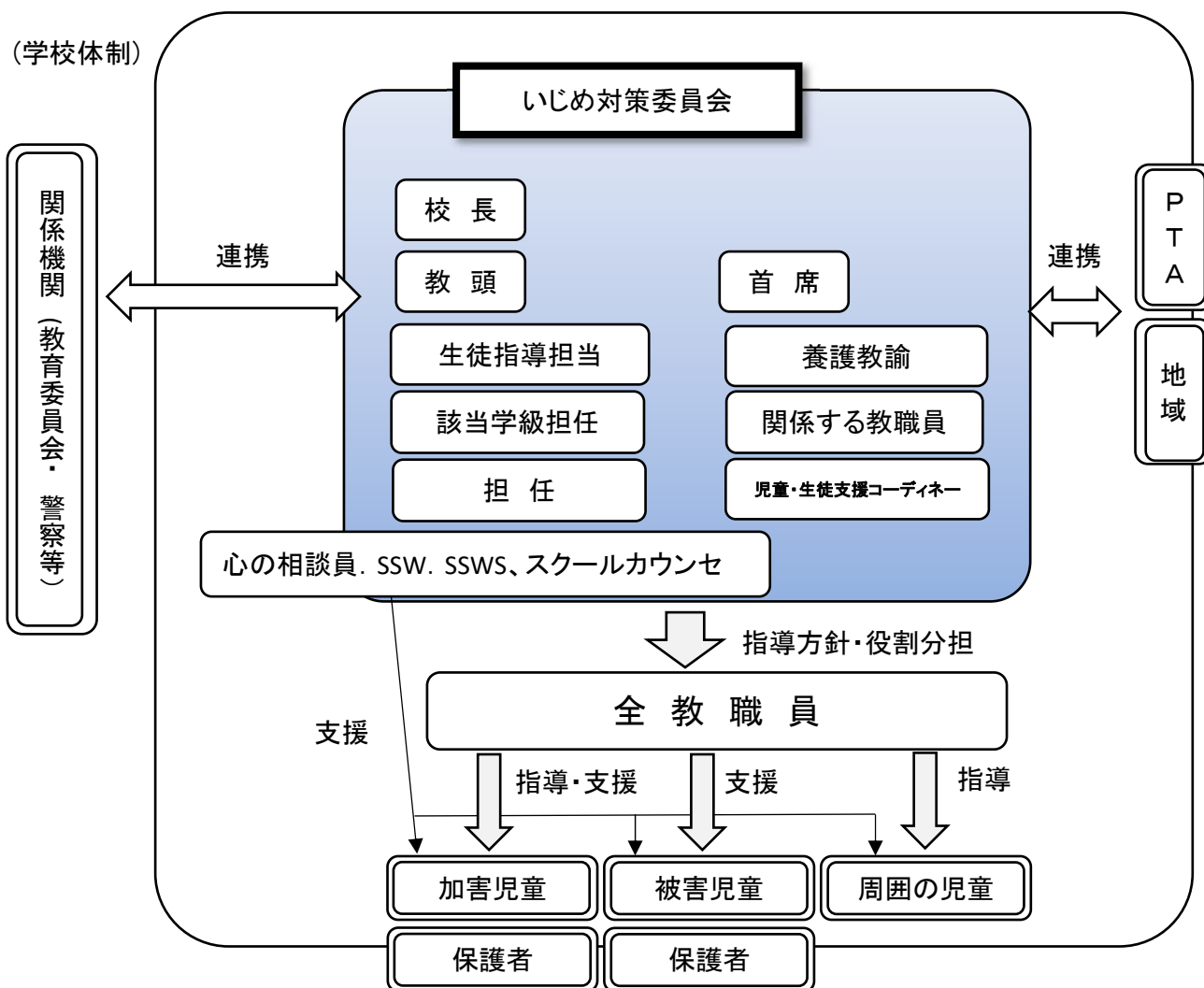
③ 児童・保護者への報告

○いじめを受けた児童及びその保護者に対して、調査によって明らかになった事実関係及び再発防止策を適宜・適切に報告する。

必要に応じて全校児童及び保護者への説明を行う。

V. その他

○必要があると認められる際には、学校基本方針を改定し、改めて公表する。



(関係機関との連携)

(1) 教育委員会が設置する組織

① 枚方市いじめ問題対策連絡協議会

《構成員》枚方市・枚方市教育委員会の関係部課担当者、大阪府中央子ども家庭センター、法務局、警察、その他の機関

② 枚方市学校いじめ対策審議会

《構成員》弁護士や精神科医、学識経験者、心理や福祉の専門家など、対策となるいじめと利害関係のない第三者

(2) その他の機関

① 枚方市子どもの笑顔を守るコール

(いじめ専用ホットライン)
児童・生徒に関するいじめの相談
072 - 809 - 7867 月～金の9時～17時
(祝日・年末年始を除く)

② まるっとこどもセンター

子育て、親子関係・友人関係のこと等、
18歳未満の子どもに関する様々な相談
050 - 7102 - 3221 月～金の9時～17時30分
(祝日・年末年始を除く)

③ 大阪府中央子ども家庭センター

子どもや家庭についての相談
072 - 828 - 0161 月～金の9時～17時45分
(祝日・年末年始を除く)

④ 大阪府すこやか教育相談24

0120-0-78310
年中無休 24時間相談対応

(2) 生徒指導体制

※生徒指導上の問題を起こした場合の対応について

- ① クラスの児童が生徒指導上の問題を起こしたことが判明した際は、その旨を学年主任に報告し、学年→生指担当→首席・教頭・校長の順番で事案のレベルに応じて対応する。
- ② 担任が指導する際は、学年生指又は生徒指導部から1名入り、2人以上で対応する。複数の場合も個別に1人ずつ指導し、その際も教師は2人以上で対応する。児童が多数で、学年のみで対応できない場合は、他の生徒指導部も加わる。
↓
状況が把握できたら管理職に報告し、保護者に連絡する。
↓
場合によっては、児童、保護者に学校に来てもらって話をする。
- ③ 担任は、児童記録カードにこの旨を記入し、職朝・職会で全職員に報告する。
- ④ 前月出た事案をまとめ、児童生徒支援室に報告する。

※授業中、児童が教室から出て行った場合の対応について

- ① 担任が職員室へ、その旨を連絡する。
(担任が離れられない時は、サポートコール又はカードで職員室に連絡。)
- ② 担任は教室に戻り授業を続ける。(児童には探させない。)
職員室にいる教職員で手分けをして対応する。

※教室で周りに危害をあたえた場合の対応について

- ① 職員室にカードを子どもに持って行かせるか、サポートコールを鳴らして応援要請。
(連絡を受けたら、すぐに教室にかけつける。最低2人)
- ② クラスの児童にその場から離れるように指示する。
- ③ 落ち着かせる為にクラスから抜き出し、別の部屋で指導する。(2名以上)
- ④ 担任はクラスの子どもの指導にあたる。
- ⑤ 対教師暴力の時は、被害を受けた教師はその場から離れて職員室にもどり状況を報告する。
他の教師が入って子どもの指導にあたる。
その日のうちに保護者に連絡し指導した後、状況に応じ子どもを引き渡す。
- ⑥ 興奮状態の時も、冷静に対応する。

生徒指導対応マニュアル

ねらい

・児童生徒の問題行動の発生時に学校として必要な対応について共通の理解を図る。

対処する意義は、以下の4点である。

1 問題行動等により、被害児童の被害拡大を未然に防ぐ。

2 加害児童の加害行為を早期に発見、指摘し、本人の自覚を促し、保護者の協力を要請する。

3 教員が適切な指導が行えない状態を未然に防ぐ。

4 レベルにより対応の主体を学校から教育委員会、外部機関へ移行し責任の所在を明確にしつつ問題行動の改善を図る。

☆児童生徒の問題行動の発生時に学校として必要な対応レベル1～4段階に分けて例示する☆

問題行動等レベル別対応

【レベル1】

～いじめ～

・言葉によるからかい・仲間はずれ・攻撃的な言動・乱暴な振る舞い

～その他の問題行動～

・無断欠席、遅刻・反抗的な言動・服装、頭髪違反

□対応

・担任 → 学年 → 生徒指導部

↓
保護者

↓
管理職・児童支援 co・SSW・SSWS

※それぞれに報告を忘れず行う。※同時並行で保護者への連絡を徹底する。

※同様の行為を繰り返す場合は、レベル2の対応をする。

【レベル2】

～いじめ～

・無視・悪口、陰口、軽度の暴言・物を隠す

～その他の問題行動～

・教師へ軽微な暴言、暴力・軽微な賭け事・授業妨害（立ち歩き、暴言）・軽微な器物破損

・授業をエスケープしてたむろ・不登校（年間30日以上）・学校施設の無許可使用

□対応

・担任 → 学年 → 生徒指導部

↓
保護者

↓
管理職・児童支援 co・SSW・SSWS

・ケース会議

⇒対応策を長期的・短期的に検討。

・体制づくり（職員巡視）

⇒全職員で対応する姿勢を示す。

※保護者呼び出し⇒管理職・学年・生徒指導対応

※それぞれに報告を忘れず行う。※同時並行で保護者への連絡を徹底する。

※同様の行為を繰り返す場合は、レベル3の対応をする。

【レベル3】

～いじめ～

- ・暴言、誹謗中傷行為（死ね・うざい⇒直接、SNS等による書き込み）・脅迫強要行為
- ・暴力（蹴る、殴る、たたく、足をかけるなど）

～その他の問題行動～

- ・喫煙・窃盗行為・悪質な賭け事・著しい授業妨害・重大な器物破損・教師への暴言、暴力

□対応

・担任 → 学年 → 生徒指導部

↓
保護者

管理職・SSW・SSWS・児童支援co

↓
警察・子ども家庭センター

・ケース会議

⇒対応策を長期的・短期的に検討。

・体制づくり（職員巡視）

⇒全職員で対応する姿勢を示す。

他の児童が著しく不利益を被る行為を行った場合、ケース会議や保護者との同意の上で、保護者に迎えに来てもらう判断をする。

※保護者呼び出し⇒管理職・学年・生徒指導対応

※それぞれに報告を忘れず行う。※同時並行で保護者への連絡を徹底する。

※同様の行為を繰り返す場合は、レベル4の対応をする。

【レベル4】

～いじめ～

- ・極めて重大な暴力行為、傷害行為・脅迫・恐喝行為（被害の程度、背景を十分に考慮）

～その他の問題行動～

- ・放火・強盗・凶器の所持・教師への極めて重大な暴力、暴言行為

□対応

・担任 → 学年 → 生徒指導部

↓
保護者

管理職・SSW・SSWS・児童支援co

↓
警察・子ども家庭センター

・ケース会議

⇒対応策を長期的・短期的に検討。

・体制づくり（職員巡視）

⇒全職員で対応する姿勢を示す。

他の児童が著しく不利益を被る行為を行った場合、ケース会議や保護者との同意の上で、保護者に迎えに来てもらう判断をする。

※保護者呼び出し⇒管理職・学年・生徒指導対応

※それぞれに報告を忘れず行う。※同時並行で保護者への連絡を徹底する。

保健室登校の児童へ対応

- ・児童の保健室登校は、一定期間にとどめ基本的にステップアップルームへの登校を促す。

・この内容は、児童一人ひとりの状況や生活背景などを考慮して運営される必要がある。

・重大な事案（レベル2～4）に関しては早急にケース会議を行い、職員全体で把握、対応、運営に努める。

不登校（長期欠席含む）児童対応マニュアル

1. 現状

① 家庭環境

- ・ネグレクト、ヤングケアラーなど

② 本人の特性

- ・こだわりにより、学校の生活リズムと合わない。

③ 担任、友達との関係性

- ・担任との関係がうまく作れない。
- ・友達とのトラブルが要因で欠席につながる。

④ その他

- ・明確な理由はない。
- ・長期的に欠席が続き、登校への一歩がつかめない。

上記の4つの理由が挙げられる。登校が必ずしものゴールではないが、**少なくとも登校したい児童が登校できない状況に陥る状況は防がなくてはならない。**

2. 不登校の定義

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために**年間30日以上**欠席した者のうち、**病気や経済的な理由による者を除いたもの**

3. 児童へのアプローチ

※ 原則 担任が不登校児童の家庭へのアプローチを行うこと。（フローチャート参照）

- ・電話連絡

- ・家庭訪問

①全児童案件への記入

- ・保護者と電話した内容
- ・本人や保護者と家庭訪問時に話した内容

②ケース会議資料作成

- ・アセスメントシートを作成する。

4. 不登校児童対応への心得

【姿勢・心持】

①「受容・傾聴」

※参考 自傷行為した児童・保護者への対応

→「TALK」の原則

Tell (言葉に出して心配していることを伝える)

Ask (気持ちについて率直に尋ねる)

Listen (絶望的な気持ちを傾聴する)

Keep safe (安全を確保する)

②教員が一人で抱え込まないこと。

学年・学校全体で一人ひとりの児童を支える。些細な変化や気になったことを受け流さず共有（教員・保護者）する。丁寧な対応にやりすぎはない。

③こまめで正確な記録の徹底。情報共有

④「早期対応」

電話連絡、家庭訪問を行う。保護者や本人と話し、家庭と情報共有を行う。

⑤成果が出なくても継続的に行う。

学校の丁寧な対応が児童の卒業後の生き方に大きく影響を及ぼすことがある。成果が出なくても卒業までやりきることが大切。

【環境 教室編】

- ・長期欠席児童の机、いす、ロッカーが荷物置きにならないようにすること。
- ・班隊形の時に机を移動するなどの配慮。すべての児童を見捨てない対応。

津田南小学校 不登校支援・不登校対応 フローチャート (R6年度保存版)

*令和5年度版(枚方市教育委員会 児童生徒支援課「5つのレベルに応じた不登校対応例 (R4年度保存版)」を参照にして作成



(3) 児童虐待防止マニュアル

「子どもを虐待から守るために 児童虐待の早期発見を目指す校内システム」

1 児童虐待防止に向けての指針

- (1) 児童をより深く観察し、小さなサインを見逃さない体制づくり。
- (2) 幼・小・中、関係諸機関との連携を深め、児童虐待の早期防止につとめる。

2 児童を守る為に

- (1) おかしいと感じたら、迷わず通告。
- (2) しつけのつもりは、言い訳。子どもの立場で判断。
- (3) ひとりで抱えこまない。
- (4) 親の立場より、子どもの立場。子どもの命を最優先する。
- (5) 虐待は、何処でもありうる。

3 虐待のシグナルの発見【チェックシート】

A 児童の身体的特徴

- 不自然な傷や火傷などの外傷、治療を受けていない傷など
- 身体が汚れている
- 服が汚れていたり、季節にあった服を着ていなかったりする。
- 体重増加が不良、低栄養状態やアンバランスな発達の遅れなど

B 児童の行動・表情の特徴

- 極端に優柔不断であるなど、話しているとイライラする。
- ベタベタ甘えてくるかとおもうと、突然切れたりする。
- 担任にすり寄ってくる。顔をうかがう。
- すぐに攻撃的・反抗的態度をとる。
- 我慢を知らない。言い出したら聞かない。
- 大人の神経を逆なでする。挑発的である。
- 突然切れる。感情が急変する。すぐやけになる。
- 成績が急に落ちる。
- 気が散りやすい。集中力がない。
- 授業中に立ち歩くなど、落ち着きが全くない。
- 表情が乏しく、暗く、反応も鈍い。
- しばしば、ボーっとしている。やる気がない。

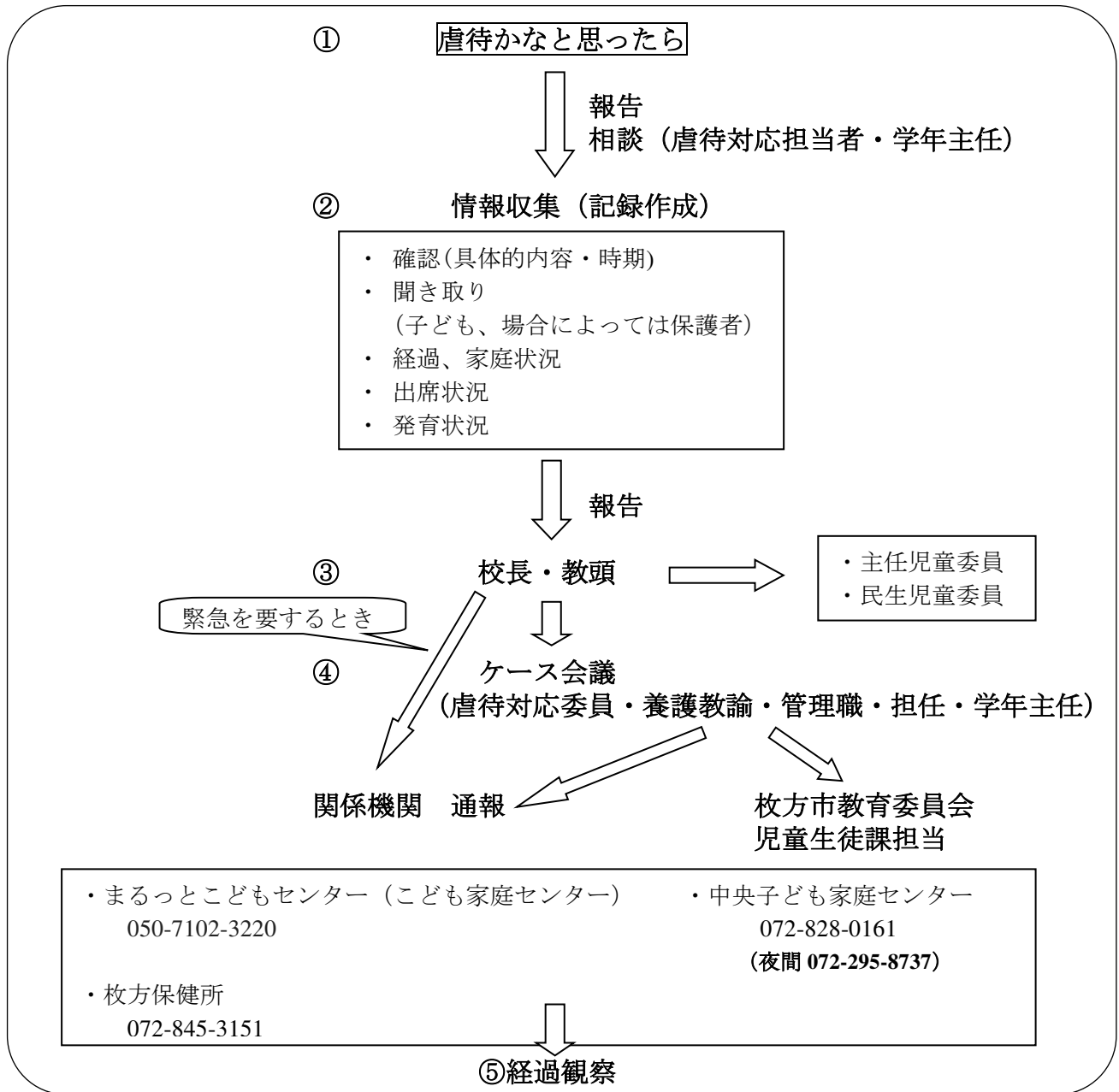
- 元気がなく、抑うつ症状をしめす。
 - 授業中に熟睡したり、「眠い」と保健室を訪れたりする。
 - 忘れ物が多い。いくらいっても宿題をしてこない。
 - 身の回りが散らかっている。
 - 何事にも回避的である。
 - いじめを繰り返す。
 - 他の子を執拗に責めたり、動物をいじめたりする。
 - 集団に入ろうとせず、他の子と頻繁にトラブルを起こす。
 - 理由のない、または見えにくい不登校や怠学傾向。
 - 朝食抜きで登校し、給食をむさぼるように食べるが多いなど、食べ物に対して極端な執着をしめす。
-
- 年齢からして不適切な性的関心や行動が見られる。性的なことに過剰に反応したり、不安をしめしたりする。
 - 親がいるとおどおどし、親の顔色をうかがう傾向が強い。
 - 下校時になっても下校したがらず、家に帰りたがらない。
 - 万引き、ひったくり、シンナーなどの非行・非行傾向がみられる。
 - 家で、深夜徘徊を繰り返す。

C 保護者・家庭の状況

- 学用品をもたせない。
- 明らかに家事が長時間、放棄されている。
- 子どもへの批判的な態度や言葉が多い。
- 不自然な言い訳や話に矛盾点が多い。

※一つだけで虐待と判断するのではなく、総合的に判断すること。

虐待発見した時の対応



(説明)

① **相談・報告**：虐待問題については、一人で抱え込まず、組織的に話し合う。虐待を疑ったら、まず虐待対応担当者や学年主任に相談・報告する。

② **情報収集**を行う。

(複数で対応し、必ず記録を残す。)

市民からの通報の場合

- ・ 通報者のプライバシーは守られること・行政が責任を持って対応することを伝え、今後の情報提供などの協力をお願いします。
- ・ 通報の内容から緊急対応が必要とされる場合は、まるっとこどもセンター(こども家庭センター)、子ども家庭センター等と連携し対応する。
- ・ 夜間などにおいて危機的な状況が見られるときは、最寄りの警察署に連絡する。

(4) 学校のきまり

たの がっこうせいかつ 楽しい学校生活をおくるためのやくそく



令和6年4月 枚方市立津田南小学校

このきまりは、みなさんが毎日楽しく安全にすごしていくための大切なきまりです。
みんなでしっかり守り、明るい学校生活をおくりましょう。

とうこうじこく 8時00分～8時20分

- ◇ 各級の集合時刻を守って、安全に気をつけて登校する。 ◇ この時刻より早く登校しない。

さいしゅうげ とうこうじこく 5時間の日は3時、6時間の日は4時

- ◇ 放課後学習の人は終わり次第下校する。 ◇ 下校する時は、なるべく二人以上で帰る。
- ◇ 校庭開放で遊びに来た時の下校時刻は、5時00分(3月～10月)、4時30分(11月～2月)。
※自転車では、学校には来ません。

こう ない せい かつ 校内での生活

- ◇ 学校に来たら、名札を左胸に着ける。下校前にはずして学校に置いておく。
- ◇ みんなが楽しめるように、危険な遊びはしない。(野球・サッカー・キックベース・高鉄棒など)
- ◇ 赤コーンが立っている時は、運動場で遊ばない。
- ◇ ろう下や階段では右側を歩き、走ったり遊んだりしない。
- ◇ 危険なので、コンクリート部分では走ったり遊んだりしない。
(くつ箱まわり・調理場まわり・中庭・体育館まわり)
- ◇ 高い所や窓から、顔を出したり、物を投げたり、落としたりしない。
- ◇ 上ぐつ・下ぐつ・体育館シューズの区別をつけ、使う場所を守る。
- ◇ 必要でないものは、持ってこない。例：携帯電話・おかし・シャーペン・多色ボールペン・キーホルダーなど
- ◇ 職員室に鍵を取りに行く際は、先生に用件を伝えてから鍵を取り、クラスの札をかける。
- ◇ 学校では、次の物を身につけない。(ミサンガ・プレスレット・エクステピアスなど)
- ◇ 毛染め・脱色・パーマなどはしない。
- ◇ 忘れ物は、家に取りに帰らない。また学校に忘れた物を取りにくるときは、必ず保護者と来る。
- ◇ 自分の物には必ず名前を書き、落とし物は先生にすぐ届ける。
- ◇ 必要のない、トイレやろう下の電気は、消しておく。

こう がい せい かつ 校外での生活

- ◇ 家庭では、基本的な生活習慣を心がける。(早寝早起き・朝ごはん・あいさつなど)
- ◇ お金や物をあげたり、貸し借り、おごりあいをしてない。用事がない時は、お店などに行かない。
- ◇ 危険な場所や入ってはいけない所では遊ばない。(線路・ふみきり・田んぼ・畑・池・用水路など)
- ◇ 危険な遊びや迷惑になることはしない。(エアガンなど)
- ◇ 遊びに行くときは、行き先・遊ぶ友だちの名前・帰る時刻などを家の人に言う。
- ◇ 登下校や出かける時は、ホイッスルや防犯ブザーをつける。
- ◇ 子どもだけで校区外へ遊びに行かない。



15. 学校安全・防犯・防災計画

学校または、その付近に非常災害の生じた場合、職員は冷静沈着に臨機応変の処置がとれるように平素の心構えをつくる。

<避難訓練について>

- ① 対象災害等種別 火災、地震、風水害、不審者の侵入
- ② 訓練計画
 - ・ 6月：地震避難訓練・引き渡し訓練
 - ・ 11月：火災避難訓練
 - ・ 1月：不審者対応避難訓練
- ③ 基本的な避難経路 ※別掲
- ④ 基本的な避難方法 ※災害等種別の留意点は下記に掲載している。
 - 1、通報（放送）を最後まで静かに聞き、職員は、校長の指示に従い、児童を避難誘導する。
 - 2、児童の持ち物は、状況を考慮して担任が指示する。
 - 3、静かに落ち着いた行動をとる。
 - ・ 校舎内では、押さない、走らない、しゃべらない、戻らない。
 - ・ 途中で物を落としても拾わない。
 - ・ 避難場所（運動場の南側、朝礼時の回れ右の形）では、静かに整列して座って指示を待つ。
 - 4、担任は、児童を引率し整列させ、人数の確認、学校長に報告する。
 - 5、状況判断の上、地区ごとに地区担当者の指導のもとに児童を帰宅誘導する。
- ⑤ 勤務時間外の対応
 - 1、施設管理人は、関係当局、学校長に急報し、正門、非常口を開放する。
 - 2、職員は連絡しあい、直ちに登校する。

(1) マニュアル

① 本校及び周辺の被害予想及び避難について

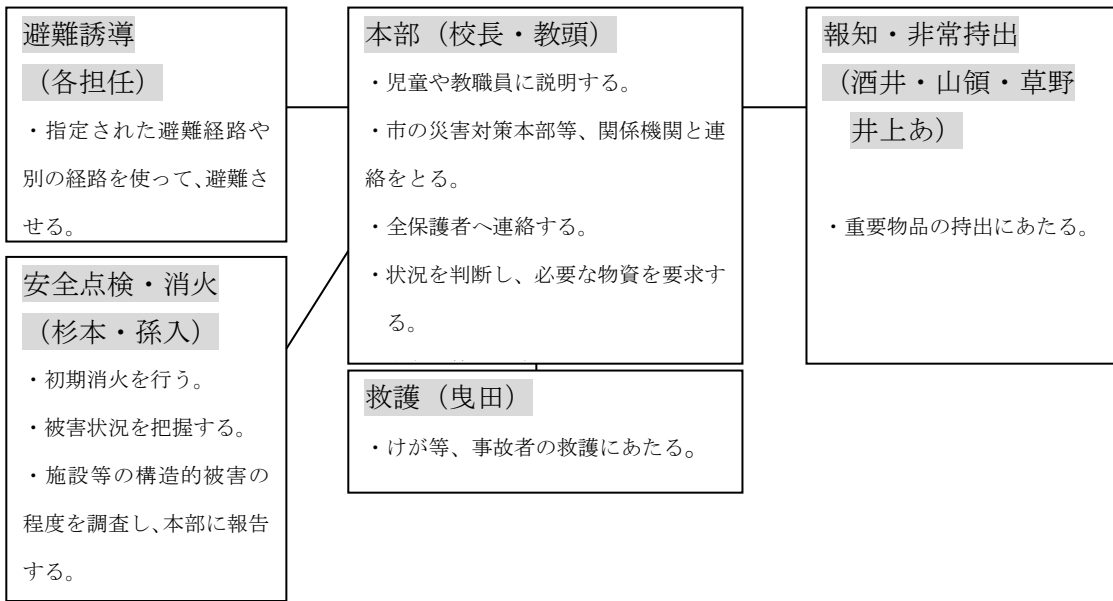
本校は、JR学研都市線津田駅の北西、津田西町3丁目に位置している。枚方市の第1次避難所として指定されており、穂谷川の氾濫による洪水、及び地震発生時には避難所となる。枚方市のハザードマップによると、本校は穂谷川氾濫による浸水の被害はないとされているが、本校に近い野村元町地域では0.5mから1mの浸水が予想されており、その際には本校に多数の住民が避難することになる。また大雨による内水については、本校も0.5m未満の浸水が予想されており、その際には、2階3階への避難が必要である。

本校校区内（津田南町1丁目）には土砂災害警戒区域があるため、避難勧告が発表された際には本校に避難する住民がいる。通学路も土砂災害警戒区域にあるので、安全の確認が必要である。

本校周辺では、くにみの丘公園、空見の丘公園が一時避難場所となっており、避難所としては、津田小学校、津田中学校がある。また救急医療機関として、枚方東整形外科病院（津田西町）、津田病院（津田東町）が枚方市災害医療協力病院であり、枚方公済病院（藤阪東町）が拠点応急救護所となっている。

枚方東消防署が津田北町に、野村元町と春日元町には消防団車庫がある。

② 初動体制



③ 施設及び設備等の安全点検

安全点検の種類	時間・方法等	対 象
定期の安全点検	毎月 1 回 教職員全員が組織的に実施	児童が使用する運動場、遊具、教室、特別教室、廊下、階段、トイレ、手洗い場 など
	年 2 回 業者委託	消防設備
臨時の安全点検	必要があるとき ・運動会などの学校行事の前後 ・暴風雨、地震などの災害時	必要におうじて点検項目を設定
日常の安全点検	毎授業日ごと	児童が最も多く活動を行うと思われる箇所

非構造部材の点検
天井、照明器具、窓ガラス、外壁、内壁、放送機器や空調室内機等の設備機器、テレビ、収納棚、ピアノなどについて、枚方市教育委員会と連携し、年 1 回点検を実施する。

(2) 火災について

<平常時の注意>

- ① 火気、電気、ガス、薬品などについて発火、引火の際に危険がないよう設備と取扱いに注意する。
- ② 非常口を点検し、年度初めに児童と共に避難経路を確認する。
- ③ 消火栓の点検と消火器具の機能保全に努める。

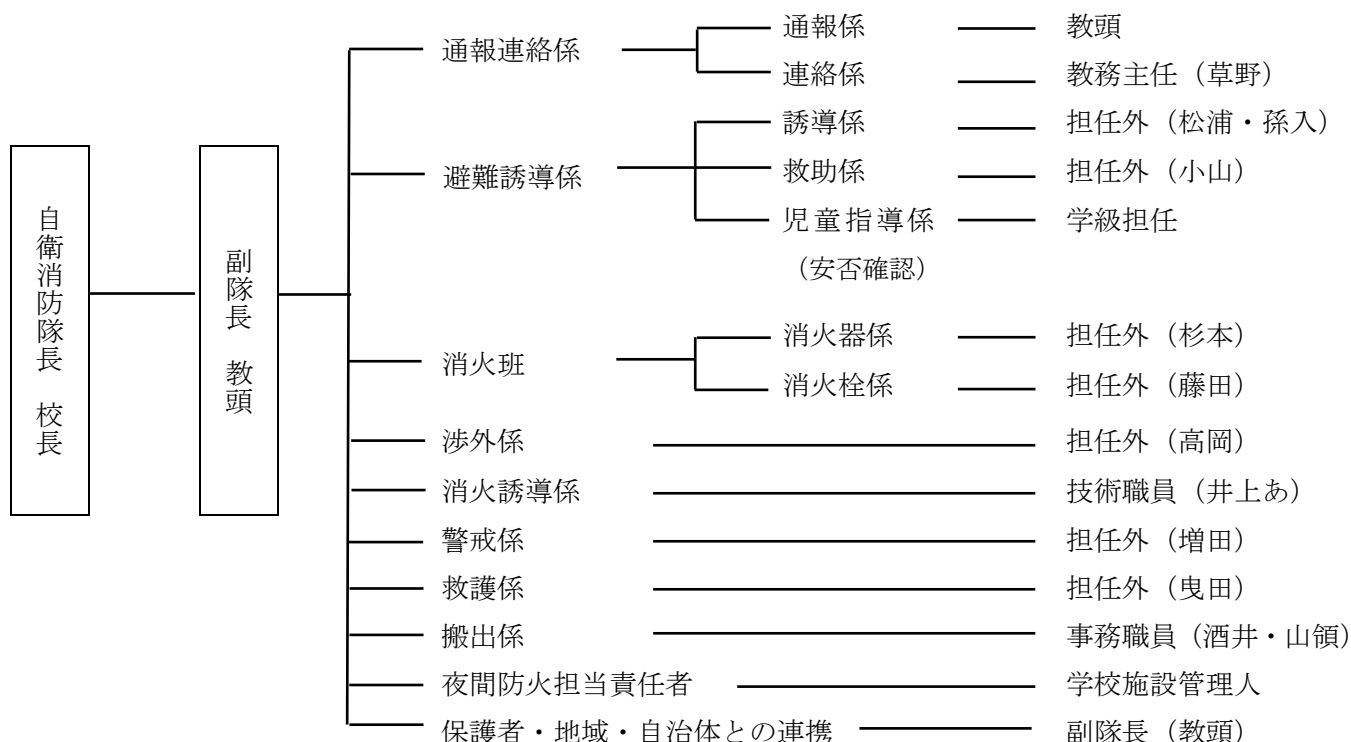
<火気についての分担場所>

- 管理棟 教頭、技術職員
 普通教室 各担任
 特別教室 各教科研究部担当者

<火災避難時の留意点>

- ① 火災報知器等により、発生場所を確認し、放送機器等を通じて通報する。
- ② 窓を閉める。
- ③ 出火場所を考えて、避難経路・避難場所の変更等をする。
- ④ 移動の際、煙の多いときは、口をふさぎ、体を低くする。
- ⑤ 安否確認は各担任で行う。

<自衛消防組織表>



(3) 地震について

〈別掲1参照〉

〈地震避難時の留意点〉

- ① 鉄筋校舎では、教室内にとどまり、各自の机の下に入る。
- ② 避難口を開ける。
- ③ 火の始末をする。
- ④ 移動の際、頭を物で保護し、落下物に注意する。
- ⑤ 震度5弱以上の地震の場合、地震に伴い火災が発生した場合、上記の火災時の避難方法にも準じて、避難を行う。

(4) 風水害について

〈別掲2参照〉

〈風水害避難時の留意点〉

- ① 台風等が接近し大阪府全域または、枚方市に暴風警報が出た場合は、学校長の指示により、登校停止や下校、その他の措置をとる。
- ③ 登校中・在校中に「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」「洪水警報」が発令されたとき引き渡しとなります。

(5) 不審者の侵入について

〈別掲3参照〉

〈不審者侵入時の留意点〉

不審人物等の侵入に対して、児童の安全確保を図る。※別掲「不審者侵入防止のための危機管理マニュアル」

〈別掲1〉

地震発生時における学校の対応について

- 1 枚方市において、震度5弱以上の地震が発生した場合、以下の対応となりますので、市のホームページ、防災無線、テレビ、ラジオ等の情報に注意してください。
- 2 家庭内での身を守る場所の確認や、登下校中に地震が発生した際、一時避難する安全な場所(公園・近くの学校の校庭等)の確認をお願いします。
- 3 保護者への引渡し下校の際は、学校からの連絡に基づいて、ご対応をお願いします。

状 パ タ ー ン 況 況	震度5弱以上の地震が発生
登 校 前	<p>臨時休業</p> <p>※前日の下校以降、登校までに発生した場合は、当日を臨時休業とする。 ※土・日・祝日及びその前日に発生した場合は、休業日明けを原則、臨時休業とする。</p>
登 校 中	<p>児童・生徒は、危険な場所を避け、安全な場所 (公園・近くの学校の校庭等)へ一時的に避難</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>揺れがおさまった後、原則として登校</p>
在 校 時	<p>地震時は身を守る行動をとり、揺れがおさまったら、 余震に備えて校庭へ避難 ⇒ 以降、臨時休業</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>児童・生徒の確認・保護</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>安否情報及び、下校について保護者へ連絡</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【児童】保護者への引渡し 【生徒】保護者への引渡し・地域毎に集団下校(教職員引率)</p>
下 校 中	<p>児童・生徒は、危険な場所を避け、安全な場所 (公園・近くの学校の校庭等)へ一時的に避難</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>揺れがおさまった後、原則として自宅へ</p>

※留守家庭児童会室の対応について

- ①登校前から在校時までの間に震度5弱以上の地震が発生した場合、留守家庭児童会室は臨時休室とします。
- ②留守家庭児童会室在室時に発生した場合は、学校対応の「在校時」に準じた対応とします。
- ③三季休業中など(学校休業日に留守家庭児童会室を開室する日)に発生した場合も、上表に準じた対応とします。

台風接近等に伴う「特別警報・警報」発表時の措置について

〈別掲2〉

1. 特別警報が大阪府全域あるいは東部大阪、枚方市に発表された時

午前7時現在	発表中	◇ 臨時休校とします。
在校中	発表	◇ 集団下校をします。(状況により、学校待機となります。教育委員会と連携して対応します。)

2. 大阪府全域あるいは東部大阪、枚方市に「暴風警報」または「暴風雪警報」が発表された時、枚方市に「洪水警報」が発表された時

午前7時現在	発表中	◇ 児童の登校を見合わせ、解除になるまで、自宅待機とします。 (以下、ニュース等で確認してください。)	
午前9時現在	発表中	◇ 児童の登校を見合わせ、解除になるまで、自宅待機とします。	
午前7時～9時	解除	◇ 午前9時頃に集合して、集団登校させてください。第2校時の開始時間を9時45分以降に変更して授業を始めます。 ※ 午前9時近くに解除の場合は、解除の20分後をめぐりに集合して、集団登校させてください。	給食はあります 下校は平常通りです。
午前10時現在	発表中	◇ 臨時休校とします。	
午前9時～10時	解除	◇ 午前10時頃に集合して、集団登校させてください。第3校時の開始時間を10時45分以降に変更して授業を始めます。 ※ 午前10時近くに解除の場合は、解除の20分後をめぐりに集合して、集団登校させてください。	給食はありません ご家庭で昼食のご用意をお願いします。午後0時10分ごろより、下校します。

※登校後、枚方市に「特別警報」、「暴風警報」、「暴風雪警報」、「洪水警報」が発令された時

原則として学校待機。学校が雨量の状況を踏まえながら、通学路の安全確認を行うとともに、土砂災害警戒情報等発令の諸般の事情を勘案し、子どもの安全の確保が確認できましたら「暴風警報」、「暴風雪警報」、「洪水警報」の場合は引き渡しとなります。(引き渡しまでの間は、学校待機となりますが、できるだけ速やかにお迎えをお願いします。)

- ・ 特別警報・暴風警報が東部大阪あるいは大阪府全域、「洪水警報」が枚方市に発表された際は、留守家庭児童会も閉室となりますのでご注意ください。
- ・ 枚方市に特別警報・暴風警報・暴風雪警報・洪水警報が発令された際および震度5以上の地震が発生した際は、留守家庭児童会も閉室となりますのでご注意ください。
- ・ 学校と教育委員会、諸機関との緊急連絡ができなくなりますので、電話でのお問い合わせはご遠慮願います。
- ・ 休校などの措置については、メールおよび学校ホームページでお知らせします。
- ・ 参観日と重なった場合は、参観は中止とさせていただきます。ご了承ください。

1. 本校の警備体制について

【通常時の警備体制（門の管理）について】

① 登校時

(1) 原則として朝の開門は8時00分（正門のみ）

(2) 登校時は正門を開放。なお、児童への登校時刻等について、次の点を指導する。

※通常の授業時は、8時00分～8時20分の間に登校すること。（段階的に8時30分に移行予定。）

※遅刻して門が閉まっている場合は、安全監視員に申し出る。安全監視員が巡回している場合は、インターホンを鳴らすこと。

(3) 正門指導

※正門で児童の登校を見守る。

※8時30分に施錠。その際、児童の安全に十分配慮し、安全を最優先すること。

※安全監視ボランティアによる対応。

② 授業時・休憩時 ※原則門は施錠のこと

(1) 門は施錠している。

(2) 安全監視員・安全監視ボランティアによる対応。

(3) 来校者や遅刻した児童に対して、原則的には安全監視員が対応。安全監視員が巡回中は、インターホン及びモニターによって、職員室で確認の上、解錠する。

※来校者名簿の記入と来校者用入校証の着用。

※児童が早退する場合は、早退カードを持って安全監視員に提出してから帰宅する。

③ 下校時・放課後

(1) 児童は下校の際には、正門から下校させる。

(2) 安全監視員による対応。

(3) 来校者については、授業時と同様。

2. 来校者等の受付について

【遅刻した児童の場合】（8時30分以降）

※安全監視員が通用門を解錠する。インターホン・モニター使用の場合、職員室で児童の確認と、解錠及び通用門を通り抜けることを確認する。

【来校者の場合】

(1) 安全監視員が対応。名前・用件の確認。場合によっては、校長・教頭に連絡し、指示を仰ぐこと。

(2) 問題ない場合、安全監視員が解錠。来校者名簿の記入と来校者用入校証の手渡しと着用の依頼を行う。

(3) 保護者については、既に配布済みの「保護者用入校証」（各家庭2枚配布）の提示を求める。

来校者名簿の記入。必要に応じて、訪問場所に案内する。

※来校者カード（入校証）；保護者（ピンク）その他（水色）

3. 校内巡視と安全点検について

- (1) 本校教職員は常に名札を着用するとともに、防犯ベル・防犯用笛を携帯すること。
- (2) 校内巡視中、何か緊急の事態が生じた場合、ベル・笛を連続的に鳴らし、近くの教職員に知らせる。
- (3) 原則的に、毎休憩時間は、児童の監督とともに不審者等の巡視を行う。
- (4) 始業前の正門指導と校内巡視、放課後の校内巡視の徹底。
- (5) 以下の場所について月に一回、安全点検を実施する。

・各教室 ・各特別教室 ・各階トイレ ・各遊具

4. 防犯訓練と安全教育等

① 防犯訓練の実施に関する注意事項

- (1) 防犯訓練を、教職員のみで1回、児童を含めて1回、毎年実施する。
※児童を含めた訓練は、毎年6月に行う。
- (2) 児童に危害が加えられた場合を想定した訓練は、教職員のみで実施する。
- (3) 児童を含めて実施する訓練では、児童が動揺しないよう配慮する。とりわけ「不審者」が実際に侵入してくる訓練については、児童が怖がる事のないようにする。
- (4) 訓練にあたっては、必ず警察・消防等関係機関と連携し、実際に通報する訓練も行うようにする。
- (5) さすまたは、各階に設置している。
- (6) 事前に保護者に理解と協力を求め、保護者への緊急連絡訓練についても検討する。

② 教職員研修会について

- (1) 防犯等に関する教職員研修会を、次のように開催する。
 - ・ 本マニュアルに基づいた教職員研修(6月の職員会議で実施)
 - ・ 不審者侵入を想定した緊急時の訓練(教職員のみ)
※毎回想定(場所・時間・状況)を変えて実施する。
 - ・ 危機対応能力等の向上や児童への安全教育を充実させるための研修会
- (2) 上の①及び②については、PTAの本部、生活指導委員会にも協力を依頼し、保護者の参加型の訓練を検討する。

③ 児童への安全教育実施に際しての留意事項

- (1) 交通安全・生活安全(防犯を含む)・災害安全について、学校安全計画に基づいて実施する。
- (2) 防犯教育については、その内容について「学校だより」等により予め保護者に周知し、理解と協力を得て実施する。その際、保護者からの申し出等により、犯罪被害にあったことのある児童について配慮が必要な場合は、学年で相談し適切に対応する。
- (3) 通学路等での万一の際の対処の仕方(助けを求める・逃げる・信頼できる大人に話す)についても指導する。長期休業前には、再度詳細な指導を行う。また、被害にあったり、あいそうになったりした場合には、必ず家の人から警察に届け出てもらおうとともに、保護者から学校の先生に伝えてもらうよう指導する。
- (4) 「子ども110番の家」「子ども110番のタクシー」やコンビニエンスストアに助けを求める方法を必ず指導する。
- (5) 校内に不審者がいる場合について指導する。特に、教職員・来校者は必ず来校者カード等を着用していることや、着用していない人には近づかず教職員に知らせることや、自分の身が危ない時はすぐに逃げることなどについて指導する。
- (6) 低学年では、1学期の早い段階(4月～5月)で、学習を行う。(ビデオ教材・書籍等も活用)
- (7) 防犯ホイッスル・ブザーの携帯の徹底。

5. 関係者以外の学校立ち入り

① 来校者を見かけた場合

見かけた教職員は、「来校者カード」を着用しているかチェックする。

(1) 着用している場合

→ あいさつと声かけ 「どちらへご用ですか?」「場所はおわかりですか?」等

→ 挙動不審の場合には、校長室まで案内する。

「ご用件をお聞きしますので、こちらへお越し下さい。」等

→ 案内を拒否した場合には、退去を求める。

「申し訳ございませんが、お引き取りいただけますか。」等と、丁寧に退去を求める。

(2) 着用していない場合

「恐れ入りますが、受付はお済みでしょうか?」と、声をかける。

→ 受付まで案内し、来校者名簿へ記入の上、「来校者カード」を着用してもらう。

→ 受付を拒否した場合は、校長室まで案内する。

「ご用件をお聞きしますので、こちらへお越し下さい。」等

→ 案内を拒否した場合には、退去を求める。

「申し訳ございませんが、お引き取りいただけますか?」等と、丁寧に退去を求める。

② 校長室に案内した場合

案内する途中で、他の職員へ連絡する。それができない場合は、校長室に通してから連絡し、複数職員で対応する。

「本校では、来校者の皆さんに、必ず受け付けで来校者名簿に記入し、来校者カードを着用していただくようお願いしている。」ことを説明し、ご理解いただく。「本校へどのようなご用件で来られましたか?」と、用件を確認する。

(1) 理解いただき、用件のある場合

来校者名簿へ記入の上、「来校者カード」を着用してもらい、用事のある場所まで案内する。

(2) 理解いただけない場合・用件のない場合

退去を求める。「申し訳ございませんが、お引き取りいただけますか?」等と退去を求める。

③ 退去を求めた場合

(1) 退去した場合

退去を確認し、再度侵入しないよう監視する。

教頭から、交野警察署 072-891-1234

近隣の学校園「津田小学校」(電話:050-7102-9052)「津田中学校」(電話:050-7102-9200)

教育委員会支援教育課(電話:050-7105-8025)に連絡する。

(2) 退去を拒否した場合

危害を加える恐れがないかを判断する。

→ 恐れがないと判断する場合には、再度退去するよう説得する。

→ 退去した場合:③-(1) →退去を拒否した場合:危険レベル1

→ 恐れがあると判断する場合:危険レベル2

6. 危機レベルと事件対策本部の発動

危機レベル

レベル1：児童（教職員）に危害が及ぶ危険性がある場合

レベル2：児童（教職員）に直ちに危害が及ぶ危険性が高い場合

レベル3：児童（教職員）に危害が及んだ場合

※レベル1以上の状況となった場合、事件対策本部を発動し、原則として下記の役割分担に従って行動する。

※笛が鳴った場合はレベル2以上の状況であるので、近くの教職員は直ちにその場所に駆けつける。

それ以外の教職員は、下記の役割分担に従って行動する。

※状況に応じ、本部の指示のもと臨機応変に対応する。

役割	名前	発生時・直後の対応	中・長期的な対応
本部	校長 教頭 首席 主事	<ul style="list-style-type: none"> 全体の状況把握、統轄及び指揮 警察（110番）、消防（119番）への通報 校内緊急放送 児童への指示の決定 教育委員会学校安全課への連絡及び支援要請 近隣学校園への連絡 保護者（PTA本部役員等）への連絡 通信方法の確保（電話・FAX・E-mail等） 当日の下校方法の決定 今後の登下校方法・授業についての決定 保護者説明会の準備と開催 保護者あて連絡文の発行 記録 	<ul style="list-style-type: none"> 再発防止、学校再開のための総括 報告書の作成 保護者、地域住民との連携方策等の改善
安全誘導班	担任 支援学級担任 担外	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所・経路の設定 児童の誘導 児童の点呼(安全確認) 児童の状況把握 <u>必要に応じ救護班・侵入対応班の応援をする</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 心のケア 着手 記録 負傷者に対するケア 心のケア(スクールカウンセラー、教文相談員等) 学校医等との連携体制の改善 安全教育の内容、指導体制等の見直し
救護班	養護教諭 栄養教諭	<ul style="list-style-type: none"> 負傷者の確認、全容把握 負傷者の応急手当 負傷者の搬出 救急車同乗及び搬送先からの連絡 負傷者搬送先の確認 負傷児童の保護者への連絡 学校医への連絡 	
侵入者対応班	各学年 担外 校務員	<ul style="list-style-type: none"> 侵入者対応 侵入者隔巡 校内巡視 事件の情報収集、把握、整理 学校の安全状況の把握 地域の安全状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 再発防止策の検討と危機管理マニュアルの改善 組織（役割分担）の見直し

*役割担当表あり

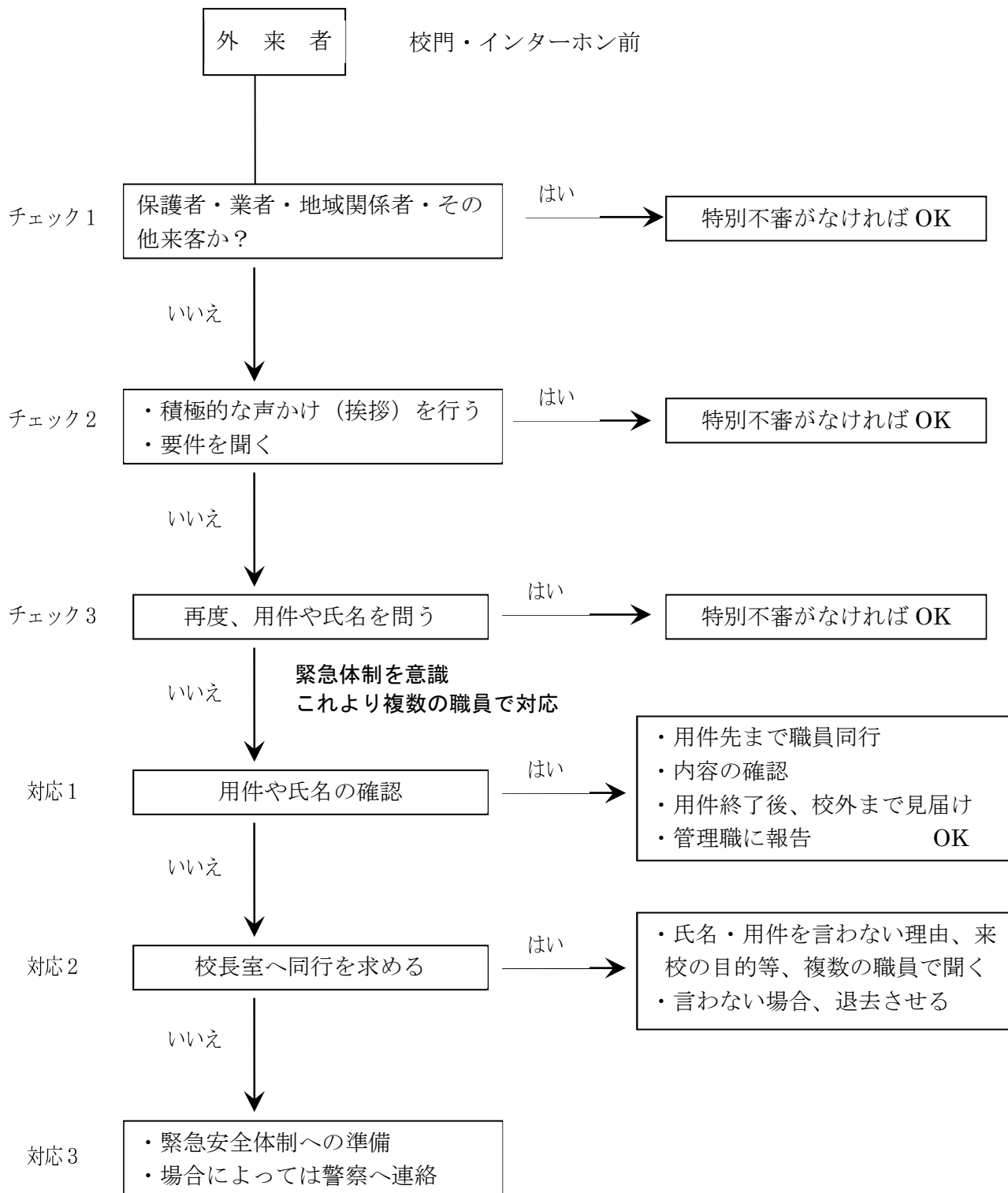
7. 地域連携等

(1) 地域派出所との連絡・連携

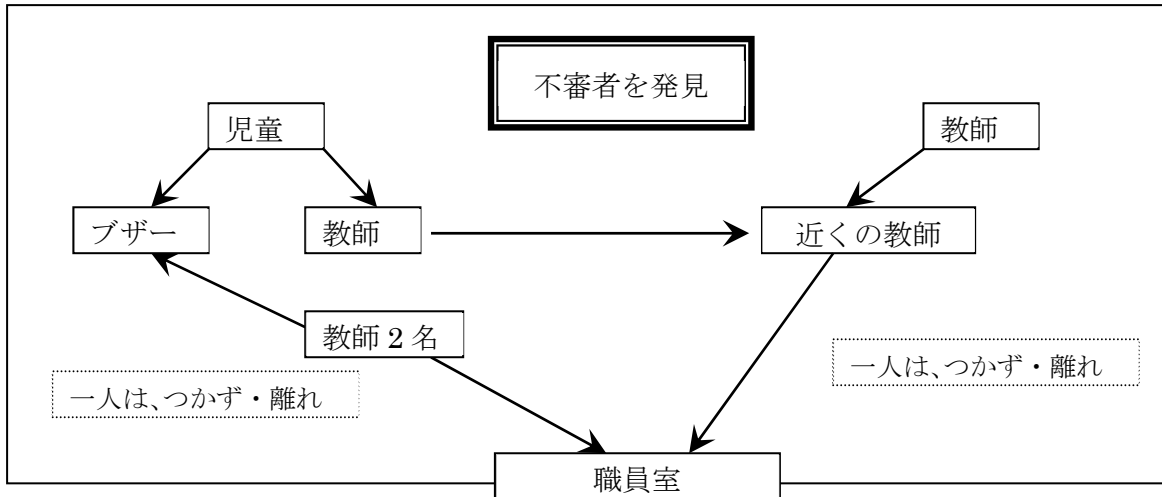
(2) 月1回の「いきいきプラザ運営委員会」（自治会長・青少年を守る会長・体育指導員・民生児童委員長・PTA会長・管理職等）で安全管理についての情報交換やパトロールの依頼。

(3) コミュニティー協議会との連携。

<確認フローチャート>



不審者侵入時の対策



校長：危機レベルを判定・110番への要請
 教頭：教育委員会へ連絡

不審者への確認後、危機状況の解除	危機レベル1 児童（教職員）に危害が及ぶ危険性がある場合 『連絡します。くにみ会を〇〇で行っています。児童のみなさんは、教室に入ってください。』	危機レベル2 児童（教職員）に直ちに危害が及ぶ可能性が高い場合 『連絡します。くにみ会を〇〇で行っています。児童のみなさんは、〇〇から離れて教室に入ってください。』	危機レベル3 児童（教職員）に危害が及んだ場合 『連絡します。大至急、〇〇まで来て下さい。児童のみなさんは、急いで〇〇から離れて教室に入ってください。』
	放送があるまで、児童は教室で待機(安否確認)	放送があるまで、児童は教室で待機(安否確認)	放送の指示で教室（体育館）に移動(安否確認)後 引き取り下校

児童が行方不明になった場合

〈1〉学校内での搜索

- ・すぐに校長、教頭に連絡する。

※(氏名、学年、組、地区、服装・アルバムで顔の確認、その他特徴等)。
内巡視をする。

《搜索場所》

- 校長 . . . 校長室前廊下・玄関前
- 教頭 . . . 正門周辺・中庭
- 担外 . . . 家庭科室 図工室 音楽室 理科室
保健室 図書室 職員室
調理場周辺 中庭 東階段
体育館プール周辺
正門周辺 運動場

少人数担当 . . . 少人数教室

- 1年 . . . 第1学年前廊下 トイレ
- 2年 . . . 第2学年前廊下 トイレ
- 3年 . . . 第3学年前廊下 トイレ
- 4年 . . . 第4学年前廊下 トイレ
- 5年 . . . 第5学年前廊下 トイレ
- 6年 . . . 第6学年前廊下 トイレ
- 支援担 . . . 残った児童の担当

*児童が発見され次第、管理職若しくは職員室在室職員が「校内巡視ありがとうございました。」と放送する。

〈2〉学校外での搜索

- ・各学年1名を児童の安全確認に残し、他の職員で下記分担より搜索活動。
(残留職員は留守学級も担当する)

〈搜索場所〉

- 1年 . . . 学校周辺
- 2年 . . . 春日周辺
- 3年 . . . 駅西周辺
- 4年 . . . 駅東周辺
- 5年 . . . 津田南周辺
- 6年 . . . リーデンス周辺
- 担外 . . . 津田山手周辺

*搜索職員は出来る範囲で携帯電話を携行する。

*見つからなくても15分毎に学校に連絡。

*原則として、1時間位で帰校。

*警察への連絡は校長か教頭の指示で職員室在室職員が行う。

〈3〉職員帰宅後や休日の場合

職員連絡網により召集。発見、保護するまで搜索。同時に保護者、警察、教育委員会との連携を図る。

(6) Jアラートによるミサイル発射情報が発信された場合の対応

① 児童への指示と避難行動

児童が屋外にいる場合 ⇒ すぐに近くの校舎への避難を指示し誘導する。

児童が屋内にいる場合 ⇒ 窓から離れ、机の下にもぐり頭部を保護する。

<近くにミサイルが落下した場合>

児童が屋外にいる場合 ⇒ 口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ校舎内又は風上へ避難を指示し誘導する。

児童が屋内にいる場合 ⇒ 換気扇を止め、窓を閉め、室内を密閉する。

※校外学習等で学校外にいる場合は、枚方市のガイドライン(別紙①)に基づいた避難行動を取るとともに、学校へ連絡する。

② 正確な情報収集

- ・ Jアラートの続報、テレビ、ラジオ、インターネット等から情報収集する。
- ・ 教育委員会または行政機関等からの指示があれば、それに従い落ち着いて行動する。

③ 登下校時の留意事項

- ミサイルが上空通過、枚方市を中心とした一定距離圏外(約30km)または大阪府域外に落下した場合
⇒ Jアラートの続報などでミサイルが上空を通過したことや海上等に落下が確認できた場合は、安全確認後、原則として児童の登下校を再開する。
- ミサイルが枚方市を中心とした一定距離圏内(約30km)または大阪府域内に落下した場合
⇒ Jアラートの続報、テレビ、ラジオ、インターネット等から情報収集し、安全確認ができるまでは児童を学校で待機させる。
- ミサイルの落下物を発見した場合 ⇒ 決して近寄らず、警察・消防に連絡する。

④ その他の対応

別紙①の「Jアラートによるミサイル発射情報に対するガイドライン」に基づいて対応する

Ⅲ Jアラートによるミサイル発射情報が発信された場合の枚方市立学校園の対応

1 Jアラートが発信されたとき

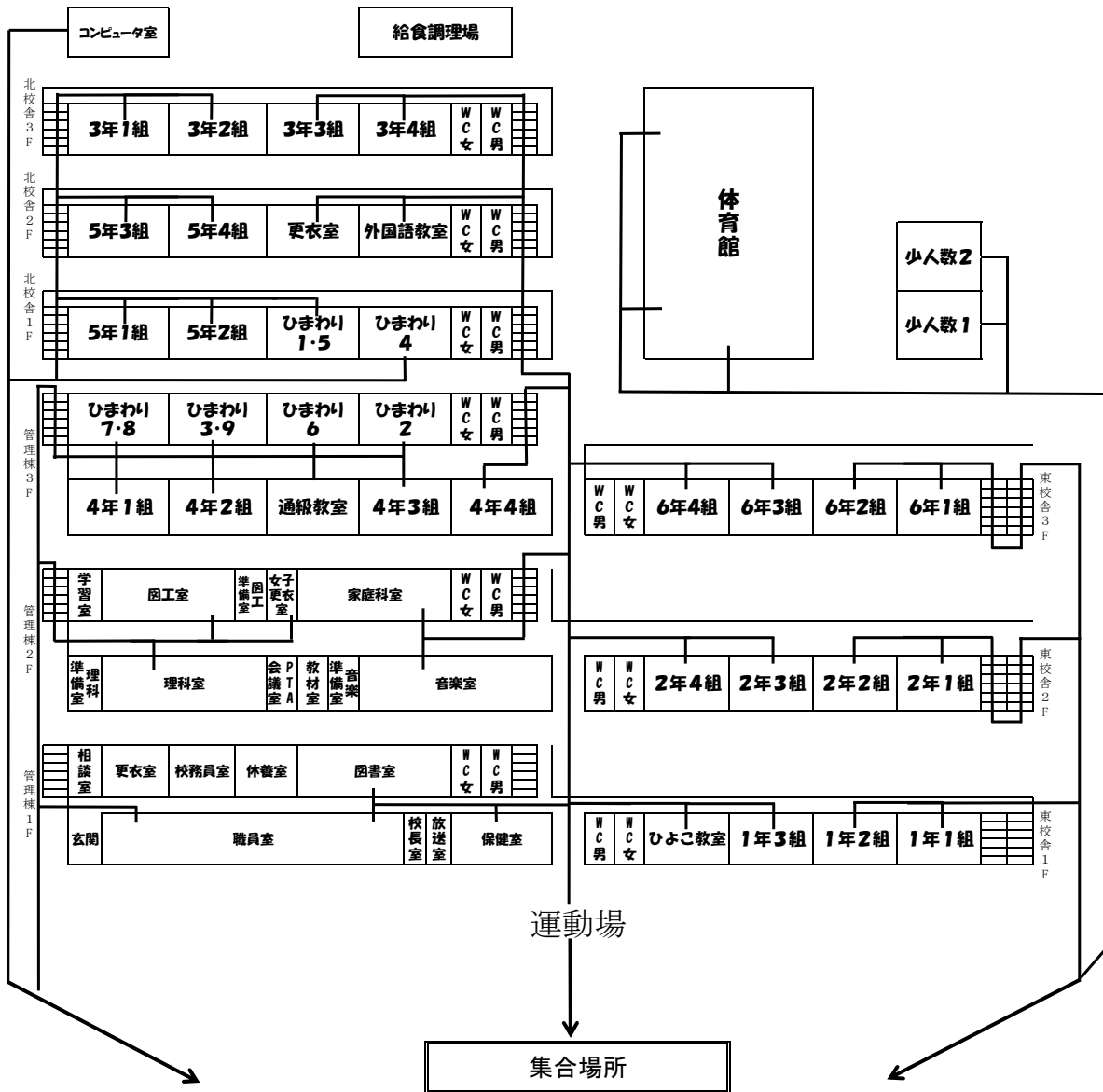
ミサイルが発射され、日本の領土・領海の上空を通過、又は領土・領海に落下する可能性がある場合

在 校 ・ 在 園 時	校舎内等への避難や建物内では窓から離れるなど、適切な指示のもと、幼児児童生徒等の安全確保に努める
登 校 ・ 登 園 前	自宅待機
登 下 校 時	学校園に登校・登園した、又は下校・降園していない幼児児童生徒等を校舎内等へ避難誘導し、安全確保に努める
校 外 ・ 園 外 活 動 時	引率教員等は、幼児児童生徒等を近くの建物や地下などへ速やかに避難誘導

2 状況別の臨時休業の取扱い等

状 況 パ タ ー ン	A	B	C	D
	領土・領海 外に落下	日本の上空 を通過	領土・領海 に落下 (Dを除く)	枚方市を中心とした一定距離圏内(約30 km) または大阪府域に落下
臨 時 休 業 の 取 り 扱 い	原則として臨時休業は行わない			臨時休業
在 校 ・ 在 園 時	教育活動を再開			①原則として幼児児童生徒等を学校園で保護 ②引き続き情報収集に努める ③安否情報を保護者へ連絡する
登 下 校 時	(登校時) 登校後、教育活動再開 (下校時) 安全確認後、下校させる ○始業の繰り下げ等の対応をとった場合は、児童生徒支援室まで報告すること			○学校園に登校・登園した、又は下校・降園 していない幼児児童生徒等については、 在校・在園時に準じた対応を行う
校 外 ・ 園 外 活 動 時	安全確認後、校外・園外活動を再開			①幼児児童生徒等を安全な場所で保護 ②引率教員等は、自校に現状報告を行う とともに、引き続き情報収集に努める ③安否情報を保護者へ連絡する

(7) 避難経路

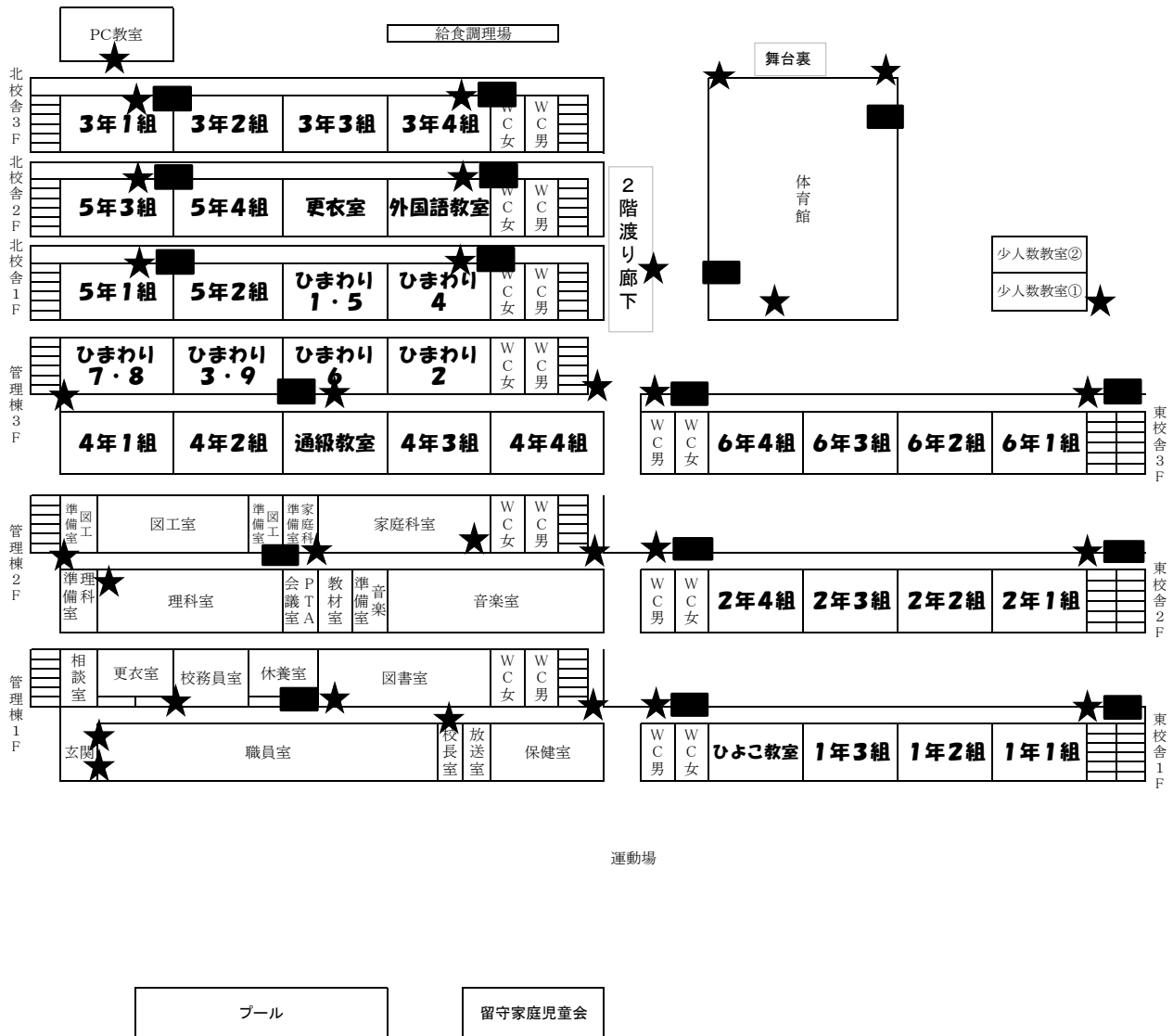


1234 1234 123 1234 1234 1234
 5年 3年 1年 2年 4年 6年

7-1ル

留守家庭児童会

(8) 消火器・消火栓 配置図 〈消火器 (★) ・消火栓 (■)〉



※毎年2回消火器・消火栓の点検があります。
 消火器は所定の位置が決まっていますので、各自関係する教室の近くの消火器・消火栓を確認し、非常時に備えてください。

(9) 引き渡しマニュアル

引渡しを実施するケース

ア枚方市に「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」「洪水警報」が発令された時
イ枚方市に震度5弱以上の地震が発生した時
ウ不審者が学校へ侵入し、実被害が出た時（レベル3）
エ近隣地域で凶悪事件等が発生し、犯人が逃走中で児童等に危害が及ぶ恐れがある時
オ校舎に激しい火災が発生したとき

* 校長（総指揮）より緊急避難措置を指示

1、<第一次避難> 災害を回避するために緊急避難を行う。

A【避難先が校庭の場合】

① 放送の指示（教頭）に従い

避難訓練の場所に各学級2列バディで並び、点呼をとる。

留守家庭児童会前（ 6年 4年 2年 1年 3年 5年 ）

★学年表示板前に早く来たクラスから東側から順に並ぶ。

②学級担任 → 教頭に人数報告

（○年○組、欠席○名、現在数○名、全員集合しました。）

全クラスの在籍数記載の一覧表名簿にチェック（教頭）

B【避難先が校舎内の場合】

① 放送の指示で、担任は体育館に児童を誘導する。

② 学級担任 → 教頭に人数報告。

2、対応協議 【校長、教頭、教務主任】

*引き渡しの決定、(A:留守家前本部に集合 B、体育館本部)

↓
全職員に通知（場所、開始時刻） → 児童に知らせる（担当）

3、通報連絡

- ・ミルメール配信・学校ホームページに掲載（教頭）
- ・地域見守り隊への連絡（教頭）
- ・ミルメール不登録者への電話連絡（担外）

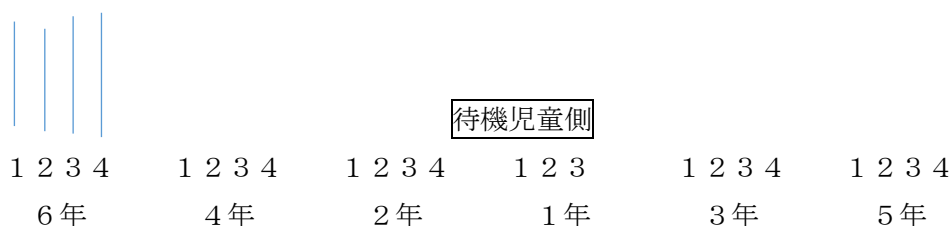
「津田南小学校より緊急連絡です。災害発生（発生のおそれ）があり、児童の引き渡しを行います。校庭（教室）に児童を引き取りに来て下さい。尚引き取りは、緊急時調査票に書かれている方をお願いします。引き渡し開始時刻は○時○分です。」

4、＜第二次避難＞引渡しまでの児童の安全待機

安全を確保し児童を安全に待機させる。

- ① **校庭で引渡しの場合**・・・校舎から離れて、児童朝会の向きに変え
2列バディで並ぶ。

校舎が安全だと判断した場合のみ、児童は教室に戻り、帰りの準備をして再度校庭に並びなおす。



引き取りに来た保護者は、1列に並んでもらう。

保護者側

朝礼台

(本部) *携帯電話(2)

*ハンドマイク(2)

*緊急時調査票赤ファイル(職員室)

北門 (開錠)

正門 (開錠)

- ② **教室で引渡しの場合** 児童を教室に戻し帰る用意をして静かに待たせる。

★担任外→誘導(門のところにコーン、一方通行) 掲示(一方通行の矢印など)

5、引き渡し準備

- ・緊急時調査票赤ファイル(校長室保管)は担任が運ぶ。

運動場で引き渡す場合・・・一括して持って出る。

教室で引き渡す場合・・・教室まで届ける。

(**緊急時のクラス名簿**)はファイルの中にあり)

- ・各学年(各担任+補助)で対応

調査票で引き取り者の確認を行う

- ・職員に緊急用ビブス(学年カラークラス番号のゼッケン)を配布(担任)

- ・携帯電話(2)、ハンドマイク(2)を本部に持ち出す。(教頭・教務主任)

- ・職員室待機(主事) ・救護(養護)

- ・北門、クラブハウストイレ開錠(担任)

6、保護者へ引渡し（設定時刻より開始）

①説明、指示（教頭）（防災担当）

A【避難先が校庭の場合】

② 迎えにきた保護者は、来た順番に学年の所にクラスごと1列に並んでもらう。

★兄弟姉妹がいる場合は、原則下の学年から。（状況で空いている所から）

受・・・「お名前と続柄をお願いします。」

☎・・・「〇年〇組〇〇の母の〇〇です。」

受・・・**「緊急時調査票」**で確認

誘・・・一致していれば、児童を呼び、引き取り者と顔を合わせる。
「この方は誰ですか。」

児・・・「お母さんです。」

名・・・一致していれば、**「緊急時のクラス名簿」**にチェックする。

「気をつけてお帰り下さい。」

③ 引き取り後は、北門（正門から入る。一方通行）から速やかに下校。

B【引渡し先が教室の場合】（体育館に避難した後に状況により教室に戻る）

①迎えに来た保護者は、原則上の階から下の階へ引き取りを行う。

②迎えに来た保護者は、教室前廊下に2列に並んで待つ。

③教室のドア前で受付してから中に入ってもらう。（担任＋補助）

*補助は人数の多い学年等臨機応変に入る。

④上記Aと同じ流れで確認後、後ろのドアから出て下校。

7、確認

・引き渡し申請書に記入がなかった人が引き取りにきた場合は、一旦本部
に来てもらい保護者に連絡を取る。確認がとれたら**「確認済みのカード」**を渡し再び
受付に並んでもらう。上記Aと同じ流れ。

（*事前に保護者から連絡があった場合は、受付に確認済みカードを渡しておく）

・引渡しが終わったクラスは、教頭に引渡し完了を報告する。（担任）

*早く終わったクラス担任は、状況に応じて応援に入る。

・終了時刻を記録する。（教頭）

8、再連絡

①引渡しが出来ていない児童を集める。（人数に応じて体育館か図書室）

②引き取りに来ていない家庭への電話連絡（担任、担外）

9、緊急職員会議

引渡し状況の情報共有

(10) 緊急集団下校についてのマニュアル

在校中の「特別警報・警報」発表時の対応について

○ア～オ以外のその他の大きな災害が発生した時

ア 枚方市に「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」「洪水警報」が発令された時

イ 枚方市に震度5弱以上の地震が発生した時

ウ 不審者が学校へ侵入し、実被害が出た時(レベル3)

エ 近隣地域で凶悪事件等が発生し、犯人が逃走中で児童等に危害が及ぶ
恐れがある時

オ 校舎に激しい火災が発生したとき

*特別警報とは、警報の発表基準をはるかに超え重大な災害が起こるおそれが著しく
大きい場合、気象庁が自治体に伝達する防災情報。教育委員会と連携して対応する。

1、緊急職員会議（緊急放送）

- ・全職員を招集し、緊急時の下校措置をとることを決定、伝達（校長）
- ・ミルメール配信・学校ブログに掲載（教頭）
- ・地域見守り隊への連絡（教頭）
- ・担任は連絡帳等で保護者から緊急連絡がないか確認しておく。
- ・担任は、帰りの用意、静かに着席（読書等）する指示を出し再度職員室へ。
- ・ミルメール不登録者への電話連絡（担外）
- ・緊急時調査票（赤ファイル）を体育館へ移動させる配布（担外）
- ・体育館の引き取りの準備を進める（机三台、学年プレート設置など）
- ・地区児ファイルを配布（地区児担当）
- ・教師の担当の確認（欠席など）

- ・担任は、緊急時下校名簿を常備しておく。
- ・緊急時に備え常に 赤ファイルには緊急時引き渡し調査票を入れておく（水色）
- ・校長室棚に、ビブスや名簿を常備しておく。

担任は、欠席・早退者がいる場合は、iPadに記入する。併せて連絡帳等で
急な変更等があった児童についても、緊急職員会議にて共有する。

2、教室に戻り児童への下校指導

- ・緊急時下校名簿で、ア集団下校か、イ学校待機かを児童と再確認
- ・欠席・早退児童はアイパッドに書いておく。
- ★・(ア)の集団下校で帰る児童については、放送の指示で下靴に履き替え移動する。(教室内もそのまま入る)

3、放送の指示に従って児童の移動㊦・㊧・㊨

1 学校待機児童（イ）を体育館に移動（放送）

- ・帰る荷物・傘を持っての移動（上靴のまま）
- ・必ず担任が引率すること。
- ・学年ごとに並ばせ座らせる。
- ・担任は緊急時のクラス名簿を担当者に渡す。

2 集団下校をする児童（ア）の地区児の教室への移動（荷物、傘を持って下靴で移動）

- ・班長は、1年生を迎えに行く（放送）
- ・副班長は、2年生を迎えに行く（放送）
 - *班長・副班長が学校待機者の場合も、一旦迎えと教室に送り届けるまでの仕事をする。
仕事が終われば次第再び体育館に戻る。
- ・3年～6年生の地区児教室への移動(放送)（*迷子児童は、職員室に行かせる。）

4、地区児童会

- ・名簿確認・人数確認をする。
- ・下校時の注意、安全な行動の仕方を指導。
- ・正門を開ける（担外）

5、集団下校

- ・各教室から並んだ状態で教師引率の元、避難経路を通過して速やかに集団下校する。
- ・落下物、垂れ下がった電線、用水路、側溝、川の増水等に十分気をつけさせる。
- ・集団下校完了報告（教頭へ）⇒ 随時、待機児童引渡しの応援へ行く。

6、待機児童の引き渡し（複数体制で）

- ・長机を中央に出し、緊急時調査票（赤ファイル）で引き取り者を確認。
- ・児童と対面させ、確認してから引き渡す。
- ・緊急時のクラス名簿にチェックを入れる。
- ・状況により、電話で保護者に確認を入れる。

手が空いた教員から、体育館の待機児童引き渡し対応に入る。

7、緊急職員会議

- ・児童の下校確認・引渡し状況・通学路の危険状況報告等

(1 1) 緊急時における教職員の役割について

＜令和6年度緊急時引き渡しグループ＞

*各担任で ①受付②児童確認③チェック表に記録の仕事をする。(補助の教員が入る)

学年	補助	
1年	増田	曳田
2年	松浦	
3年	草野	藤田
4年	小山	
5年	高岡	孫入
6年	杉本	

*支援担は、在籍児童につく。臨機応変に応援に入る。

＜令和6年度不審者対応時の役割分担＞

総指揮	校長					
本部	管理職、首席、主事					
A:安全・誘導班 【校舎】 *各階の両端の担任	北校舎			東校舎		
	3階	廣永・勝山・西村		岡本、瀬戸川		
	2階	野村		長谷部・坂下・森本		
	1階	粗野		戸田・井上む		
	管理棟					
	3階	加藤、安積				
	2階	増田				
	1階	孫入				
B:安全・誘導班 【校庭】	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	寺島	吉田	朝倉	大久保	竹之内	安澤
救護班	養護教諭・栄養教諭*必要に応じてA, B, C班より応援をする。					
C:侵入者対応班	担外：杉本、草野、高岡、井上あ 児童指示後駆けつけ隊：安積、廣永、山本、村上、志智、					

*支援担は、在籍児童につく。

(12) 学校安全計画

令和6年度学校安全計画		※学級活動の欄 ◎…1.単位時間程度の指導 ●…短時間指導										枚方市立 東田南小学校		
項目	月	4	5	6	7-8	9	10	11	12	1	2	3		
月の重点		通学路を正しく歩こう	安全に休み時間を通こう	梅雨時に安全な生活をしよう	自転車のまきまきを守ろう	けがをしないように運動しよう	乗り物の乗り降りに気を付けよう	けがをしないように運動しよう	安全な冬の生活をしよう	災害から身を守ろう	道路標識を守ろう	安全な生活ができるようしよう		
道徳		規則尊重	生命の尊重	思いやり、親切	動機努力	明朗誠実	思いやり、親切	思いやり、親切	勇気	動機努力	節度節制	愛校心		
生活		地域めぐり時の交通安全	野外観察時の交通安全	公園までの交通安全	虫探し、まち探検時の交通安全	はさみ、のり、はさみの使い方	たけのこ、つまようじの使い方	郵便局見学時の交通安全	はさみ、ステープラーの使い方	はさみの使い方	普通車の安全な使い方	移転への使い方		
理科		野外観察時の交通安全	カバメガラス、スライダース、フラスコの使い方	公園までの交通安全	交通安全	観察中の安全	観察中の安全	ボリ袋、ゴム風船の使い方	曇り、凸レンズ、ガラス器具の使い方	スコープ、ナイフの使い方	夜間観察の安全	観察中の安全		
社会		地域めぐり時の交通安全	カバメガラス、スライダース、フラスコの使い方	公園までの交通安全	交通安全	観察中の安全	観察中の安全	ボリ袋、ゴム風船の使い方	曇り、凸レンズ、ガラス器具の使い方	スコープ、ナイフの使い方	夜間観察の安全	観察中の安全		
園工		はさみ、カッターナイフ、鋸の具、接着剤の安全な使い方	写生場所の安全	水泳前の健康観察	水泳時の安全	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い		
家庭		針、はさみの使い方	アイロンのかけ方	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い	食品の取扱い		
体育		固定施設の使い方	集団演技、行動時の安全	水泳前の健康観察	水泳時の安全	水泳時の安全	水泳時の安全	水泳時の安全	水泳時の安全	水泳時の安全	水泳時の安全	水泳時の安全		
総合的な学習の時間		「町探検、秋市内巡り」(3年)、「私たちの暮らしの学習」(6年)												
学級	低学年	●通学路の確認 ◎安全な傘下校 ●安全な給食配膳 ●子ども110番の家	●休み時間の約束 ◎防犯避難訓練への参加 ●運動時の安全 ●運動時の約束	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る		
学級	中学年	●通学路の確認 ◎誘拐の起こる場所 ◎安全な傘下校 ●安全な清掃活動	●休み時間の安全 ◎防犯避難訓練への積極的な参加 ●運動時の安全 ●運動時の約束	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る		
学級	高学年	●通学路の確認 ◎安全な傘下校 ●交通安全から身を守る ◎身の回りの犯罪 ●安全な委員会活動	●休み時間の安全 ◎防犯避難訓練への積極的な参加 ●運動時の安全 ●運動時の約束	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る	●雨天時の約束 ◎プールの約束 ●誘拐から身を守る		
児童委員会		1年生を迎える会 クラブ活動・委員会活動開始 入学式 健康診断 春の交通安全運動	児童朝会 引き渡し訓練 選定	児童朝会 防犯避難訓練(風水害) プールの閉き	児童朝会 健康診断	児童朝会 秋の交通安全運動 修学旅行	児童朝会 地区交通安全運動 運動会	児童朝会 防犯避難訓練(不審者) 津田南小学校	児童朝会 安全な傘下校 健康診断 防災避難訓練(火災・地震)	児童朝会 児童会祭り 児童朝会 児童会祭り	児童朝会 児童朝会 児童朝会 児童朝会	児童朝会 児童朝会 児童朝会 児童朝会		
安全管理		安全な通学の仕方 固定施設器具の安全な使い方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方	安全な通学の仕方 安全な通学の仕方 安全な通学の仕方		
安全管理		通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)		
安全管理		通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)		
安全管理		通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)	通学路の安全確認 安全点検等(研修含む)		

16. 校務分掌組織表

教務部

部長【草野】

分 掌	内 容	担 当 者
儀式的行事	始業式、終業式、離任式	担外2名・支援4名
教育課程	教育計画 年間行事 月中行事 日課表 時間割 授業時数 校外学習	首席
渉 外	地域連携 学校教育自己診断	首席
会 計	市費 通信関係 児童関係(援助費・給食費・ PTA会費・銀行口座) 保健関係(日本スポーツ 振興センター・枚方安全共済会・医療券) 給与・共済・互助会	主事・養護教諭
庶 務	文書管理(公文書・学校日誌・履歴書・備品台帳・廃棄申請) 調査統計 備品・消耗品管理 教科書・副教材 教材・教具管理 簿冊管理 給食	主事・首席・栄養教諭
庶務2	教室の鍵の付け替え、クラスプレート回収、名札入れ・印箱・指導要録配布 職員の名札の作成・職員の靴箱の入れ替え、クラスプレート付け替えの呼びかけ 新1年生個票の切り分け、在校生の名札の切りそろえ、備品の回収	担外3名・支援5名
学 籍	指導要録 出席簿 健康診断 歯科検診簿 卒業者台帳 教科書給与 在学証明書 転出入 在籍調査 就学事務	主事・首席・養護教諭
連携事務室	学校事務共同実施	主事
環境整備	施設設備管理 樹木管理	主事・技術職員・首席
学力テスト	全国学力・学習状況調査 大阪府学力調査(大阪府・小学生すくすくウォッチ)	首席・学力向上部

学校向上部会

学力向上部 【野村・寺島・坂下・森本・西村・加藤・粗野・安澤・末田・安井・谷口・松浦・草野】

部長(野村)

分 掌	内 容(共通)	内 容	担 当 者
学力向上	研究授業検討 研究協議 研修会 講演会 授業研究 学力向上委員会 学習指導要領の研究	研究紀要	寺島・坂下・担外
		学力向上プラン 学力アンケート(4月、每学期末実施)	安澤・野村
		小中連携	草野
		自主研修・学習規律・一ネタ会	加藤・粗野
		家庭学習・朝学習(見回り)	孫入・松浦
		学期末テスト(国・算)・分析	森本・西村
		全国学力・学習状況調査及び 大阪府小学生すくすくウォッチの分析	末田・安井・谷口

生活向上部【井上・長谷部・勝山・大久保・山本・竹之内・瀬戸川・志智・衣川・柏木・皆川・増田・杉本・高岡】
部長(杉本)

分 掌	内 容(共通)	内 容	担 当 者
生徒指導 生活指導	学年生指 ケース会議 問題行動・不登校対応 いじめ対応 児童虐待・虐待防止	SSW、SSWSの連携	杉本
		長欠・不登校調査	増田
		長欠休暇の過ごし方・落とし物・傘の管理	長谷部
		いじめアンケート	皆川
		校区マップ・朝学習当番表・門立ち番・顔写真ファイリング・	志智
		全児童案件	井上
		スクリーニングシートの作成・管理	竹之内・勝山
		個人ファイルのチェック	衣川・山本
人権教育	人権研修 支援教育 同和教育 キャリア教育 多文化共生	スローガンに向けての取り組み	瀬戸川・杉本
		人権部のレポート周知・報告	高岡
		人権全大会・集会での人権の話	大久保
		キャリアパスポート平和週間の提案・夏季研修	柏木

体力向上部【戸田・吉田・廣永・朝倉・安積・村上・岡本・田中・荻野・國定・小山・曳田・藤田】
部長(安積)

分 掌	内 容	担 当 者
体力向上	運動会	廣永・朝倉・荻野
	水泳 体力テスト 体育時の服装	田中・村上・小山・戸田
	評価 整備	安積・吉田・岡本
健康	食育 給食指導 アレルギー対応 生活習慣調べ 個別指導	藤田・曳田・國定

指導部会
図書館教育部【寺島・勝山・山本・安澤・末田・谷口】
部長(勝山)

分 掌	内 容	担 当 者
図書館教育	図書購入と廃棄 図書室の整備 図書室利用指導 司書との連携	勝山
	読書指導 図書委員会	末田・谷口
	絵の本広場	勝山・安澤
視聴覚教育	視聴覚行事提案	寺島・山本

環境教育部【井上・加藤・野村・荻野・衣川・孫入】
部長(加藤)

分 掌	内 容	担 当 者
環境教育	S-EMS 安全点検 環境整備	曳田・衣川・加藤
	清掃 古紙管理 ストープ管理	井上・孫入・野村・荻野
	机・椅子・靴箱(集中下足)管理	全員

特別活動部【坂下・朝倉・柁野・瀬戸川・柏木・杉本】
部長(朝倉)

分 掌	内 容	担 当 者
特別活動	クラブ活動	柁野・坂下
	委員会活動	杉本・柏木
	児童朝会	柁野・瀬戸川・杉本
	児童会種目	朝倉・坂下
	児童会まつり	朝倉・柏木
	なかよし交流	瀬戸川

防災・安全教育部【森本・安積・竹之内・皆川・松浦・増田・小山】

部長(小山)

分 掌	内 容	担 当 者
防災	避難訓練(風水害・不審者対応・地震・火災) 引き取り訓練 防災教育 危機管理マニュアル 緊急時対応カード 避難訓練	森本・安積・竹之内
安全指導	地区児童会 集団下校指導 班長会 春秋交通安全立ち番割り振り提 示 PTA生活指導委員との連携 通学路の提出 地区児童会教室配置 冊子 作製	松浦・小山 皆川・増田

情報教育部【吉田・西村・村上・岡本・高岡】

部長(吉田)

分 掌	内 容	担 当 者	
情報・視聴覚教育部	全体総括	吉田	
	ICTサポーターとの連携、ICT機器の活用法について、クリーンアップ週間	村上	
	デジタル機器管理 PC室管理 タブレット管理 (配布・回収の準備含む) 視聴覚行事の実行	情報担当者会議、デジタル教科書管理、ICT機器の 配布・回収	國定
		タブレットk系系の端末管理、プログラミング授業説明	西村・岡本
		児童朝会及び行事時のマイクや音源の用意	高岡
		情報モラル授業案	村上・吉田
		アカウント管理	田中・高岡

業務改善部【戸田・長谷部・廣永・大久保・志智・安井・藤田・山領】

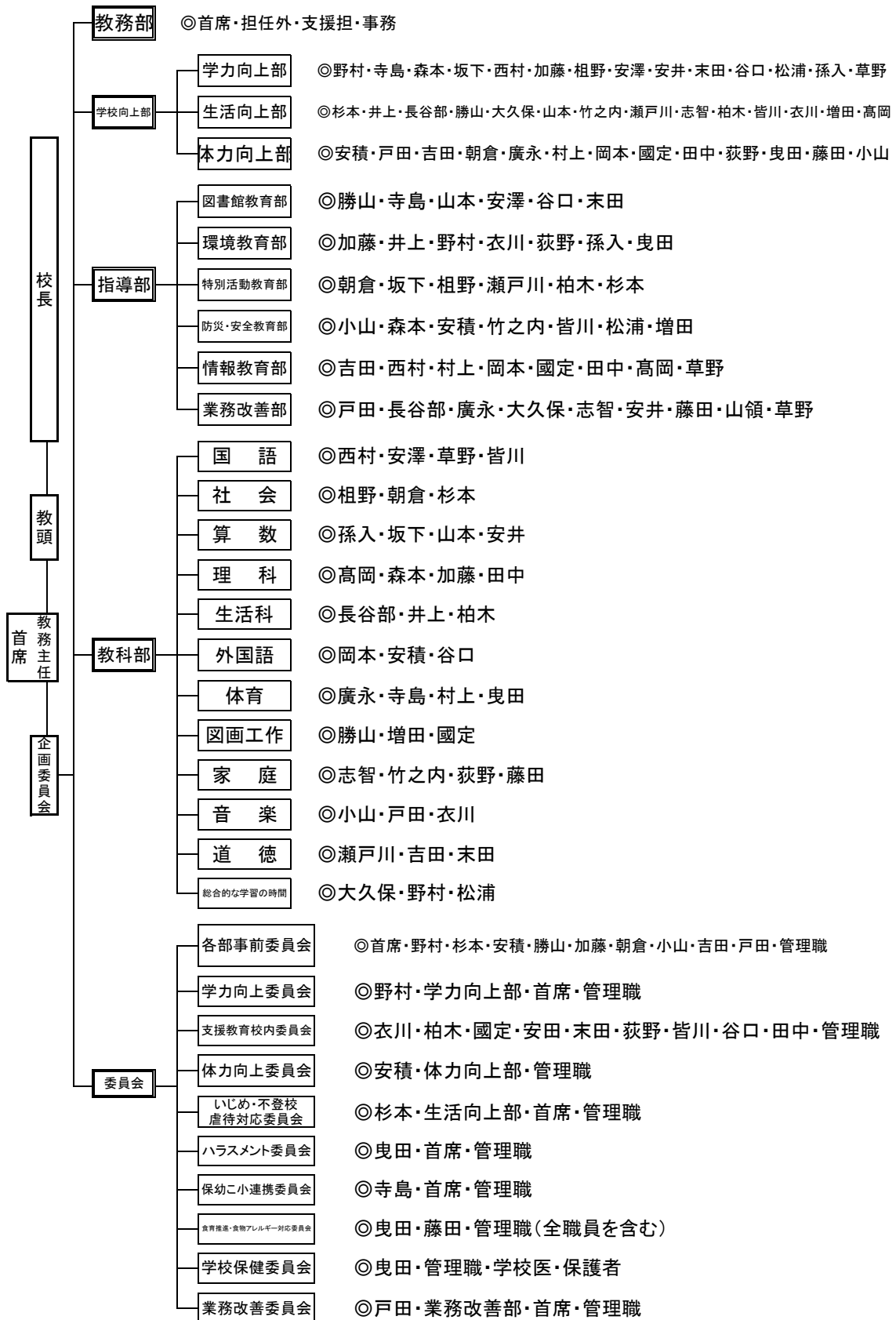
部長(戸田)

分 掌	内 容	担 当 者
業務改善	校内職場環境改善についての提案・検討	所属全職員

推進委員・渉外関係

分 掌	担 当 者	備 考
生徒指導主担者	増田	生指より1人
人権教育主担者	高岡	人権より1人
支援教育コーディネーター	衣川・柏木	支援学級担任より2人
衛生管理者	曳田	企画委員会より1人
道徳教育推進教諭	瀬戸川	教科道徳より1人
給食献立作成・指導研究部会委員	藤田	栄養教諭
システム管理者	草野・岡本	首席+1人
エコスクール担当	加藤	環境より
音楽会指導	小山・4年生担任	音楽専科+学年
親睦会	衣川・長谷部・山領	赴任順3人
市教研	藤田	赴任順1人
PTA書記補・会計補	勝山・岡本	赴任順2人
PTAまつり実行委員会	勝山・岡本	書記補・会計補と兼任
PTA生活指導委員会	小山	地区児担当より
小中一貫教育連絡協議会	草野	学力向上部より
ふれ愛地域教育協議会	管理職	見回り協力は職員で
区民体育祭	村上	年3回中1回(夜間) 健康・体力向上より1人

17. 学校運営機構図 ※それぞれ先頭が主担者 (◎)



※各委員会には参加が必要と思われる関係教職員にも出席を求める場合がある